

第2期石垣市子ども・子育て支援事業計画
策定に係る
ニーズ調査等結果報告書

平成31年3月
石垣市

< 目 次 >

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査設計及び実施結果	1
3.	調査結果の見方	2
第2章	石垣市の子ども・子育てを取り巻く状況	3
1.	人口の状況	3
2.	婚姻・離婚の状況	6
3.	就労の状況	7
4.	子ども・子育て関連施策の状況（第1期計画の進捗状況等）	10
第3章	調査結果の概要と総括	15
1.	子育て家庭の状況	15
2.	子どもの育ちをめぐる環境について	16
3.	保護者の就労状況（就学前児童・小学生）	18
4.	育児休業について	21
5.	就学前児童の教育・保育の利用状況・利用意向	22
6.	就学前児童の地域子育て支援事業等の利用状況・利用意向	25
7.	就学後の放課後の過ごし方や居場所について	28
8.	児童館について	29
9.	石垣市の子ども・子育て支援について	32
10.	関係団体等ヒアリング調査における意見等	33
11.	総括（調査結果等からみた現状と課題）	34
第4章	就学前児童保護者調査の結果	36
1.	基本属性	36
2.	子どもの育ちをめぐる環境について	40
3.	保護者の就労状況について	44
4.	平日の定期的な教育・保育の利用状況について	51
5.	地域の子育て支援事業の利用について	65
6.	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について	72
7.	平日の定期的な教育・保育利用者の病気の際の対応について	79
8.	不定期の保育サービス（一時預かり等）の利用について	86
9.	小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳児）	93
10.	職場の両立支援制度について	96
11.	幼児教育・保育無償化について	104
12.	児童館について	108
13.	子ども・子育て支援全般について	113
第5章	小学生保護者調査の結果	118
1.	基本属性	118
2.	子どもの育ちをめぐる環境について	122
3.	保護者の就労状況について	126
4.	放課後の過ごし方について	133
5.	児童館について	143
6.	子ども・子育て支援全般について	148
第6章	中学生保護者調査の結果	153
1.	基本属性	153
2.	子どもの育ちをめぐる環境について	156
3.	放課後の過ごし方について	158
4.	児童館について	161
5.	子ども・子育て支援全般について	166

第7章	関係団体等ヒアリング調査の結果	171
1.	サービス等実施の現状と課題	171
2.	行政との連携や望む支援	172
3.	子ども・子育て支援全般について	173
第8章	資料編	174
1.	就学前児童保護者用調査票	174
2.	小学生保護者用調査票	198
3.	中学生保護者用調査票	210

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

2020年度を始期とする「第2期石垣市子ども・子育て支援事業計画」を策定する際の基礎資料として、本市の子育て中の保護者の子育てに関する実態や意識、及びサービス提供事業者等の現状・課題を把握することを目的としてニーズ調査等を実施した。

2. 調査設計及び実施結果

(1) ニーズ調査

	就学前児童保護者用 調査	小学生保護者用 調査	中学生保護者用 調査
調査対象	就学前児童（0歳～小学校入学前）の保護者	小学1～6年生の保護者	中学1～3年生の保護者
対象児童数 （※）	3,963人	3,530人	1,586人
調査方法	①保育所・幼稚園等に通っている児童（2,669人）： 保育所等を通じて配布・回収 ②①以外の児童（1,294人）： 郵送配布・回収	小学校を通じて 配布・回収	中学校を通じて 配布・回収
有効回収数 （有効回収率）	2,871人（72.4%）	2,570人（72.8%）	1,037人（65.4%）
調査期間	平成31年2月1日（金）～11日（月）		

（※）平成30年11月末日現在、本市に住民票のある0歳～中学3年生までの全児童を対象に実施。

(2) 関係団体等ヒアリング調査

調査対象	①石垣市私立保育園連盟 ②石垣市小規模保育事業所協議会 ③企業主導型保育事業所運営者（2事業者） ④石垣市放課後学童クラブ連絡協議会 ⑤石垣市ファミリーサポートセンター ⑥石垣市子どもセンター
調査方法	上記の①～⑥の団体毎にヒアリングを実施
ヒアリング 内容	・現在のサービス提供の状況、及び今後の事業展開の方向性や課題 ・行政との連携や望む支援 ・石垣市の子ども・子育て支援全般について
調査期間	平成31年2月25日～26日

3. 調査結果の見方

- ニーズ調査の回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ニーズ調査のクロス集計の表側に使用している「子どもの年齢」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- ニーズ調査のクロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- ニーズ調査結果の本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第8章 資料編」中の調査票を参照のこと。

第2章 石垣市の子ども・子育てを取り巻く状況

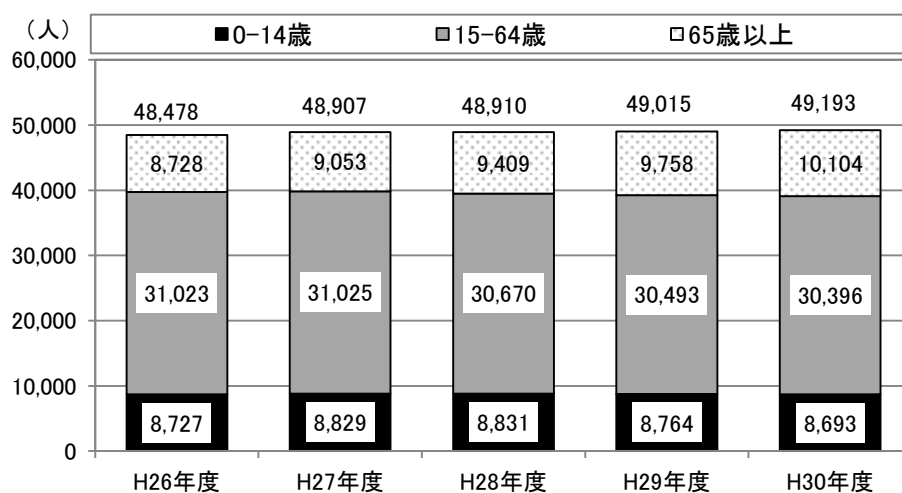
1. 人口の状況

(1) 総人口

本市の総人口は、平成26年度以降、49,000人前後で微増しており、14歳以下の年少人口は8,700～8,800人前後で推移している。

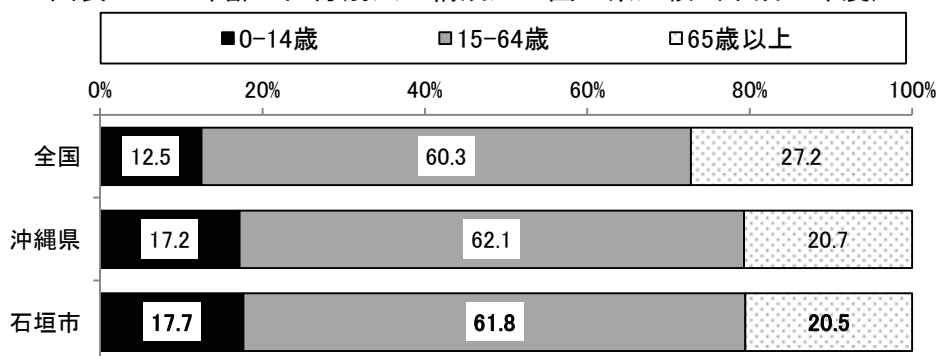
年齢3区分別人口の構成比（平成30年度）で見ると、本市は、沖縄県と同様に、全国に比べて14歳以下の年少人口の割合が5ポイント程度高く、17%を超えている。

図表－1 年齢3区分別人口の推移



資料／住民基本台帳（各年度4月末現在）

図表－2 年齢3区分別人口構成比の国・県比較（平成30年度）



資料／全国・沖縄県：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（平成30年1月1日現在）、石垣市：住民基本台帳（平成30年4月末現在）

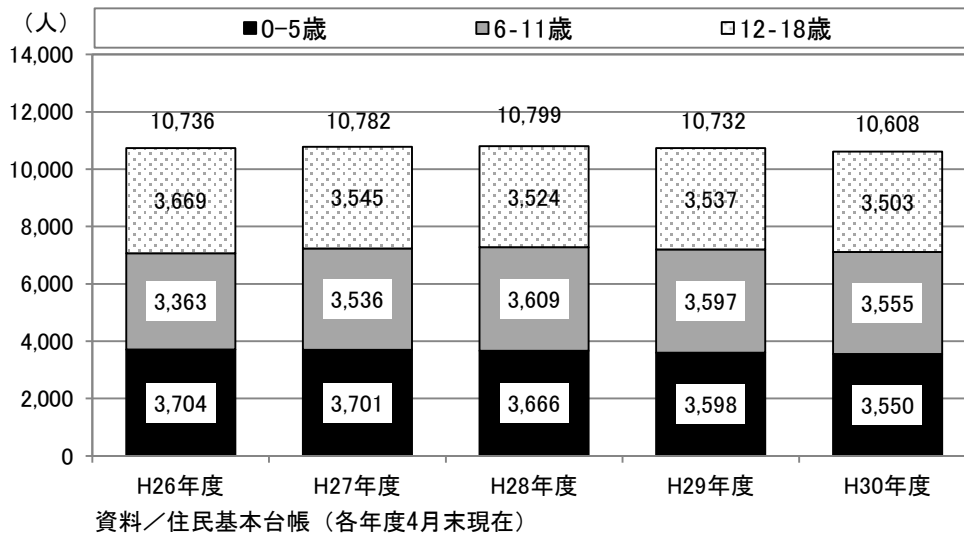
第2章 石垣市の子ども・子育てを取り巻く状況

(2) 児童人口

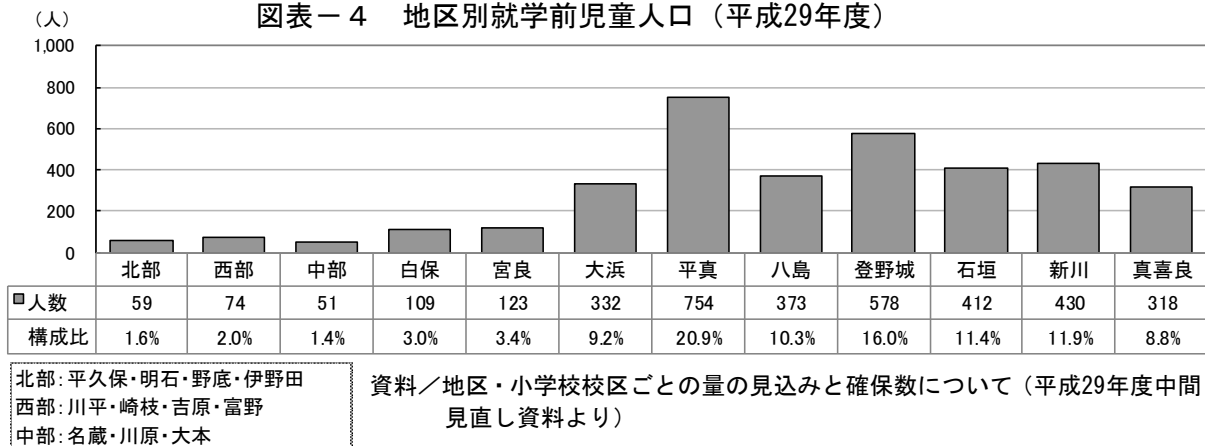
本市の18歳未満の児童人口は、平成26年度以降、10,700人台で増減を繰り返していたが、平成30年度は10,608人に微減している。年齢別の内訳をみると、0～5歳の就学前児童は一貫して減少しており、平成29・30年度は3,500人台となっている。

就学前児童の地区別の分布状況を見ると、平真や登野城をはじめ、大浜、八島、石垣、新川、真喜良といった南部（市街地）に全体の88%が集中している。

図表－3 児童人口（18歳未満）の推移



図表－4 地区別就学前児童人口（平成29年度）



(3) 出生の状況

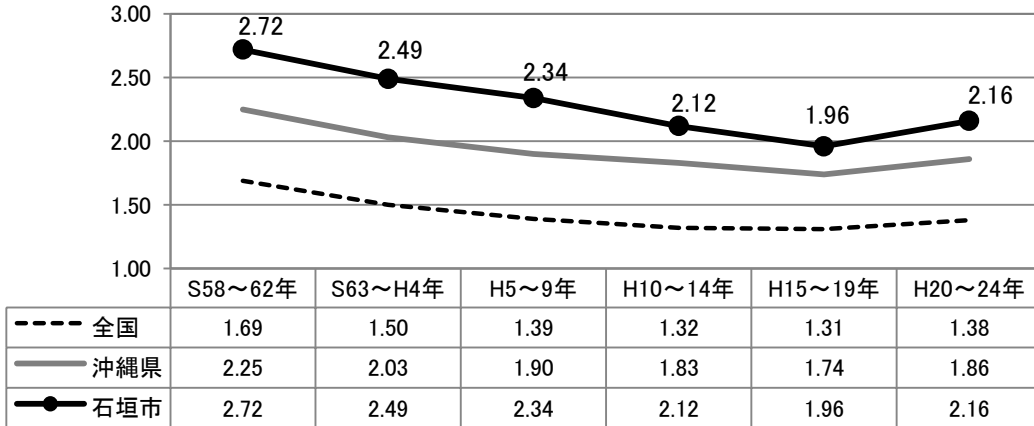
合計特殊出生率について長期推移でみると、本市は一貫して全国・沖縄県より高い水準で推移しており、国の統計における最新値（平成20～24年）は2.16と、人口置換水準（2.07）を上回っている。ただし、長期推移では国・県と同様に、低下傾向にある。

また、母親の年齢階級別出生率（女性人口千対）を全国・沖縄県と比較すると、本市は20代以下の若い年齢層での出生率が国・県に比べて高いという特徴が見られる。

平成25年以降の出生数・率の状況をみると、本市の出生率（人口千対）は全国を4ポイント前後上回り、沖縄県とほぼ同水準の12.0ポイント前後で推移しているが、出生数自体は600人前後で低下傾向にあり、平成29年は572人となっている。

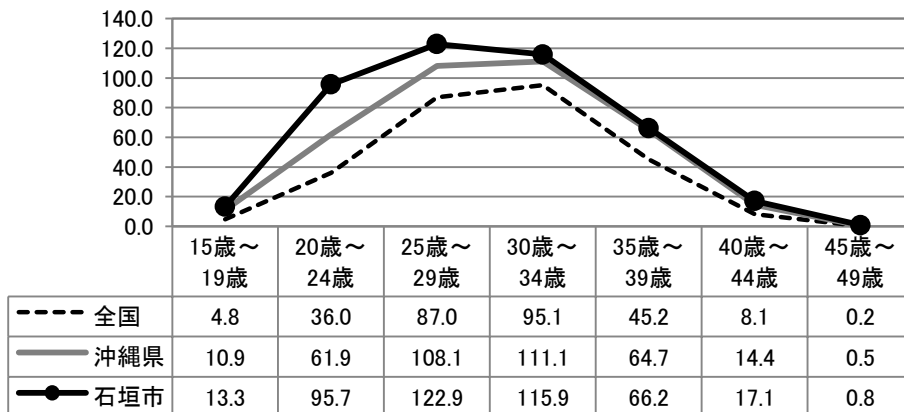
また、母親の年齢階級別に出生数内訳をみると、30代前半での出産が全体の3割強を占めて最も割合が高くなっている。

図表－5 合計特殊出生率の国・県比較
〔ベイズ推定値〕

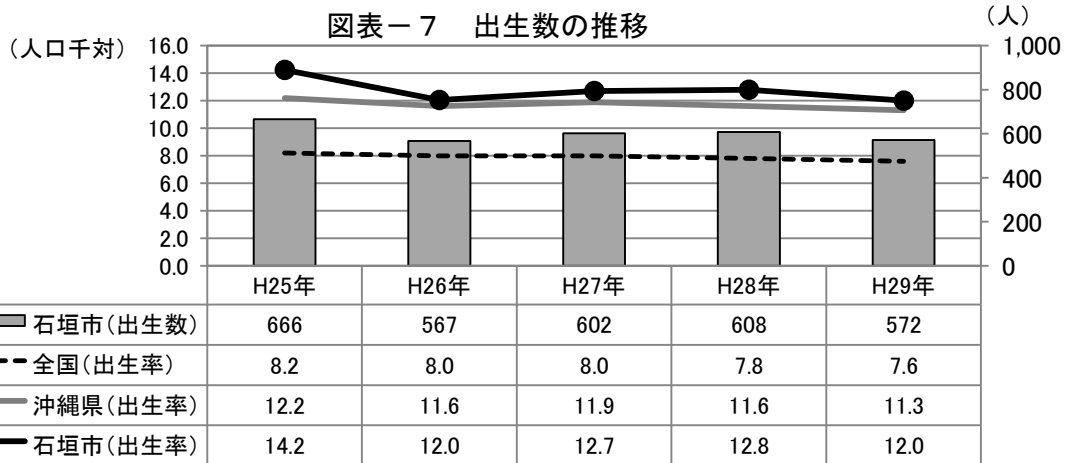


資料／平成20～24年人口動態保健所・市区町村別統計（人口動態統計特殊報告）

図表－6 母親の年齢階級別出生率（女性人口千対）の国・県比較
〔女性人口千対〔ベイズ推定値〕〕



資料／平成20～24年人口動態保健所・市区町村別統計（人口動態統計特殊報告）



資料/人口動態調査

図表-8 母親の年齢階級別出生数の推移

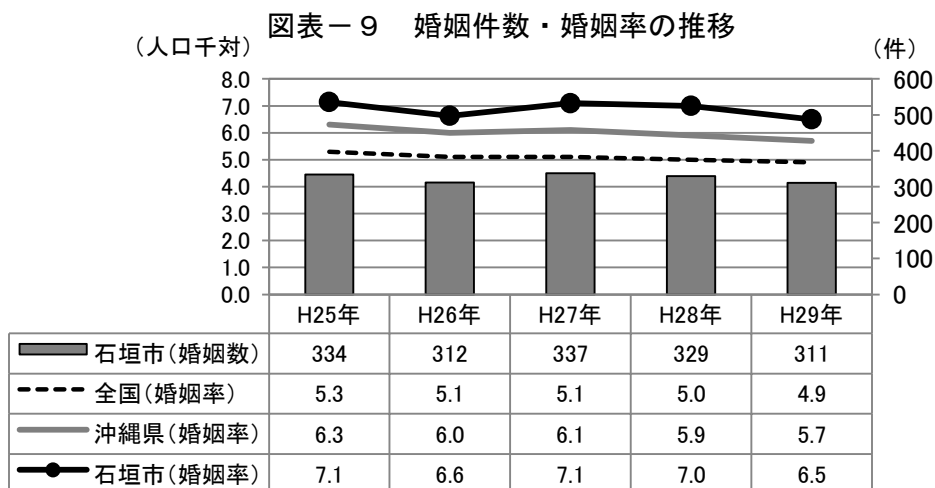
母親 年齢階級	H25年		H26年		H27年		H28年		H29年	
	出生数	構成比	出生数	構成比	出生数	構成比	出生数	構成比	出生数	構成比
15歳～19歳	14	2.1%	7	1.2%	15	2.5%	21	3.5%	8	1.4%
20歳～24歳	79	11.9%	59	10.4%	56	9.3%	56	9.2%	47	8.2%
25歳～29歳	153	23.0%	152	26.8%	149	24.8%	160	26.3%	136	23.8%
30歳～34歳	240	36.0%	181	31.9%	215	35.7%	200	32.9%	198	34.6%
35歳～39歳	141	21.2%	132	23.3%	133	22.1%	134	22.0%	149	26.0%
40歳～44歳	39	5.9%	34	6.0%	33	5.5%	37	6.1%	32	5.6%
45歳～49歳	0	0.0%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.3%

資料/人口動態調査

2. 婚姻・離婚の状況

(1) 婚姻

本市の婚姻件数は、平成25年以降、年間300件超で推移している。婚姻率（人口千対）は平成29年で6.5と、全国（4.9）及び沖縄県（5.7）に比べて高く、平成25年以降、一貫して国・県より高い水準で推移している。

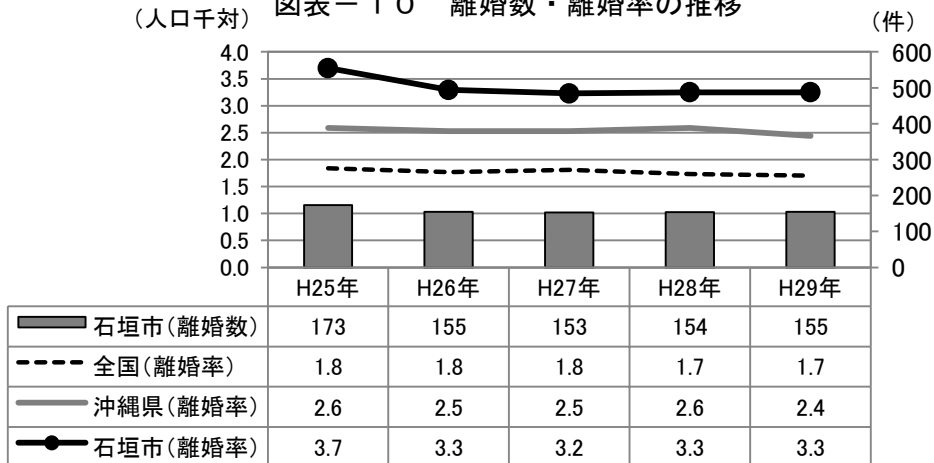


資料/人口動態調査

(2) 離婚

本市の離婚件数は、平成25年以降、年間150件超で推移している。離婚率（人口千対）は平成29年で3.3と、全国（1.7）及び沖縄県（2.4）に比べて高く、平成25年以降、一貫して国・県より高い水準で推移している。

図表－10 離婚数・離婚率の推移



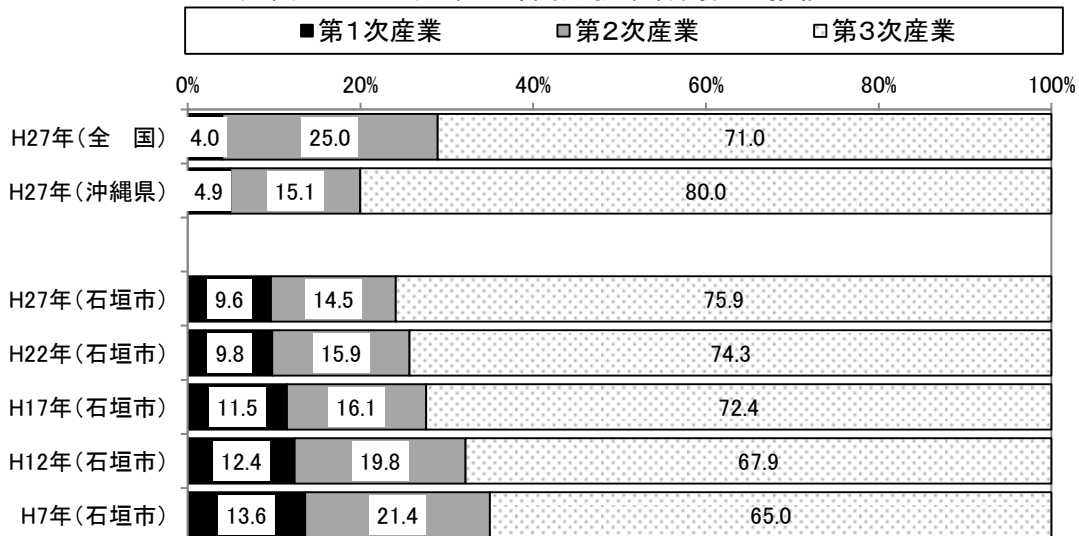
資料／人口動態調査

3. 就労の状況

(1) 産業構造（産業別就業状況）

本市の就業者の割合を産業3分類別にみると、平成27年時点で第1次産業：9.6%、第2次産業：14.5%、第3次産業：75.9%となっている。平成7年以降の推移をみると、第1次、第2次産業の割合が低下し、観光産業等のサービス業を含む第3次産業が上昇している。

図表－11 産業3部門別就業者割合の推移



資料／国勢調査

第2章 石垣市の子ども・子育てを取り巻く状況

15～49歳の出産や子育ての中心となる年齢層の就業者の職業構成（産業大分類）をみると、本市では、男性は建設業（12.9%）、農業・林業（10.7%）、卸売業・小売業（10.3%）、宿泊業・飲食サービス業（9.6%）、女性は医療・福祉（19.1%）、卸売業・小売業（17.8%）、宿泊業・飲食サービス業（15.9%）の順で割合が高い。

また、全国・沖縄県に比べて、男女とも、宿泊業・飲食サービス業や農業・林業の割合が高い。

図表－12 15～49歳産業大分類別就業者割合（平成27年）

(%)

	男性（15～49歳）		
	石垣市	沖縄県	全国
A 農業、林業	10.7	5.5	3.7
B 漁業	2.0	0.7	0.4
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0.1	0.1	0.1
D 建設業	12.9	14.2	11.0
E 製造業	5.1	5.4	20.0
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.7	0.8	0.7
G 情報通信業	1.0	2.7	3.7
H 運輸業、郵便業	7.4	6.5	7.4
I 卸売業、小売業	10.3	11.8	13.0
J 金融業、保険業	0.7	1.4	1.9
K 不動産業、物品賃貸業	2.3	2.4	2.2
L 学術研究、専門・技術サービス業	3.4	3.5	3.8
M 宿泊業、飲食サービス業	9.6	5.9	3.7
N 生活関連サービス業、娯楽業	3.9	3.1	2.5
O 教育、学習支援業	3.6	4.0	3.5
P 医療、福祉	4.7	7.0	5.1
Q 複合サービス事業	1.2	1.0	0.9
R サービス業（他に分類されないもの）	6.0	8.4	6.5
S 公務（他に分類されるものを除く）	8.8	7.3	4.4
T 分類不能の産業	5.5	8.4	5.4

(%)

	女性（15～49歳）		
	石垣市	沖縄県	全国
A 農業、林業	4.5	2.4	3.2
B 漁業	0.3	0.1	0.1
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	0.0	0.0
D 建設業	2.6	2.4	2.7
E 製造業	5.6	4.3	11.4
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.2	0.2	0.2
G 情報通信業	0.7	1.7	1.7
H 運輸業、郵便業	2.0	1.5	2.3
I 卸売業、小売業	17.8	16.5	18.2
J 金融業、保険業	1.5	2.4	3.1
K 不動産業、物品賃貸業	1.5	1.7	1.8
L 学術研究、専門・技術サービス業	2.2	2.1	2.5
M 宿泊業、飲食サービス業	15.9	10.1	7.8
N 生活関連サービス業、娯楽業	5.6	4.8	4.8
O 教育、学習支援業	6.1	7.0	5.9
P 医療、福祉	19.1	22.4	20.6
Q 複合サービス事業	0.8	0.7	0.7
R サービス業（他に分類されないもの）	5.1	8.0	5.3
S 公務（他に分類されるものを除く）	3.8	3.7	2.2
T 分類不能の産業	4.8	7.9	5.3

資料／平成27年国勢調査

(2) 女性の就業状況

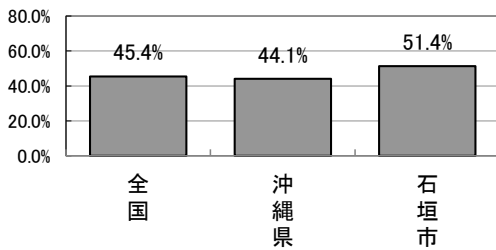
平成27年国勢調査における本市の女性の就業率（全体）は51.4%で、全国（45.5%）及び沖縄県（44.1%）を約6ポイント上回っている。

これを年齢別にみると、30代～70代まで一貫して全国・沖縄県を上回っている。

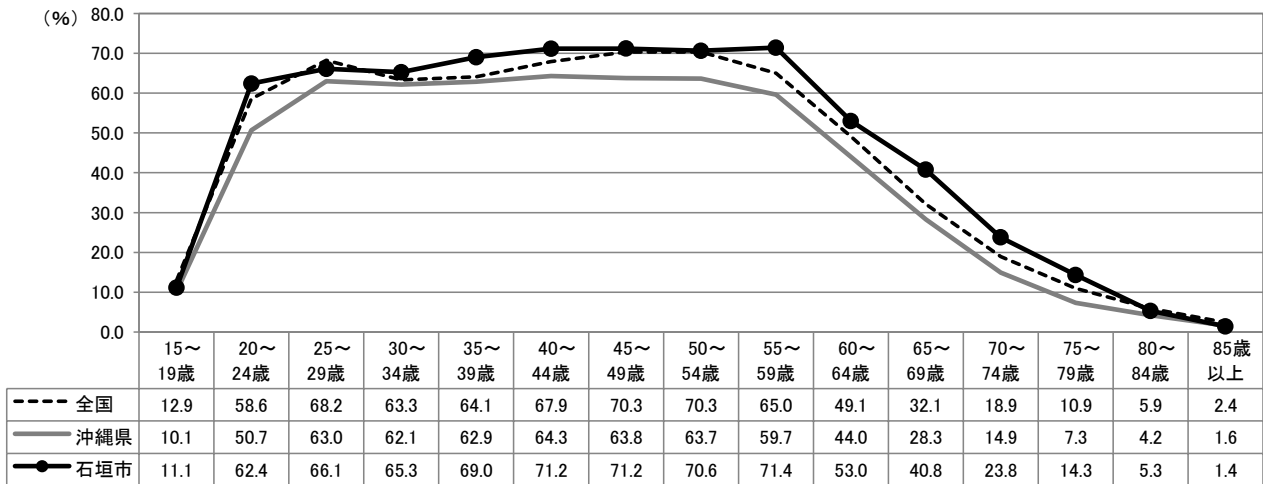
また、従来、女性の年齢別就業率は、30歳前後の結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、子育てが落ち着いた時期に再び上昇するという、いわゆる「M字カーブ」を描くとされていたが、近年、全国的に「M字の谷」の部分が浅くなってきており、本市においても同様の傾向が見られる。

図表－13 女性の就業率の国・県比較（平成27年度）

【女性の就業率(全体)】



【女性の年齢別就業率】



資料／平成27年国勢調査

※女性の就業率（全体）＝女性の就業者数÷女性の15歳以上人口

4. 子ども・子育て関連施策の状況（第1期計画の進捗状況等）

(1) 教育・保育

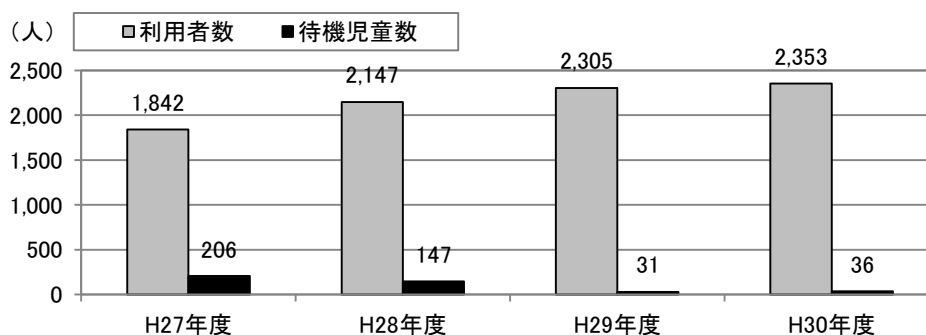
① 保育所等の利用状況

平成27年4月の子ども・子育て支援新制度開始後の保育所等の利用状況の推移をみると、支給認定者数は平成30年度で2,467人と平成27年度の1.12倍に増加している。

保育所等利用者は、平成28年度に2,000人を超えて後も増加し続け、平成30年度で2,353人と平成27年度の1.28倍となっている。

待機児童については、新制度開始により平成27年度に206人と急増したが、その後は受入れ施設増や定員拡大等により、平成30年度には36人と減少しているものの、待機児童の解消には至っていない。

図表－14 保育所等の利用者数・待機児童数等の推移



	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	増減 (H30-H27)	伸び率 (H30/H27)
支給認定者数(a)	人	2,193	2,358	2,376	2,467	274	1.12倍
1号認定	人	550	555	515	278	▲272	0.51倍
2号認定	人	794	853	922	1,196	402	1.51倍
3号認定	人	849	950	939	993	144	1.17倍
保育所等利用者数(b)	人	1,842	2,147	2,305	2,353	511	1.28倍
未利用者数(a-b)	人	351	211	71	114	▲237	0.32倍
うち待機児童数	人	206	147	31	36	▲170	0.17倍

資料／子育て支援課（各年度4月1日現在）

② 教育・保育施設の状況

教育・保育施設については、第1期計画、及び平成29年9月策定の「石垣市立幼稚園及び保育所の今後のあり方について（市の方針）」に基づき、公立幼稚園・保育所の幼保連携型認定こども園への移行等の取組を進めている。

図表－15 教育・保育施設数の推移

			平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度
幼稚園	公立	施設数	18	16	16	16	15
		定員数	905	705	720	730	625
	私立	施設数	1	1	1	1	1
		定員数	140	140	140	140	140
	計	施設数	19	17	17	17	16
		定員数	1,045	845	860	870	765
認可 保育所	公立	施設数	7	7	7	7	4
		定員数	420	420	420	420	240
	私立	施設数	10	10	13	16	19
		定員数	775	765	945	1,240	1,380
	計	施設数	17	17	20	23	23
		定員数	1,195	1,185	1,365	1,660	1,620
幼稚園型 認定こども園	公立	施設数	0	2	2	2	0
		定員数	0	160	160	160	0
幼保連携型 認定こども園	公立	施設数	0	0	0	0	4
		定員数	0	0	0	0	277
	私立	施設数	0	1	1	1	1
		定員数	0	110	110	110	110
	計	施設数	0	1	1	1	5
		定員数	0	110	110	110	387
小規模保育事業	私立	施設数	1	6	9	11	11
		定員数	17	107	161	197	197
事業所内保育事業	私立	施設数	1	1	2	2	2
		定員数	60	60	90	90	90

資料／子育て支援課（各年度4月1日現在） ※平成31年度は予定。

第2章 石垣市の子ども・子育てを取り巻く状況

③ 第1期計画の進捗状況

教育・保育について、第1期計画での見込み量と実績値を比較すると、1号認定は、平成27～29年度は保育を必要とする児童が1号認定を受けて幼稚園へ通っていた等の理由により、5歳児を中心に計画を上回る利用があったため、平成29年度中間見直しにおいて計画値の見直しを行った。

2号認定については、上記のとおり、保育を要する児童が1号認定利用となっていたこと等の理由により、実績が計画を下回って推移している。

3号認定についても計画に比べて実利用が少なく、実績が計画を下回って推移している。

図表－16 第1期計画見込み量に対する実績（教育・保育）

■1号認定（認定こども園＋幼稚園）

	単位	年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画 (a)	人	3歳	48	44	44	46
	人	4歳	105	99	91	127
	人	5歳	318	318	299	177
	人	計	471	461	434	350
実績 (b)	人	3歳	20	27	34	19
	人	4歳	88	137	94	75
	人	5歳	442	391	387	184
	人	計	550	555	515	278
計画比 (b/a)	人	3歳	41.7%	61.4%	77.3%	41.3%
	人	4歳	83.8%	138.4%	103.3%	59.1%
	人	5歳	139.0%	123.0%	129.4%	104.0%
	人	計	116.8%	120.4%	118.7%	79.4%

■2号認定（認定こども園＋保育所）

	単位	年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画 (a)	人	3歳	434	395	396	447
	人	4歳	409	386	352	459
	人	5歳	255	255	240	401
	人	計	1,098	1,036	988	1,307
実績 (b)	人	3歳	292	341	413	422
	人	4歳	299	309	347	418
	人	5歳	106	173	161	319
	人	計	697	823	921	1,159
計画比 (b/a)	人	3歳	67.3%	86.3%	104.3%	94.4%
	人	4歳	73.1%	80.1%	98.6%	91.1%
	人	5歳	41.6%	67.8%	67.1%	79.6%
	人	計	63.5%	79.4%	93.2%	88.7%

■3号認定（保育所＋地域型保育事業）

	単位	年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画 (a)	人	0歳	244	238	233	312
	人	1歳	323	315	307	434
	人	2歳	346	348	339	448
	人	計	913	901	879	1,194
実績 (b)	人	0歳	95	134	136	146
	人	1歳	222	286	352	345
	人	2歳	278	349	381	425
	人	計	595	769	869	916
計画比 (b/a)	人	0歳	38.9%	56.3%	58.4%	46.8%
	人	1歳	68.7%	90.8%	114.7%	79.5%
	人	2歳	80.3%	100.3%	112.4%	94.9%
	人	計	65.2%	85.3%	98.9%	76.7%

資料／子育て支援課 ※平成30年度について、計画値は平成29年度中間見直し後の値、実績は見込み値。

(2) 地域子ども・子育て支援事業

地域子ども・子育て支援事業について、第1期計画での見込み量と実績値を比較した結果は下表のとおりである。

計画を上回る利用があった事業は、地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)や、幼稚園預かり保育以外の一時預かり(主にファミリー・サポート・センター事業)、妊婦健診事業であり、その他の事業はいずれも計画を下回っている。

また、実績の推移に着目すると、時間外保育事業や放課後児童健全育成事業のほか、ファミリー・サポート・センター関連の事業(幼稚園預かり保育以外の一時預かり、病児保育、就学児の子育て援助活動支援事業)や養育支援訪問事業などで平成27年度以降に顕著に利用が増加している。

図表-17 第1期計画見込み量に対する実績(地域子ども・子育て支援事業)

事業区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
時間外保育事業	計画	907	877	844	817
	実績	0	212	158	603
	計画比	0.0%	24.2%	18.7%	73.8%
放課後児童健全育成事業	計画	471	475	470	454
	実績	166	214	230	294
	計画比	35.2%	45.1%	48.9%	64.8%
地域子育て支援拠点事業	計画	4,023	3,964	3,868	3,772
	実績	7,926	8,455	8,322	5,051
	計画比	197.0%	213.3%	215.1%	133.9%
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)	計画	73,206	69,646	66,206	63,645
	実績	44,686	59,964	75,672	20,944
	計画比	61.0%	86.1%	114.3%	32.9%
その他の一時預かり(子育て援助活動支援事業[ファミリー・サポート・センター事業]など)	計画	266	257	247	240
	実績	624	444	692	1,290
	計画比	234.6%	172.8%	280.2%	537.5%
病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])	計画	3,117	3,016	2,903	2,810
	実績	0	0	180	52
	計画比	0.0%	0.0%	6.2%	1.9%
子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[就学児])	計画	650	661	660	683
	実績	0	81	132	295
	計画比	0.0%	12.3%	20.0%	43.2%
子育て短期支援事業(ショートステイ)	計画	321	317	309	301
	実績	0	17	0	7
	計画比	0.0%	5.4%	0.0%	2.3%
利用者支援事業	計画	4	4	4	4
	実績	0	0	0	1
	計画比	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
妊婦健診事業	計画	637	637	637	637
	実績	913	859	931	610
	計画比	143.3%	134.9%	146.2%	95.8%
乳児家庭全戸訪問事業	計画	700	700	700	700
	実績	451	443	442	450
	計画比	64.4%	63.3%	63.1%	64.3%
養育支援訪問事業	計画	50	50	50	50
	実績	10	18	15	33
	計画比	20.0%	36.0%	30.0%	66.0%

資料/子育て支援課 ※平成30年度について、計画値は平成29年度中間見直し後の値、実績は見込み値。

第2章 石垣市の子ども・子育てを取り巻く状況

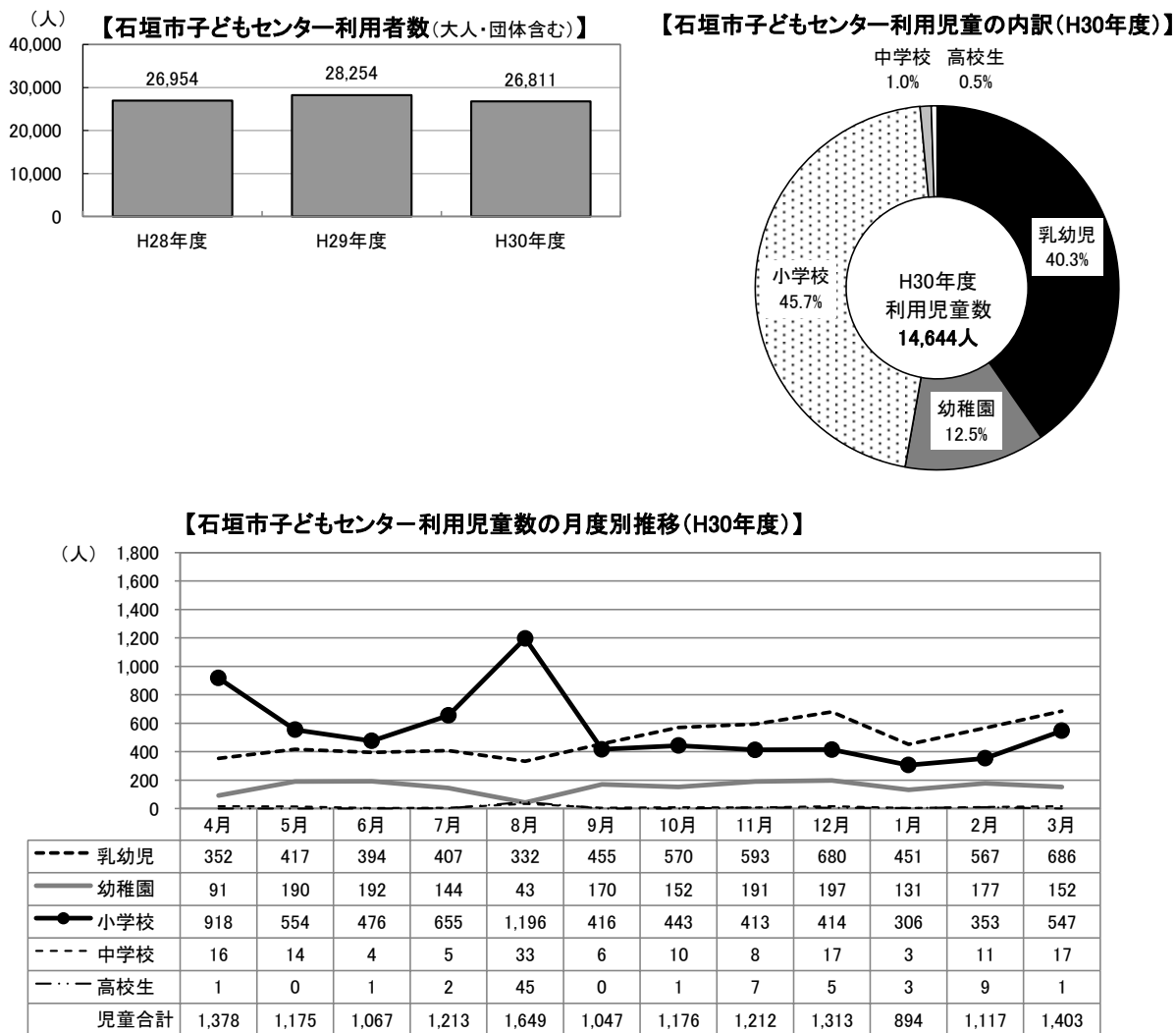
(3) その他の事業（児童館）

石垣市子どもセンターの利用者数（大人・団体含む）は、直近3年間で27,000～28,000人前後で推移している。

このうち、児童（乳幼児～高校生）の利用内訳をみると、就学前児童：52.8%（乳幼児：40.3%+幼稚園12.5%）と、小学生：45.7%を占め、小学生以下の利用が主となっている。

月度別の利用児童数の推移をみると、春休み（3月と4月）、夏休み（7月と8月）の利用が多く、放課後の子どもの居場所に加え、長期休み期間の居場所となっている。

図表－18 石垣市子どもセンターの利用状況



第3章 調査結果の概要と総括

※本章では、原則として、就学前児童保護者用調査の結果を「就学前児童」、小学生保護者用調査の結果を「小学生」、中学生保護者用調査を「中学生」と表記している。

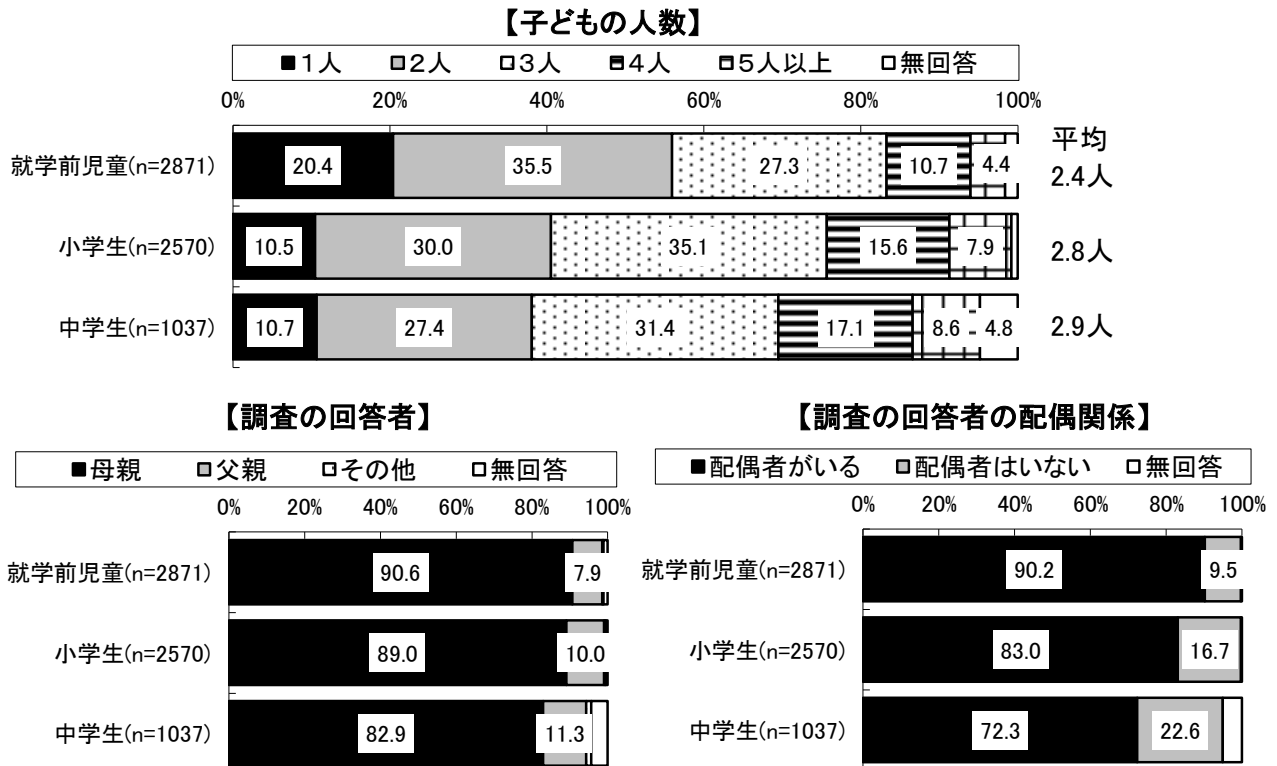
※主要な項目について、第1期計画策定時に実施した「石垣市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（就学前児童・小学生家庭対象）」（平成25年度）と比較を行っており、『前回調査（H25）』と表記している。

1. 子育て家庭の状況

(1) 回答者の基本属性

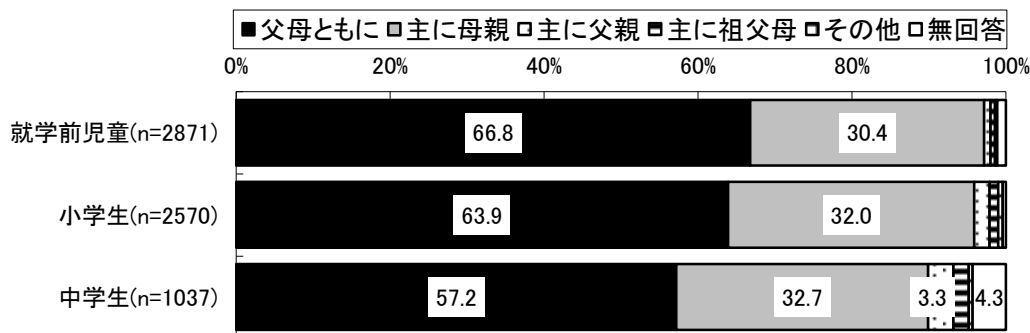
- 世帯の子ども的人数は、就学前児童では「2人」、小学生・中学生では「3人」の割合が最も高い。【→図表-19、37頁・119頁・154頁】
- 調査の回答者は、就学前児童・小学生・中学生いずれにおいても「母親」が8～9割前後と大半を占めている。【→図表-19、37頁・119頁・154頁】
- 調査の回答者の配偶関係では、「配偶者はいない」（ひとり親）の割合が年齢とともに高まり、中学生では2割を超えている。【→図表-19、37頁・119頁・154頁】
- 子どもの主な保育者（子育てを主に行っている人）は、就学前児童・小学生・中学生いずれにおいても「父母ともに」が6割前後と最も割合が高く、「主に母親」が3割前後で続いている。就学前児童・小学生とも前回調査に比べて「父母ともに」の割合は高まっている。【→図表-20、39頁・121頁・155頁】

図表-19 回答者の基本属性（子ども的人数、調査の回答者、配偶関係）



※本章のグラフは、スペースの都合上、少数の数値を表示していない場合がある（数値の詳細は次章以降の調査結果参照）。以下同様。

図表－20 主な保育者（子育てを主に行っている人）



【「父母ともに」の割合 前回調査(H25)との比較】

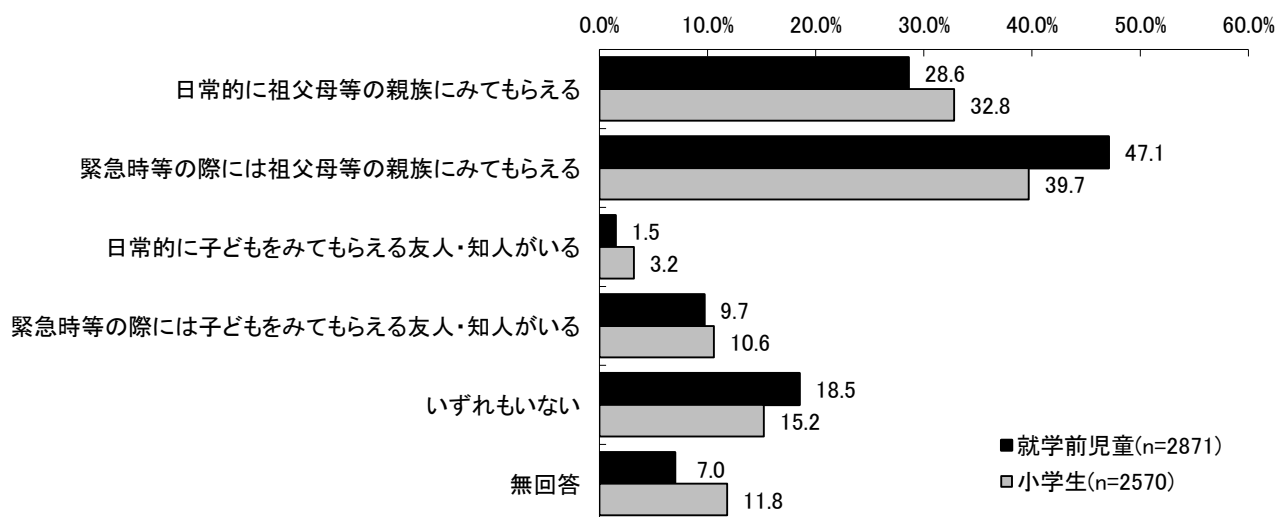
	前回(H25)	今回(H30)	差(H30-H25)
就学前児童	59.4%	66.8%	7.4ポイント
小学生	60.0%	63.9%	3.9ポイント

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる人の状況

- 子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無については、就学前児童・小学生ともに「緊急時等の際」や「日常的に」祖父母等の親族にみてもらえるとの回答がそれぞれ3～4割前後と高くなっている。一方で、「いずれもない」との回答も1割を超えており、就学前児童では2割を占めている。【→図表-21、40頁・122頁】

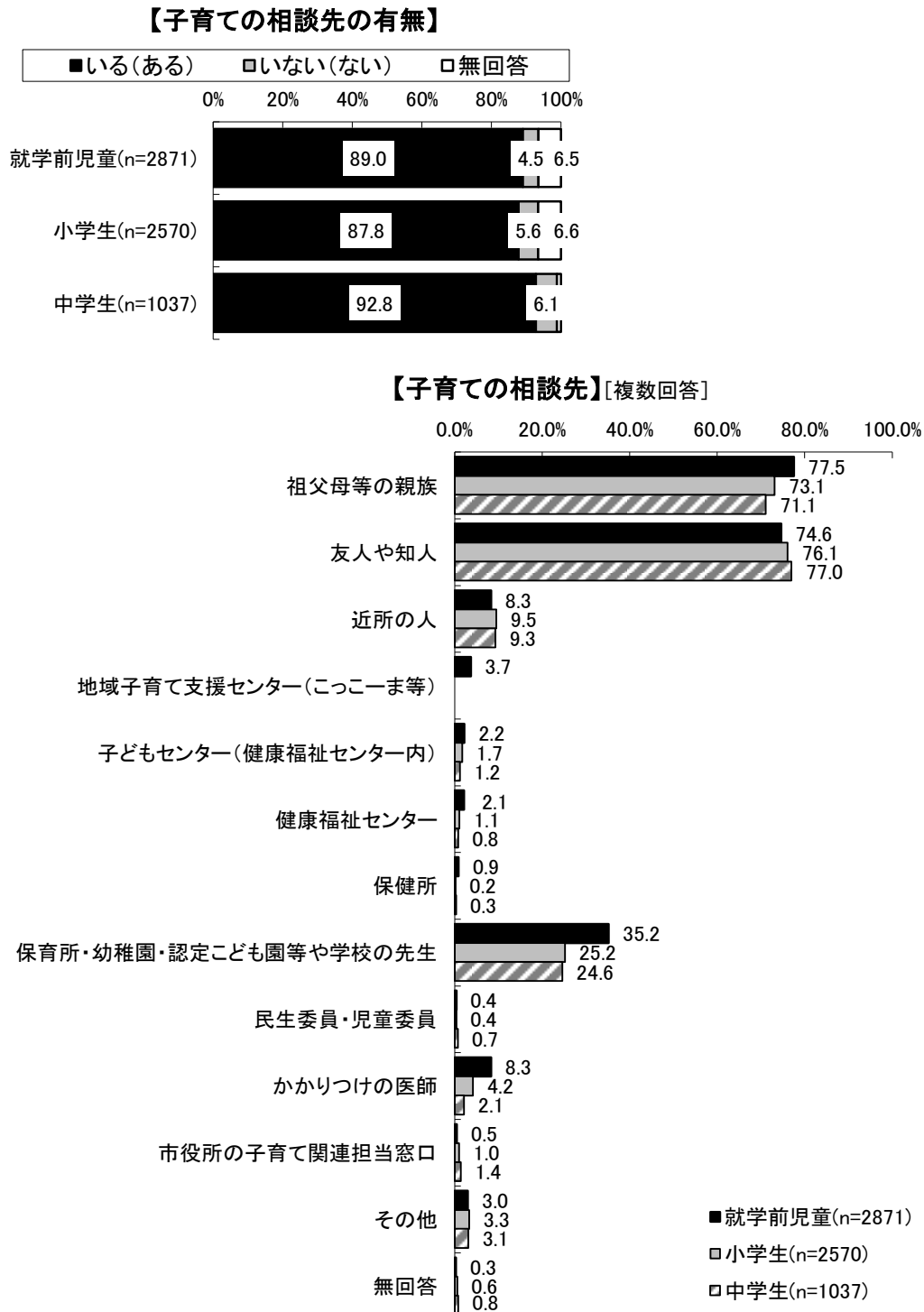
図表－21 子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無 [複数回答]



(2) 子育ての相談や情報入手先

- 子育ての相談先については、就学前児童・小学生・中学生いずれにおいても「いる（ある）」が9割前後と大半を占めている。具体的な相談先では「祖父母等の親族」と「友人や知人」といった身近な親族・知人の割合がそれぞれ7割以上と突出しているが、その他の相談先では通園・通所先の「先生」が2割を超えており、特に就学前児童では3割を超えて高くなっている。【→図表-22、42頁・124頁・156頁】
- 就学前児童の保護者の子育てに関する情報入手先は、「保護者仲間（ママ友・パパ友等）等の口コミ（LINE等含む）」の割合が7割強と最も高く、以下「保育所・幼稚園・認定こども園等の先生」、「インターネット検索」、「祖父母等の親族」が5割前後で続いている。【→69頁】

図表-22 子育ての相談先

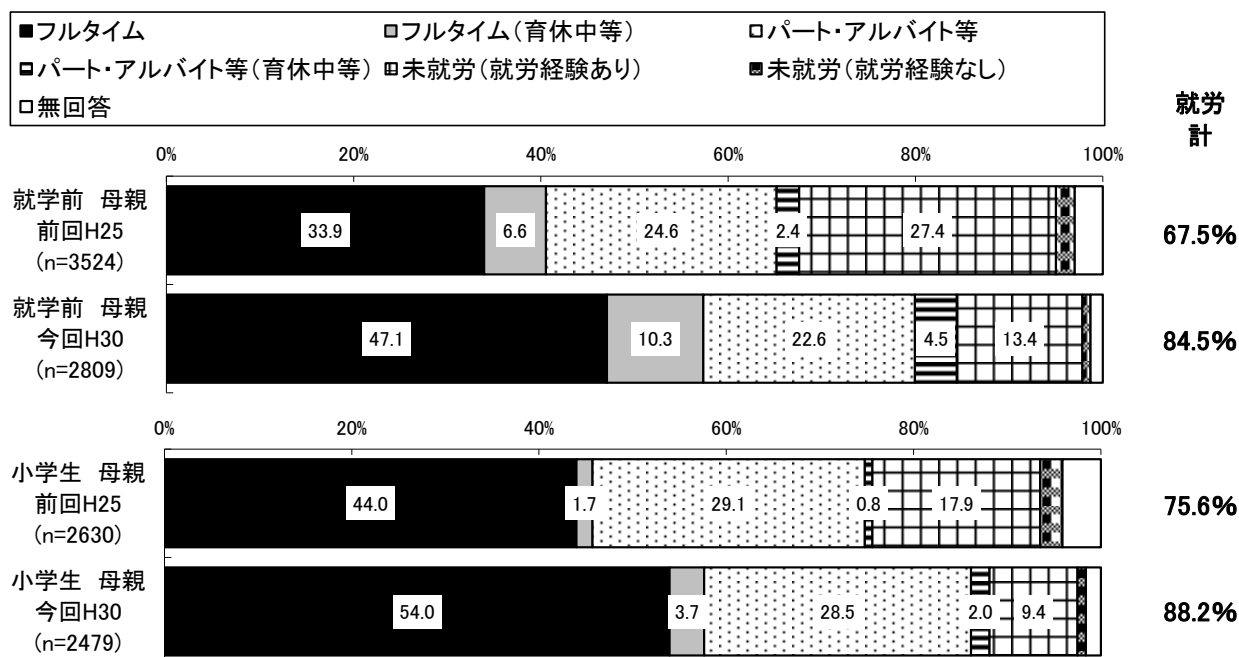


3. 保護者の就労状況（就学前児童・小学生）

(1) 保護者の就労状況

●母親の就労状況をみると、就学前児童・小学生ともに前回調査に比べて「フルタイム」での就労割合が顕著に高まっている（就学前児童：前回33.9%⇒今回47.1% [+13.2ポイント]、小学生：前回44.0%⇒今回54.0% [+10.0ポイント]）。このため、パート・アルバイト等も含めると、就労している母親の割合（就労計）は、今回調査において就学前児童・小学生ともに8割を超えている（就学前児童：84.5%、小学生：88.2%）。子どもの年齢別に詳細にみると、0歳の母親の就労割合は8割弱だが、1歳以降は全年齢で8割を超え、小学2年生以降はほぼ9割が就労している。【→図表-23、44頁・126頁】

図表-23 母親の就労状況



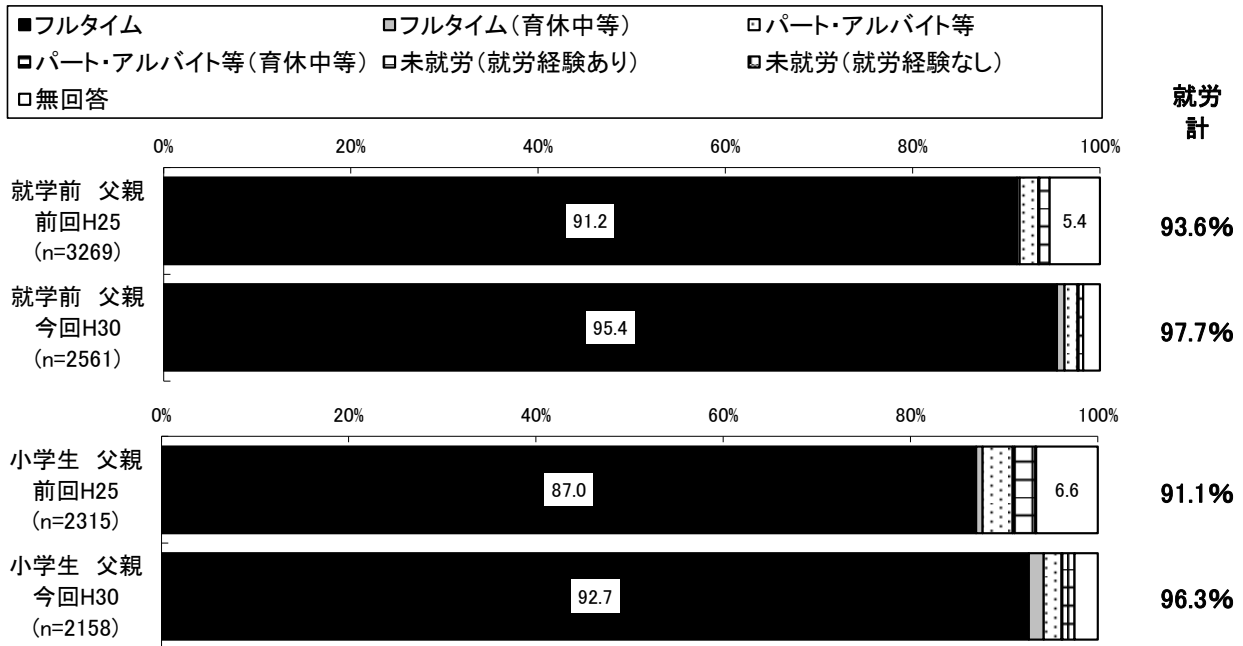
※就労計:「フルタイム」「フルタイム(育休中等)」「パート・アルバイト等」「パート・アルバイト等(育休中等)」の合計
以下、父親も同様。

【就学前児童・小学生の年齢・学年別 母親の就労状況】[今回調査] (%)

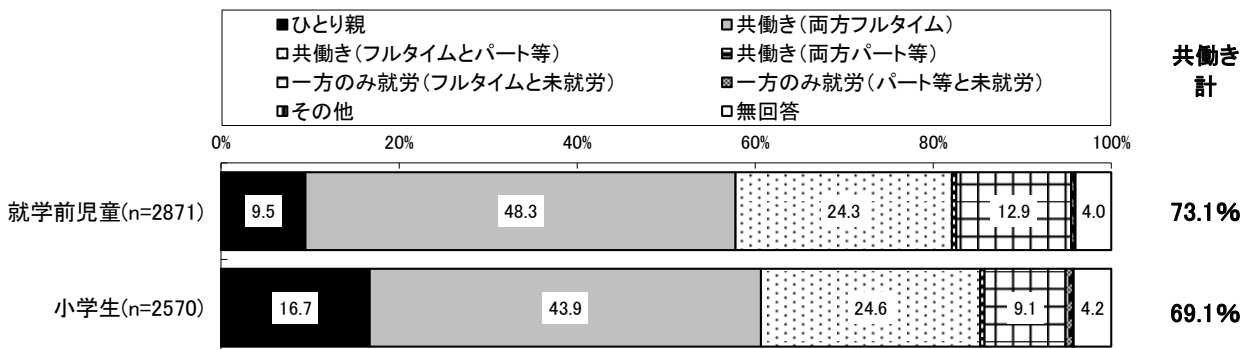
	調査数 (n)	フルタイム	フルタイム(育休中等)	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等(育休中等)	未就労(就労経験あり)	未就労(就労経験なし)	無回答	就労計
0歳	n=545	28.8	23.3	17.4	7.7	20.7	1.5	0.6	77.2
1歳	n=403	51.9	9.7	18.6	3.7	12.2	1.2	2.7	83.9
2歳	n=442	48.2	9.7	24.4	6.3	10.6	0.5	0.2	88.6
3歳	n=437	54.0	7.1	24.9	1.6	11.2	0.5	0.7	87.6
4歳	n=480	53.3	6.3	21.7	4.0	11.9	0.4	2.5	85.3
5歳	n=437	51.0	2.7	29.7	1.8	12.4	0.9	1.4	85.2
1年生	n=425	49.4	4.7	28.5	2.8	12.5	0.5	1.6	85.4
2年生	n=450	52.2	3.3	30.2	2.4	9.8	0.7	1.3	88.1
3年生	n=418	56.2	4.5	25.6	1.9	9.3	1.2	1.2	88.2
4年生	n=439	54.2	3.2	30.3	1.4	9.1	1.1	0.7	89.1
5年生	n=398	54.8	4.8	27.9	1.8	7.8	0.5	2.5	89.3
6年生	n=344	58.1	1.5	27.9	1.5	7.3	1.5	2.3	89.0

- 一方、父親の就労状況は、就学前児童・小学生ともに「フルタイム」の就労者が9割超と大半を占めており、この傾向は前回調査と同様である。【→図表-24、44頁・126頁】
- 父母別の就労状況をもとに家庭類型を整理すると、「共働き（両方フルタイム）」「共働き（フルタイムとパート等）」「共働き（両方パート等）」を合わせた共働き家庭の割合が就学前児童・小学生ともに7割前後を占めている（就学前児童：73.1%、小学生：69.1%）。【→図表-25、38頁・120頁】

図表－24 父親の就労状況



図表－25 家庭類型



(2) 保護者の就労日数・就労時間

- 就労している保護者の週あたり就労日数（平均）は、就学前児童・小学生ともに、母親は5.1～5.2日/週、父親は5.6日/週と、父親の9割以上がフルタイム就労者であるため、父親のほうが0.5日程度多い。一日あたりの就労時間（平均）も、就学前児童・小学生ともに、母親は7時間台であるのに対して、父親では9時間台と、父親のほうが2時間程度長い。また、母親に比べて父親は長時間働いている人の割合が高く、父親の1割以上が一日あたり11時間以上働いている（就学前児童：17.4%、小学生：13.6%）。【→図表-26、45頁・127頁】

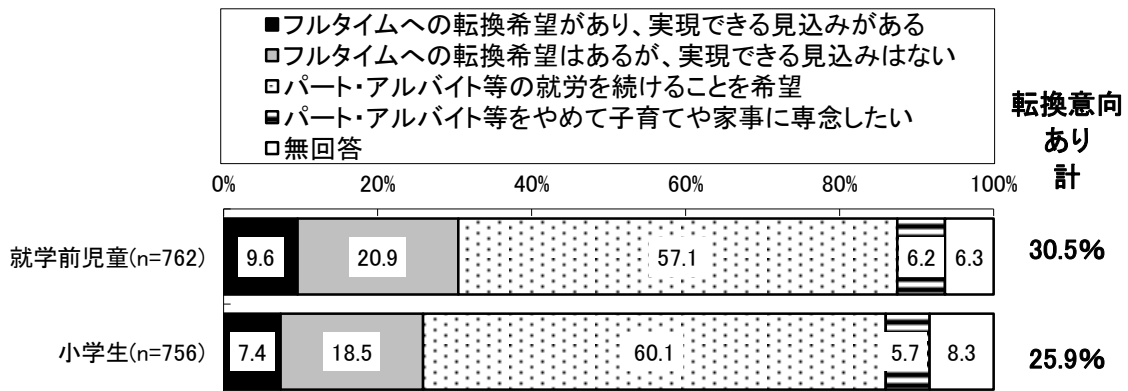
図表－26 保護者の就労日数・就労時間

		調査数 (n)	週あたり 就労日数 (平均)	一日あたり 就労時間 (平均)	一日あたり 就労時間が 11時間以上 の人の割合
就学前 児童	母親	n=2,373	5.2日/週	7.7時間/日	3.2%
	フルタイム	n=1,323	5.4日/週	8.5時間/日	4.3%
	パート・アルバイト等	n=636	4.8日/週	6.1時間/日	1.1%
	父親	n=2,501	5.6日/週	9.6時間/日	17.4%
小学生	母親	n=2,186	5.1日/週	7.5時間/日	3.2%
	フルタイム	n=1,338	5.3日/週	8.4時間/日	4.1%
	パート・アルバイト等	n=707	4.7日/週	5.7時間/日	1.4%
	父親	n=2,076	5.6日/週	9.3時間/日	13.6%

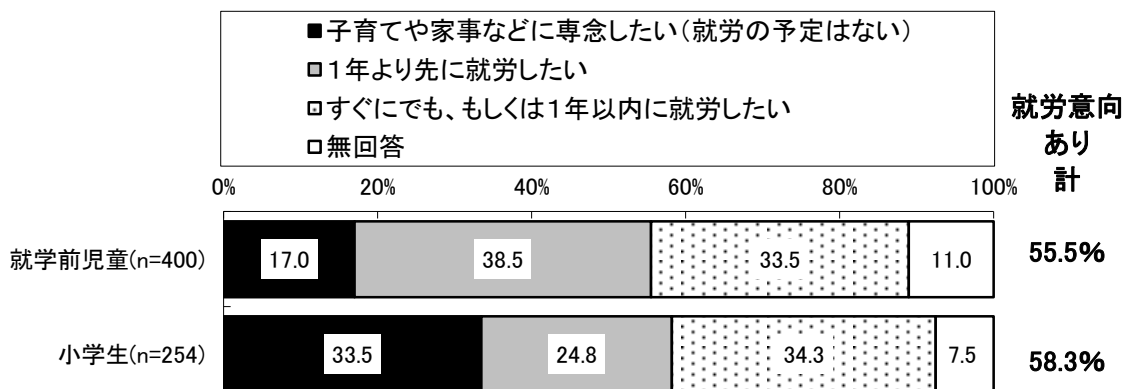
(3) 今後の就労意向

- パート・アルバイト等で就労している母親の3割前後はフルタイムへの転換意向がある（就学前児童：30.5%、小学生：25.9%）。ただし、このうち2割前後は、希望はあるが実現できる見込みがないと回答している。【→図表-27、48頁・130頁】
- 未就労の母親の過半数に就労意向がある（就学前児童：55.5%、小学生：58.3%）。このうち「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」という強い就労希望を持っている人の割合は、就学前児童では4割と高い（就学前児童：38.5%、小学生：24.8%）。【→図表-28、49頁・131頁】

図表－27 パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望【母親】



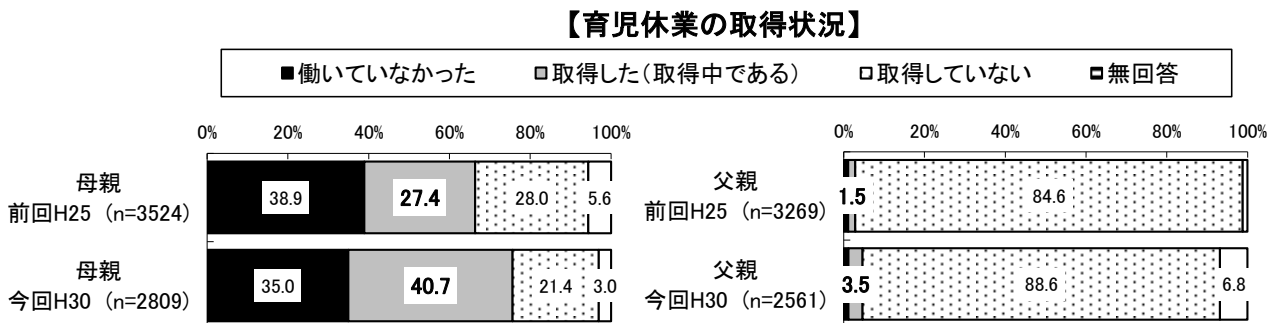
図表－28 未就労者の就労希望【母親】



4. 育児休業について

- 就学前児童保護者の育児休業の取得率（「取得した（取得中である）」の割合）は、母親では前回調査から10ポイント以上上昇し、4割に達している（母親：前回27.4%⇒今回40.7% [+13.3ポイント]）。一方、父親は前回・今回調査とも取得率は5%に満たず、未取得が8割を超えている。【→図表-29、96頁】
- 育児休業を取得していない理由は、母親では「職場に育児休業制度がなかった」「子育てや家事に専念するために退職した」が前回・今回調査ともそれぞれ2割を超えて第1・2位にあがっている。一方、父親では前回調査から順位が変動し、今回調査では「仕事が忙しかった」と「収入減となり、経済的に苦しくなる」がそれぞれ3割を超えて第1・2位にあがっている。また、母親・父親とも前回調査に比べて「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合及び順位が高まっている。【→図表-29、96頁】

図表－29 育児休業の取得状況（母親・父親）



【育児休業を取得していない理由】 ※複数回答の上位5項目（その他以外）

	母親 前回H25 (n=988)		母親 今回H30 (n=600)	
第1位	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	30.2%	職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	23.7%
第2位	子育てや家事に専念するために退職した	28.6%	子育てや家事に専念するために退職した	23.3%
第3位	仕事が忙しかった	8.4%	収入減となり、経済的に苦しくなる	11.5%
第4位	仕事に戻るのが難しそうだった	8.4%	仕事が忙しかった	10.5%
第5位	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	7.9%	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	9.0%

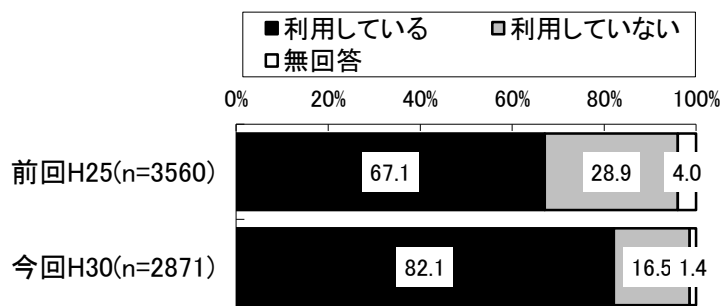
	父親 前回H25 (n=2765)		父親 今回H30 (n=2268)	
第1位	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	29.9%	仕事が忙しかった	34.9%
第2位	仕事が忙しかった	28.6%	収入減となり、経済的に苦しくなる	33.9%
第3位	収入減となり、経済的に苦しくなる	20.1%	配偶者が育児休業制度を利用した	24.8%
第4位	配偶者が育児休業制度を利用した	19.9%	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	22.0%
第5位	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	14.8%	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	19.8%

5. 就学前児童の教育・保育の利用状況・利用意向

(1) 平日の利用状況

- 就学前児童の8割強が、現在、平日の定期的な教育・保育を利用している。利用率は前回調査から顕著に高まっている（前回67.1%⇒今回82.1% [+15.0ポイント]）。【→図表-30、51頁】
- 利用者が利用しているサービスの種類では「認可保育所」の割合が6割を超えて最も高く、その他のサービスはいずれも1割未満に留まっている。【→51頁】

図表-30 平日の定期的な教育・保育の利用状況



(2) 平日の利用日数・利用時間

- 平日、定期的な教育・保育を利用している人に、利用日数・利用時間の現状と希望をたずねたところ、週あたり利用日数（平均）は利用者全体で現在：5.2日/週、希望：5.4日/週であり、希望の伸び（希望－現在の差）は0.2日/週となっている。一日あたりの利用時間（平均）は利用者全体で現在：8.5時間/日、希望：9.1時間/週となっている。希望の伸び（希望－現在の差）は利用者全体では0.6時間/週となっている。なお、希望の伸びは現在の幼稚園（預かり保育なし）利用者で3.0時間/日と大きくなっており、預かり保育利用やその他のサービス利用への転換等を希望しているものと推察される。【→図表-31、53頁・55頁】

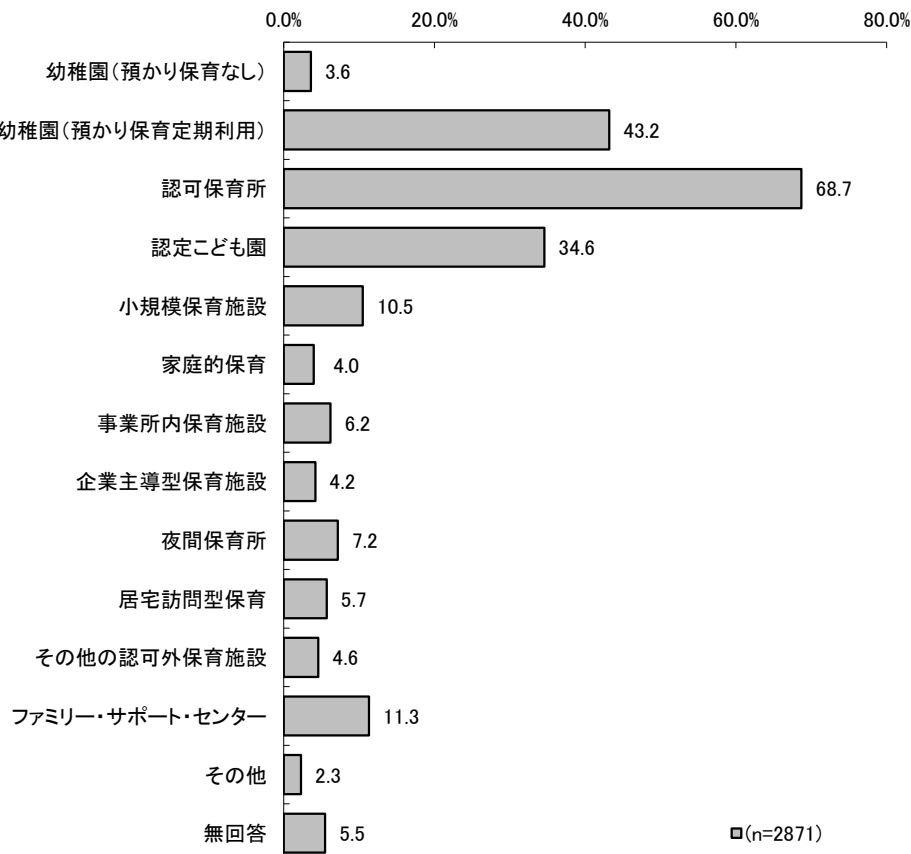
図表-31 平日の教育・保育利用者の利用日数・利用時間

	調査数 (n)	週あたり利用日数(平均)			一日あたり利用時間(平均)			
		現在	希望	差 (希望-現在)	現在	希望	差 (希望-現在)	
利用者全体	n=2,356	5.2日/週	5.4日/週	0.2日/週	8.5時間/日	9.1時間/日	0.6時間/日	
現 在 利 用 者 の 種 類	幼稚園(預かり保育なし)	n=159	5.0日/週	5.1日/週	0.1日/週	4.4時間/日	7.4時間/日	3.0時間/日
	幼稚園(預かり保育定期利用)	n=143	5.0日/週	5.3日/週	0.3日/週	8.6時間/日	9.0時間/日	0.4時間/日
	認可保育所	n=1,510	5.2日/週	5.5日/週	0.3日/週	8.9時間/日	9.3時間/日	0.4時間/日
	認定こども園	n=173	5.2日/週	5.4日/週	0.2日/週	8.4時間/日	9.0時間/日	0.6時間/日
	小規模保育施設	n=138	5.2日/週	5.5日/週	0.3日/週	8.7時間/日	9.0時間/日	0.3時間/日
	事業所内保育施設	n=41	5.4日/週	5.5日/週	0.1日/週	8.7時間/日	9.2時間/日	0.5時間/日
	企業主導型保育施設	n=18	5.3日/週	5.5日/週	0.2日/週	9.2時間/日	9.2時間/日	0.0時間/日
	その他の認可外保育施設	n=73	5.2日/週	5.4日/週	0.2日/週	8.8時間/日	9.3時間/日	0.5時間/日

(3) 平日の利用意向

- 平日の定期的な教育・保育の今後の利用意向について、現在、サービスを利用していない人も含めた就学前児童全体にたずねたところ、「認可保育所」の割合が7割と最も高く、これに「幼稚園（預かり保育定期利用）」が4割強、「認定こども園」が3割強で続き、以下、「ファミリー・サポート・センター」（11.3%）、「小規模保育施設」（10.5%）、「夜間保育所」（7.2%）が1割前後で続いている。【→図表-32、61頁】
- 利用希望者の利用希望エリア（どの地域にある施設を利用したいか）では、全地区において、居住地区内での利用希望の割合が最も高く、特に北部と西部では8割を超えている。一方、中部や八島では他地区に比べて居住地区内での利用希望の割合が低く、5割前後に留まっている。【→図表-33、63頁】
- また、幼児教育・保育の無償化による教育・保育の利用変更意向では、変更意向がある人（「是非変更したい」＋「可能であれば変更したい」）が2割強となっている。【→104頁】
 幼児教育・保育の無償化が実現した場合と実現しなかった場合での希望する教育・保育の種類についてたずねたところ、無償化の実現有無に関わらず「認可保育所」の希望割合が3割を超えて最も高いが、無償化の実現により「幼稚園（預かり保育定期利用）」の利用意向が高まっている（実現しなかった場合：11.2%⇒実現した場合：20.5% [+9.3ポイント]）。【→107頁】

図表-32 平日の定期的な教育・保育の利用意向 [複数回答]



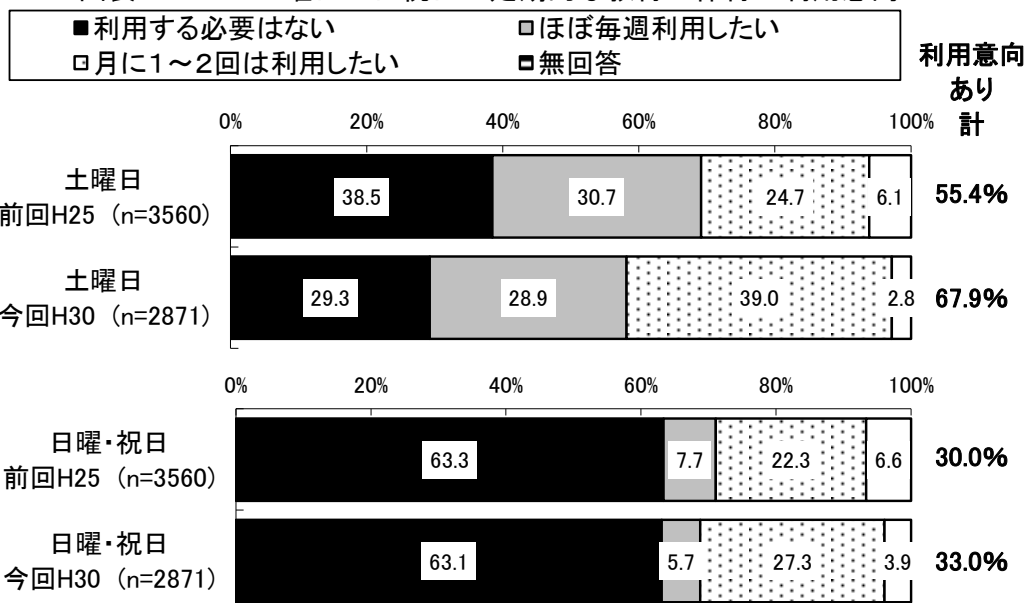
図表-33 平日の定期的な教育・保育の利用希望エリア (%)

居住地区	調査数(n)	居住地区内を希望 (%)	その他の地区を希望 (居住地外 上位3地区)		
			大浜	新川	平真
北部	34	85.3	5.9	5.9	2.9
西部	55	81.8	登野城 7.3	石垣 3.6	真喜良 3.6
中部	42	59.5	大浜 16.7	新川 7.1	登野城、石垣 各4.8
白保	79	69.6	宮良 12.7	登野城 7.6	大浜 5.1
宮良	100	77.0	白保 7.0	登野城 7.0	大浜 3.0
大浜	276	78.3	平真 7.2	登野城 4.7	宮良 2.9
平真	502	78.1	登野城 12.5	大浜 3.2	石垣 2.2
八島	176	49.4	平真 22.2	登野城 16.5	石垣 4.0
登野城	520	74.4	平真 7.1	石垣 6.9	新川 2.3
石垣	268	78.0	新川 9.7	登野城 3.4	平真 2.6
新川	378	69.6	石垣 9.3	登野城 8.5	真喜良 5.8
真喜良	152	73.7	新川 7.9	登野城 5.3	石垣 5.3

(4) 土曜・日祝日の利用意向

- 土曜・日祝日の教育・保育の利用について、現在、サービスを利用していない人も含めた就学前児童全体にたずねたところ、土曜日の利用については「月1~2回」の利用希望が前回調査から約15ポイント伸びたため、利用希望者（「ほぼ毎週利用したい」+「月に1~2回は利用したい」）が7割弱となっている。一方、日曜・祝日の利用希望者は前回・今回調査とも3割台に留まっている。【→図表-34、72頁・74頁】

図表-34 土曜日・日祝日の定期的な教育・保育の利用意向



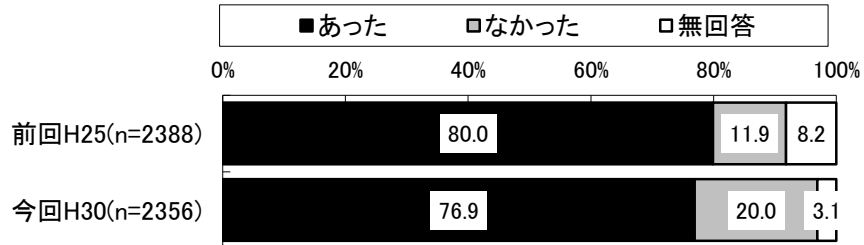
6. 就学前児童の地域子育て支援事業等の利用状況・利用意向

(1) 病児・病後児保育

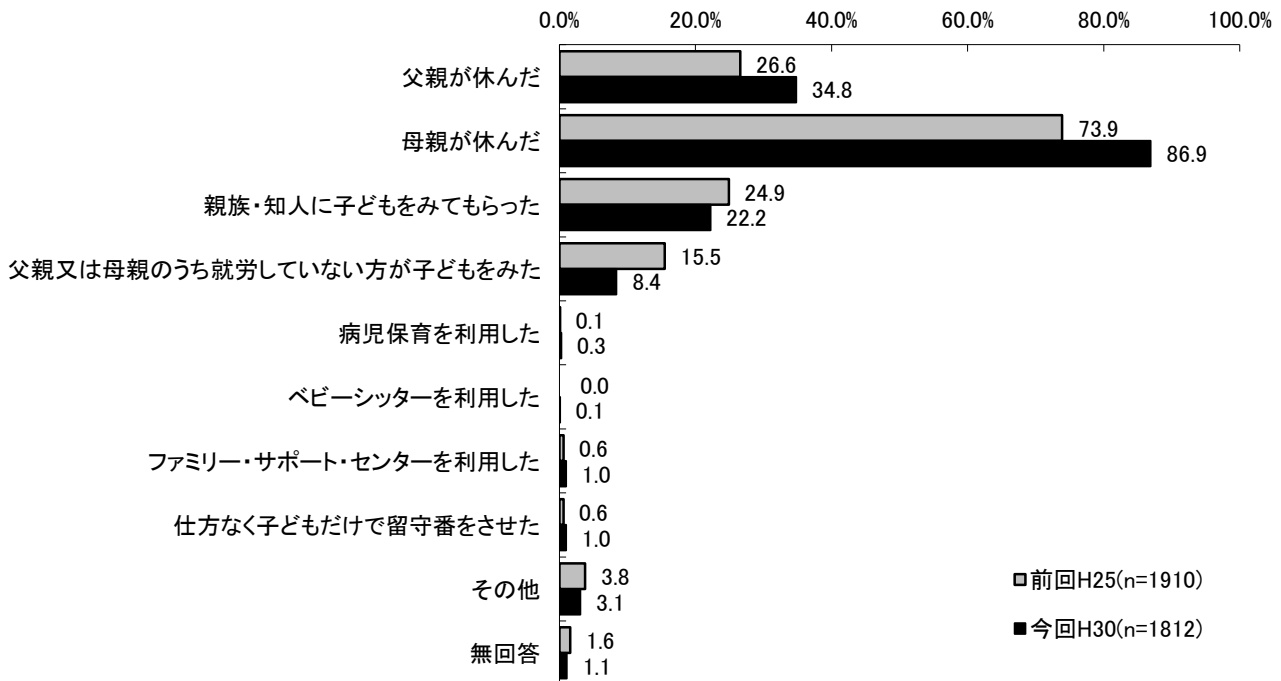
- 平日、定期的に教育・保育を利用している就学前児童保護者の8割弱は、この1年間に子どもの病気等のために利用している教育・保育を休んだ経験があり、この割合は前回調査とほぼ同様である。休んだ場合の対処方法では、前回調査に比べて「就労していない方が子どもをみた」の割合が下がり、代わって父母が休んで対処した割合が高まっている。特に「母親が休んだ」の割合が前回・今回調査とも最も割合が高いが、今回は前回から13ポイント増加し、8割を超えている。【→図表-35、79頁】
- この1年間に子どもの病気等のために教育・保育事業を休んだ経験がある人に、病児保育の利用意向をたずねたところ、利用希望者（「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人）は4割弱であり、前回調査と同程度であった。【→図表-36、81頁】

図表-35 病気等で平日の定期的な教育・保育を休んだ経験、対処方法

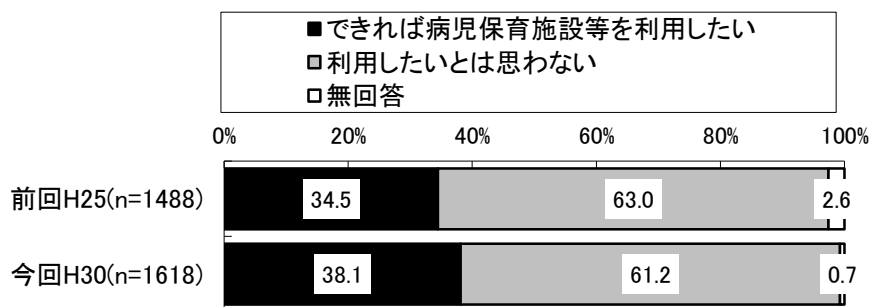
【子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育を休んだ経験】



【休んだ場合の対処方法】[複数回答]



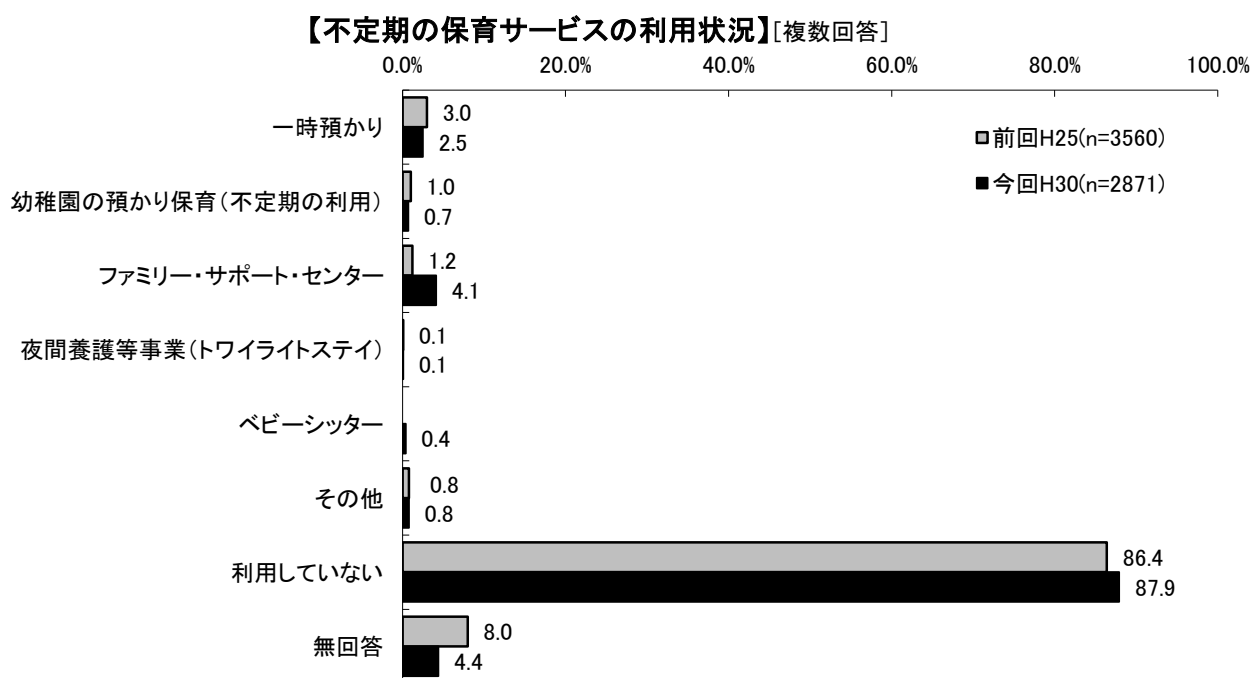
図表－36 病児保育の利用意向



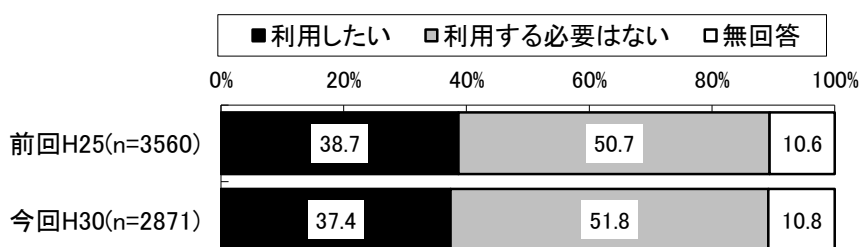
(2) 不定期の保育サービス（一時預かり等）

- この1年間の不定期の保育サービスの利用状況については、前回・今回調査とも「利用していない」が8割を超えており、利用者はいずれも1割未満となっている。【→図表-37、86頁】
- 今後の利用意向では「利用したい」が4割弱を占めており、前回調査と同程度であった。【→図表-37、88頁】

図表－37 不定期の保育サービスの利用状況・利用意向



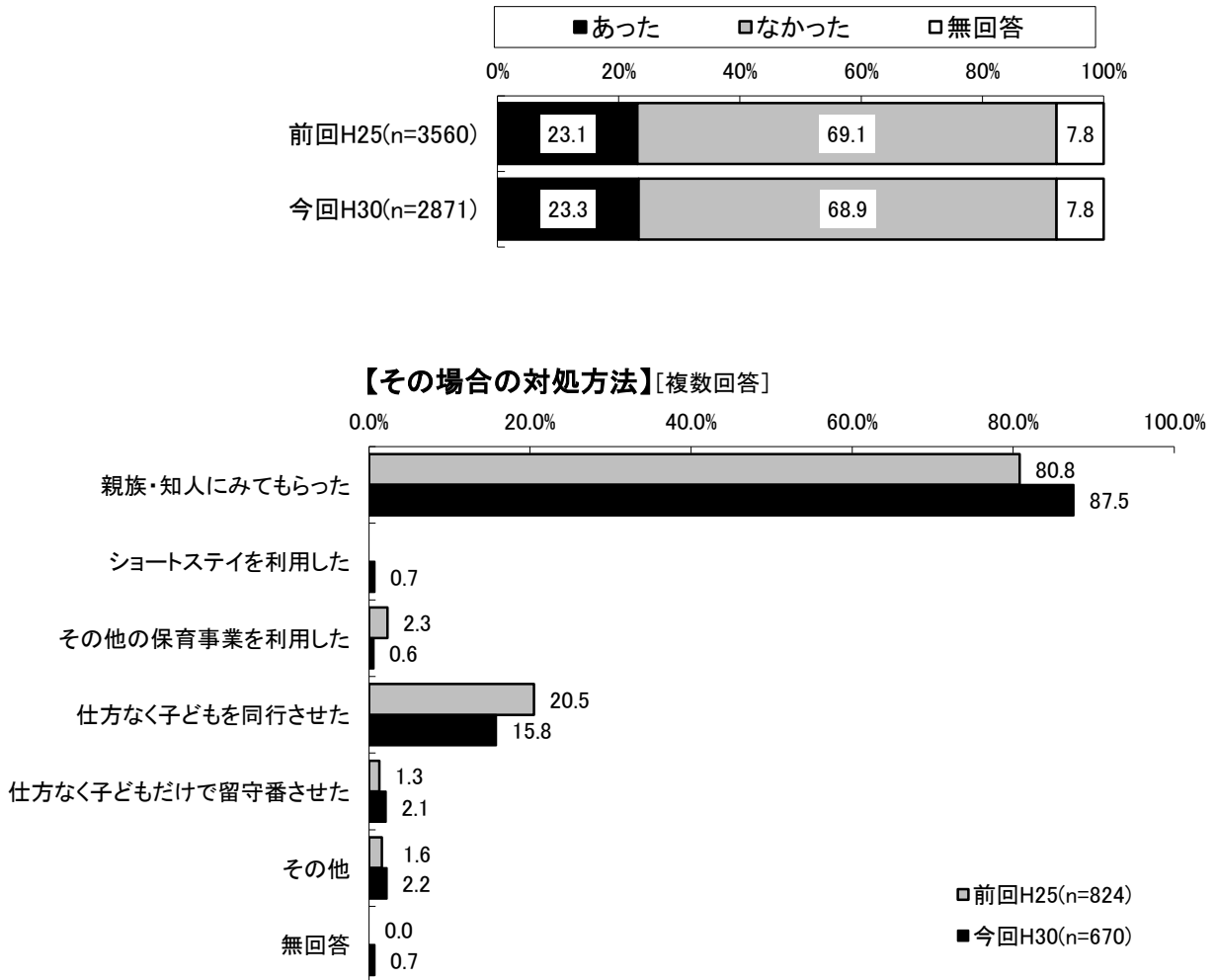
【不定期の保育サービスの利用意向】



(3) 宿泊を伴う一時預かり

- 就学前児童保護者の2割強は、この1年間に泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験があり、この割合は前回調査と同程度であった。
預けなければならなかった場合の対処方法は「親族・知人にみてもらった」の割合が8割を超えて突出して高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」となっており、ショートステイやその他の保育事業といったサービスの利用は3%に満たない。【→図表-38、90頁】

図表-38 泊りがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験、対処方法
【泊りがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験】



(4) 地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）

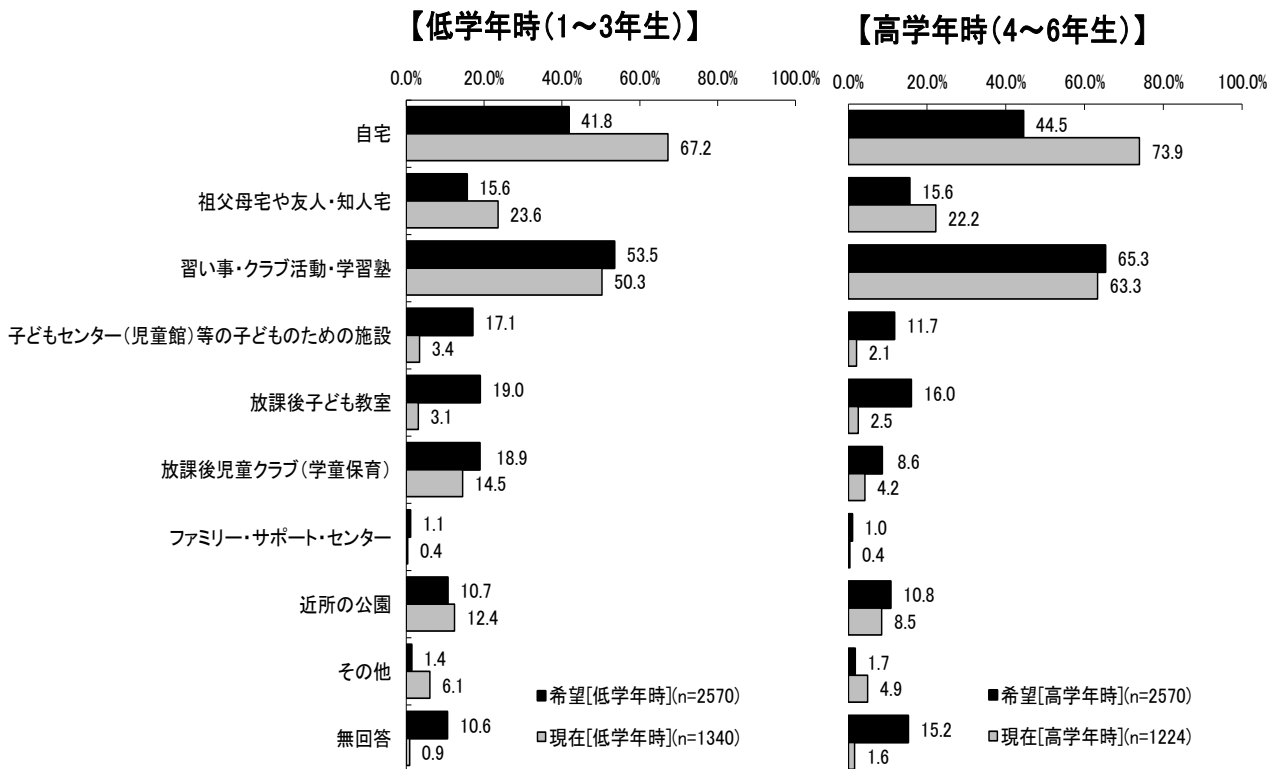
- 就学前児童保護者の地域子育て支援センターの現在の利用率は前回・今回調査とも1割未満で大きな変化は見られない（前回：7.3%、今回：5.2%）。なお、利用率は低年齢児ほど高く、0歳では1割を超えている。【→65頁】
- 地域子育て支援センターの今後の利用意向では、利用希望者が2割強となっている（新たに利用したい：22.6%+利用日数を増やしたい：3.7%）。なお、利用意向は低年齢児ほど高く、0歳では4割を占めている。【→66頁】

7. 就学後の放課後の過ごし方や居場所について

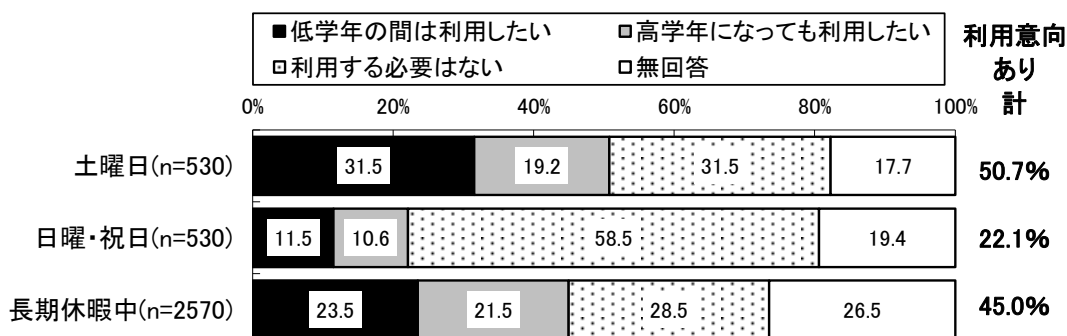
(1) 放課後の過ごし方

- 小学生の放課後の過ごし方については、低学年時（1～3年生）・高学年時（4～6年生）の現状・希望ともに、「自宅」や「習い事・クラブ活動・学習塾」が第1・2位にあがっているが、現状と希望を比較すると、「自宅」や「祖父母宅や知人宅」の割合が下がり、代わって「放課後児童クラブ（学童保育）」や「放課後子ども教室」「子どもセンター（児童館）等の子どものための施設」等の割合が高まっている。放課後児童クラブ（学童保育）に着目すると、低学年時（1～3年生）：18.9%、高学年時（4～6年生）：8.6%の利用希望がある。【→図表-39、135・138頁】
- また、5歳児では、就学後の放課後児童クラブ（学童保育）について、低学年時（1～3年生）：39.3%、高学年時（4～6年生）：14.9%の利用希望がある。【→93・94頁】
- 放課後児童クラブ利用希望者に対して、土曜・日祝日の利用意向もたずねたところ、利用希望者の半数が土曜日の利用も希望している。また、長期休暇中の利用意向について小学生保護者全員にたずねたところ、利用希望は4割を超えている。【→図表-40、140・141頁】

図表-39 小学生の放課後の過ごし方 [複数回答]



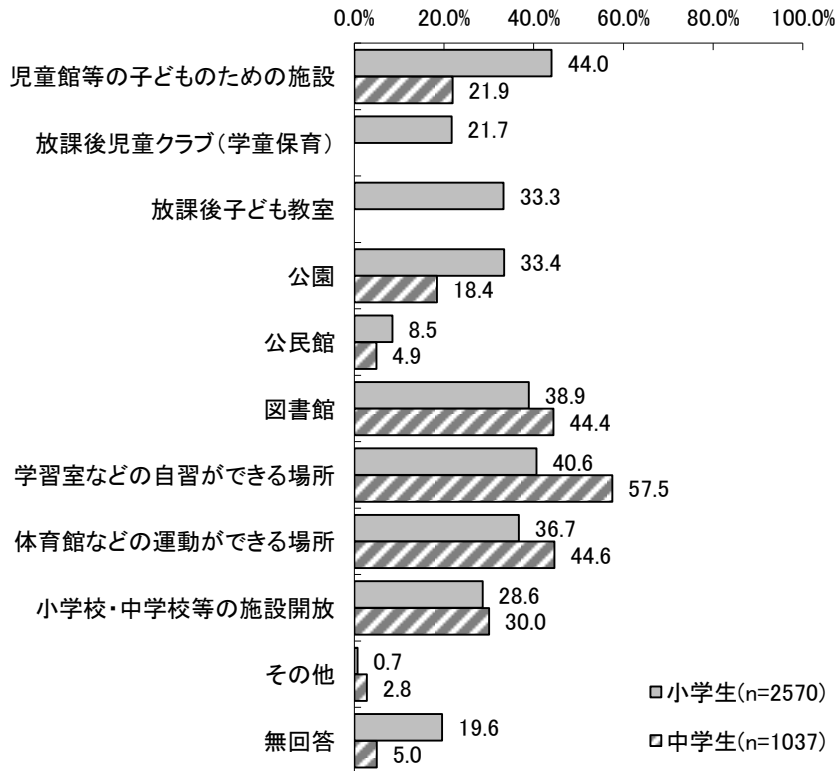
図表-40 放課後児童クラブの土曜日・日祝日・長期休暇中の利用意向



(2) 小・中学生の遊び場・居場所

- 遊び場・居場所として身近にあってほしいものは、小学生では「児童館等の子どものための施設」の割合が4割強と最も高く、以下、「学習室などの自習ができる場所」「図書館」「体育館などの運動ができる場所」がそれぞれ4割前後で続いている。中学生では「学習室などの自習ができる場所」の割合が6割と最も高く、以下「体育館などの運動ができる場所」、「図書館」が4割台で続いている。【→図表-41、142頁・160頁】

図表-41 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの [複数回答]

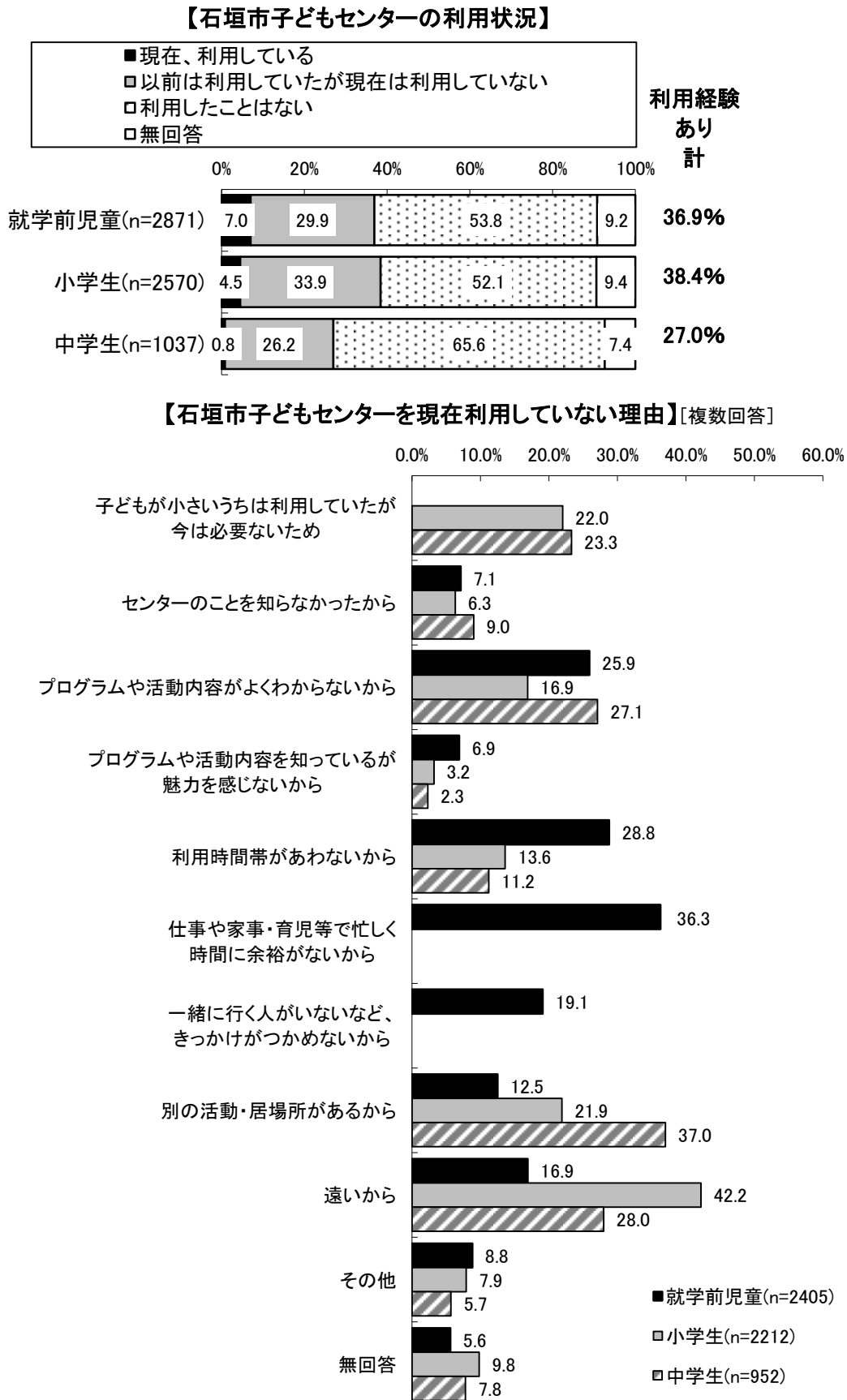


8. 児童館について

(1) 石垣市子どもセンターの利用状況

- 石垣市子どもセンターについては、就学前～中学生の3～4割前後が利用した経験がある。現在の利用率は、就学前：7.0%、小学生：4.5%、中学生：0.8%である。【→図表-42、108頁・143頁・161頁】
- 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由は、就学前児童では「時間に余裕がないから」の割合が4割弱と最も高く、次いで「利用時間帯があわないから」「プログラムや活動内容がよくわからないから」が2割台で続いている。小学生では「遠いから」の割合が4割強と突出して高く、次いで「今は必要ないため」「別の活動・居場所があるから」が2割台で続いている。中学生では「別の活動・居場所があるから」の割合が4割弱と最も高く、次いで「遠いから」「プログラムや活動内容がよくわからないから」「今は必要ないため」が2割台で続いている。【→図表-42、108頁・143頁・161頁】
- 未利用理由の「遠いから」の割合は、北部や西部、白保で7割以上と高い。【→109頁・144頁・162頁】

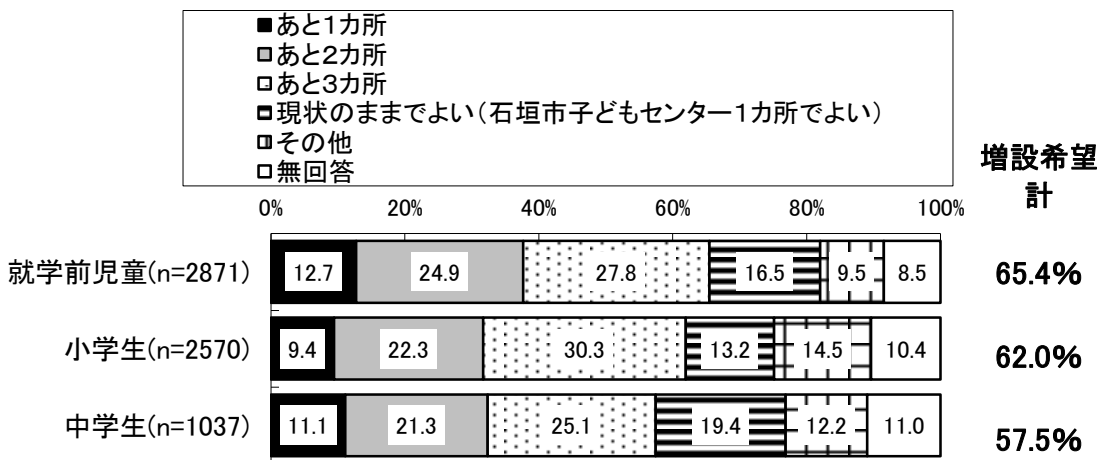
図表－42 石垣市子どもセンターの利用状況、未利用理由



(2) 児童館の施設数と求める機能

- 石垣市子どもセンター以外にあと何カ所くらい児童館があるとよいかたずねたところ、就学前児童・小学生・中学生に共通して「あと3カ所」の割合が3割前後と最も高く、これに「あと2カ所」が続いており、「あと1カ所」を合わせると、保護者の6割前後が児童館の増設を希望している（あと1～3カ所の増設希望）。【→図表-43、110頁・145頁・163頁】
- 児童館に求める機能は、就学前児童では「子どもの遊びや体験の場」の割合が7割を超えて突出して高い。小学生では「子どもの遊びや体験の場」「小学生の放課後等の居場所」「子どもの学習支援」の割合がそれぞれ6割前後で上位を占めている。中学生では「子どもの学習支援」の割合が5割強と最も高く、次いで「子どもの遊びや体験の場」「中高生の放課後等の居場所」「小学生の放課後等の居場所」が4割前後で続いている。【→図表-44、111頁・146頁・164頁】

図表-43 児童館の施設数（あと何カ所くらいあるとよいか）



図表-44 児童館に求める機能〔複数回答〕(%)

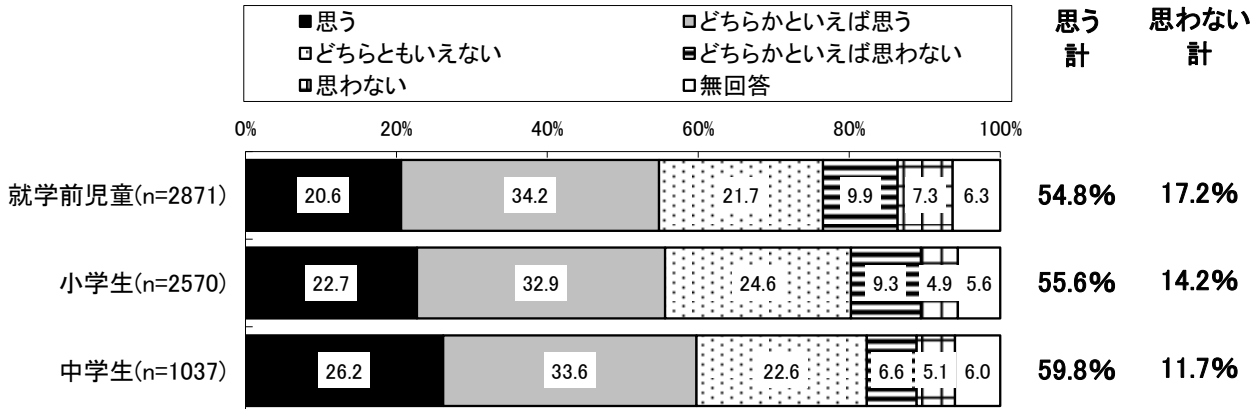
	就学前児童 (n=2871)	小学生 (n=2570)	中学生 (n=1037)
乳幼児・保護者同士が交流できる場	40.3	20.7	24.4
子どもの遊びや体験の場	73.1	62.2	42.3
放課後児童クラブの実施	46.6	34.2	29.5
小学生の放課後等の居場所	53.2	60.9	38.8
中高生の放課後等の居場所	14.4	18.7	40.3
子どもの学習支援(宿題サポート等)	44.2	57.5	53.3
子ども同士の交流の場(中高生と乳幼児等)	21.3	19.7	24.6
地域の人との交流の場(高齢者等)	20.8	21.5	26.0
障がい児や不登校児等への支援	24.2	25.2	30.4
子育て相談	30.7	18.0	17.8
子どもの悩み等の相談	30.1	23.0	25.7
子どものサークル活動や地域活動の支援	22.5	21.4	23.4
子どもへの食事提供(子ども食堂等)	22.2	19.3	20.9
保護者のサークル活動等への支援(母親クラブ等)	10.0	6.4	8.8
その他	2.0	1.5	2.4
無回答	7.8	7.4	9.3

9. 石垣市の子ども・子育て支援について

(1) 石垣市は子育てしやすいまちだと思うか

- 石垣市は子育てしやすいまちだと思うかとたずねたところ、就学前児童・小学生・中学生ともに「どちらかといえば思う」の割合が3割強と最も高く、これに「思う」を合わせると、保護者の過半数が子育てしやすいまちだと評価している。【→図表-45、113頁・148頁・166頁】

図表-45 石垣市は子育てしやすいまちだと思うか



(2) 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度

- 石垣市の子育て支援の取組（18項目）についての満足度をたずねたところ、就学前児童・小学生・中学生とも満足度・不満度の上位項目は概ね共通しており、満足度では「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」「子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進」「子どもの健康づくり支援や医療体制」が共通して上位1～3位にあがっている。一方、不満度はいずれも第1位に「子育てのための経済的支援」が4割前後であがっており、このほか就学前児童では「仕事と子育ての両立等に関する意識啓発」、就学前児童・小学生では「小学生の放課後児童対策」、中学生では「中高生等の居場所づくり」が上位にあがっている。また、「子どもの健康づくり支援や医療体制」は満足度でも上位に位置しているが、小学生・中学生では不満度でも上位にあがっており、評価がわかれている。【→図表-46、114頁・149頁・167頁】

図表-46 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度・不満度【上位3位】(%)

年齢層	順位	調査数	満足		不満	
			項目	割合	項目	割合
就学前児童	1位	n=2,871	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	34.4	子育てのための経済的支援	36.3
	2位	n=2,871	子どもの健康づくり支援や医療体制	29.2	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	33.3
	3位	n=2,871	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	21.1	小学生の放課後児童対策	29.9
小学生	1位	n=2,570	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	30.1	子育てのための経済的支援	40.6
	2位	n=2,570	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	27.8	小学生の放課後児童対策	37.2
	3位	n=2,570	子どもの健康づくり支援や医療体制	21.8	子どもの健康づくり支援や医療体制	31.7
中学生	1位	n=1,037	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	31.1	子育てのための経済的支援	42.9
	2位	n=1,037	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	29.1	子どもの健康づくり支援や医療体制	31.8
	3位	n=1,037	子どもの健康づくり支援や医療体制	19.9	中高生等の居場所づくり	31.2

(3) 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策

- 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策では、就学前児童・小学生・中学生に共通して「子育てのための経済的支援」の割合が5割前後と最も高くなっている。
- 「経済的支援」に続く第2位以下は、就学前児童では「小学生の放課後児童対策」や「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」、小学生でも「小学生の放課後児童対策」がそれぞれ4割台で続いている。中学生では「いじめや不登校等への対応」、「子どもの貧困対策」「子どもの健康づくり支援や医療体制」が続いている。【→図表-47、116頁・151頁・169頁】

図表-47 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策 [複数回答5つまで] (%)

	就学前児童 (n=2871)	小学生 (n=2570)	中学生 (n=1037)
就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	39.5	23.8	19.9
小学生の放課後児童対策	43.2	44.1	23.2
中高生等の居場所づくり	11.1	17.6	27.5
子育てに関する相談体制や情報提供(乳幼児期～中高生まで)	13.2	10.4	10.1
子育てのための経済的支援	48.3	48.4	50.4
子どもの健康づくり支援や医療体制	29.7	30.9	30.9
ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	15.8	19.7	24.3
子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	6.3	6.1	6.0
障がい児や保護者に対する支援	11.5	12.5	14.9
いじめや不登校等への対応	23.0	29.4	32.7
児童虐待防止対策	13.7	13.7	17.0
子どもの貧困対策	21.8	25.4	31.0
「生きる力」を育む学校教育	14.9	20.6	20.4
子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	17.5	23.0	22.5
非行防止等の青少年健全育成対策	6.0	9.4	12.2
子育てにやさしい住環境整備	33.4	24.6	19.3
子どもを犯罪・事故から守る対策	30.5	34.4	29.9
仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	30.8	26.1	24.9
無回答	9.8	7.4	8.2

10. 関係団体等ヒアリング調査における意見等

- 教育・保育施設等のサービス提供事業者共通の課題として、保育士をはじめとした人材確保があげられた。小学生の放課後対策に関しては、認可保育所や子どもセンター等からも、1年生を中心とした預かりニーズの増加や受入れに対する課題が指摘されており、学童保育の校区割り問題とあわせて対応が望まれている。【→171頁】
- 行政との連携や望む支援については、教育・保育施設間での情報交換・連携の機会づくりや、行政と各団体との定期的な情報交換等による連携強化を望む意見が複数の関係団体からあげられた。また、人材確保・育成に対する支援として、保育士等の人材登録・マッチングや、合同説明会・研修会が望まれている。【→172頁】
- その他、子ども・子育て支援全般について、サービス事業者等の視点からの意見をたずねたところ、児童館等の子どもの居場所づくりに関することや、児童虐待及び子どもの貧困対策、発達障害に関すること等の意見があげられた。【→173頁】

1.1. 総括（調査結果等からみた現状と課題）

(1) 女性の就業率の高まり

本市の女性の就業率は全国・沖縄県に比べて高く、また、全国的な傾向と同様に、30代前後の結婚・出産期でも継続的に就業する人の割合が高まっている。

今回のニーズ調査においても、女性の就業率、とりわけフルタイムでの就業率が前回調査（平成25年度）から10ポイント以上高まり、パート・アルバイト等も含め就学前児童・小学生の母親の8割以上が就労している。このため、共働き家庭が全体の7割前後を占め、子育てについても父母がともに行っているとの回答割合が前回調査から高まっている。また、就労も子育ても一人で担うひとり親家庭の割合も、就学前児童・小学生・中学生と学年があがるほど高まり、中学生の2割がひとり親家庭となっている。

パート・アルバイト等で就労している母親の3割前後にフルタイムへの転換意向があり、未就労の母親の過半数が就労意向を示していることから、今後も女性（母親）の就業率がさらに高まることが予想される。

(2) 教育・保育ニーズの高まり

前述の女性の就業率の高まり等により、今回のニーズ調査では、前回調査に比べて、子育て支援に係る各種サービスのニーズが全般的に高まっている。

教育・保育については、平成27年度の子ども・子育て支援新制度開始後も毎年サービス利用者が増加し、第1期計画等に基づき受け皿整備を計画的に進めているが、平成30年度時点で待機児童の解消には至っていない。

今回のニーズ調査によると、今後の教育・保育（平日）の利用意向〔複数回答〕では、「認可保育所」希望が7割、「幼稚園（預かり保育定期利用）」希望が4割強、「認定こども園」希望が3割強の順となった。また、今年10月に幼児教育・保育無償化が導入された場合には保護者の2割強がサービスの利用を変更したいと考えており、なかでも「幼稚園（預かり保育定期利用）」の利用意向が高まることが予想される。

なお、教育・保育のニーズへの対応を検討する際には、利用希望エリアも考慮する必要があり、今回のニーズ調査結果によると全地区において居住地区内の施設の利用希望が最も高いが、その比率は5～8割まで地域により差が見られたほか、居住地区に隣接する地区の施設の利用希望が高い傾向が見られた。

また、教育・保育の休日ニーズ（土曜日・日祝日）は、前回調査と比べて土曜日のニーズが顕著に高まっており、観光関連等のサービス業を含む第3次産業の従事者が多い本市の就業状況を反映した結果となっている。

(3) 緊急時や休日・夜間等の保育ニーズへの対応

第1期計画では、一時預かりや病児保育事業など国が指定する地域子ども・子育て支援事業についても、量の見込みと確保の方策を示した。このうち、一時預かりについては、保育士不足のため公立保育所での実施を休止しているが、ファミリー・サポート・センター事業で対応し、計画値を上回る利用がある。一方、病児保育事業と子育て短期支援事業（ショートステイ）は看護師等専門職や受入れ施設の確保、利便性や事業周知の問題等もあり、計画値を下回る利用に留まっている。

今回のニーズ調査によると、一時預かりや病児・病後児保育、ショートステイの利用意向は前回調査とほぼ同程度であり、ニーズの大幅な伸びは見られない。ただし、自由記述形式で「子育てに関して周囲から受けてみたい支援」をたずねたところ、就学前児童を中心に、緊急時の一時預かりや病児・病後児保育に関する記載が多数あり、特に移住・転勤等で地縁の無い核家族に対する支援として強い要望が見られた。

また、今回のニーズ調査では、宿泊業・サービス業などの観光関連業での就業者が多いという本市の特性等を考慮し、サービスの利用意向を問う質問において、市独自の選択肢として「夜間保育」を設定し、ニーズを把握した。結果として就学前児童の1割弱が夜間保育の利用を希

望しており、特にひとり親家庭では2割弱と高くなっている。前述の自由記述形式設問でも夜間保育に関する記述が挙がっていることから、休日の預かり対応と合せ、保護者の多様な就労時間に配慮した支援サービスの充実が望まれている。

(4) 小学生の放課後対策の課題

小学生の放課後対策については、第1期計画において放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の量の見込みと確保の方策を示し、平成30年度現在、11クラブで事業を実施している。実施クラブ数はほぼ計画どおりであるが、利用者数は計画値を下回って推移している。利用が伸びなかった要因としては、校区ごとの設置ではないという利便性の問題や利用料の負担が大ききこと等が考えられる。

今回のニーズ調査における「子育てに関して周囲から受けたい支援」（自由記述形式）の回答においても、小学生の保護者を中心に、放課後児童クラブの利用料軽減や増設（校区単位での開設、学校内での設置、公設等）の要望が挙がっている。また、放課後児童クラブをはじめ、就学前の教育・保育施設や子どもセンター等の事業者（支援者）側からも同様の課題が挙げられている。

今回のニーズ調査によると、今後の放課後の過ごし方の希望では、自宅等の割合が下がり、放課後児童クラブをはじめ、放課後子ども教室、子どもセンター（児童館）等の子どものための施設の希望割合が高まっており、児童クラブをはじめ多様な居場所づくりを行うなど、総合的な放課後対策や子どもの居場所づくりの充実が求められていると考えられる。

(5) 保育人材の確保に係る取り組み

前述のとおり、今後も教育・保育をはじめとした各種サービスのニーズは高まることが予想されるが、事業者側からは、保育士をはじめとした人材確保が課題として挙げられている。

本市においては、就学前の教育・保育に係る人材確保対策として、島外からの保育士誘致や島内の潜在保育士等の再就職支援をはじめ、島内での保育士資格取得のための環境整備や、事業者への助成（保育補助者の雇上に対する補助や保育士宿舍借り上げ対して交付金等）を実施しているが、今後のサービスニーズの増加が予想されていることから、第2期計画期間においても、事業者等と連携した人材確保対策の継続が必要である。

(6) サービス以外に求められる多様な子ども・子育て支援

第1期計画は、国の指針等に基づき、教育・保育をはじめとする各種サービスの見込み量と確保方策を中心としたサービス実施計画として策定しているが、子ども・子育て支援は保育サービス等だけでなく、健全育成や教育等、多様な分野による総合的な支援が不可欠である。

今回のニーズ調査では、サービス以外の支援の一環として、「児童館」に関する意向を把握するため、第1期計画では未実施だった中学生保護者調査を追加し、就学前児童・小学生・中学生の3種類の調査を設計、実施した。

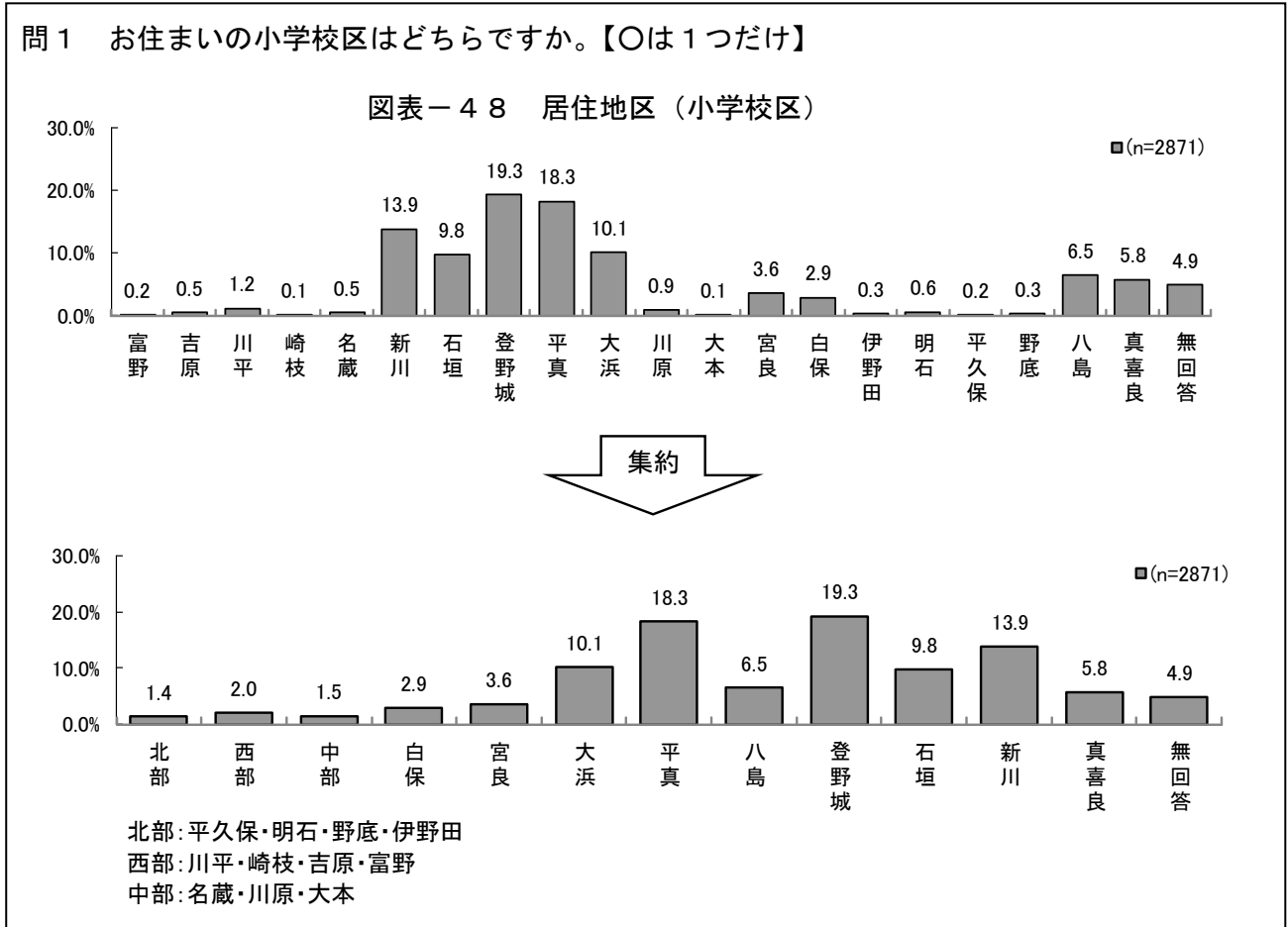
調査結果によると、保護者の6割前後が児童館の増設を希望しており、児童館の機能として、子どもの遊び・体験の場や就学後の放課後の居場所、学習支援など多様な内容が求められている。また、「子育てに関して周囲から受けたい支援」（自由記述形式）でも、地区単位での児童館の設置等の要望が多く、公民館等の地域施設・地域人材を活用した身近な場での実施に関するアイデアも寄せられている。

また、「石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策」では、子育てのための経済的支援や放課後児童対策、就学前の教育・保育サービス等をはじめ、子どもの健康づくり支援や医療体制、ひとり親家庭等の支援、子どもの貧困対策等が上位にあがっている。関係団体等ヒアリング調査においても、子どもの居場所づくりをはじめ、児童虐待や貧困、発達障害等に対する支援の必要性が指摘されており、多様な分野における子ども・子育て支援の充実が望まれている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

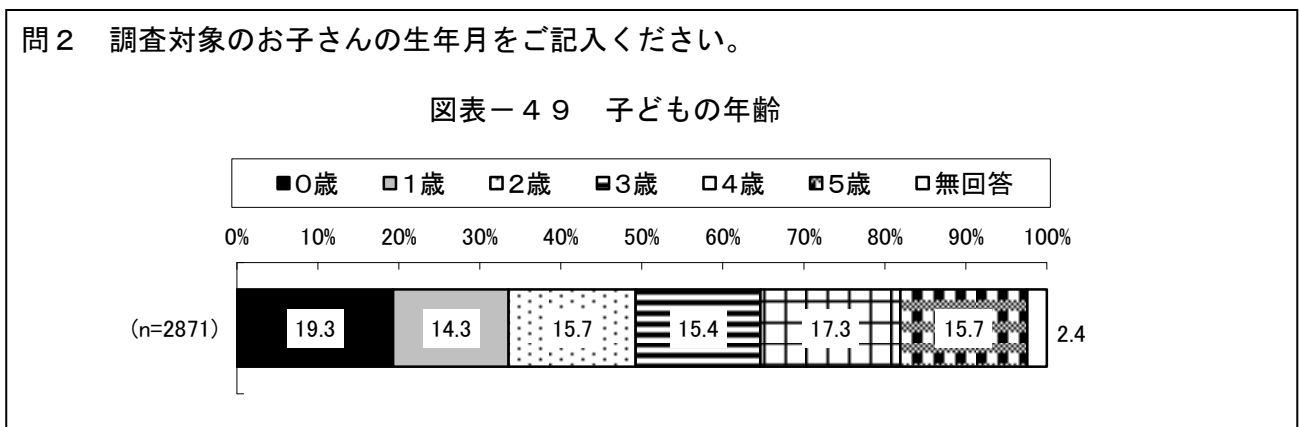
1. 基本属性

(1) 居住地区（小学校区）



居住地区を、小学校区を集約したエリア別にみると、「登野城」（19.3%）の割合が最も高く、次いで「平真」（18.3%）、「新川」（13.9%）、「大浜」（10.1%）と続いている。

(2) 子どもの年齢

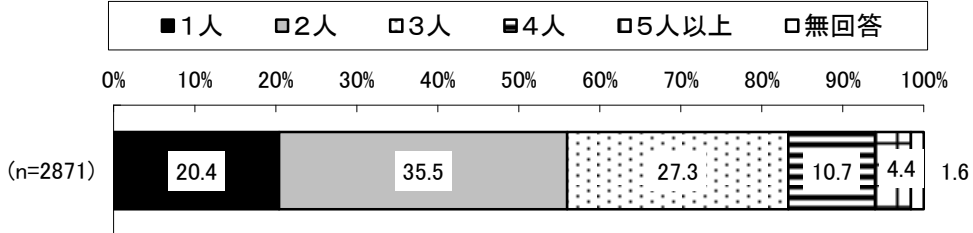


子どもの年齢（平成30年4月1日現在で換算）は、「0歳」（19.3%）をはじめ、各年齢がそれぞれ15～19%前後で分布している。平均年齢は2.5歳であった。

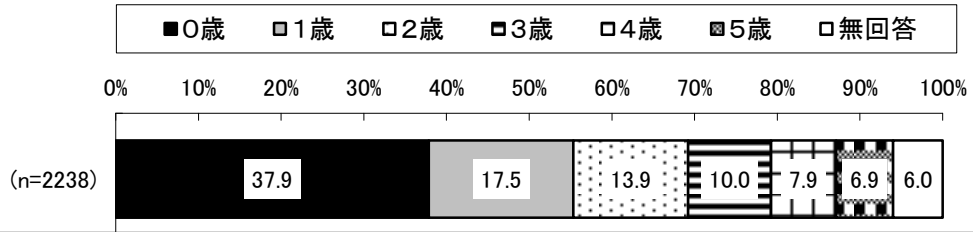
(3) 子どもの人数

問3 調査対象のお子さんも含めて、おさんは何人いますか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

図表-50 子どもの人数



図表-51 末子の年齢



子どもの人数は、「2人」(35.5%)の割合が最も高く、次いで「3人」(27.3%)、「1人」(20.4%)となっており、平均人数は2.4人であった。

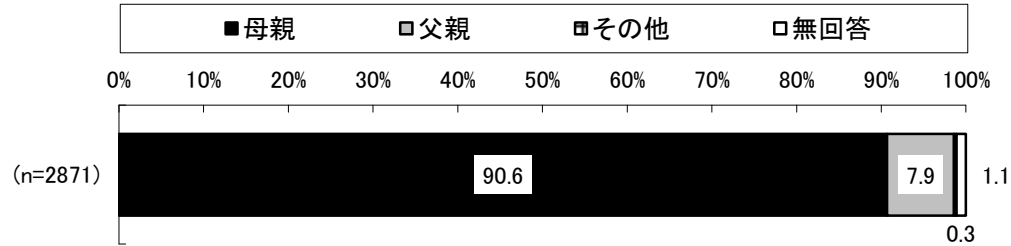
末子(一番下の子ども)の年齢(平成30年4月1日現在で換算)は、「0歳」(37.9%)が4割弱を占めて最も高くなっている。

(4) 調査の回答者

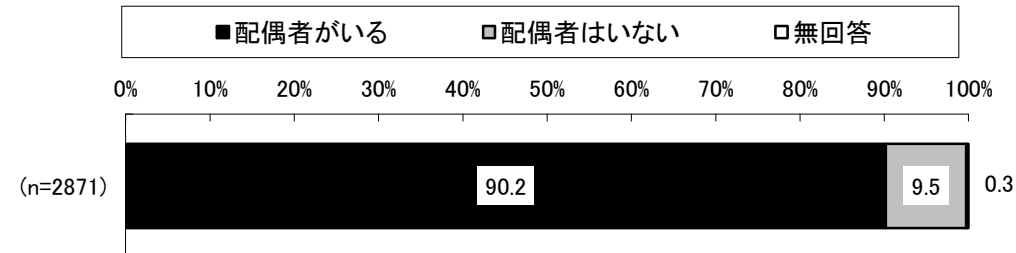
問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。調査対象のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

問5 このアンケートにご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。【○は1つだけ】

図表-52 調査の回答者

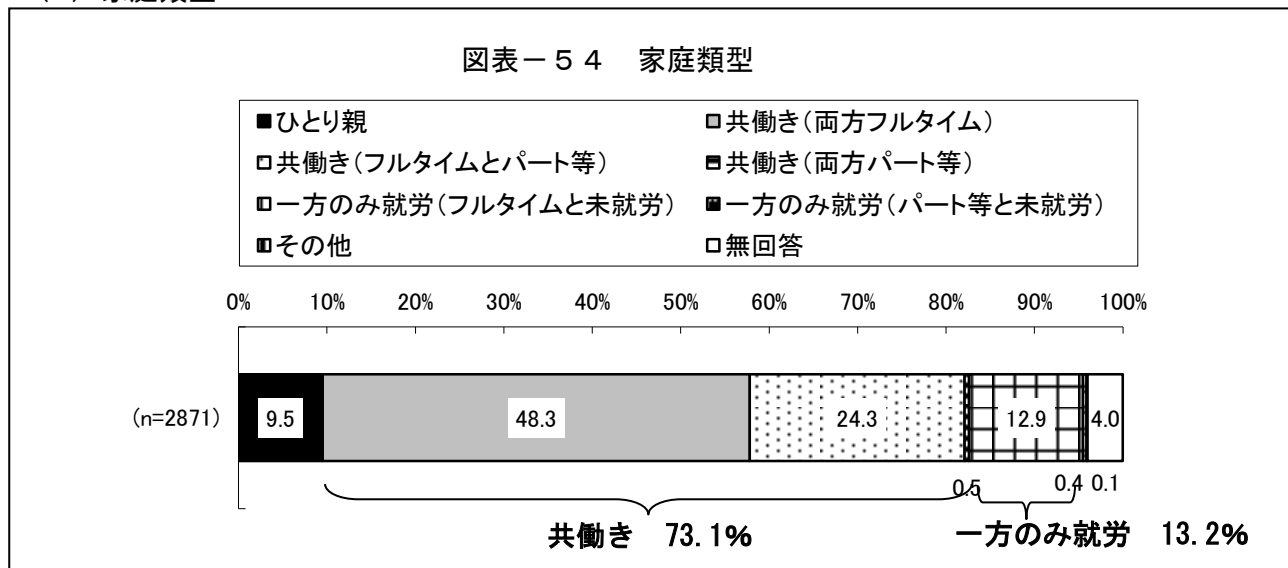


図表-53 調査の回答者の配偶関係



調査回答者では「母親」(90.6%)、調査回答者の配偶関係では「配偶者がいる」(90.2%)がそれぞれ9割を超えて大半を占めている。

(5) 家庭類型



後述する父母別の就労状況（問10）をもとに、国の手引きに示された区分に基づいて家庭類型を整理すると、「共働き（両方フルタイム）」（48.3%）が5割弱を占めて最も割合が高く、次いで「共働き（フルタイムとパート等）」（24.3%）となっており、これらに「共働き（両方パート等）」（0.5%）を合わせると『共働き』（73.1%）が7割を超えている。

子どもの年齢別にみると、0歳を含む全年齢で『共働き』が7割前後を占めている。また、「ひとり親」の割合は2歳以降では1割を超えている。

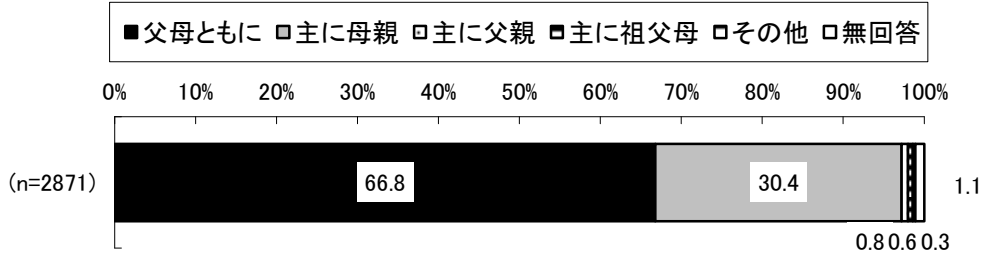
図表－55 子どもの年齢別 家庭類型 （単位：%）

	調査数 (n)	ひとり親	共働き (両方フルタイム)	共働き (フルタイムとパート)	共働き (両方パート等)	一方のみ就労 (フルタイムと未就労)	一方のみ就労 (パート等と未就労)	その他	無回答	再掲		
										(再掲) 共働き計	(再掲) 一方のみ就労計	
全体	2,871	9.5	48.3	24.3	0.5	12.9	0.4	0.1	4.0	73.1	13.2	
子どもの年齢	0歳	553	2.5	47.9	23.3	0.7	20.6	0.4	0.2	4.3	72.0	21.0
	1歳	410	6.1	54.9	21.0	0.5	12.4	0.2	0.2	4.6	76.3	12.7
	2歳	451	10.0	49.4	27.5	0.2	10.2	0.2	0.0	2.4	77.2	10.4
	3歳	443	12.2	50.8	23.7	0.2	10.4	0.2	0.2	2.3	74.7	10.6
	4歳	496	11.3	48.6	22.2	0.4	11.1	0.4	0.0	6.0	71.2	11.5
	5歳	450	15.8	40.7	27.6	0.7	11.3	0.7	0.2	3.1	68.9	12.0
無回答	68	11.8	38.2	27.9	1.5	8.8	1.5	0.0	10.3	67.6	10.3	

(6) 主な保育者

問6 調査対象のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つだけ】

図表-56 主な保育者



主な保育者（子育てを主に行っている人）は、「父母ともに」（66.8％）の割合が7割弱と最も高く、次いで「主に母親」（30.4％）となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳を含む全年齢で「父母ともに」の割合が6割を超えて最も高くなっている。

家庭類型別にみると、「父母ともに」の割合は『共働き』（77.6％）では8割弱を占め、特に「共働き（両方フルタイム）」（81.3％）では8割を超えているが「主に母親」（17.4％）も2割弱を占めている。

図表-57 子どもの年齢別・家庭類型別 主な保育者 (単位: %)

		(n 調査数)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体		2,871	66.8	30.4	0.8	0.6	0.3	1.1
子どもの年齢	0歳	553	66.5	32.2	0.2	0.5	0.0	0.5
	1歳	410	69.3	28.0	0.0	1.0	0.2	1.5
	2歳	451	68.5	28.2	0.9	1.6	0.2	0.7
	3歳	443	69.1	29.3	0.9	0.0	0.5	0.2
	4歳	496	65.9	29.8	1.4	0.2	0.8	1.8
	5歳	450	62.0	34.4	1.1	0.7	0.4	1.3
	無回答	68	64.7	29.4	1.5	0.0	0.0	4.4
全体		2,871	66.8	30.4	0.8	0.6	0.3	1.1
家庭類型	ひとり親	273	0.7	87.2	5.5	4.0	1.5	1.1
	共働き(両方フルタイム)	1,388	81.3	17.4	0.1	0.2	0.0	0.9
	共働き(フルタイムとパート等)	697	70.3	27.8	0.4	0.1	0.0	1.3
	共働き(両方パート等)	14	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	369	56.9	42.3	0.3	0.0	0.0	0.5
	一方のみ就労(パート等と未就労)	11	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(再掲)共働き 計	2,099	77.6	21.0	0.2	0.2	0.0	1.0
	(再掲)一方のみ就労 計	380	57.9	41.3	0.3	0.0	0.0	0.5
無回答	115	54.8	33.0	0.9	2.6	5.2	3.5	

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

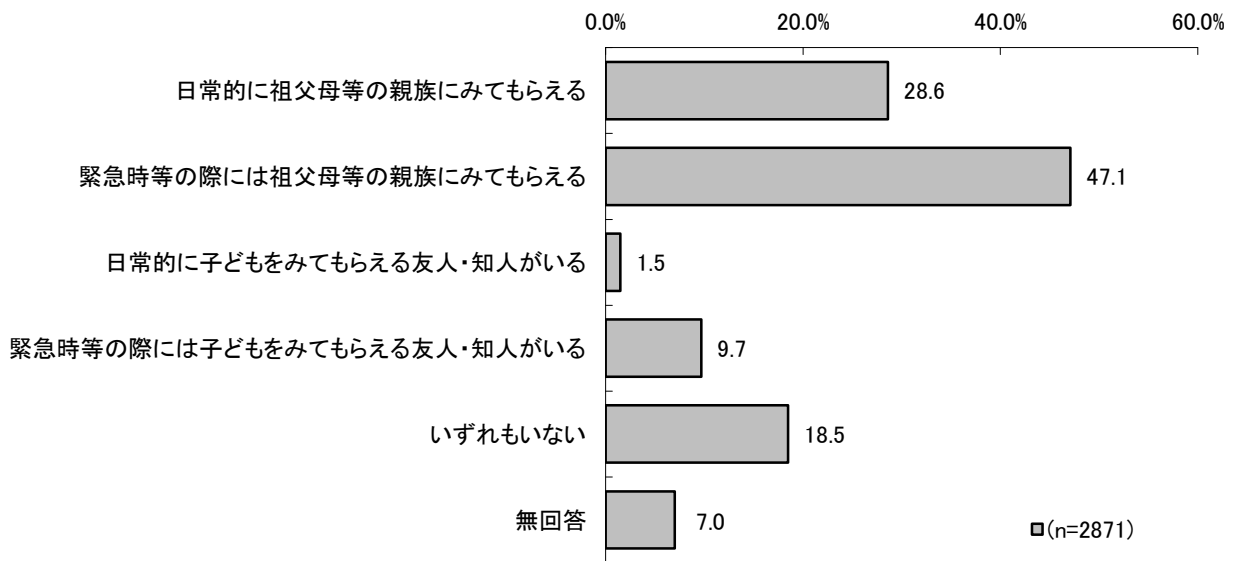
(1) 子どもをみてもらえる人の状況

問7 日頃、調査対象のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。【〇はあてはまるものすべて】

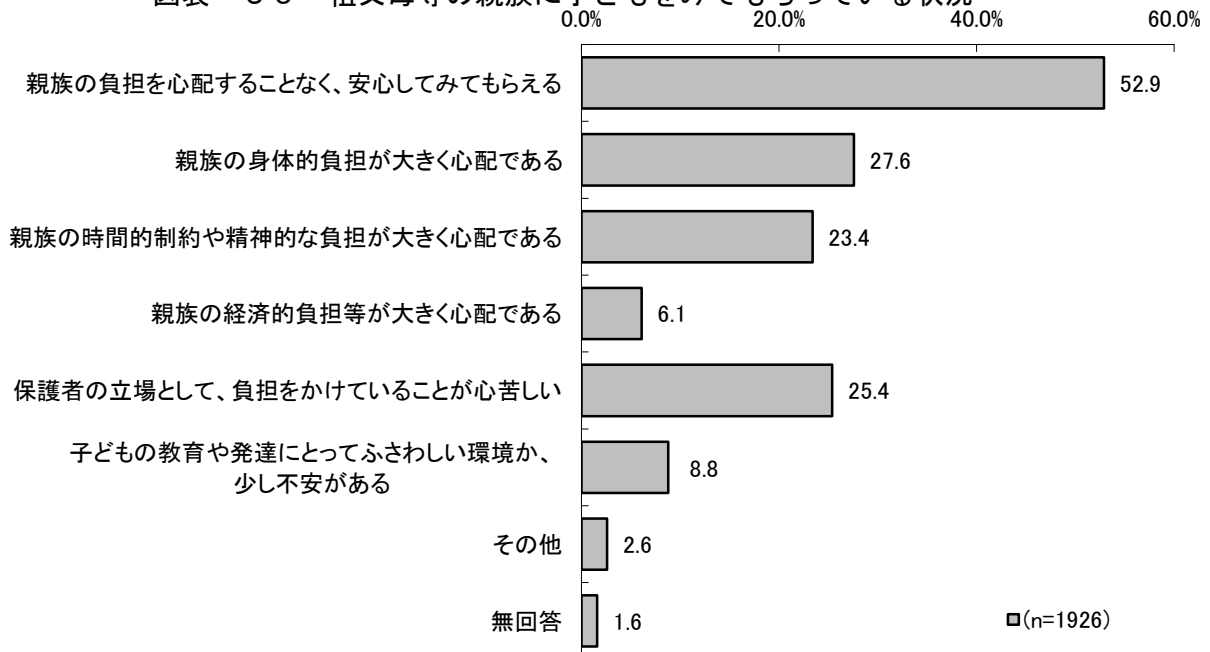
問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【〇はあてはまるものすべて】

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【〇はあてはまるものすべて】

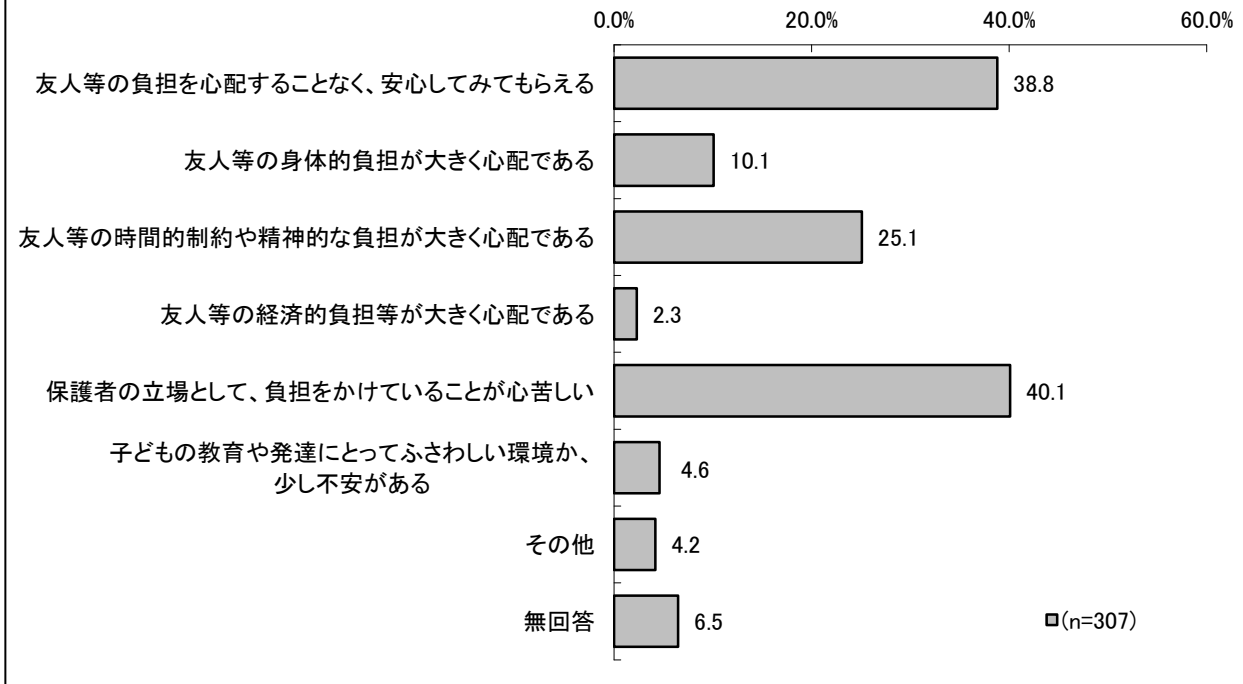
図表-58 子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無



図表-59 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況



図表-60 友人・知人に子どもをみてもらっている状況



子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無では「緊急時等の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(47.1%)の割合が5割弱と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(28.6%)となっている。また、「いずれもない」(18.5%)も2割を占めている。

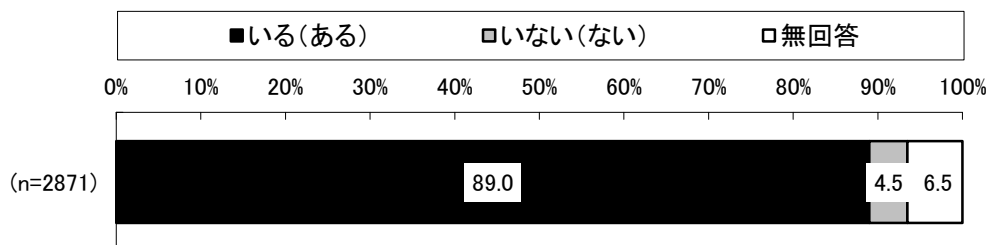
祖父母等の親族に日常的に、または緊急時等に子どもをみてもらえると回答した人に、子どもをみてもらっている状況についてたずねたところ、「親族の負担を心配することなく、安心してみてもらえる」(52.9%)の割合が5割を超えて最も高いものの、「親族の身体的負担が大きく心配である」(27.6%)や「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.4%)、「親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(23.4%)等の心配や申し訳無さを感じている割合もそれぞれ2割を超えている。

同様に、友人・知人に日常的に、または緊急時等に子どもをみてもらえると回答した人に、子どもをみてもらっている状況についてたずねたところ、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(40.1%)と「友人等の負担を心配することなく、安心してみてもらえる」(38.8%)の割合がそれぞれ4割前後と高くなっている。

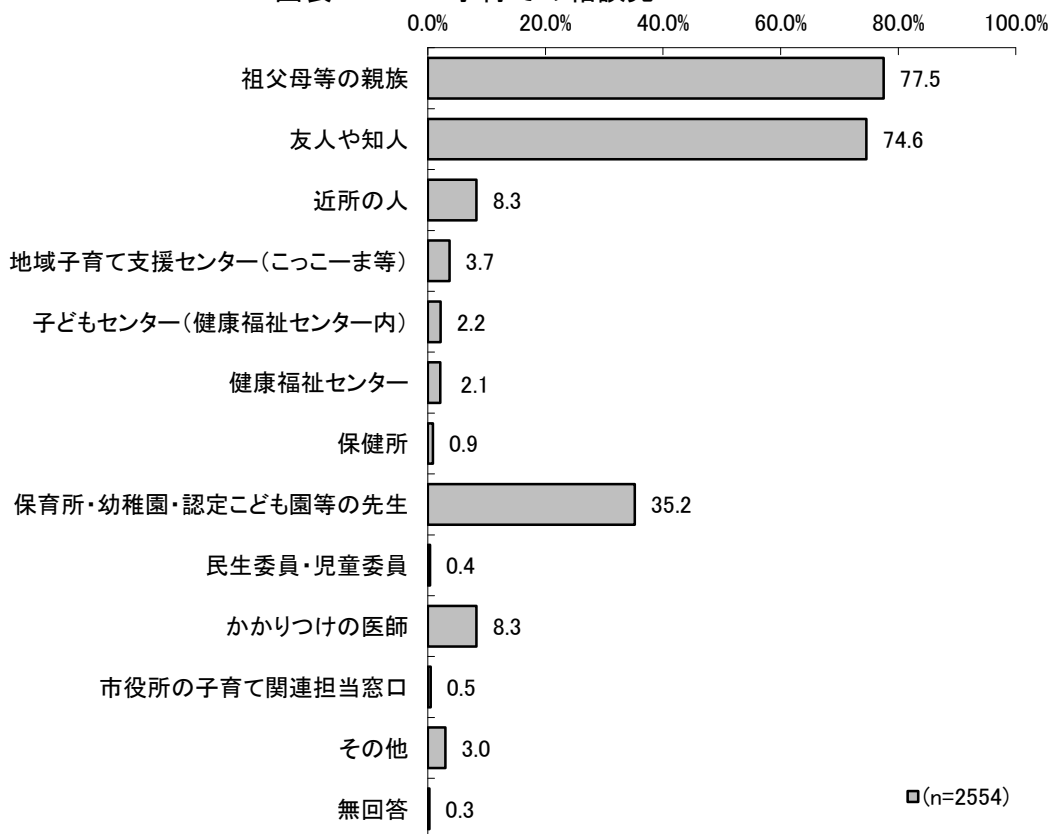
(2) 子育ての相談先

問8 調査対象のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【〇は1つだけ】
 問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-61 子育ての相談先の有無



図表-62 子育ての相談先



子育ての相談先については、「いる(ある)」(89.0%)が9割と大半を占めている。

子育ての相談先が「いる(ある)」と回答した人に相談先が誰(どこ)かたずねたところ、「祖父母等の親族」(77.5%)と「友人や知人」(74.6%)の割合が7割を超えて突出して高く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園等の先生」(35.2%)となっている。

(3) 子育てに関して周囲から受けてほしい支援

問9 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

図表-63 子育てに関して周囲から受けてほしい支援（自由記述意見の主な内容）

分類	件数	【上位項目の主な内容】
子どもの遊び場・親子交流の場づくり	98	子どもの遊び場・親子交流の場づくり
一時預かり	83	・雨天や夏でも遊べる室内施設 ・公園の整備
病児・病後児の預かり	75	・身近で親子が集える/遊べる場(子どもセンター、 地区単位での児童館、子育て支援センターなど)
子育て相談	59	・親子が楽しめるイベント開催 など
教育・保育	47	一時預かり
緊急時の家事・育児サポート	45	・緊急時の預かり(地縁のない核家族への支援)
子育てに関する情報提供	38	・保護者のリフレッシュ等のための短時間の預かり
土曜・日祝日の預かり	35	・ファミリー・サポート・センターの利便性向上 (料金値下げ等) など
地域での声かけや見守り、交流・子育て支援	25	病児・病後児の預かり
子育ての経済的負担の軽減	23	・病児・病後児保育
小学生の放課後対策	21	子育て相談
夜間の預かりやショートステイ	20	・身近な相談の場(子どもセンター、子育て支援センター等 の増設) ・相談でなく話を聞いてくれるだけでよい
乳幼児健診、発達相談など	12	・電話相談・インターネット相談
食事宅配・買い物代行サービス	11	・家庭訪問による相談・支援 など
職場の理解、環境整備	11	教育・保育
ひとり親家庭に対する相談・支援	10	・待機児童の解消、受入れ枠確保
利用者支援事業	9	・0歳児保育の拡大
妊婦や出産後の母親へのサポート	9	・延長保育、幼稚園預かり保育
子育てについて学べる場づくり	7	・居住地内で通園できる環境づくり ・保育料軽減 など
子どもの医療費助成	6	緊急時の家事・育児サポート
家族・親族の子育てへの協力	5	保護者の出産・体調不良、きょうだい児の入院等の際の
就学後の学習サポート	4	・家事・育児の支援 ・買い物代行
子ども食堂など	3	・保育所等への送迎 など
男性の子育て参画推進	2	
地域医療体制	2	
その他	30	
計(延べ記入件数)	690	

子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思うか、自由記述形式でたずねたところ、556人から延べ690件（分類内容）の回答が得られた。

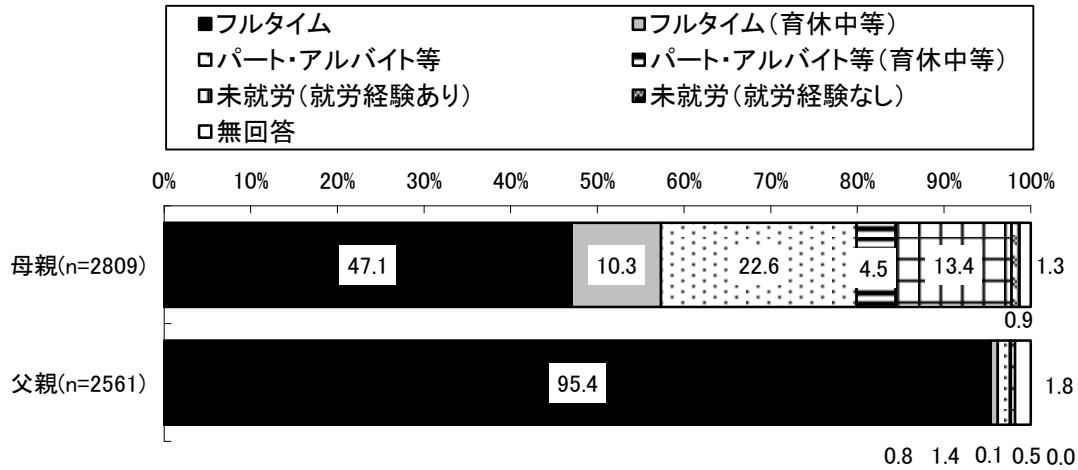
記述内容を大まかに分類すると、「子どもの遊び場・親子の交流の場づくり」（98件）に関する記述が最も多く、次いで「一時預かり」（83件）、「病児・病後児の預かり」（75件）、「子育て相談」（59件）、「教育・保育」（47件）、「緊急時の家事・育児サポート」（45件）となっている。

3. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問10 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれですか。【○は1つだけ】

図表－64 保護者の就労状況



<就労の定義>

フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労
※以降同様

保護者の就労状況を父母別にたずねたところ、母親では「フルタイム」（47.1％）の割合が5割弱と最も高く、次いで「パート・アルバイト等」（22.6％）、「未就労（就労経験あり）」（13.4％）となっている。一方、父親では「フルタイム」が95.4％と大半を占めている。

子どもの年齢別に母親の就労状況をみると、0歳では「フルタイム（育休中等）」（23.3％）や「未就労（就労経験あり）」（20.7％）の割合がそれぞれ2割を超えているが、1歳以降になるとこれらの割合は1割台以下に低下し、代わって「フルタイム」や「パート・アルバイト等」での就労割合が高まる。

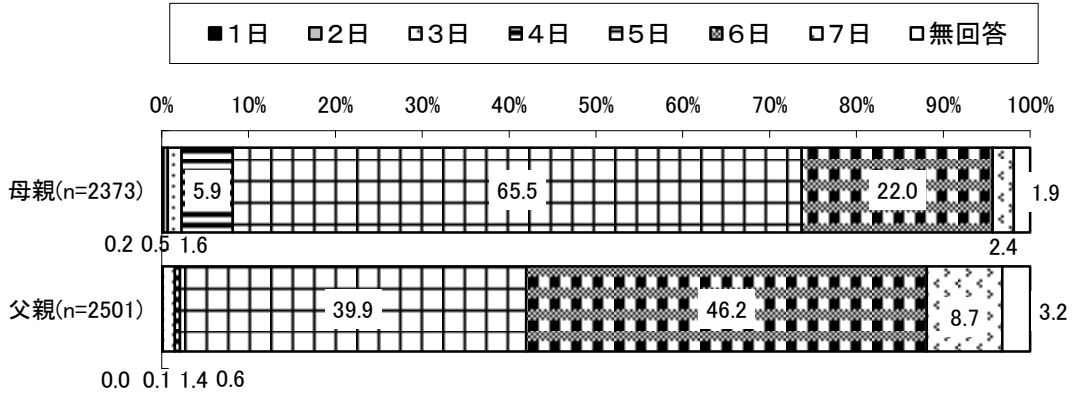
図表－65 子どもの年齢別 保護者の就労状況【母親】（単位：％）

	調査数（n）	フルタイム	フルタイム（育休中等）	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等（育休中等）	未就労（就労経験あり）	未就労（就労経験なし）	無回答	
全体	2,809	47.1	10.3	22.6	4.5	13.4	0.9	1.3	
子どもの年齢	0歳	545	28.8	23.3	17.4	7.7	20.7	1.5	0.6
	1歳	403	51.9	9.7	18.6	3.7	12.2	1.2	2.7
	2歳	442	48.2	9.7	24.4	6.3	10.6	0.5	0.2
	3歳	437	54.0	7.1	24.9	1.6	11.2	0.5	0.7
	4歳	480	53.3	6.3	21.7	4.0	11.9	0.4	2.5
	5歳	437	51.0	2.7	29.7	1.8	12.4	0.9	1.4
	無回答	65	44.6	9.2	23.1	10.8	10.8	1.5	0.0

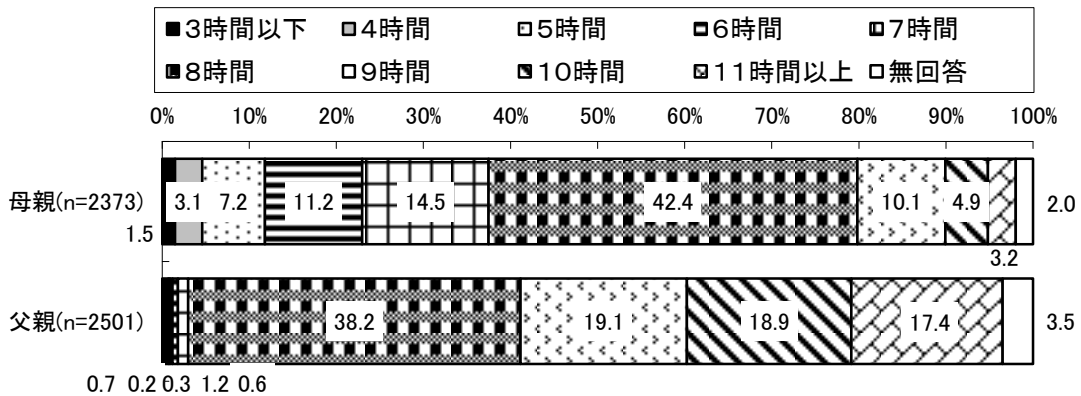
(2) 保護者の就労日数・就労時間

問10(1)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

図表-66 週あたり就労日数



図表-67 一日あたり就労時間



フルタイムやパート・アルバイト等で就労している保護者に、就労日数や就労時間などの状況をたずねた。

週あたりの就労日数は、母親では「5日」(65.5%)の割合が6割を超えて最も高く、次いで「6日」(22.0%)となっており、平均5.2日/週であった。このうち、フルタイムの母親：5.4日/週、パート・アルバイト等の母親：4.8日/週であった。

父親は「6日」(46.2%)の割合が5割弱と最も高く、次いで「5日」(39.9%)となっており、平均5.6日/週であった。

一日あたりの就労時間は、母親では「8時間」(42.4%)の割合が最も高く、次いで「7時間」(14.5%)、「6時間」(11.2%)、「9時間」(10.1%)と8時間を中心に6～9時間台に集中しており、平均7.7時間/日であった。このうち、フルタイムの母親：8.5時間/日、パート・アルバイト等の母親：6.1時間/日であった。

一方、フルタイム就労者が大半を占める父親では「8時間」(38.2%)の割合が最も高いが、次いで「9時間」(19.1%)、「11時間以上」(17.4%)、「10時間」(18.9%)と8時間以上の時間帯もそれぞれ1割以上と高く、平均9.6時間/日であった。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

図表－68 就労状況別 週あたり就労日数・一日あたり就労時間【母親】（単位：％）

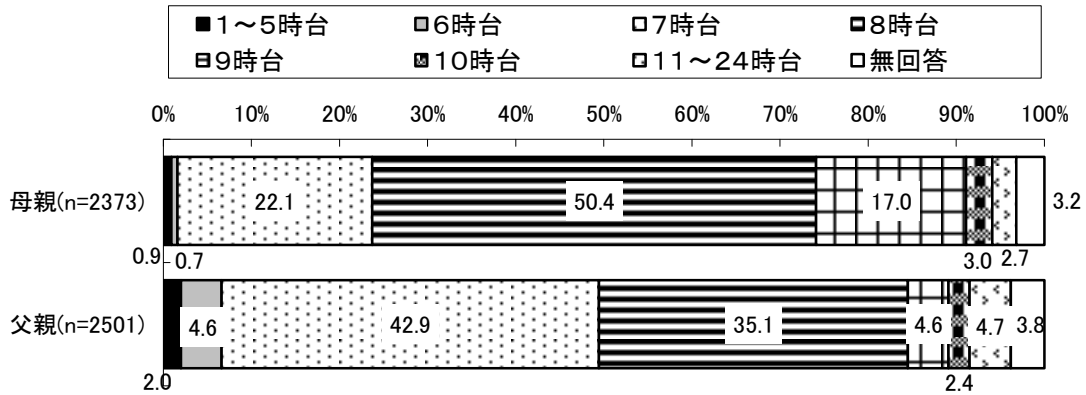
		調査数 (n)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	(平均日数)
全体		2,373	0.2	0.5	1.6	5.9	65.5	22.0	2.4	1.9	5.2日
母親の 就労 状況	フルタイム	1,323	0.0	0.2	0.1	1.0	65.2	29.6	3.6	0.5	5.4日
	フルタイム (産休・育休・介護休業中)	288	0.0	0.0	0.3	2.1	76.0	17.0	1.0	3.5	5.2日
	パート・アルバイト等	636	0.2	1.4	5.3	14.5	62.9	11.6	0.8	3.3	4.8日
	パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	126	3.2	0.0	1.6	23.8	58.7	5.6	0.8	6.3	4.7日

		調査数 (n)	3時間 以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間 以上	無回答	(平均時間数)
全体		2,373	1.5	3.1	7.2	11.2	14.5	42.4	10.1	4.9	3.2	2.0	7.7時間
母親の 就労 状況	フルタイム	1,323	0.4	0.1	0.8	2.8	11.0	59.1	13.7	7.0	4.3	0.9	8.5時間
	フルタイム (産休・育休・介護休業中)	288	1.4	0.7	0.3	2.1	9.0	55.9	16.7	6.9	3.8	3.1	8.3時間
	パート・アルバイト等	636	3.9	9.3	19.2	28.9	24.1	8.6	1.6	0.3	1.1	3.0	6.1時間
	パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	126	1.6	8.7	29.4	30.2	15.1	5.6	0.8	2.4	0.0	6.3	5.9時間

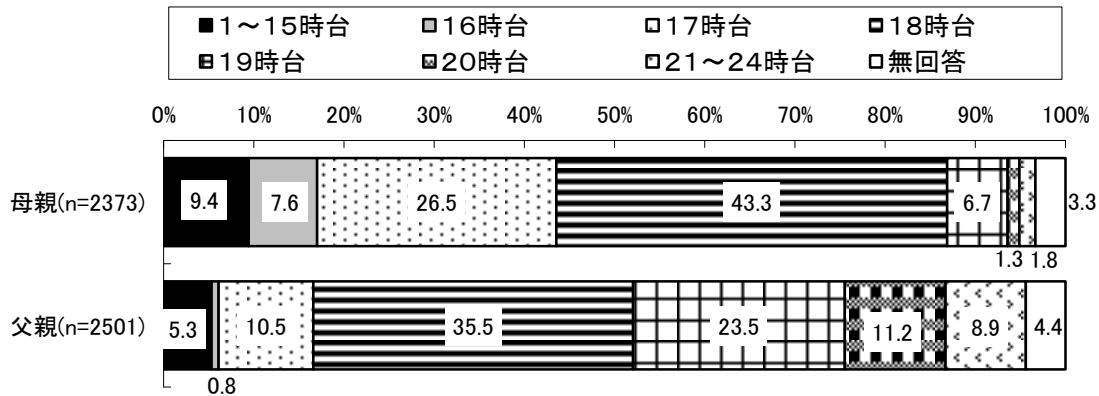
(3) 保護者の出勤・帰宅時刻

問10(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

図表-69 保護者の出勤時刻



図表-70 保護者の帰宅時刻

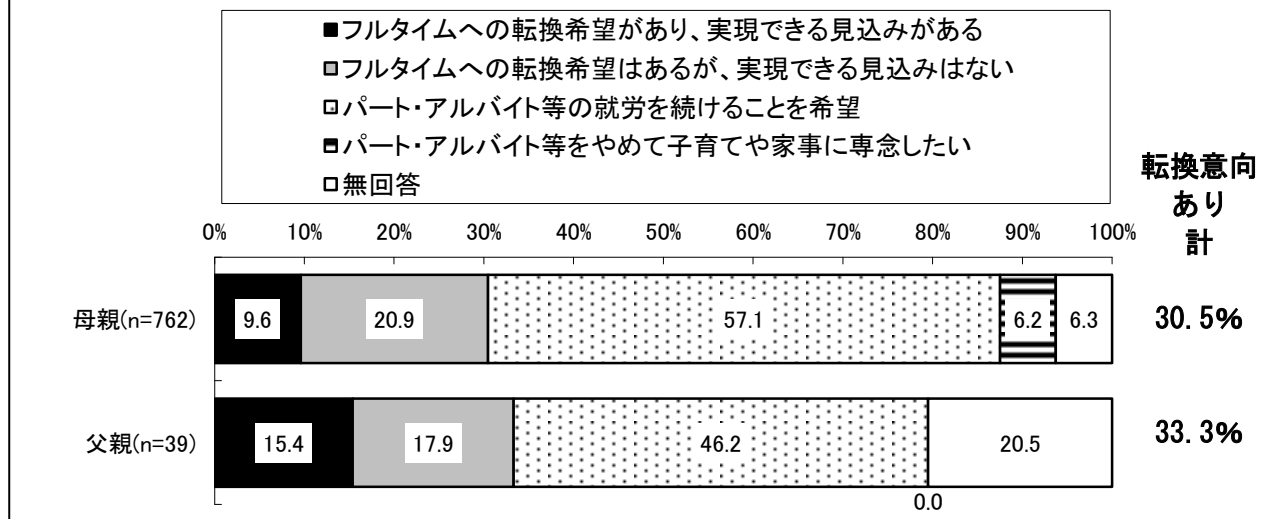


フルタイムやパート・アルバイト等で就労している保護者に、出勤・帰宅の時刻をたずねた。母親では、出勤時刻は「8時台」(50.4%)、帰宅時刻は「18時台」(43.3%)の割合が最も高い。一方、父親では、出勤時刻は「7時台」(42.9%)の割合が最も高く、次いで「8時台」(35.1%)となっている。帰宅時刻は「18時台」(35.5%)の割合が最も高く、次いで「19時台」(23.5%)となっており、「20時台」(11.2%)及び「21~24時台」(8.9%)といった20時台以降の時間帯もそれぞれ1割前後を占めている。

(4) パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望

問11 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。【○は1つだけ】

図表-71 パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望



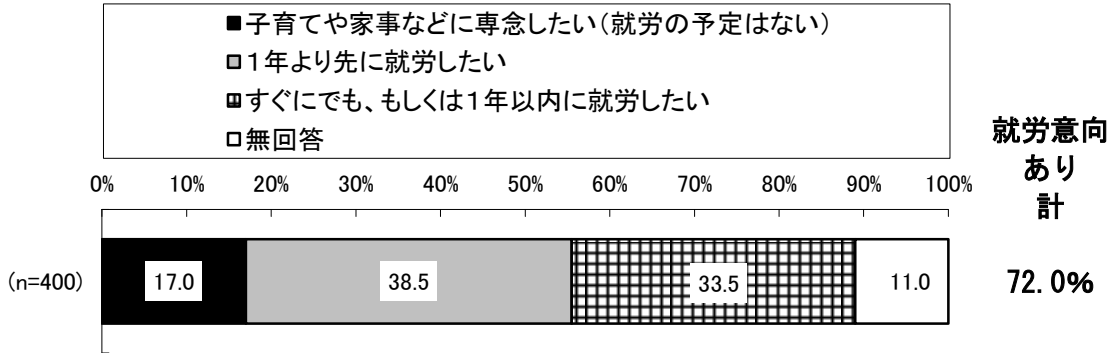
パート・アルバイト等で就労している保護者に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、母親・父親ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（母親57.1%、父親46.2%）の割合が最も高くなっているものの、フルタイムへの転換意向がある人（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の合計）の割合も、母親・父親それぞれで3割を超えている（母親30.5%、父親33.3%）。

(5) 未就労者の就労希望

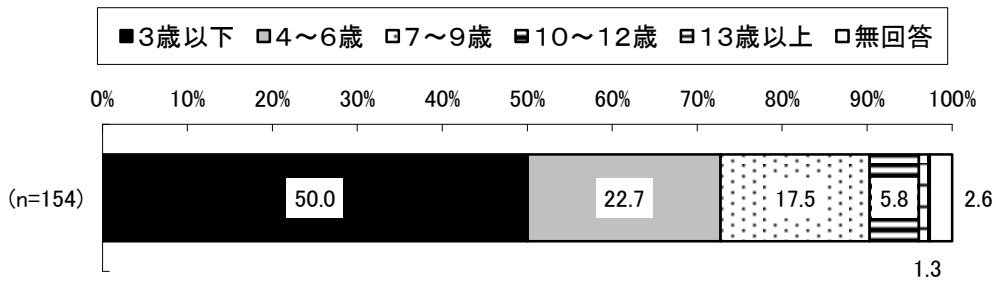
① 母親

問12(1) 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】

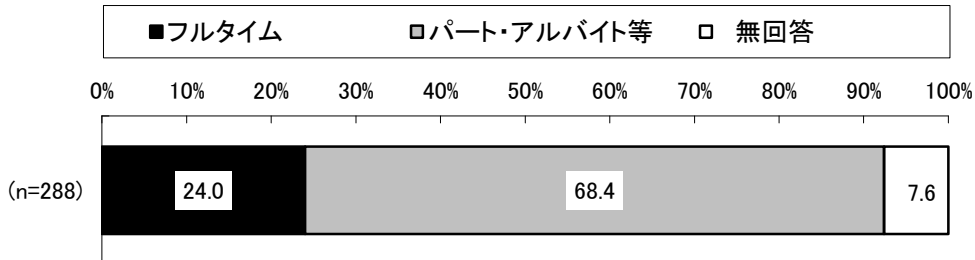
図表-72 未就労者の就労希望【母親】



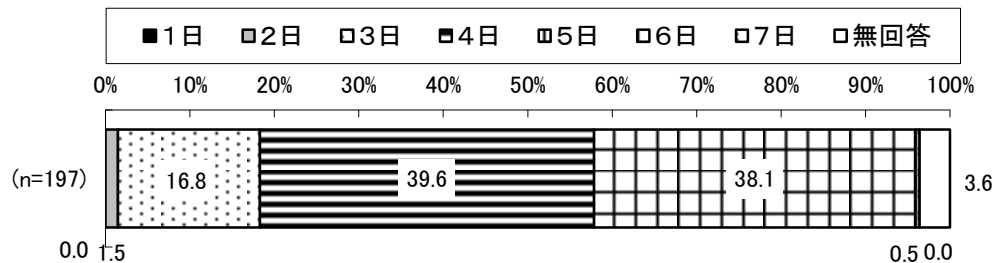
図表-73 1年より先で働き出すときの末子の年齢【母親】



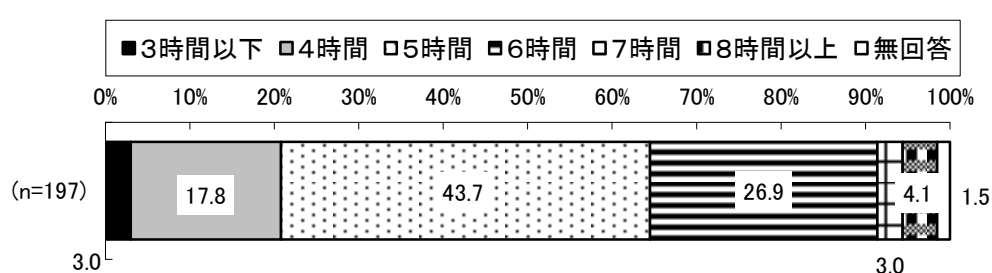
図表-74 未就労者が希望する就労形態【母親】



図表-75 パート・アルバイト等就労希望者の週あたり就労希望日数【母親】



図表-76 パート・アルバイト等就労希望者の一日あたり就労希望時間【母親】



現在就労していない母親に、今後の就労希望をたずねたところ、「1年より先に就労したい」(38.5%)の割合が最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(33.5%)となっており、これらを合わせると未就労の母親の7割強(72.0%)が就労を希望している。

「1年より先に就労したい」と回答した母親に、一番下の子どもが何歳になったころに働きたいかたずねたところ、「3歳以下」(50.0%)の割合が5割と最も高く、次いで「4～6歳」(22.7%)となっており、平均で4.3歳であった。

また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した母親に、希望する就労形態についてたずねたところ、「パート・アルバイト等」(68.4%)が7割弱を占めている。

パート・アルバイト等での就労を希望している母親に就労日数・就労時間の希望をたずねたところ、週あたりの就労希望日数は「4日」(39.6%)と「5日」(38.1%)の割合がそれぞれ4割程度と高く、平均4.2日/週であった。また、一日あたりの就労希望時間は「5時間」(43.7%)の割合が最も高く、次いで「6時間」(26.9%)となっており、平均5.2時間/日であった。

② 父親

問12(2) 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】

図表-77 未就労者の就労希望【父親】

調査数 (n)	子の専 念して はたさ ない(な ど)	1年 より 先に 就 労	すぐ はぐ た1 に い 年 で も 内 に も 就 し	無 回 答
14	3	0	6	5
100.0	21.4	0.0	42.9	35.7

(単位:上段=実数、下段=%)

図表-78 未就労者が希望する就労形態【父親】

(n) 調 査 数	フル タイム	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト 等	無 回 答
6	3	0	3
100.0	50.0	0.0	50.0

(単位:上段=実数、下段=%)

現在就労していない父親(14人)に、今後の就労希望をたずねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.9%(6人)で最も割合が高く、これらの父親(6人)に、希望する就労形態についてたずねたところ、「フルタイム」希望が50.0%(3人)であり、「パート・アルバイト」希望はいなかった。

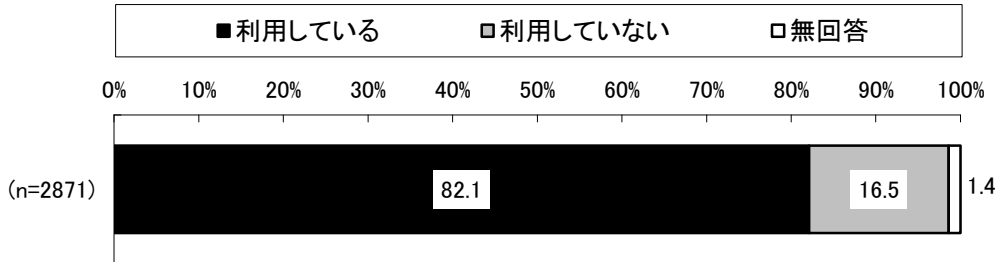
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

(1) 平日の定期的な教育・保育の利用状況

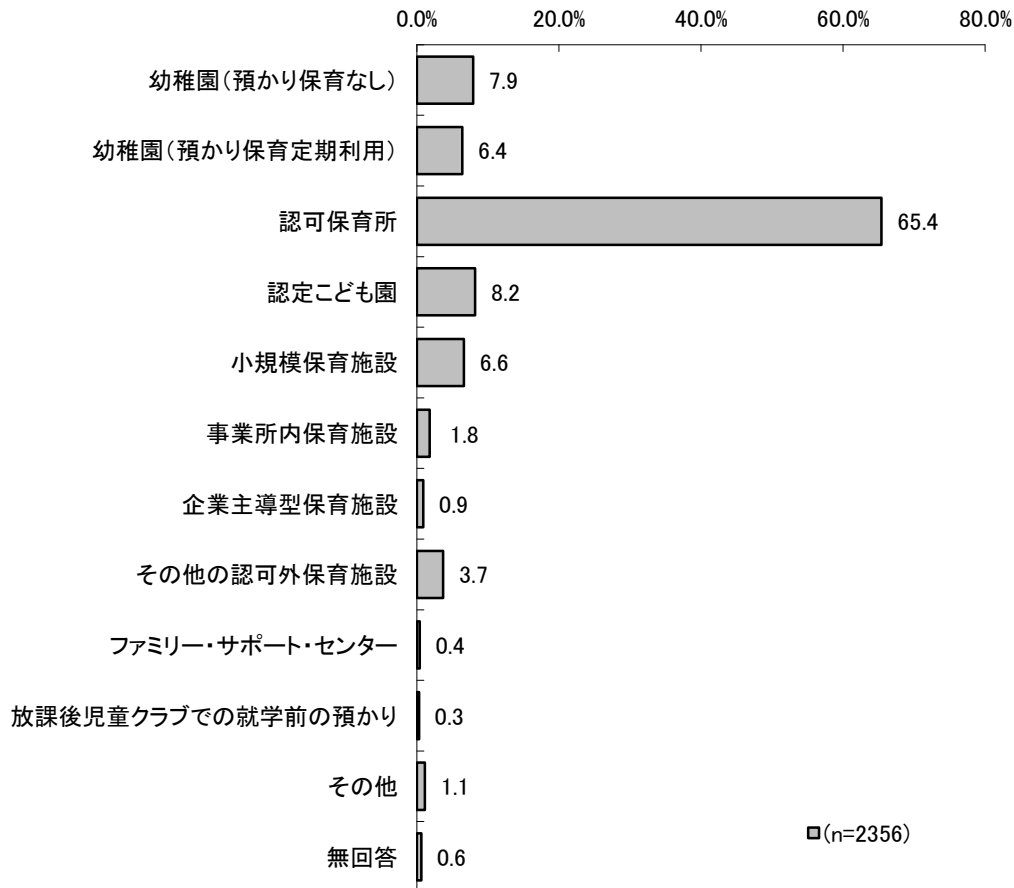
問13 調査対象のお子さんは現在、平日に保育所や幼稚園等を定期的に利用していますか。【○は1つだけ】

問13-1 調査対象のお子さんは、平日どのような保育所・幼稚園等のサービスを利用していますか。年間を通じて定期的に利用しているサービスをお答えください。【○はあてはまるものすべて】

図表-79 平日の定期的な教育・保育の利用状況



図表-80 利用している教育・保育の種類



平日の定期的な教育・保育の利用状況では、「利用している」(82.1%)が8割強を占めている。利用者が利用している教育・保育の種類では、「認可保育所」(65.4%)の割合が6割を超えて突出して高く、その他のサービスはいずれも1割未満に留まっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では未利用者が6割(59.9%)を占めているが、以降、年齢とともに利用者の割合が高まり、2歳以降は利用者が9割を超えている。利用サービスは4歳までは「認可保育所」が6~7割台を占めているが、5歳になると5割(49.1%)に低下し、代わって「幼稚園(預かり保育なし)」(21.9%)や「幼稚園(預かり保育定期利用)」(18.0%)、「認定こども園」

第4章 就学前児童保護者調査の結果

(11.8%)の利用割合が高まっている。

家庭類型別にみると、利用者の割合は『共働き』の家庭で87.2%、『一方のみ就労』の家庭で50.8%となっている。

居住地区別にみると、利用者の割合は中部(72.7%)・白保(76.2%)で他地区に比べてやや低く、7割台に留まる。

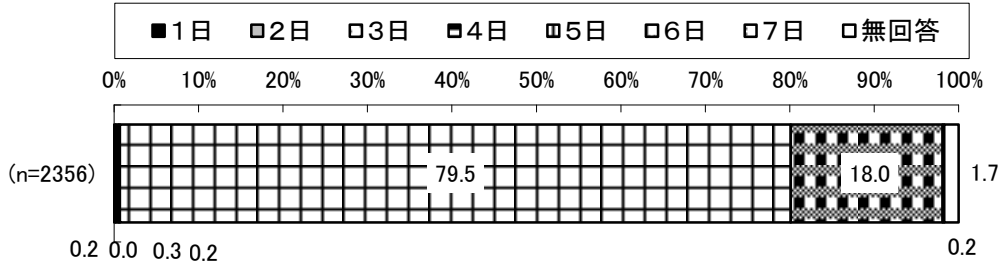
図表-81 子どもの年齢別・家庭類型別・居住地区別
平日の定期的な教育・保育の利用状況、利用している教育・保育の種類(単位:%)

	調査数(n)	平日の定期的な教育・保育の利用状況			調査数(n)	利用している教育・保育等の種類												
		利用している	利用していない	無回答		なし	幼稚園(預かり保育)	幼稚園(預かり保育)	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	事業所内保育施設	企業主導型保育施設	施設	その他の認可外保育	ファミリー・サポート	放課後児童クラブでの就学前の預かり	その他
全体	2,871	82.1	16.5	1.4	2,356	7.9	6.4	65.4	8.2	6.6	1.8	0.9	3.7	0.4	0.3	1.1	0.6	
子どもの年齢	0歳	553	39.6	59.9	0.5	219	0.5	0.5	61.2	5.9	17.4	5.5	1.8	5.9	0.5	0.0	1.4	0.9
	1歳	410	83.9	14.1	2.0	344	0.9	0.9	65.4	6.4	16.6	4.4	2.6	4.4	0.3	0.0	0.9	0.9
	2歳	451	91.4	7.8	0.9	412	1.5	0.7	72.6	4.6	12.4	1.9	1.5	5.1	0.5	0.0	0.5	1.0
	3歳	443	94.4	4.7	0.9	418	6.7	3.1	77.0	8.6	0.5	1.0	0.0	2.9	0.2	0.0	1.0	0.5
	4歳	496	95.2	2.8	2.0	472	10.0	10.2	65.5	10.4	0.4	0.6	0.2	3.2	0.2	0.2	0.4	0.4
	5歳	450	96.4	1.8	1.8	434	21.9	18.0	49.1	11.8	0.5	0.0	0.2	2.5	0.5	1.2	2.5	0.0
	無回答	68	83.8	11.8	4.4	57	12.3	8.8	66.7	7.0	7.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.8	0.0	0.0
全体	2,871	82.1	16.5	1.4	2,356	7.9	6.4	65.4	8.2	6.6	1.8	0.9	3.7	0.4	0.3	1.1	0.6	
家庭類型	ひとり親	273	88.6	8.8	2.6	242	6.6	6.6	68.6	9.5	6.2	1.7	0.0	2.1	0.4	0.0	1.2	0.4
	共働き(両方フルタイム)	1,388	87.4	11.6	1.0	1,213	3.9	5.4	72.6	7.5	5.4	1.7	0.9	3.0	0.5	0.2	1.0	0.5
	共働き(フルタイムとパート等)	697	87.5	11.3	1.1	610	4.9	8.5	63.1	7.9	8.9	2.8	1.1	3.8	0.2	0.3	0.7	0.7
	共働き(両方パート等)	14	57.1	35.7	7.1	8	12.5	12.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	369	50.9	49.1	0.0	188	44.1	4.8	24.5	11.7	5.3	0.0	1.1	10.1	0.5	1.6	2.1	0.5
	一方のみ就労(パート等と未就労)	11	45.5	54.5	0.0	5	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	100.0	0.0	0.0	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(再掲)共働き計	2,099	87.2	11.7	1.1	1,831	4.3	6.5	69.4	7.6	6.6	2.1	1.0	3.3	0.4	0.2	0.9	0.5
(再掲)一方のみ就労計	380	50.8	49.2	0.0	193	44.6	5.2	24.4	11.9	5.2	0.0	1.0	9.8	0.5	1.6	2.1	0.5	
無回答	115	74.8	16.5	8.7	86	7.0	7.0	62.8	10.5	12.8	0.0	1.2	3.5	0.0	0.0	2.3	1.2	
全体	2,871	82.1	16.5	1.4	2,356	7.9	6.4	65.4	8.2	6.6	1.8	0.9	3.7	0.4	0.3	1.1	0.6	
居住地区	北部	39	87.2	10.3	2.6	34	0.0	35.3	64.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
	西部	57	80.7	19.3	0.0	46	8.7	26.1	54.3	0.0	6.5	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	中部	44	72.7	22.7	4.5	32	6.3	15.6	65.6	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	白保	84	76.2	20.2	3.6	64	10.9	15.6	65.6	3.1	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮良	103	85.4	14.6	0.0	88	3.4	3.4	80.7	1.1	3.4	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	1.1
	大浜	291	81.8	18.2	0.0	238	6.7	3.4	47.1	29.8	7.1	2.5	0.8	2.5	0.4	0.4	2.5	0.8
	平真	524	81.5	17.6	1.0	427	7.5	3.5	70.5	7.0	7.5	1.4	0.2	3.7	0.7	0.2	1.6	0.7
	八島	187	80.7	18.2	1.1	151	13.2	10.6	58.9	8.6	4.6	0.7	0.7	3.3	0.0	0.0	0.7	0.0
	登野城	554	80.7	17.9	1.4	447	11.2	5.4	61.7	4.7	7.8	2.0	2.7	4.5	0.2	0.7	1.6	0.9
	石垣	281	86.8	12.1	1.1	244	6.1	7.4	73.0	1.6	5.3	1.2	0.8	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	新川	399	82.0	16.0	2.0	327	7.3	3.4	69.1	5.5	9.2	1.5	0.6	4.6	0.0	0.6	1.2	0.6
	真喜良	166	80.1	18.7	1.2	133	4.5	5.3	72.9	12.0	2.3	2.3	0.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	142	88.0	7.7	4.2	125	6.4	8.0	64.0	12.0	8.0	2.4	0.0	0.8	1.6	0.0	0.0	0.8

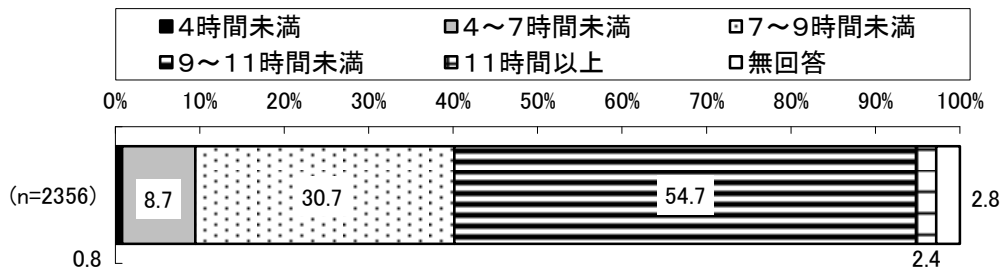
(2) 平日の定期的な教育・保育の利用日数等

問13-2(1) 平日に定期的に利用している保育所や幼稚園等について、どのくらい利用していますか。

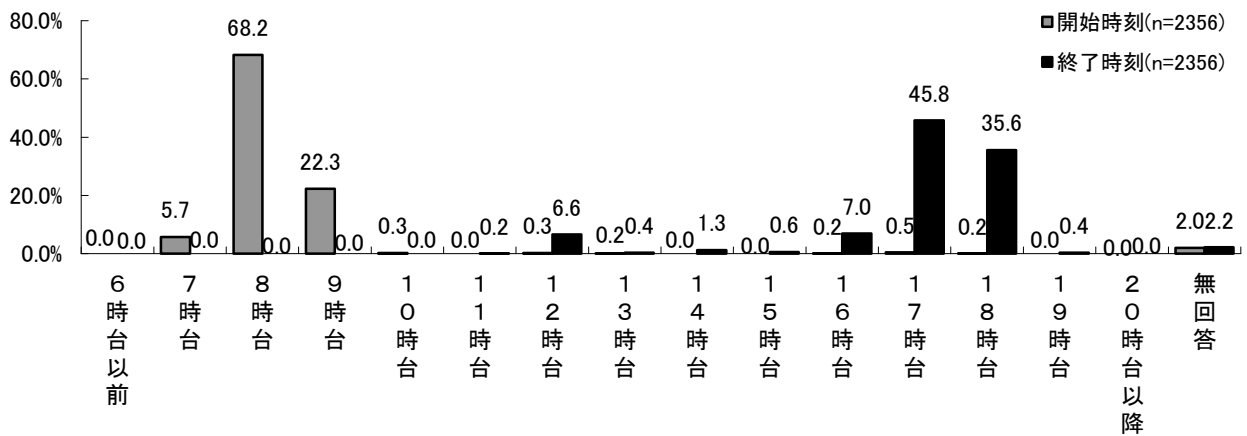
図表-82 平日の定期的な教育・保育の週あたり利用日数



図表-83 平日の定期的な教育・保育の一日あたり利用時間



図表-84 平日の定期的な教育・保育の利用開始・終了時刻



現在の週あたり利用日数では、「5日」(79.5%)の割合が8割と最も高く、次いで「6日」(18.0%)となっており、平均日数は5.2日/週であった。

現在の一日あたり利用時間は、「9～11時間未満」(54.7%)の割合が5割を超えて最も高く、次いで「7～9時間未満」(30.7%)となっており、平均8.5時間/日であった。

現在の利用開始時刻は「8時台」(68.2%)の割合が最も高く、次いで「9時台」(22.3%)、利用終了時刻は「17時台」(45.8%)の割合が最も高く、次いで「18時台」(35.6%)となっている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

利用している教育・保育の種類別にみると、現在の週あたり利用日数は、大半のサービスで「5日」の割合が最も高く、幼稚園では「5日」が9割以上と大半を占めている（幼稚園〔預かり保育なし〕：98.1%、幼稚園〔預かり保育定期利用〕：93.0%）。一方、「6日」の割合は認可保育所（21.3%）や小規模保育施設（23.2%）、事業所内保育施設（34.1%）、企業主導型保育施設（27.8%）、その他の認可外保育施設（24.7%）で高く、2～3割前後を占めている。

現在の一日あたり利用時間を平均利用時間で比較すると、幼稚園（預かり保育なし）：4.4時間／日に対して、幼稚園（預かり保育定期利用）：8.6時間／日、認可保育所：8.9時間／日、認定こども園：8.4時間／日、小規模保育施設：8.7時間／日などとなっている。

図表－85 利用している教育・保育の種類別 週あたり利用日数（単位：％）

	(n 調査数)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	(平均日数)	
全体	2,356	0.2	0.0	0.3	0.2	79.5	18.0	0.2	1.7	5.2	
利用している種類教育・保育	幼稚園(預かり保育なし)	159	0.0	0.0	0.6	0.0	98.1	0.6	0.6	0.0	5.0
	幼稚園(預かり保育定期利用)	143	0.7	0.0	0.7	0.7	93.0	2.1	0.7	2.1	5.0
	認可保育所	1,510	0.0	0.0	0.1	0.1	77.0	21.3	0.0	1.6	5.2
	認定こども園	173	0.0	0.0	0.0	0.0	83.2	12.7	1.2	2.9	5.2
	小規模保育施設	138	0.0	0.0	0.0	0.0	74.6	23.2	0.0	2.2	5.2
	事業所内保育施設	41	0.0	0.0	0.0	0.0	63.4	34.1	0.0	2.4	5.4
	企業主導型保育施設	18	0.0	0.0	0.0	0.0	72.2	27.8	0.0	0.0	5.3
	その他の認可外保育施設	73	0.0	0.0	0.0	1.4	72.6	24.7	0.0	1.4	5.2
	ファミリー・サポート・センター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	放課後児童クラブでの就学前の預かり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	12	16.7	0.0	16.7	8.3	58.3	0.0	0.0	0.0	3.9
	複数の定期的教育・保育サービスを利用	75	0.0	0.0	0.0	1.3	88.0	9.3	0.0	1.3	5.1
	無回答	13	0.0	7.7	7.7	0.0	69.2	7.7	0.0	7.7	4.7

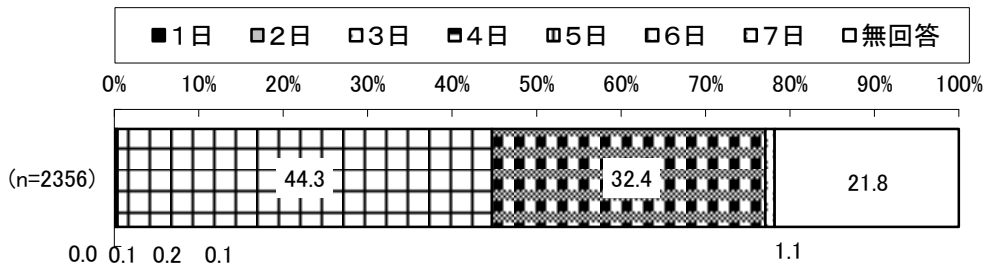
図表－86 利用している教育・保育の種類別 一日あたり利用時間（単位：％）

	調査数 (n)	4時間未満	4.5～7時間未満	7.5～9時間未満	9.5～11時間未満	11時間以上	無回答	平均時間 (時間)	
全体	2,356	0.8	8.7	30.7	54.7	2.4	2.8	8.5	
利用している種類教育・保育	幼稚園(預かり保育なし)	159	4.4	90.6	1.3	3.1	0.0	0.6	4.4
	幼稚園(預かり保育定期利用)	143	0.0	8.4	23.1	65.0	0.0	3.5	8.6
	認可保育所	1,510	0.1	0.6	32.9	60.4	3.2	2.8	8.9
	認定こども園	173	0.0	9.8	34.1	50.3	1.7	4.0	8.4
	小規模保育施設	138	0.7	1.4	42.0	51.4	1.4	2.9	8.7
	事業所内保育施設	41	0.0	0.0	48.8	48.8	0.0	2.4	8.7
	企業主導型保育施設	18	0.0	0.0	22.2	72.2	5.6	0.0	9.2
	その他の認可外保育施設	73	0.0	1.4	32.9	64.4	0.0	1.4	8.8
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	8.0
	放課後児童クラブでの就学前の預かり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	12	50.0	8.3	16.7	16.7	0.0	8.3	4.8
	複数の定期的教育・保育サービスを利用	75	0.0	22.7	28.0	41.3	4.0	4.0	7.8
	無回答	13	15.4	7.7	15.4	53.8	0.0	7.7	7.5

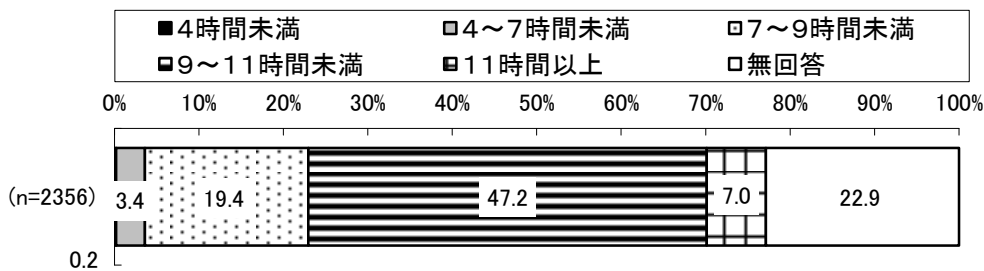
(3) 平日の定期的な教育・保育の利用希望日数等

問13-2(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。

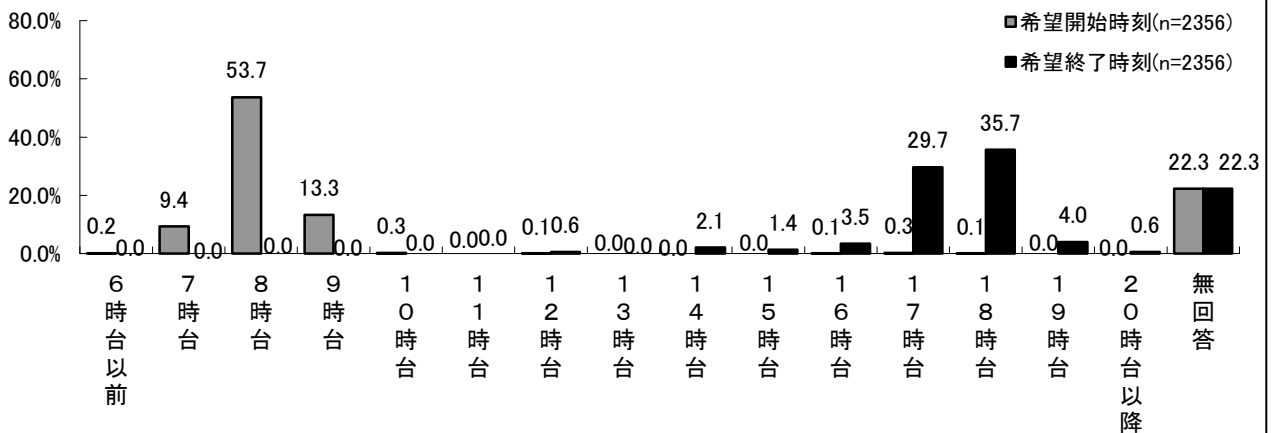
図表-87 平日の定期的な教育・保育の週あたり利用希望日数



図表-88 平日の定期的な教育・保育の一日あたり利用希望時間



図表-89 平日の定期的な教育・保育の希望開始・終了時刻



平日の定期的な教育・保育の利用者に、事業の利用日数等の希望についてたずねた。

週あたり利用希望日数については「5日」(44.3%)の割合が4割を超えて最も高いが、続く「6日」(32.4%)も3割を超えている。

一日あたり利用希望時間では「9～11時間未満」(47.2%)の割合が5割弱と最も高く、次いで「7～9時間未満」(19.4%)となっている。平均希望時間は9.1時間/日であり、現在の平均利用時間(8.5時間/日)よりも0.6時間/日長くなっている。

希望する利用開始時刻は「8時台」(53.7%)、終了時刻は「18時台」(35.7%)の割合が最も高くなっている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

利用している教育・保育の種類別にみると、週あたり利用希望日数は、大半のサービスで「5日」の割合が最も高いが、「6日」の割合は認可保育所（36.0%）や小規模保育施設（38.4%）、事業所内保育施設（39.0%）、企業主導型保育施設（33.3%）、その他の認可外保育施設（35.6%）等で高く、3割を超えている。

平均利用希望時間は、幼稚園〔預かり保育なし〕：7.4時間／日、幼稚園〔預かり保育定期利用〕：9.0時間／日、認可保育所利用者：9.3時間／日、認定こども園利用者：9.0時間／日、小規模保育施設利用者：9.0時間／日などとなっている。

図表－90 利用している教育・保育の種類別 週あたり利用希望日数（単位：%）

	調査数 (n)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均希望日数 (日)	現在の平均利用日数 (日)	希望・現在 (日)	
全体	2,356	0.1	0.1	0.2	0.0	44.3	32.4	1.1	21.8	5.4	5.2	0.2	
利用している教育・保育等の種類	幼稚園(預かり保育なし)	159	0.0	0.0	0.0	0.0	74.2	8.8	1.9	15.1	5.1	5.0	0.1
	幼稚園(預かり保育定期利用)	143	0.7	0.7	0.7	0.0	44.8	23.1	1.4	28.7	5.3	5.0	0.3
	認可保育所	1,510	0.0	0.0	0.2	0.1	41.1	36.0	1.1	21.6	5.5	5.2	0.3
	認定こども園	173	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0	24.3	1.2	26.6	5.4	5.2	0.2
	小規模保育施設	138	0.0	0.0	0.0	0.0	39.1	38.4	1.4	21.0	5.5	5.2	0.3
	事業所内保育施設	41	0.0	0.0	0.0	0.0	41.5	39.0	0.0	19.5	5.5	5.4	0.1
	企業主導型保育施設	18	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	33.3	0.0	27.8	5.5	5.3	0.2
	その他の認可外保育施設	73	0.0	0.0	0.0	0.0	47.9	35.6	0.0	16.4	5.4	5.2	0.2
	ファミリー・サポート・センター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	放課後児童クラブでの就学前の預かり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	12	0.0	8.3	8.3	0.0	58.3	16.7	0.0	8.3	4.7	3.9	0.8
	複数の定期的教育・保育サービスを利用	75	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0	32.0	1.3	22.7	5.4	5.1	0.3
	無回答	13	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	23.1	0.0	38.5	5.4	4.7	0.7

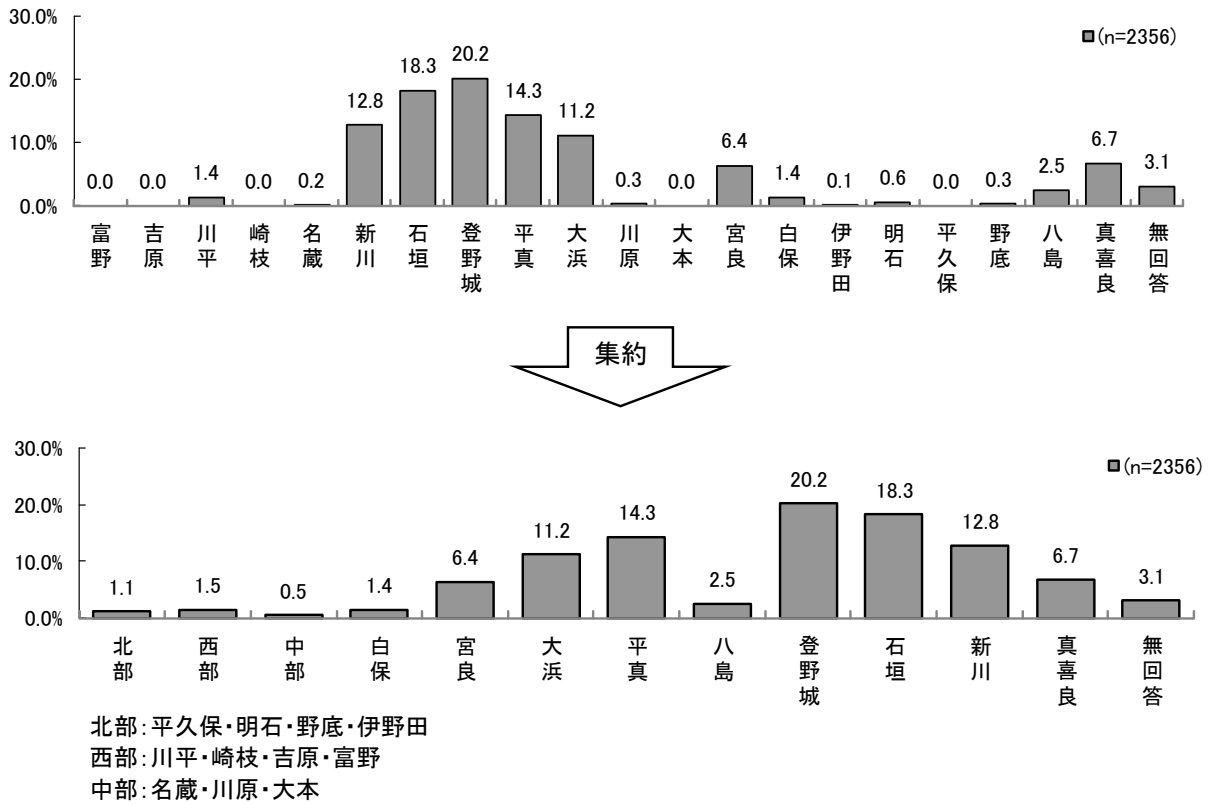
図表－91 利用している教育・保育の種類別 一日あたり利用希望時間（単位：%）

	調査数 (n)	4時間未満	4時57時間未満	7時59時間未満	9時11時間未満	11時間以上	無回答	平均希望時間 (時間)	現在の平均利用時間 (時間)	希望・現在 (時間)	
全体	2,356	0.2	3.4	19.4	47.2	7.0	22.9	9.1	8.5	0.6	
利用している教育・保育等の種類	幼稚園(預かり保育なし)	159	0.0	29.6	32.7	20.1	1.3	16.4	7.4	4.4	3.0
	幼稚園(預かり保育定期利用)	143	0.0	4.2	15.4	46.9	3.5	30.1	9.0	8.6	0.4
	認可保育所	1,510	0.1	0.3	17.9	50.9	8.0	22.7	9.3	8.9	0.4
	認定こども園	173	0.0	6.9	16.8	42.8	6.9	26.6	9.0	8.4	0.6
	小規模保育施設	138	0.0	2.2	23.9	50.0	2.2	21.7	9.0	8.7	0.3
	事業所内保育施設	41	0.0	0.0	29.3	43.9	7.3	19.5	9.2	8.7	0.5
	企業主導型保育施設	18	0.0	0.0	0.0	50.0	11.1	38.9	9.2	9.2	0.0
	その他の認可外保育施設	73	0.0	0.0	21.9	49.3	13.7	15.1	9.3	8.8	0.5
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	0.0
	放課後児童クラブでの就学前の預かり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	12	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	6.9	4.8	2.1
	複数の定期的教育・保育サービスを利用	75	0.0	5.3	22.7	40.0	6.7	25.3	8.8	7.8	1.0
	無回答	13	0.0	7.7	15.4	38.5	0.0	38.5	8.5	7.5	1.0

(4) 平日の定期的な教育・保育の利用施設の所在地

問13-3 現在、利用している保育所・幼稚園等はどこにありますか。【〇は1つだけ】

図表-92 平日の定期的な教育・保育の利用施設の所在地



平日の定期的な教育・保育の利用者に、利用施設の所在地をたずねたところ、「登野城」(20.2%)や「石垣」(18.3%)の割合がそれぞれ2割前後と高く、次いで「平真」(14.3%)、「新川」(12.8%)、「大浜」(11.2%)が1割台で続いている。

居住地区別にみると、八島以外は居住地区内に利用施設がある人の割合が最も高く、特に宮良(69.3%)や西部(65.2%)、北部(64.7%)では6割を超えている。一方、八島(21.2%)や中部(28.1%)、白保(34.4%)は居住地区内に利用施設がある人の割合が3割台以下と低く、他地区の施設利用の割合が高くなっている。

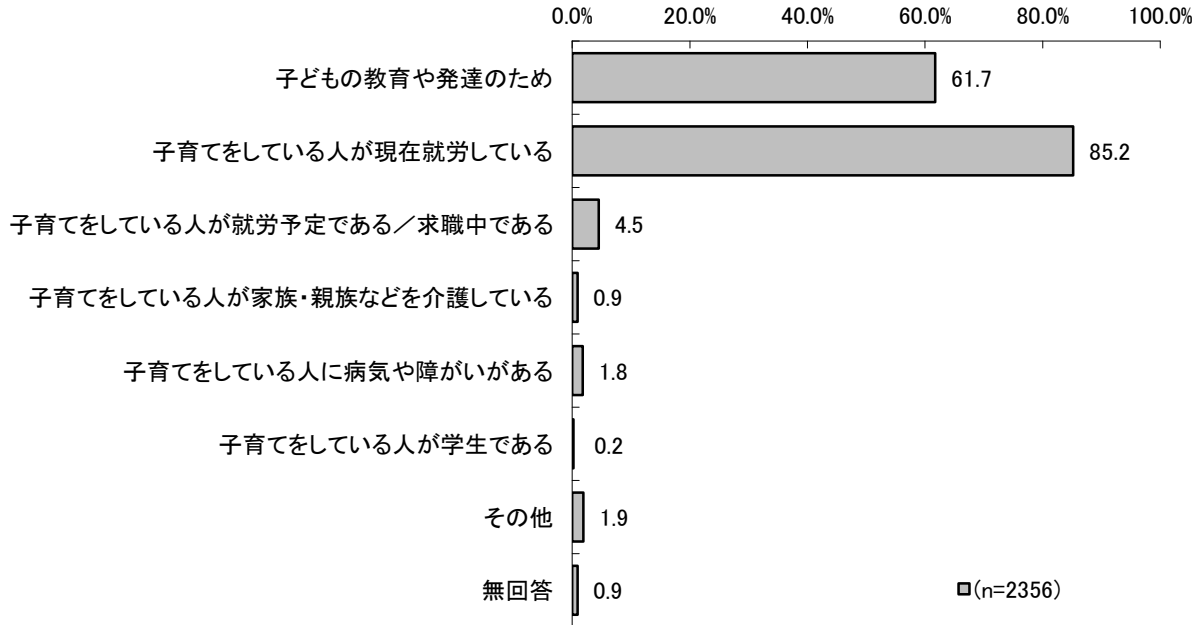
図表-93 居住地区別 平日の定期的な教育・保育の利用施設の所在地 (単位: %)

	(調査数)	北部	西部	中部	白保	宮良	大浜	平真	八島	登野城	石垣	新川	真喜良	無回答
全体	2,356	1.1	1.5	0.5	1.4	6.4	11.2	14.3	2.5	20.2	18.3	12.8	6.7	3.1
居住地区														
北部	34	64.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	5.9	0.0	17.6
西部	46	0.0	65.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	10.9	10.9	0.0	6.5	0.0
中部	32	0.0	0.0	28.1	0.0	18.8	18.8	3.1	0.0	12.5	3.1	12.5	3.1	0.0
白保	64	0.0	0.0	0.0	34.4	31.3	9.4	0.0	0.0	14.1	3.1	3.1	0.0	4.7
宮良	88	0.0	0.0	0.0	1.1	69.3	11.4	4.5	0.0	9.1	3.4	0.0	1.1	0.0
大浜	238	0.0	0.0	0.4	0.4	12.2	51.3	9.7	1.3	12.2	7.6	2.9	0.8	1.3
平真	427	0.0	0.2	0.2	0.2	3.5	10.1	41.2	2.6	20.1	12.6	4.0	3.7	1.4
八島	151	0.0	0.0	0.0	0.7	1.3	8.6	17.2	21.2	24.5	12.6	4.6	2.6	6.6
登野城	447	0.0	0.0	0.0	0.2	1.3	7.8	13.9	1.1	44.1	16.3	7.6	4.0	3.6
石垣	244	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	2.5	3.7	0.4	13.1	58.2	13.5	4.9	2.0
新川	327	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	1.5	4.0	1.2	10.4	20.2	49.5	8.6	3.7
真喜良	133	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.0	0.8	10.5	18.0	11.3	49.6	3.0
無回答	125	2.4	3.2	0.8	2.4	6.4	10.4	12.8	1.6	16.0	17.6	14.4	5.6	6.4

(5) 平日に定期的な教育・保育を利用している理由

問13-4 平日に定期的に保育所や幼稚園等を利用している理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-94 平日に定期的な教育・保育を利用している理由



平日の定期的な教育・保育の利用者に、利用している理由をたずねたところ、「子育てをしている人が現在就労している」(85.2%)の割合が8割を超えて最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(61.7%)となっており、その他の理由はいずれも5%未満であった。

利用している教育・保育の種類別にみると、幼稚園(預かり保育なし)では「子どもの教育や発達のため」(94.3%)が9割強、認可保育所～企業主導型保育施設では「子育てをしている人が現在就労している」の割合がそれぞれ8～9割を超えて最も高くなっている。

図表-95 利用している教育・保育の種類別

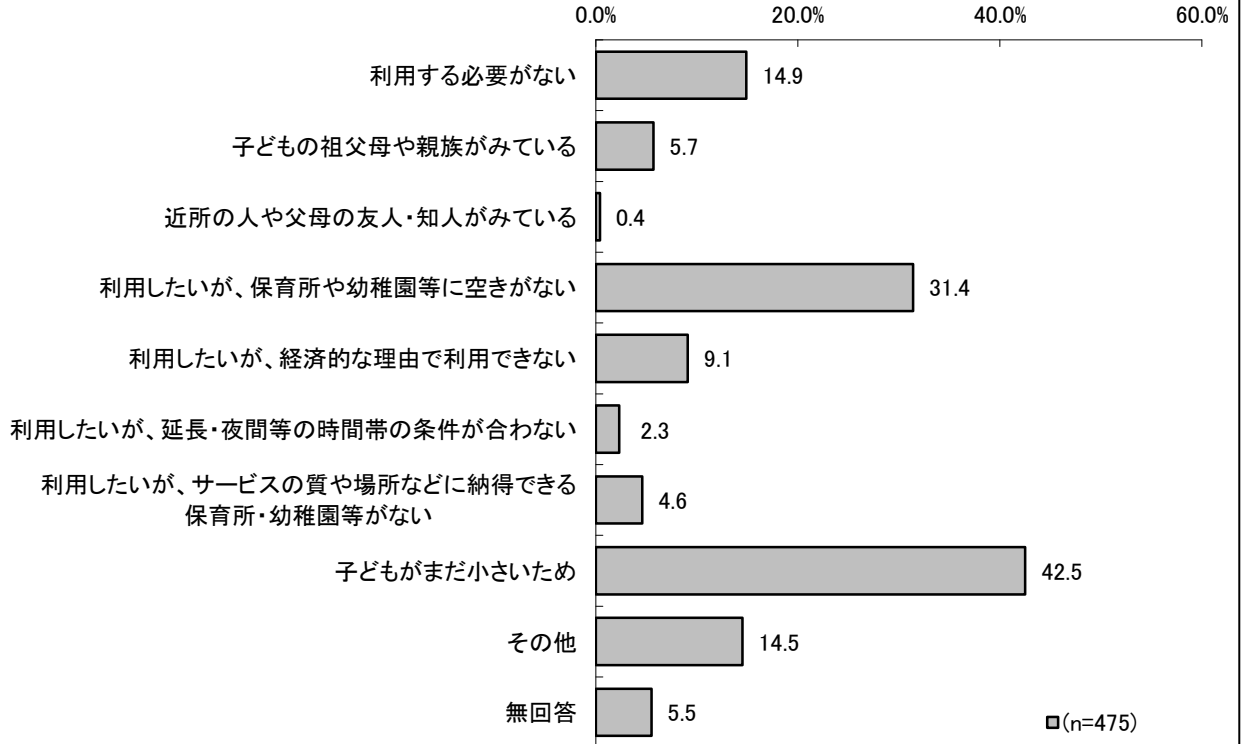
平日に定期的な教育・保育を利用している理由 (単位: %)

利用している教育・保育等の種類	調査数 (n)	子どもの教育や発達のため	子育てをしている人が現在就労している	子育てをしている人が就労予定である/求職中である	子育てをしている人が家族・親族などを介護している	子育てをしている人に病気や障がいがある	子育てをしている人が学生である	その他	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	2356	61.7	85.2	4.5	0.9	1.8	0.2	1.9	0.9	
利用している教育・保育等の種類	幼稚園(預かり保育なし)	159	94.3	23.9	3.1	0.6	0.6	0.0	1.3	0.0
	幼稚園(預かり保育定期利用)	143	73.4	81.8	2.1	0.0	1.4	0.0	0.7	2.8
	認可保育所	1510	56.8	93.6	4.1	0.9	1.7	0.3	1.6	0.9
	認定こども園	173	61.3	80.9	4.6	1.2	1.7	0.0	3.5	1.7
	小規模保育施設	138	55.1	87.7	8.7	1.4	4.3	0.0	0.7	0.7
	事業所内保育施設	41	56.1	92.7	7.3	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
	企業主導型保育施設	18	77.8	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の認可外保育施設	73	63.0	69.9	5.5	1.4	2.7	0.0	5.5	0.0
	ファミリー・サポート・センター	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後児童クラブでの就学前の預かり	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	12	91.7	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	複数の定期的教育・保育サービスを利用	75	72.0	76.0	6.7	2.7	2.7	0.0	6.7	0.0
	無回答	13	76.9	76.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

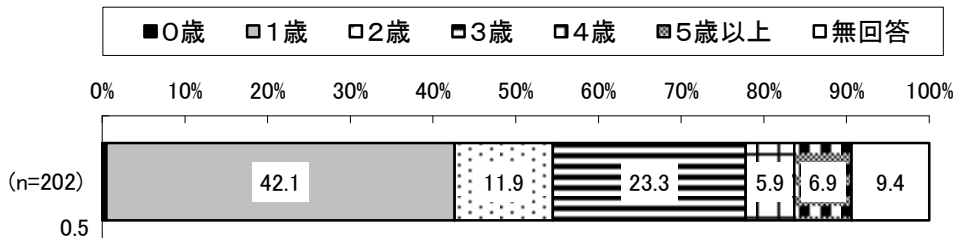
(6) 平日に定期的な教育・保育を利用していない理由

問13-5 定期的に保育所や幼稚園等を利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

図表-96 平日に定期的な教育・保育を利用していない理由



図表-97 「まだ子どもが小さいため」と回答した人が利用を開始する時期



平日に定期的な教育・保育を利用していない人に、その理由をたずねたところ、「子どもがまだ小さいため」(42.5%)の割合が4割強と最も高く、次いで「利用したいが、保育所や幼稚園等に空きがない」(31.4%)となっている。

「子どもがまだ小さいため」と回答した人に、子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えているかたずねたところ、「1歳」(42.1%)の割合が4割強と最も高く、次いで「3歳」(23.3%)、「2歳」(11.9%)と続き、平均2.2歳であった。

また、「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」と回答した人(11人)に利用希望時間帯をたずねたところ、希望開始時刻は「9時台」と「15時台」(それぞれ27.3% [3人])、希望終了時刻は「20時台以降」(54.5% [6人])等となっている。

利用していない理由について、子どもの年齢別にみると「子どもがまだ小さいため」や「利用したいが、保育所や幼稚園等に空きがない」の割合は0~2歳で高くなっている。

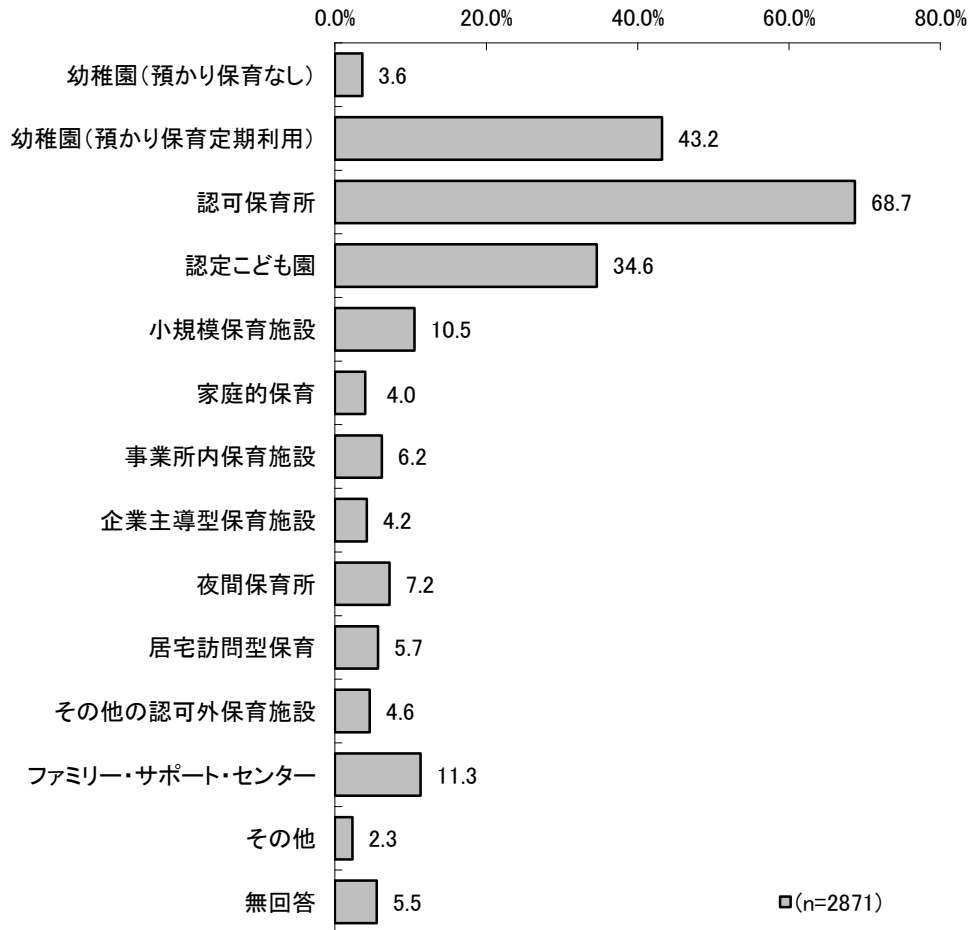
図表－98 子どもの年齢別・居住地区別
平日の定期的な教育・保育を利用していない理由（単位：％）

	調査数（n）	利用する必要がない	いる子どもの祖父母や親族がみて	が近所の人や父母の友人・知人がみている	園等に空きがない	で利用したいが、経済的な理由	の時間帯の条件が合わない	の場所などに納められない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答	
全体	475	14.9	5.7	0.4	31.4	9.1	2.3	4.6	42.5	14.5	5.5	
子どもの年齢	0歳	331	12.1	4.2	0.3	35.3	6.0	1.8	2.1	48.6	13.9	3.9
	1歳	58	22.4	8.6	1.7	31.0	19.0	1.7	10.3	39.7	15.5	1.7
	2歳	35	20.0	5.7	0.0	25.7	8.6	2.9	8.6	37.1	22.9	2.9
	3歳	21	23.8	9.5	0.0	9.5	28.6	9.5	28.6	9.5	4.8	14.3
	4歳	14	28.6	0.0	0.0	21.4	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	21.4
	5歳	8	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	無回答	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	50.0	12.5
居住地区	全体	475	14.9	5.7	0.4	31.4	9.1	2.3	4.6	42.5	14.5	5.5
	北部	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	西部	11	18.2	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1	63.6	9.1	0.0
	中部	10	50.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	40.0	50.0	10.0	0.0
	白保	17	5.9	0.0	0.0	23.5	5.9	0.0	0.0	47.1	17.6	5.9
	宮良	15	0.0	20.0	0.0	33.3	6.7	0.0	0.0	26.7	13.3	20.0
	大浜	53	9.4	7.5	0.0	39.6	15.1	0.0	5.7	39.6	18.9	3.8
	平真	92	17.4	5.4	1.1	30.4	6.5	1.1	2.2	47.8	15.2	3.3
	八島	34	20.6	0.0	0.0	26.5	5.9	2.9	5.9	41.2	23.5	2.9
	登野城	99	10.1	6.1	0.0	32.3	10.1	2.0	5.1	44.4	16.2	3.0
	石垣	34	11.8	2.9	0.0	55.9	8.8	0.0	2.9	35.3	2.9	5.9
	新川	64	23.4	4.7	0.0	28.1	12.5	3.1	4.7	39.1	9.4	7.8
	真喜良	31	12.9	6.5	0.0	12.9	9.7	16.1	3.2	25.8	16.1	16.1
	無回答	11	9.1	18.2	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	63.6	9.1	9.1

(7) 平日の定期的な教育・保育の利用意向

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、調査対象のお子さんについて、平日に「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。【〇はあてはまるものすべて】

図表-99 平日の定期的な教育・保育の利用意向



平日の定期的な教育・保育の利用意向では、「認可保育所」(68.7%)の割合が7割と最も高く、次いで「幼稚園(預かり保育定期利用)」(43.2%)、「認定こども園」(34.6%)となっている。

子どもの年齢別にみると、3歳までは「認可保育所」の割合が7割以上を占めて最も高いが、4歳以降は5割台以下に低下し、代わって「幼稚園(預かり保育定期利用)」の割合が5割前後に高まる。

家庭類型別にみると、『共働き』の家庭では「認可保育所」(73.6%)の割合が7割強と最も高いが、『一方のみ就労』の家庭では「認可保育所」(49.5%)と「認定こども園」(45.3%)、「幼稚園(預かり保育定期利用)」(44.7%)が4割台で並んでいる。また、ひとり親家庭では他に比べて「夜間保育所」(16.8%)の割合が高く、2割弱を占めている。

居住地区別にみると、「幼稚園(預かり保育定期利用)」の割合は西部(57.9%)や八島(57.2%)で、「認可保育所」の割合は宮良(85.4%)で、「認定こども園」の割合は大浜(54.3%)で高くなっている。

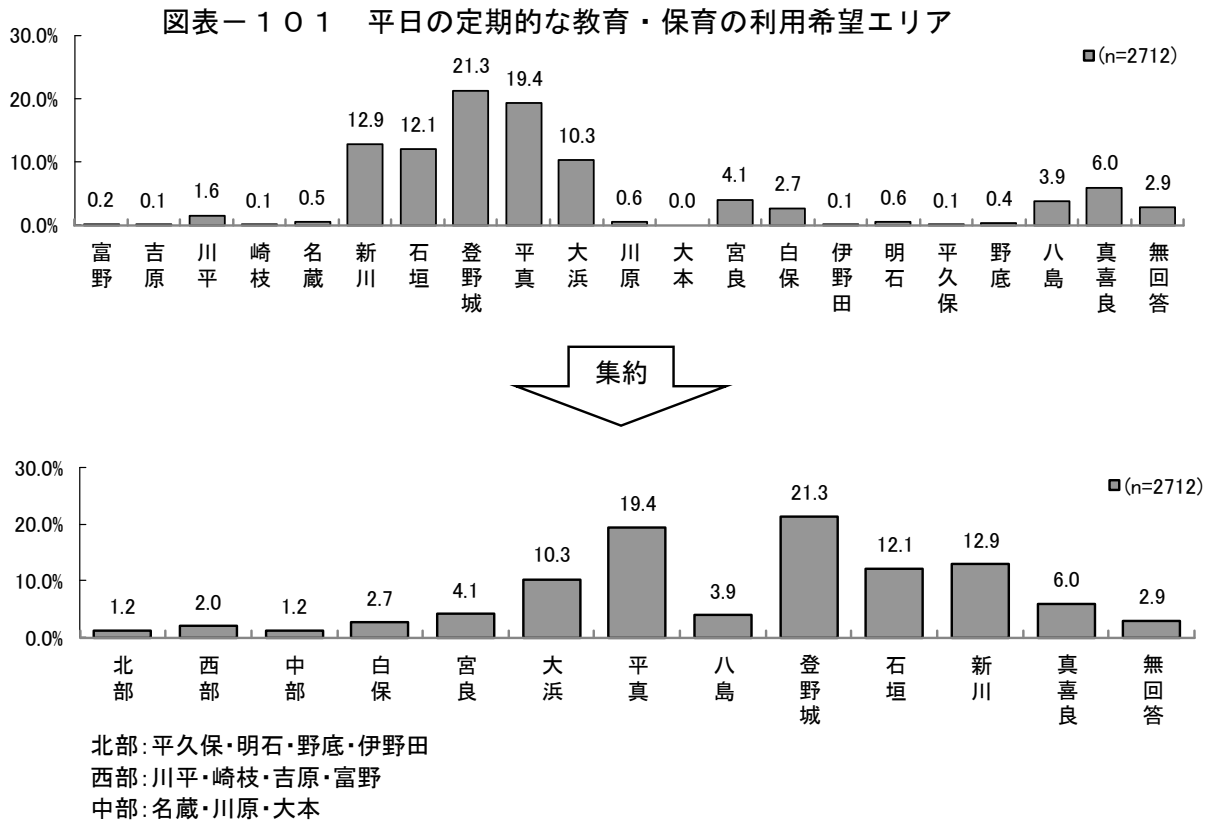
第4章 就学前児童保護者調査の結果

図表-100 子どもの年齢別・家庭類型別・居住地区別
平日の定期的な教育・保育の利用意向（単位：％）

	調査数（n）	なし） 幼稚園（預かり保育	幼稚園（預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育施設	夜間保育所	居宅訪問型保育	施設 その他の認可外保育	ファミリ-・サポ-	その他	無回答	
全体	2,871	3.6	43.2	68.7	34.6	10.5	4.0	6.2	4.2	7.2	5.7	4.6	11.3	2.3	5.5	
子どもの年齢	0歳	553	3.4	31.8	81.7	38.5	26.2	5.6	10.5	6.5	8.1	6.1	6.3	14.5	2.7	4.2
	1歳	410	2.0	37.8	75.4	38.0	13.9	5.4	7.1	5.1	7.8	6.1	5.1	12.9	2.4	6.3
	2歳	451	2.2	42.6	76.1	32.4	7.5	3.3	6.0	3.5	6.7	5.8	3.1	10.4	2.2	5.1
	3歳	443	4.5	45.4	73.6	35.9	4.7	3.2	4.5	2.9	6.5	4.5	6.5	8.6	2.0	3.6
	4歳	496	3.2	53.6	57.7	34.5	4.0	3.4	4.4	3.4	6.9	6.3	3.6	8.1	1.8	6.0
	5歳	450	6.0	49.6	49.3	28.7	4.2	3.3	4.4	4.0	7.1	5.3	2.9	13.3	2.2	6.7
	無回答	68	2.9	39.7	50.0	26.5	7.4	0.0	2.9	1.5	7.4	5.9	2.9	8.8	2.9	16.2
全体	2,871	3.6	43.2	68.7	34.6	10.5	4.0	6.2	4.2	7.2	5.7	4.6	11.3	2.3	5.5	
家庭類型	ひとり親	273	1.8	42.5	63.4	29.7	3.3	4.4	4.8	3.7	16.8	5.5	1.5	7.0	1.8	7.3
	共働き（両方フルタイム）	1,388	1.7	45.0	75.1	33.4	9.4	3.7	5.5	4.0	7.1	5.6	4.4	11.3	2.2	4.0
	共働き（フルタイムとパート等）	697	2.3	40.2	70.3	34.0	12.5	4.4	6.3	3.3	5.0	4.9	4.6	9.8	1.7	6.5
	共働き（両方パート等）	14	0.0	21.4	78.6	35.7	35.7	7.1	14.3	14.3	0.0	21.4	21.4	7.1	0.0	0.0
	一方のみ就労（フルタイムと未就労）	369	14.6	44.7	50.1	45.8	16.0	3.5	8.9	6.8	4.3	6.0	8.4	16.3	3.3	4.9
	一方のみ就労（パート等と未就労）	11	0.0	45.5	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	45.5	18.2	0.0	27.3	9.1	0.0
	その他	4	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	（再掲）共働き 計	2,099	1.9	43.3	73.6	33.6	10.6	4.0	5.9	3.8	6.4	5.5	4.6	10.8	2.0	4.8
	（再掲）一方のみ就労 計	380	14.2	44.7	49.5	45.3	15.8	3.4	8.7	6.6	5.5	6.3	8.2	16.6	3.4	4.7
無回答	115	2.6	40.0	55.7	29.6	7.8	5.2	7.8	6.1	5.2	7.8	0.9	13.9	4.3	18.3	
全体	2,871	3.6	43.2	68.7	34.6	10.5	4.0	6.2	4.2	7.2	5.7	4.6	11.3	2.3	5.5	
居住地区	北部	39	2.6	43.6	56.4	25.6	7.7	10.3	7.7	2.6	5.1	12.8	5.1	10.3	0.0	12.8
	西部	57	5.3	57.9	59.6	38.6	8.8	7.0	3.5	0.0	5.3	5.3	3.5	10.5	5.3	3.5
	中部	44	2.3	45.5	65.9	34.1	13.6	2.3	2.3	2.3	4.5	2.3	4.5	0.0	0.0	4.5
	白保	84	2.4	51.2	60.7	28.6	6.0	4.8	2.4	3.6	2.4	4.8	4.8	8.3	0.0	6.0
	宮良	103	0.0	50.5	85.4	30.1	12.6	5.8	7.8	3.9	5.8	5.8	3.9	16.5	2.9	2.9
	大浜	291	3.4	38.8	58.8	54.3	10.3	3.4	6.5	3.1	6.9	6.9	5.2	12.7	1.7	5.2
	平真	524	5.3	37.8	73.7	38.4	9.9	3.1	3.8	3.8	5.5	5.2	4.2	13.0	2.9	4.2
	八島	187	4.8	57.2	62.0	30.5	11.2	4.3	4.3	3.2	9.1	5.3	3.7	10.2	2.1	5.9
	登野城	554	3.6	43.0	68.8	29.4	11.9	3.8	8.3	6.7	7.4	5.6	5.4	12.6	2.9	6.1
	石垣	281	2.1	45.9	73.3	32.0	9.3	6.4	8.2	5.0	8.2	6.8	6.8	11.7	1.8	4.6
	新川	399	3.8	40.9	72.7	30.1	11.3	4.0	7.0	5.0	9.3	4.8	5.0	8.3	1.5	5.3
	真喜良	166	1.8	37.3	68.1	31.9	9.6	1.8	7.8	2.4	10.8	7.2	1.8	10.8	1.8	8.4
	無回答	142	2.8	45.8	59.9	33.8	9.2	2.1	3.5	2.1	4.9	4.9	1.4	8.5	3.5	8.5

(8) 平日の定期的な教育・保育の利用希望エリア

問14-1 どの地域にある保育所・幼稚園等を利用したいですか。【〇は1つだけ】



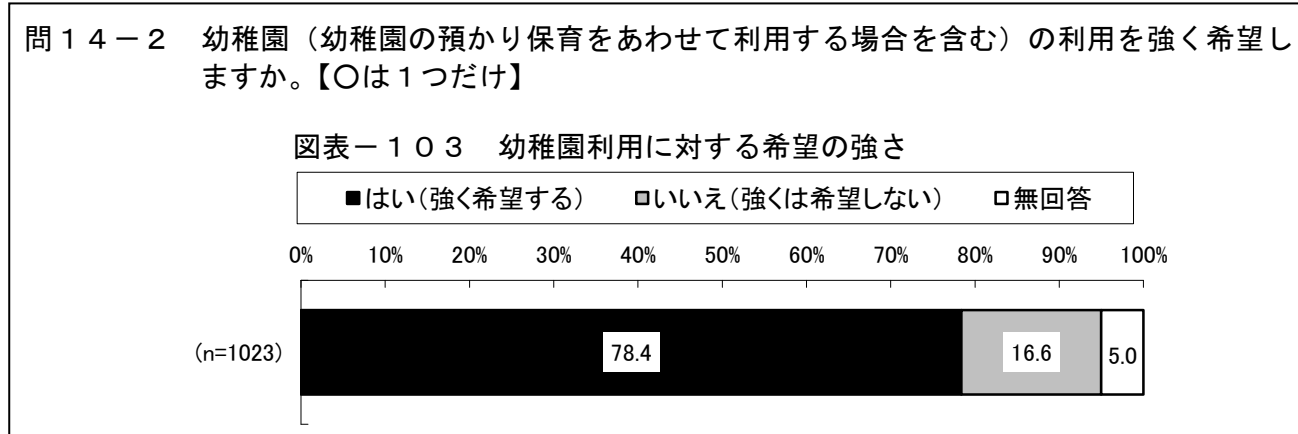
平日の定期的な教育・保育の利用希望者に、利用希望エリアについてたずねたところ、「登野城」(21.3%)と「平真」(19.4%)の割合が2割前後と高く、次いで「新川」(12.9%)、「石垣」(12.1%)、「大浜」(10.3%)が1割台で続いている。

居住地区別にみると、全地区において、居住地区内での利用を希望している人の割合が最も高く、特に北部(85.3%)、西部(81.8%)では8割を超えている。

図表-102 居住地区別 平日の定期的な教育・保育の利用希望エリア (単位: %)

		(調査数)	北部	西部	中部	白保	宮良	大浜	平真	八島	登野城	石垣	新川	真喜良	無回答
居住地区	全体	2,712	1.2	2.0	1.2	2.7	4.1	10.3	19.4	3.9	21.3	12.1	12.9	6.0	2.9
	北部	34	85.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
	西部	55	0.0	81.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	7.3	3.6	0.0	3.6	1.8
	中部	42	0.0	0.0	59.5	0.0	2.4	16.7	0.0	0.0	4.8	4.8	7.1	0.0	4.8
	白保	79	0.0	0.0	0.0	69.6	12.7	5.1	0.0	0.0	7.6	3.8	0.0	0.0	1.3
	宮良	100	0.0	1.0	0.0	7.0	77.0	3.0	1.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	大浜	276	0.0	0.0	0.4	0.7	2.9	78.3	7.2	0.7	4.7	0.7	1.8	0.0	2.5
	平真	502	0.2	0.0	0.0	0.2	0.6	3.2	78.1	0.4	12.5	2.2	0.8	0.2	1.6
	八島	176	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	22.2	49.4	16.5	4.0	1.7	0.6	4.5
	登野城	520	0.0	0.0	0.0	0.4	1.0	1.9	7.1	1.7	74.4	6.9	2.3	1.7	2.5
	石垣	268	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	2.6	0.0	3.4	78.0	9.7	1.9	3.0
	新川	378	0.0	0.8	0.8	0.0	0.3	1.6	1.3	0.5	8.5	9.3	69.6	5.8	1.6
	真喜良	152	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	5.3	5.3	7.9	73.7	6.6
	無回答	130	2.3	2.3	1.5	5.4	3.8	10.0	16.9	2.3	14.6	10.0	14.6	8.5	7.7

(9) 幼稚園利用に対する希望の強さ



平日の定期的な教育・保育として幼稚園利用を希望しており、かつその他のサービスも希望している人に、幼稚園の利用を強く希望するかたずねたところ、「はい（強く希望する）」（78.4%）が8割弱となっている。

子どもの年齢別にみても大きな違いは見られない。

家庭類型別にみると、幼稚園利用を強く希望する割合は『共働き』の家庭（76.9%）より『一方のみ就労』の家庭（83.2%）でやや高く、8割を超えている。

図表-104 子どもの年齢別・家庭類型別 幼稚園利用に対する希望の強さ（単位：%）

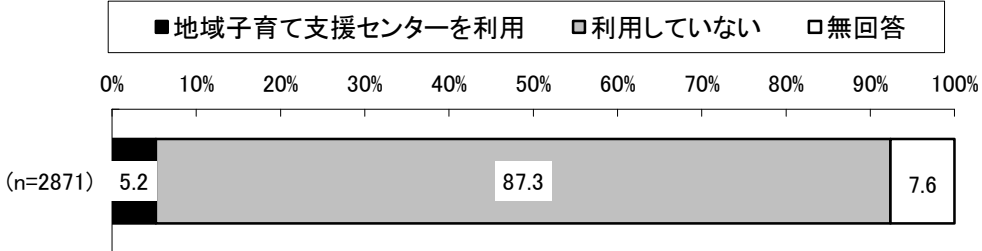
		調査数 (n)	はい （強く希望）	いいえ （強くは希望しない）	無回答
全体		1,023	78.4	16.6	5.0
子どもの年齢	0歳	180	79.4	17.2	3.3
	1歳	145	81.4	13.8	4.8
	2歳	176	76.1	19.3	4.5
	3歳	189	79.4	15.9	4.8
	4歳	187	76.5	18.7	4.8
	5歳	130	75.4	15.4	9.2
	無回答	16	100.0	0.0	0.0
全体		1,023	78.4	16.6	5.0
家庭類型	ひとり親	88	83.0	14.8	2.3
	共働き(両方フルタイム)	523	78.8	16.3	5.0
	共働き(フルタイムとパート等)	229	72.5	20.1	7.4
	共働き(両方パート等)	2	100.0	0.0	0.0
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	140	82.9	14.3	2.9
	一方のみ就労(パート等と未就労)	3	100.0	0.0	0.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0
	(再掲)共働き 計	754	76.9	17.4	5.7
(再掲)一方のみ就労 計	143	83.2	14.0	2.8	
無回答	37	81.1	16.2	2.7	

5. 地域の子育て支援事業の利用について

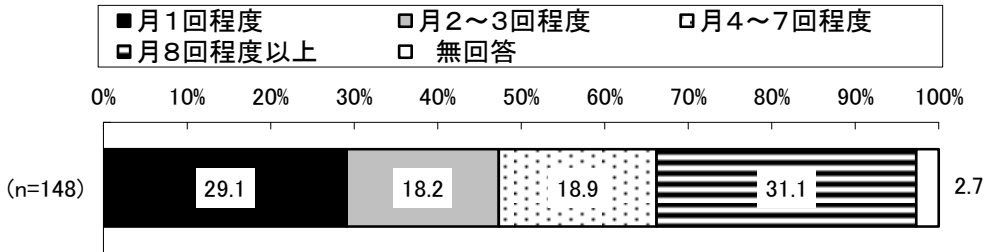
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問15 調査対象のお子さんは、現在、以下の地域子育て支援拠点事業を利用していますか。また、利用している方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

図表-105 地域子育て支援拠点事業の利用状況



図表-106 地域子育て支援拠点事業の利用回数



地域子育て支援拠点事業の利用状況では、「利用していない」（87.3%）の割合が9割弱を占めており、「地域子育て支援センターを利用」している人は5.2%となっている。利用者の利用回数は「月8回以上」（31.1%）と「月1回程度」（29.1%）の割合が3割前後と高く、平均利用回数は5.5回/月であった。

子どもの年齢別にみると、現在の利用率は概ね年齢が低いほど高く、0歳（13.4%）では1割を超えている。居住地区別にみても大きな違いは見られない。

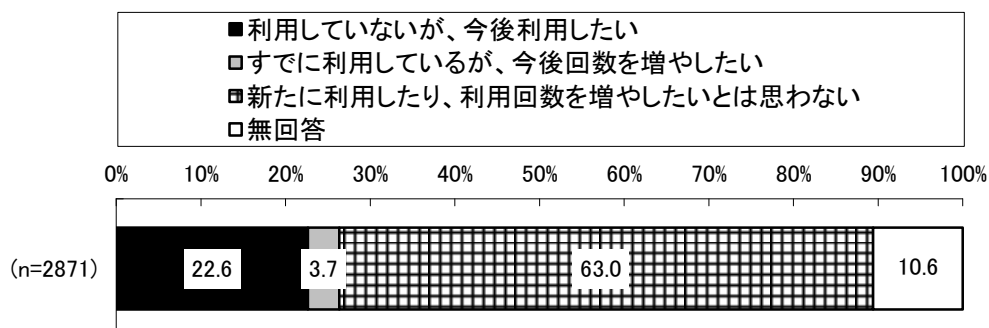
図表-107 子どもの年齢別・居住地区別 地域子育て支援拠点事業の利用状況（単位：%）

		調査数 (n)	地域子育て支援センターを利用	利用していない	無回答
全体		2,871	5.2	87.3	7.6
子どもの年齢	0歳	553	13.4	82.1	4.5
	1歳	410	4.9	85.6	9.5
	2歳	451	5.3	88.2	6.4
	3歳	443	1.6	92.8	5.6
	4歳	496	1.2	87.9	10.9
	5歳	450	3.1	89.3	7.6
	無回答	68	4.4	79.4	16.2
	居住地区				
全体		2,871	5.2	87.3	7.6
	北部	39	2.6	89.7	7.7
	西部	57	7.0	86.0	7.0
	中部	44	4.5	90.9	4.5
	白保	84	7.1	83.3	9.5
	宮良	103	6.8	88.3	4.9
	大浜	291	6.5	88.3	5.2
	平真	524	5.0	88.2	6.9
	八島	187	7.5	85.0	7.5
	登野城	554	6.1	86.6	7.2
	石垣	281	2.1	91.8	6.0
	新川	399	4.8	85.5	9.8
	真喜良	166	1.2	87.3	11.4
	無回答	142	5.6	83.8	10.6

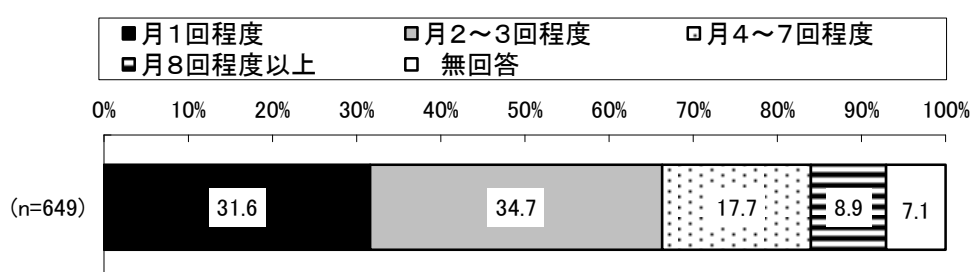
(2) 地域子育て支援拠点事業の利用意向

問16 地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望をお答えください。
また、利用を希望する方はおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

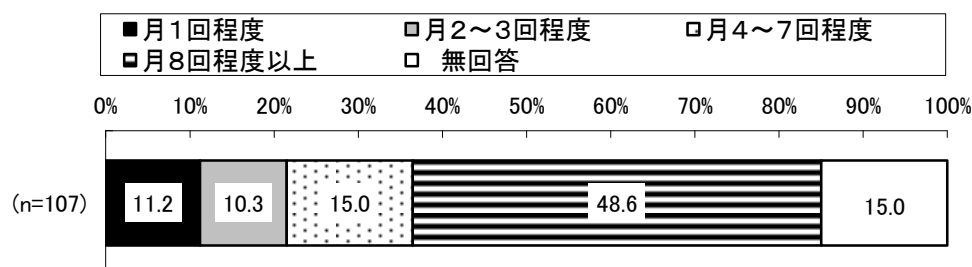
図表-108 地域子育て支援拠点事業の利用意向



図表-109 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数 [新たに利用したい人]



図表-110 地域子育て支援拠点事業の利用希望回数 [利用を増やしたい人]



地域子育て支援拠点事業の利用意向では、「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」(63.0%)の割合が6割強と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(22.6%)となっている。新たに利用したい人(「利用していないが、今後利用したい」と利用を増やしたい人(「すでに利用しているが、今後回数を増やしたい」)を合わせると、利用希望者が26.3%を占めている。

利用希望者の希望回数をみると、新たに利用したい人では「月2～3回程度」(34.7%)や「月1回程度」(31.6%)の割合が3割を超えて高く、利用を増やしたい人では「月8回程度以上」(48.6%)の割合が5割を占めて最も高くなっている。

子どもの年齢別にみると、利用希望の割合は、新たに利用したい人・利用を増やしたい人とともに概ね年齢が低いほど高く、0歳では利用希望者が39.4%(新たに利用したい人:30.0%、利用を増やしたい人:9.4%)と4割を占めている。

居住地区別にみると、新たに利用したい人の割合は北部(30.8%)で他の校区に比べて高くなっている。

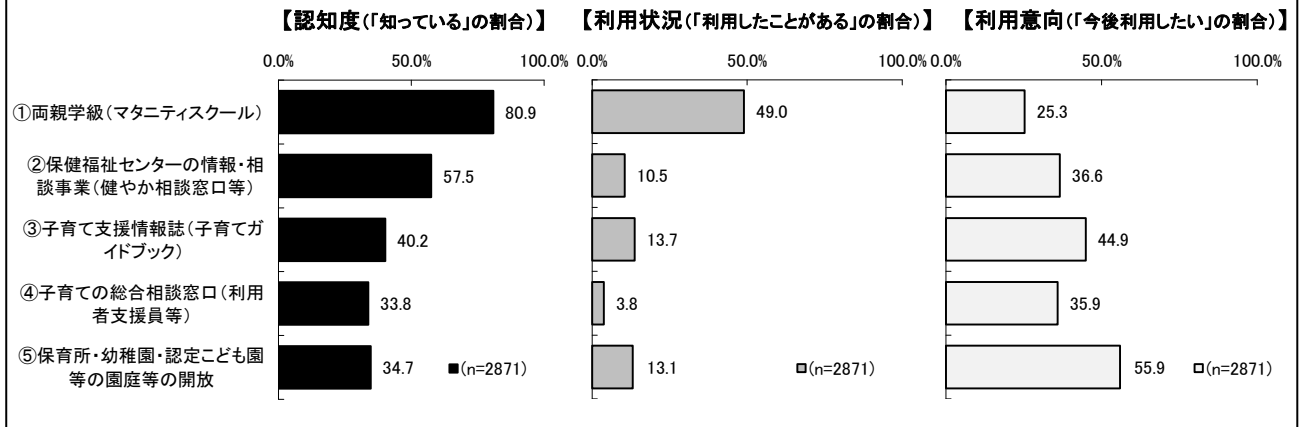
図表－111 子どもの年齢別・居住地区（小学校区）別
地域子育て支援拠点事業の利用意向（単位：％）

	調査数（n）	今利用していないが、	したが、すでに今後回数を増や	いと回数が増やした、	無回答	利用意向あり計	
全体	2,871	22.6	3.7	63.0	10.6	26.3	
子どもの年齢	0歳	553	30.0	9.4	55.5	5.1	39.4
	1歳	410	23.7	3.2	60.7	12.4	26.9
	2歳	451	21.7	3.5	64.7	10.0	25.2
	3歳	443	18.5	2.5	67.7	11.3	21.0
	4歳	496	20.0	0.6	65.1	14.3	20.6
	5歳	450	20.4	2.0	66.9	10.7	22.4
	無回答	68	22.1	4.4	55.9	17.6	26.5
全体	2,871	22.6	3.7	63.0	10.6	26.3	
居住地区	北部	39	30.8	5.1	41.0	23.1	35.9
	西部	57	19.3	5.3	70.2	5.3	24.6
	中部	44	22.7	6.8	61.4	9.1	29.5
	白保	84	15.5	4.8	69.0	10.7	20.3
	宮良	103	17.5	3.9	68.0	10.7	21.4
	大浜	291	17.5	4.1	68.7	9.6	21.6
	平真	524	24.0	3.8	63.4	8.8	27.8
	八島	187	21.9	4.8	64.2	9.1	26.7
	登野城	554	25.5	4.9	56.9	12.8	30.4
	石垣	281	24.2	2.1	65.8	7.8	26.3
	新川	399	20.8	2.3	66.4	10.5	23.1
	真喜良	166	22.3	1.2	61.4	15.1	23.5
	無回答	142	26.8	4.2	56.3	12.7	31.0

(3) 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向

問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。①～⑤の事業ごとにお答えください。

図表-112 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向



石垣市が行っている子育て支援に係る主な事業(5事業)について、認知度・利用状況・利用意向をたずねた。認知度は「両親学級(マタニティスクール)」(80.9%)で8割と突出して高く、次いで「保健福祉センターの情報・相談事業(健やか相談窓口等)」(57.5%)となっている。

利用状況でも「両親学級(マタニティスクール)」(49.0%)が5割と突出して高く、その他は1割台以下となっている。

今後の利用意向では「保育所・幼稚園・認定こども園等の園庭等の開放」(55.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「子育て支援情報誌(子育てガイドブック)」(44.9%)となっている。

子どもの年齢別にみると、認知度・利用状況は全般的に0歳で割合が高い。利用意向も全般的に0歳で割合が高く、特に「保育所・幼稚園・認定こども園等の園庭等の開放」(65.1%)では6割を超えて高くなっている。

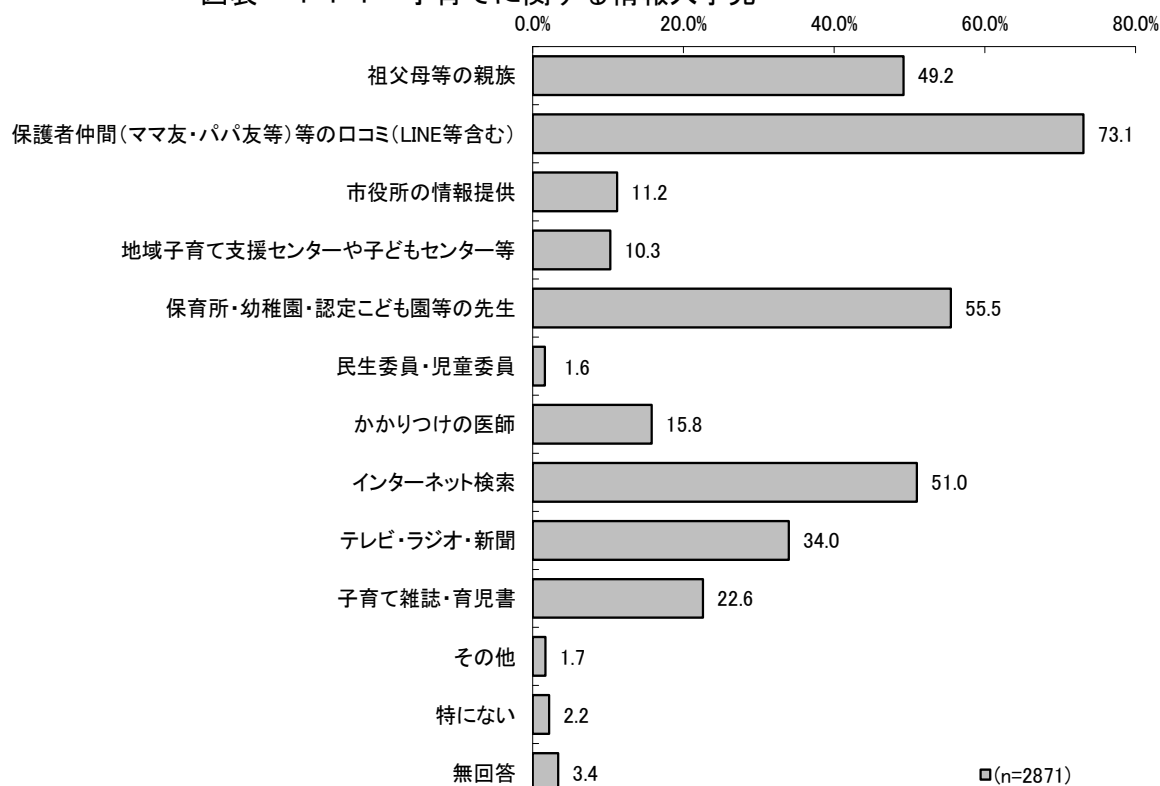
図表-113 子どもの年齢別 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用意向(単位:%)

		調査数(n)	①両親学級(マタニティスクール)	②保健福祉センターの情報・相談事業(健やか相談窓口等)	③子育て支援情報誌(子育てガイドブック)	④子育ての総合相談窓口(利用者支援員等)	⑤保育所・幼稚園・認定こども園等の園庭等の開放
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
認知度	全体	2871	80.9	57.5	40.2	33.8	34.7
	0歳	553	86.4	64.2	47.7	36.9	37.6
	1歳	410	81.2	58.8	36.3	35.1	34.4
	2歳	451	83.1	58.1	39.7	33.3	36.1
	3歳	443	80.4	59.1	40.6	34.3	34.5
	4歳	496	77.4	49.8	39.1	31.7	34.1
	5歳	450	76.7	54.0	35.6	30.4	31.1
	無回答	68	77.9	61.8	41.2	38.2	32.4
利用状況	全体	2871	49.0	10.5	13.7	3.8	13.1
	0歳	553	53.5	11.0	19.9	4.2	12.8
	1歳	410	48.8	12.2	12.0	3.7	14.4
	2歳	451	49.2	10.0	14.6	4.0	13.1
	3歳	443	48.1	10.2	13.8	3.4	13.3
	4歳	496	47.6	7.7	10.7	3.4	11.7
	5歳	450	45.3	12.0	11.6	3.6	13.6
	無回答	68	54.4	13.2	4.4	8.8	13.2
利用意向	全体	2871	25.3	36.6	44.9	35.9	55.9
	0歳	553	34.9	45.4	53.9	41.4	65.1
	1歳	410	23.2	37.6	42.9	35.6	57.1
	2歳	451	29.0	37.0	48.1	37.7	57.9
	3歳	443	25.1	33.9	41.3	31.2	53.0
	4歳	496	20.2	33.9	42.3	34.9	50.2
	5歳	450	18.2	32.2	41.3	35.1	52.0
	無回答	68	20.6	25.0	29.4	26.5	47.1

(4) 子育てに関する情報入手先

問17-1 子育てに関する情報を誰（どこ）から得ていますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-114 子育てに関する情報入手先



子育てに関する情報入手先は、「保護者仲間（ママ友・パパ友等）等の口コミ（LINE 等含む）」（73.1%）の割合が7割強と最も高く、以下「保育所・幼稚園・認定こども園等の先生」（55.5%）、「インターネット検索」（51.0%）、「祖父母等の親族」（49.2%）が5割前後で続いている。

子どもの年齢別にみると、「市役所の情報提供」や「地域子育て支援センターや子どもセンター等」、「かかりつけの医師」、「インターネット検索」、「子育て雑誌・育児書」等は、概ね年齢が低いほど高くなっている。

居住地区別にみると、「祖父母等の親族」は北部（64.1%）で、「民生委員・児童委員」も北部（20.5%）で、「保育所・幼稚園・認定こども園等の先生」は西部（68.4%）や宮良（68.0%）で他地区に比べて割合が高くなっている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

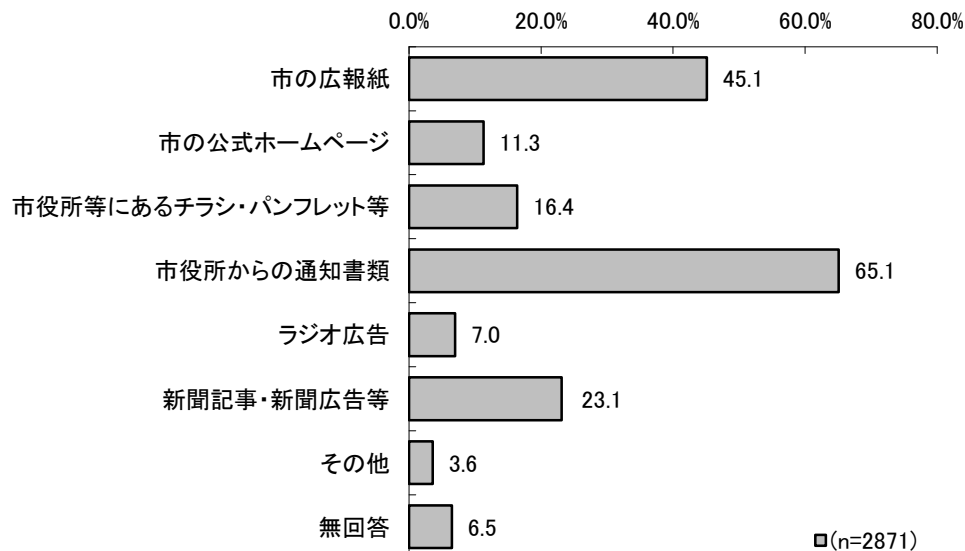
図表－115 子どもの年齢別・居住地区別 子育てに関する情報入手先（単位：％）

	調査数（n）	祖父母等の親族	保護者仲間（ママ友・パ友等）等の口コミ（LINE等含む）	市役所の情報提供	地域子育て支援センターや子どもセンター等	保育園等の先生	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	インターネット検索	テレビ・ラジオ・新聞	子育て雑誌・育児書	その他	特になし	無回答	
全体	2,871	49.2	73.1	11.2	10.3	55.5	1.6	15.8	51.0	34.0	22.6	1.7	2.2	3.4	
子どもの年齢	0歳	553	55.5	74.7	16.8	17.2	39.6	0.7	20.4	60.2	35.1	28.9	2.2	1.1	1.6
	1歳	410	52.2	69.3	11.0	10.5	56.3	2.0	16.6	53.7	35.6	24.4	1.7	2.2	4.4
	2歳	451	49.0	69.0	9.3	9.3	60.8	0.9	17.7	50.8	32.8	21.5	1.6	2.7	2.7
	3歳	443	44.9	74.9	10.2	7.9	63.9	1.8	14.9	50.3	33.0	23.7	2.3	2.3	2.5
	4歳	496	47.6	74.6	9.7	6.7	58.1	1.8	12.7	44.8	34.9	19.0	1.4	1.8	5.2
	5歳	450	46.7	75.8	9.6	8.0	59.3	2.0	13.1	46.0	33.8	18.9	0.9	3.6	3.3
	無回答	68	36.8	70.6	8.8	16.2	45.6	4.4	8.8	44.1	26.5	11.8	4.4	2.9	10.3
全体	2,871	49.2	73.1	11.2	10.3	55.5	1.6	15.8	51.0	34.0	22.6	1.7	2.2	3.4	
居住地区	北部	39	64.1	79.5	5.1	5.1	48.7	20.5	25.6	46.2	30.8	35.9	0.0	0.0	5.1
	西部	57	42.1	80.7	7.0	10.5	68.4	0.0	15.8	56.1	26.3	26.3	1.8	0.0	0.0
	中部	44	54.5	63.6	6.8	6.8	54.5	0.0	27.3	61.4	34.1	31.8	2.3	6.8	2.3
	白保	84	45.2	70.2	6.0	9.5	58.3	0.0	13.1	42.9	35.7	26.2	0.0	7.1	3.6
	宮良	103	52.4	73.8	12.6	10.7	68.0	0.0	20.4	54.4	42.7	30.1	1.0	3.9	1.0
	大浜	291	48.8	73.2	11.7	8.9	57.4	1.7	18.6	49.5	38.5	23.4	1.7	2.4	3.4
	平真	524	45.4	74.4	11.1	12.8	54.6	1.0	15.5	53.8	31.3	26.9	0.2	1.9	2.9
	八島	187	46.0	84.0	9.1	14.4	50.3	2.7	15.0	54.5	37.4	23.5	2.1	1.6	3.2
	登野城	554	51.8	74.0	12.1	11.9	54.0	0.9	15.3	49.8	33.4	20.2	1.6	0.9	3.8
	石垣	281	52.3	68.7	12.8	7.1	54.4	0.4	13.2	52.0	34.2	19.2	2.1	3.9	2.1
	新川	399	50.4	70.2	11.8	8.0	56.6	2.8	14.8	48.6	33.3	20.1	3.3	1.0	3.5
	真喜良	166	47.6	66.9	15.1	6.6	57.8	2.4	16.9	57.8	36.7	16.9	2.4	2.4	7.2
	無回答	142	47.2	73.9	7.7	11.3	50.0	0.7	14.1	38.7	28.2	18.3	3.5	4.9	4.9

(5) 市役所からの子育て関連情報の入手方法

問17-2 市役所からの子育てに関するお知らせ等はどうやって得ていますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表－116 市役所からの子育て関連情報の入手方法



市役所からの子育て関連情報の入手方法は、「市役所からの通知書類」(65.1%)の割合が6割を超えて最も高く、次いで「市の広報紙」(45.1%)、「新聞記事・新聞広告等」(23.1%)、「市役所等にあるチラシ・パンフレット等」(16.4%)となっている。

子どもの年齢別、居住地区別にみても大きな違いは見られない。

図表－117 子どもの年齢別・居住地区別

市役所からの子育て関連情報の入手方法 (単位：%)

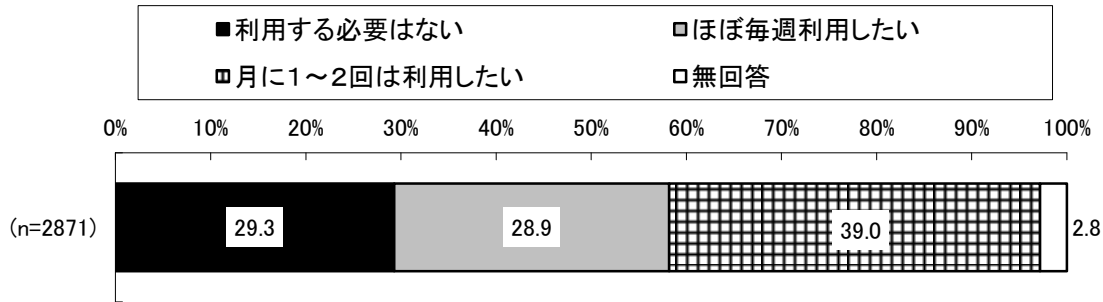
	調査数 (n)	市の 広報 紙	市 の 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ	市 役 所 等 に あ る チ ラ シ ・ パ ン フ レ ッ ト 等	市 役 所 か ら の 通 知 書 類	ラ ジ オ 広 告	新 聞 記 事 ・ 新 聞 広 告 等	そ の 他	無 回 答	
全 体	2,871	45.1	11.3	16.4	65.1	7.0	23.1	3.6	6.5	
子 ど も の 年 齢	0歳	553	46.3	12.7	19.2	67.8	8.5	21.0	3.8	5.1
	1歳	410	44.4	11.7	16.3	65.1	7.1	20.0	2.9	8.0
	2歳	451	42.8	8.4	14.4	65.6	6.4	21.7	4.0	6.0
	3歳	443	44.2	10.4	18.3	65.9	6.1	24.6	3.6	6.3
	4歳	496	47.8	12.1	14.1	62.7	7.3	26.2	4.4	7.3
	5歳	450	45.3	12.0	15.6	62.4	6.7	25.6	3.3	6.4
	無回答	68	39.7	11.8	19.1	69.1	5.9	20.6	0.0	10.3
全 体	2,871	45.1	11.3	16.4	65.1	7.0	23.1	3.6	6.5	
居 住 地 区	北部	39	35.9	20.5	15.4	79.5	0.0	15.4	2.6	12.8
	西部	57	56.1	7.0	7.0	56.1	5.3	22.8	3.5	8.8
	中部	44	50.0	9.1	11.4	63.6	2.3	18.2	0.0	2.3
	白保	84	41.7	8.3	17.9	52.4	9.5	26.2	9.5	6.0
	宮良	103	56.3	15.5	9.7	67.0	11.7	29.1	2.9	6.8
	大浜	291	50.2	7.9	13.1	68.4	11.0	24.1	2.1	6.9
	平真	524	46.8	8.8	20.0	60.3	6.9	20.4	5.5	5.2
	八島	187	43.9	15.0	18.2	64.2	11.2	26.2	4.8	4.8
	登野城	554	44.4	11.2	14.4	61.9	4.2	24.4	4.0	7.8
	石垣	281	43.8	11.7	15.3	69.8	5.7	22.8	1.8	4.3
	新川	399	41.6	15.5	18.8	70.2	5.8	24.3	3.5	5.8
	真喜良	166	44.0	12.0	18.7	69.3	8.4	21.7	1.2	10.2
無回答	142	37.3	7.7	18.3	67.6	9.2	19.0	2.1	9.9	

6. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の利用希望について

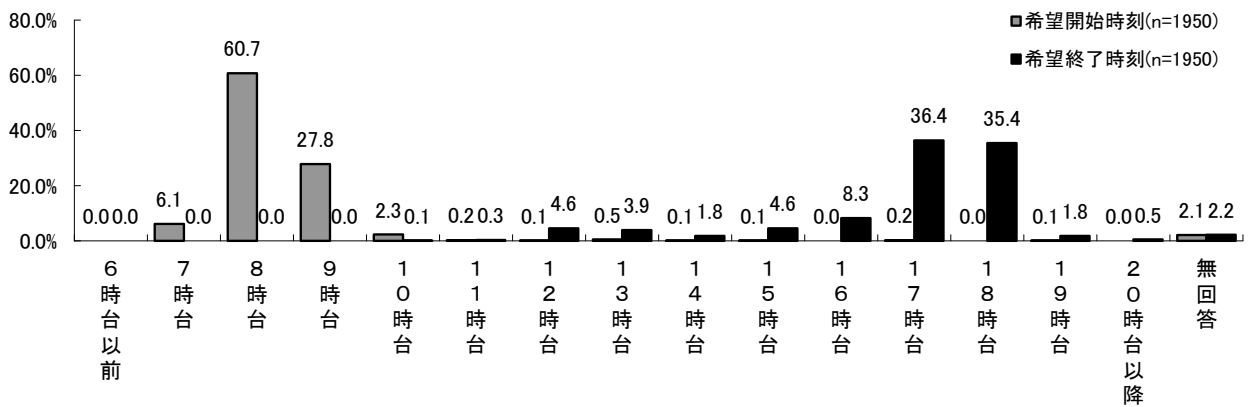
(1) 土曜日の定期的な教育・保育の利用意向

問18 (1) 調査対象のお子さんについて、土曜日に、定期的に保育所や幼稚園等を利用したいと思いますか（一時的な利用は除きます）。【〇は1つだけ】

図表-118 土曜日の定期的な教育・保育の利用意向



図表-119 土曜日の定期的な教育・保育の希望開始・終了時刻



土曜日の定期的な教育・保育の利用意向では、「月に1~2回は利用したい」(39.0%)の割合が4割と最も高く、次いで「利用する必要はない」(29.3%)と「ほぼ毎週利用したい」(28.9%)がほぼ同率で続いている。「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」を合わせると、土曜日の利用希望者が7割弱(67.9%)を占めている。

土曜日の利用希望者(「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」と回答した人)に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻では「8時台」(60.7%)に6割が集中しており、希望終了時刻では「17時台」(36.4%)・「18時台」(35.4%)の割合が高くなっている。

子どもの年齢別にみても大きな違いは見られないが、利用希望者の割合は1・2歳でやや高く7割を超えている。

家庭類型別にみると、利用希望者の割合は両方フルタイムの共働き家庭(76.9%)やひとり親家庭(70.7%)で高く、7割を超えている。

また、ひとり親家庭では「ほぼ毎週利用したい」(44.7%)の割合が高く、4割を超えている。

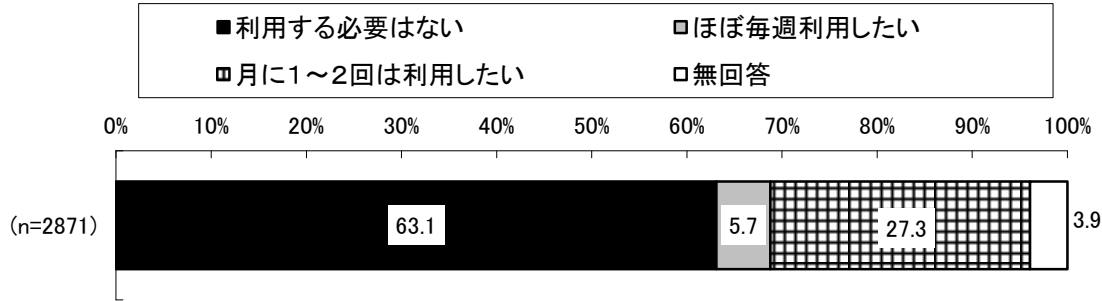
図表－120 子どもの年齢別・家庭類型別
土曜日の定期的な教育・保育の利用意向（単位：％）

		調査数 (n)	ない 利用 する 必要 は	た ほ い 毎 週 利 用 し	利 用 し た い 回 は	無 回 答	利 用 希 望 計
全 体		2,871	29.3	28.9	39.0	2.8	67.9
子 ど も の 年 齢	0歳	553	30.0	28.0	39.8	2.2	67.8
	1歳	410	23.4	32.0	41.7	2.9	73.7
	2歳	451	25.3	31.0	40.1	3.5	71.1
	3歳	443	29.3	28.2	40.9	1.6	69.1
	4歳	496	31.5	25.4	40.5	2.6	65.9
	5歳	450	35.8	28.4	33.1	2.7	61.5
	無回答	68	26.5	35.3	26.5	11.8	61.8
全 体		2,871	29.3	28.9	39.0	2.8	67.9
家 庭 類 型	ひとり親	273	23.4	44.7	26.0	5.9	70.7
	共働き(両方フルタイム)	1,388	21.0	33.5	43.4	2.1	76.9
	共働き(フルタイムとパート等)	697	33.4	24.2	40.2	2.2	64.4
	共働き(両方パート等)	14	28.6	42.9	21.4	7.1	64.3
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	369	56.1	9.8	33.1	1.1	42.9
	一方のみ就労(パート等と未就労)	11	36.4	54.5	9.1	0.0	63.6
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(再掲)共働き 計	2,099	25.2	30.5	42.2	2.1	72.7
	(再掲)一方のみ就労 計	380	55.5	11.1	32.4	1.1	43.5
無回答	115	29.6	21.7	35.7	13.0	57.4	

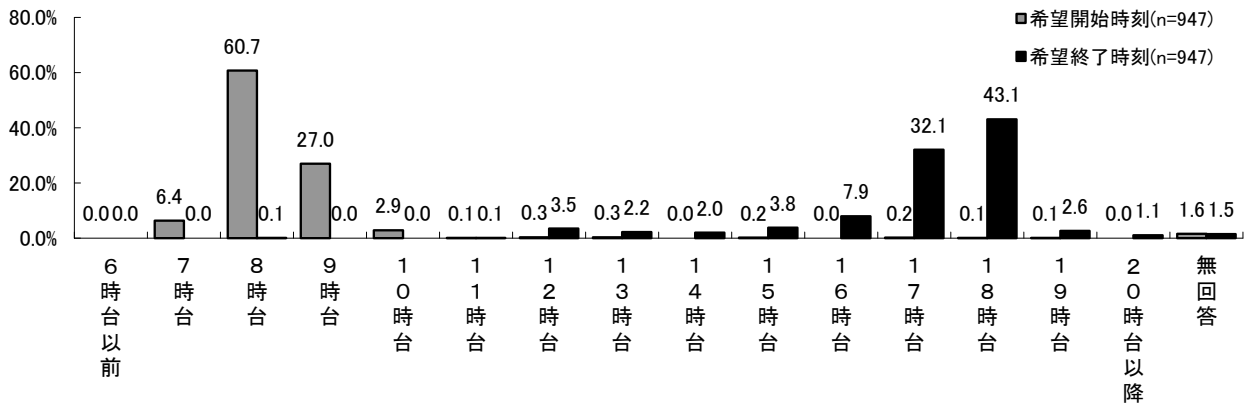
(2) 日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用意向

問18(2) 調査対象のお子さんについて、日曜・祝日に、定期的に保育所や幼稚園等を利用したいと思いますか（一時的な利用は除きます）。【○は1つだけ】

図表-121 日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用意向



図表-122 日曜・祝日の定期的な教育・保育の希望開始・終了時刻



日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用意向では、「利用する必要はない」(63.1%)の割合が6割強と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」(27.3%)となっている。「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」を合わせると、日曜・祝日の利用希望者は3割強(33.0%)となっている。

日曜・祝日の利用希望者(「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」と回答した人)に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻では「8時台」(60.7%)に6割が集中しており、希望終了時刻では「18時台」(43.1%)の割合が最も高く、次いで「17時台」(32.1%)となっている。

子どもの年齢別にみても大きな違いは見られないが、利用希望者の割合は1・2歳でやや高く4割弱となっている。

家庭類型別にみると、利用希望者の割合はひとり親家庭(42.9%)で高く、4割を超えている。

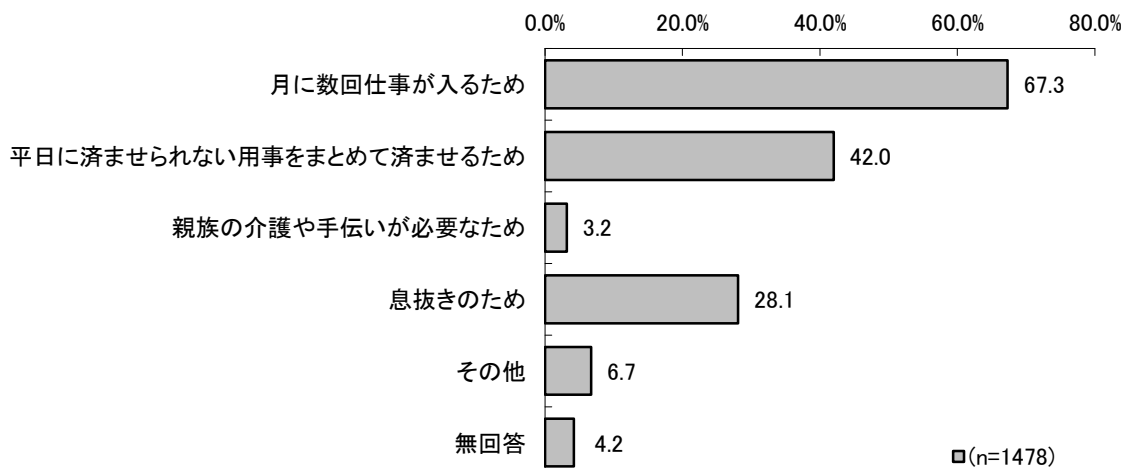
図表－123 子どもの年齢別・家庭類型別
日曜・祝日の定期的な教育・保育の利用意向（単位：％）

		調査数 (n)	ない 利用 する 必要 は	た ぼ い 毎 週 利 用 し	利 用 し た い 2 回 は	無 回 答	利 用 希 望 計
全 体		2,871	63.1	5.7	27.3	3.9	33.0
子 ど も の 年 齢	0歳	553	63.7	6.3	25.3	4.7	31.6
	1歳	410	60.5	5.9	30.2	3.4	36.1
	2歳	451	59.6	7.1	28.8	4.4	35.9
	3歳	443	66.6	3.8	26.9	2.7	30.7
	4歳	496	64.3	5.4	26.8	3.4	32.2
	5歳	450	64.4	5.1	27.3	3.1	32.4
	無回答	68	58.8	8.8	20.6	11.8	29.4
全 体		2,871	63.1	5.7	27.3	3.9	33.0
家 庭 類 型	ひとり親	273	49.5	12.1	30.8	7.7	42.9
	共働き(両方フルタイム)	1,388	61.5	5.8	29.4	3.2	35.2
	共働き(フルタイムとパート等)	697	68.0	4.3	24.8	2.9	29.1
	共働き(両方パート等)	14	64.3	14.3	21.4	0.0	35.7
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	369	73.2	2.2	22.5	2.2	24.7
	一方のみ就労(パート等と未就労)	11	36.4	45.5	18.2	0.0	63.7
	その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(再掲)共働き 計	2,099	63.7	5.4	27.8	3.1	33.2
	(再掲)一方のみ就労 計	380	72.1	3.4	22.4	2.1	25.8
	無回答	115	54.8	4.3	26.1	14.8	30.4

(3) 土曜日・日祝日に定期的な教育・保育をたまに利用したい理由

問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表－124 土曜日・日祝日に定期的な教育・保育をたまに利用したい理由



土曜日・日祝日に定期的な教育・保育を「月に1～2回は利用したい」と回答した人に、毎週ではなく、たまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」(67.3%)の割合が7割弱と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(42.0%)、「息抜きのため」(28.1%)となっている。

子どもの年齢別にみると、「息抜きのため」の割合は0・1歳で高く、3割を超えている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

家庭類型別にみると、「月に数回仕事が入るため」の割合はひとり親家庭（78.5%）やフルタイムの共働き家庭（71.4%）で高く、7割を超えている。また、「息抜きのため」の割合は両親の一方のみ就労（フルタイムと未就労）の家庭（38.1%）やフルタイムとパート等の共働き家庭（33.3%）で高く、3割を超えている。

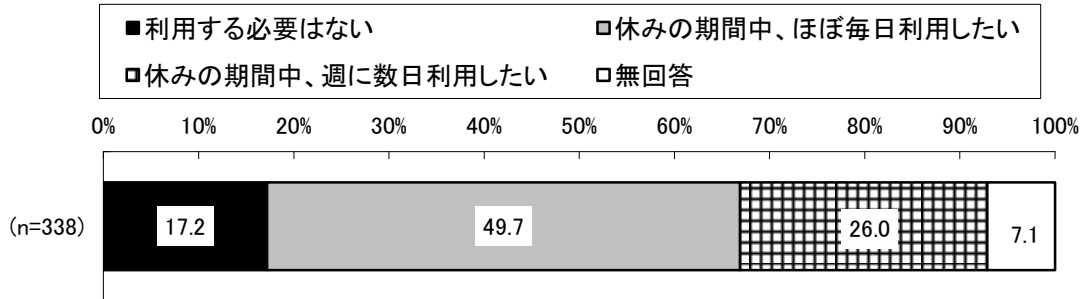
図表－125 子どもの年齢別・家庭類型別
土曜日・日祝日に定期的な教育・保育をたまに利用したい理由（単位：%）

	調査数 (n)	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられないため	親族の介護や手伝いが必要	息抜きのため	その他	無回答	
全体	1,478	67.3	42.0	3.2	28.1	6.7	4.2	
子どもの年齢	0歳	278	66.9	45.7	2.5	31.7	4.3	3.6
	1歳	226	64.2	46.9	3.1	35.4	5.3	4.4
	2歳	241	68.0	39.0	5.4	29.0	6.2	3.7
	3歳	242	69.4	38.4	2.1	24.0	6.6	6.6
	4歳	259	69.5	45.6	2.3	27.4	8.9	1.5
	5歳	206	65.0	35.9	4.4	20.9	9.2	4.9
	無回答	26	65.4	34.6	3.8	23.1	7.7	11.5
全体	1,478	67.3	42.0	3.2	28.1	6.7	4.2	
家庭類型	ひとり親	130	78.5	35.4	3.1	24.6	3.1	4.6
	共働き(両方フルタイム)	800	71.4	41.4	2.0	25.0	6.1	4.6
	共働き(フルタイムとパート等)	348	65.8	45.1	6.6	33.3	5.7	3.4
	共働き(両方パート等)	6	100.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	139	28.8	45.3	2.9	38.1	18.0	4.3
	一方のみ就労(パート等と未就労)	2	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(再掲)共働き計	1,154	69.8	42.4	3.4	27.5	6.0	4.2
(再掲)一方のみ就労計	141	29.1	45.4	2.8	38.3	18.4	4.3	
無回答	53	84.9	41.5	1.9	24.5	0.0	1.9	

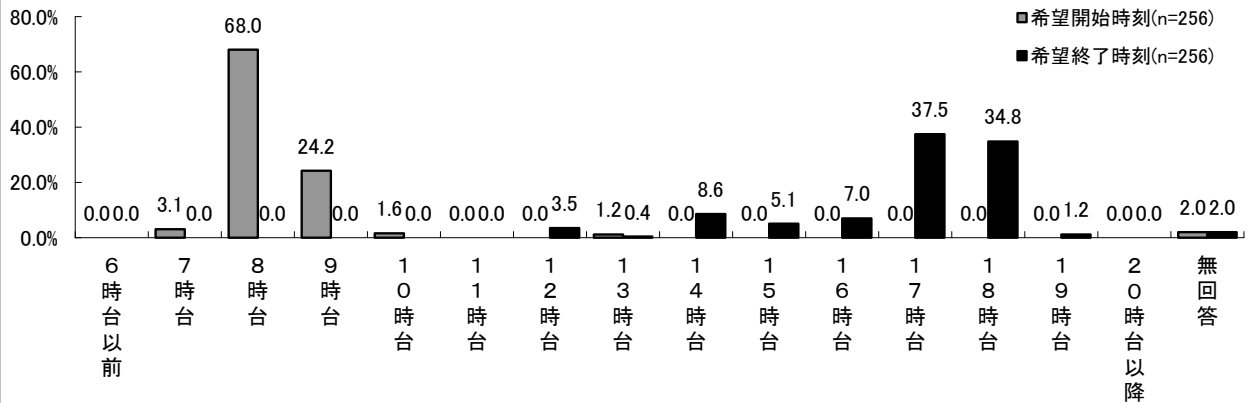
(4) 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育の利用意向

問19 「幼稚園」を利用している方におうかがいします) 調査対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に保育所・幼稚園等での預かりサービスの利用を希望しますか。【○は1つだけ】

図表-126 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育の利用意向



図表-127 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育の希望開始・終了時刻



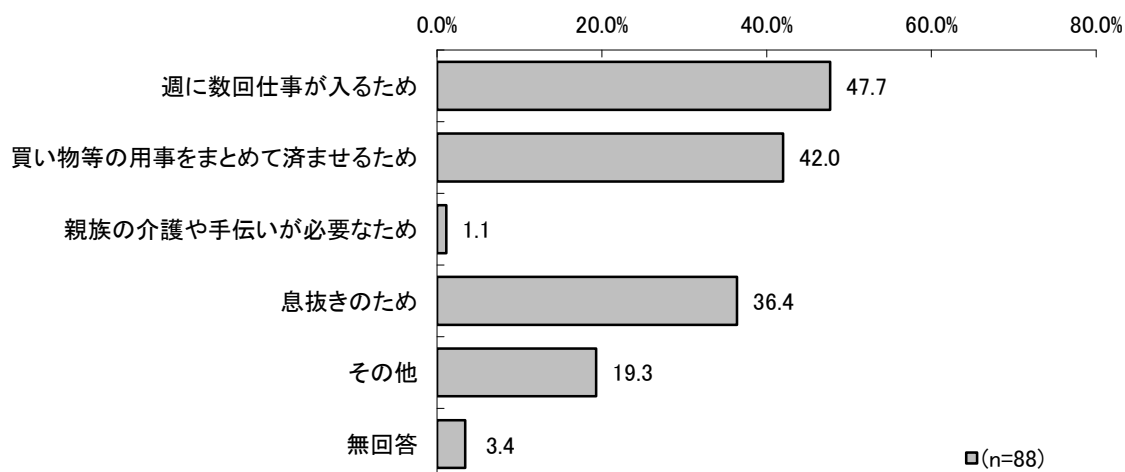
幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育の利用意向では、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(49.7%)の割合が5割と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(26.0%)となっており、これらを合わせると長期休暇中の利用希望者(75.7%)が8割弱を占めている。

長期休暇中の利用希望者に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻では「8時台」(68.0%)に7割弱が集中しており、希望終了時刻では「17時台」(37.5%)・「18時台」(34.8%)の割合が高くなっている。

(5) 幼稚園利用者が長期休暇中の定期的な教育・保育をたまに利用したい理由

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-128 幼稚園利用者が長期休暇中の定期的な教育・保育をたまに利用したい理由



幼稚園利用者で長期休暇中に定期的な教育・保育を「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人に、毎日ではなく、たまに利用したい理由をたずねたところ、「週に数回仕事が入るため」(47.7%)の割合が最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(42.0%)、「息抜きのため」(36.4%)となっている。

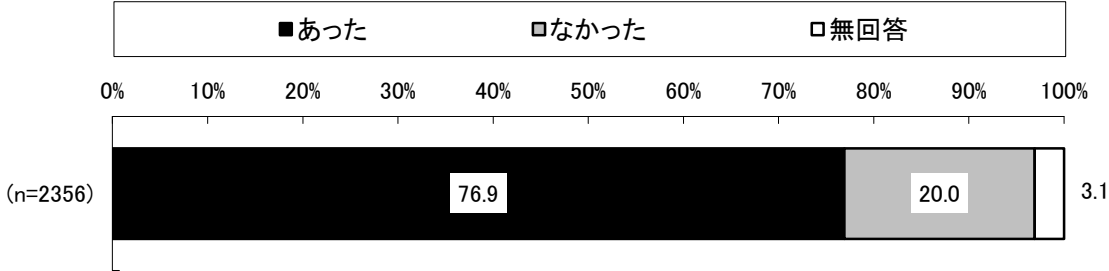
7. 平日の定期的な教育・保育利用者の病気の際の対応について

(1) 過去1年間に病気等で平日の定期的な教育・保育を休んだ経験

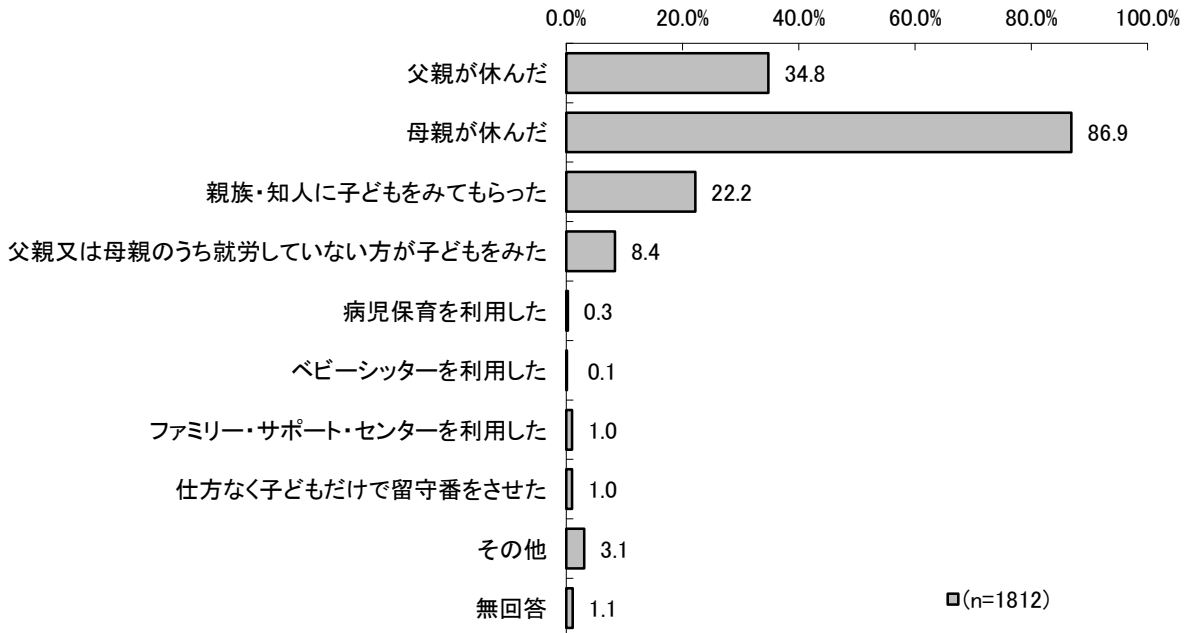
問20 この1年間に、調査対象のお子さんが病気やケガでふだん利用している保育所や幼稚園等が利用できなかったことはありますか。【○は1つだけ】

問20-1 この1年間に、病気やケガでふだん利用している保育所や幼稚園等が利用できなかったとき、どのように対処しましたか。【○はあてはまるものすべて】

図表-129 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育を休んだ経験



図表-130 休んだ場合の対処方法



図表-131 休んだ場合の対処方法別日数 (単位: %)

	(n 調査数)	日間	0年間	1年間	2年間	2年間	3年間	以上年間	無回答	(平均)日数
		1日	6日	5日	1日	5日	2日	2日	3日	
合計日数	1,812	18.7	26.2	12.9	13.6	4.5	7.6	8.8	7.8	16.3日
父親が休んだ	631	68.3	22.2	4.0	1.9	0.0	0.5	0.0	3.2	5.5日
母親が休んだ	1,575	31.4	30.9	7.5	10.7	0.8	7.1	4.6	6.9	12.8日
親族・知人に子どもをみてもらった	403	53.8	27.3	2.5	6.0	0.2	1.5	1.7	6.9	7.8日
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	152	33.6	32.9	6.6	9.2	2.6	2.0	5.3	7.9	12.4日
病児保育を利用した	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2日
ベビーシッターを利用した	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0日
ファミリー・サポート・センターを利用した	19	89.5	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	18	72.2	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	3.1日
その他	56	32.1	26.8	7.1	8.9	1.8	1.8	3.6	17.9	10.7日

第4章 就学前児童保護者調査の結果

平日の定期的な教育・保育利用者に、この1年間に子どもの病気等のために利用している教育・保育を休んだ経験の有無をたずねたところ、「あった」(76.9%)が8割弱を占めている。

休んだ場合の対処方法では「母親が休んだ」(86.9%)の割合が9割弱と突出して高く、次いで「父親が休んだ」(34.8%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(22.2%)となっている。

休んだ場合の日数の合計は平均16.3日/年であった。対処方法別の日数をみると「母親が休んだ」:12.8日/年、「父親が休んだ」:5.5日/年、「親族・知人に子どもをみてもらった」7.8日/年などとなっている。

子どもの年齢別にみると、休んだ経験があった人の割合は年齢が低いほど高く、0歳(81.3%)・1歳(80.5%)で8割を超えている。また、休んだ合計日数(平均)も年齢が低いほど長く、0歳では25.7日/年となっている。

図表-132 子どもの年齢別・家庭類型別
子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育を休んだ経験、対処方法等(単位:%)

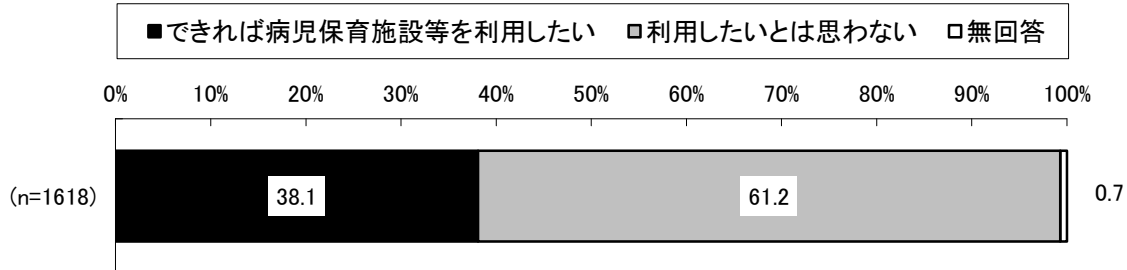
	休んだ経験				対処方法											休んだ合計日数 (平均「日」)	
	調査数 (n)	あった	なかった	無回答	調査数 (n)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	をさせた	仕方なく子どもだけで留守番	その他		無回答
全体	2,356	76.9	20.0	3.1	1,812	34.8	86.9	22.2	8.4	0.3	0.1	1.0	1.0	3.1	1.1	16.3日	
子どもの年齢	0歳	219	81.3	15.5	3.2	178	36.5	94.9	21.9	3.4	0.6	0.0	0.6	0.0	2.8	1.7	25.4日
	1歳	344	80.5	15.4	4.1	277	45.1	92.1	25.3	5.1	0.4	0.0	1.8	0.0	1.4	1.4	19.7日
	2歳	412	79.6	15.8	4.6	328	32.9	87.5	21.6	8.8	0.9	0.0	0.9	0.6	2.1	0.6	16.7日
	3歳	418	78.7	19.4	1.9	329	37.7	84.5	22.8	9.7	0.0	0.0	0.9	0.0	4.3	0.6	14.6日
	4歳	472	76.3	22.5	1.3	360	31.7	82.2	22.8	10.6	0.0	0.3	0.8	1.4	3.3	1.9	13.5日
	5歳	434	70.3	27.0	2.8	305	26.6	84.9	20.3	9.5	0.0	0.3	1.0	3.6	4.6	0.7	13.1日
	無回答	57	61.4	26.3	12.3	35	40.0	88.6	11.4	11.4	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	13.5日
全体	2,356	76.9	20.0	3.1	1,812	34.8	86.9	22.2	8.4	0.3	0.1	1.0	1.0	3.1	1.1	16.3日	
家庭類型	ひとり親	242	72.7	23.6	3.7	176	7.4	84.1	27.3	1.7	0.0	0.0	1.1	0.6	2.3	3.4	16.8日
	共働き(両方フルタイム)	1,213	80.4	16.7	3.0	975	46.4	91.5	26.4	3.0	0.3	0.1	1.1	0.8	3.6	0.8	16.3日
	共働き(フルタイムとパート等)	610	76.1	22.0	2.0	464	27.2	92.9	16.2	6.0	0.2	0.2	1.3	1.5	1.7	0.4	16.4日
	共働き(両方パート等)	8	75.0	25.0	0.0	6	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0日
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	188	67.6	27.7	4.8	127	11.8	34.6	7.9	65.4	0.0	0.0	0.0	0.8	3.9	3.1	14.1日
	一方のみ就労(パート等と未就労)	5	60.0	20.0	20.0	3	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5日
	その他	4	25.0	75.0	0.0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	30.0日
	(再掲)共働き計	1,831	78.9	18.5	2.6	1,445	40.2	92.0	23.0	3.9	0.3	0.1	1.2	1.0	3.0	0.7	16.3日
	(再掲)一方のみ就労計	193	67.4	27.5	5.2	130	11.5	35.4	7.7	65.4	0.0	0.0	0.0	0.8	3.8	3.1	14.1日
無回答	86	69.8	23.3	7.0	60	36.7	86.7	21.7	11.7	1.7	0.0	0.0	1.7	5.0	0.0	20.5日	

(2) 病児保育の利用意向、希望する事業形態

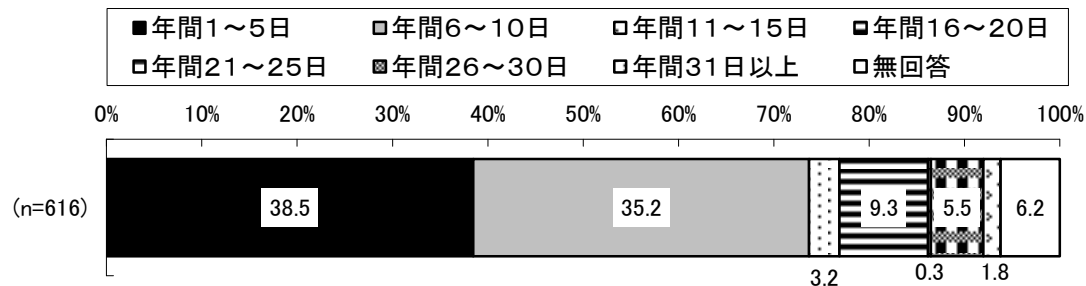
問20-2 その際、「できれば病児保育施設等を利用したい」と思われましたか。【〇は1つだけ】また、その場合の日数はどれくらいありますか。

問20-3 病児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

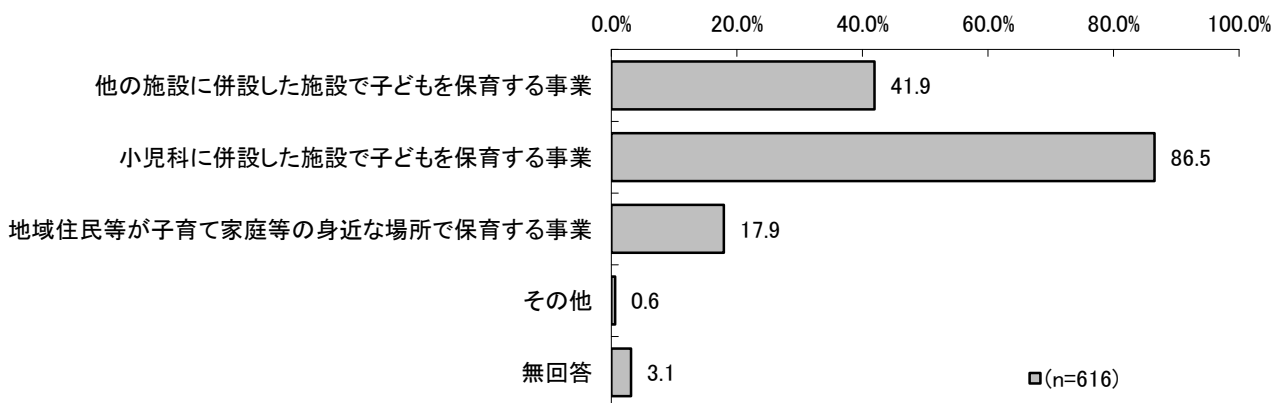
図表-133 病児保育の利用意向



図表-134 病児保育の利用希望日数



図表-135 希望する病児保育の事業形態



平日の定期的な教育・保育利用者で、この1年間に子どもの病気等のために利用している教育・保育を休んだ経験がある人に、病児保育の利用意向をたずねたところ、利用希望者（「できれば病児保育施設等を利用したい」と回答した人）が4割弱（38.1%）を占めている。

利用希望者の利用希望日数では「年間1～5日」（38.5%）・「年間6～10日」（35.2%）の割合が高く、平均10.5日／年であった。

また、利用希望者が希望する事業形態では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（86.5%）の割合が9割弱と突出して高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」（41.9%）となっている。

子どもの年齢別にみると、病児保育の利用意向は1歳（41.4%）と3歳（41.1%）で4割とやや高い。利用希望者の利用希望日数は年齢が低いほど長く、2歳以下では年間10日以上となっている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

家庭類型別にみると、利用希望者の利用希望日数はひとり親家庭や共働き家庭で長く、年間10日以上となっている。

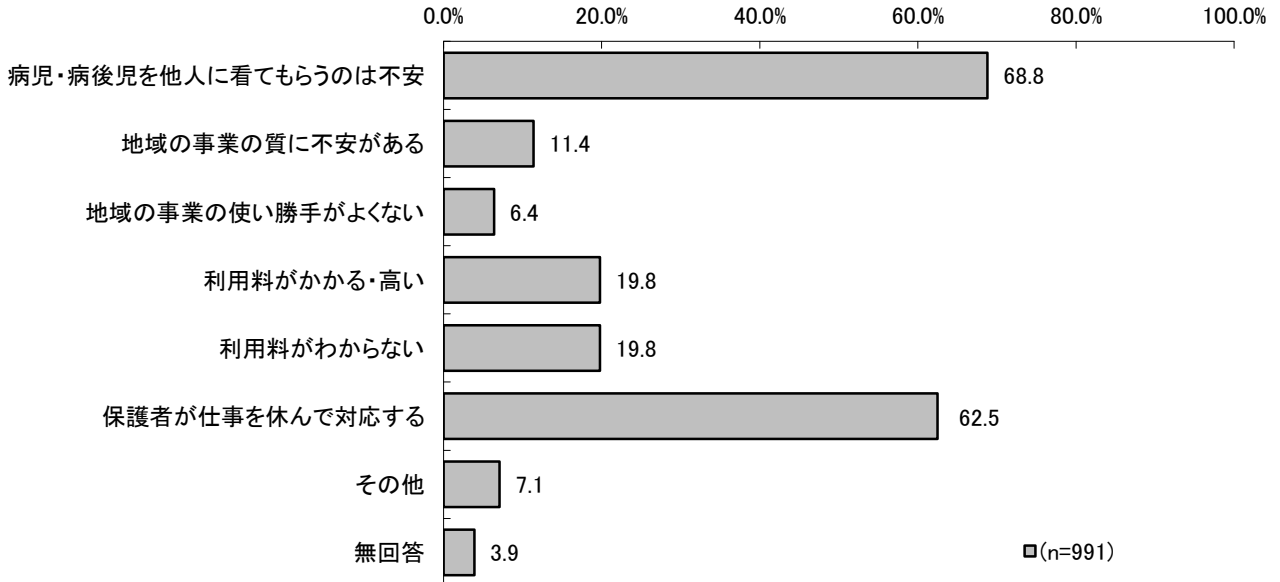
図表－136 子どもの年齢別・家庭類型別
病児保育の利用意向、利用希望日数（単位：％）

		調査数 (n)	でき 等 を 利 用 し た い	な 利 用 し た い と は 思 わ	無 回 答	病 児 保 育 施 設 等 の 利 用 希 望 日 数 (平 均 「日」)
全 体		1,618	38.1	61.2	0.7	10.5日
子 ど も の 年 齢	0歳	171	38.0	60.8	1.2	13.2日
	1歳	261	41.4	58.2	0.4	12.1日
	2歳	296	36.1	63.5	0.3	10.3日
	3歳	285	41.1	58.2	0.7	9.4日
	4歳	308	35.1	64.0	1.0	9.9日
	5歳	265	36.6	62.6	0.8	9.4日
	無回答	32	43.8	56.3	0.0	10.2日
	全 体		1,618	38.1	61.2	0.7
家 庭 類 型	ひとり親	159	39.6	60.4	0.0	12.1日
	共働き(両方フルタイム)	907	42.2	57.1	0.7	10.5日
	共働き(フルタイムとパート等)	439	30.1	69.7	0.2	10.1日
	共働き(両方パート等)	6	50.0	50.0	0.0	5.0日
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	49	26.5	73.5	0.0	7.6日
	一方のみ就労(パート等と未就労)	2	50.0	50.0	0.0	0.0日
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0日
	(再掲)共働き 計	1,352	38.3	61.2	0.5	10.4日
	(再掲)一方のみ就労 計	51	27.5	72.5	0.0	7.6日
無回答		56	37.5	55.4	7.1	12.1日

(3) 病児保育を利用したいと思わない理由

問20-4 病児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-137 病児保育を利用したいと思わない理由



平日の定期的な教育・保育利用者で、この1年間に子どもの病気等のために教育・保育を休んだ経験がある人のうち、病児保育を利用したいとは思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(68.8%)と「保護者が仕事を休んで対応する」(62.5%)の割合が6割を超えて高く、次いで「利用料がかかる・高い」(19.8%)・「利用料がわからない」(19.8%)となっている。

子どもの年齢別にみても大きな違いは見られない。

図表-138 子どもの年齢別 病児保育を利用したいと思わない理由 (単位: %)

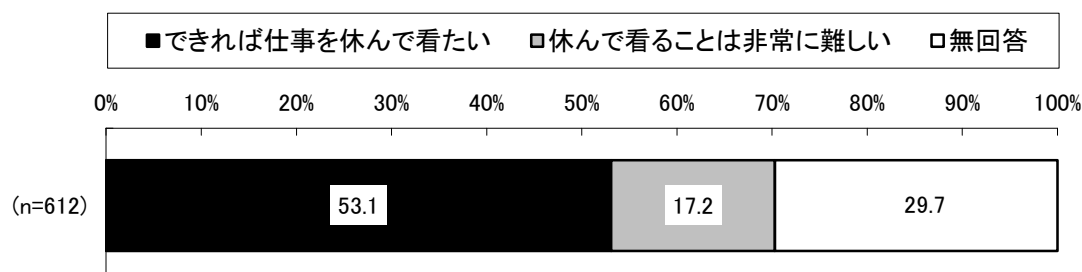
	調査数 (n)	看 て も ら う 後 の 児 を 他 人 に 不 安	病 児 ・ 病 後 児 の 質 に 不 安	が 地 域 の 事 業 の 使 い 勝 手	が 地 域 の 事 業 の 使 い 勝 手	利 用 料 が か か る ・ 高 い	利 用 料 が わ か ら な い	対 応 す る 保 護 者 が 仕 事 を 休 ん で	そ の 他	無 回 答
全 体	991	68.8	11.4	6.4	19.8	19.8	62.5	7.1	3.9	
子 ど も の 年 齢	0歳	104	76.9	17.3	8.7	23.1	19.2	59.6	8.7	6.7
	1歳	152	63.8	10.5	3.9	20.4	21.7	61.8	4.6	3.3
	2歳	188	73.4	11.7	8.0	18.1	21.8	66.0	6.4	1.6
	3歳	166	68.7	12.0	4.2	18.1	21.1	60.8	9.6	3.0
	4歳	197	63.5	8.6	6.1	21.3	20.3	60.4	5.6	6.1
	5歳	166	70.5	10.8	6.6	18.7	13.3	63.3	9.0	4.2
	無回答	18	61.1	11.1	16.7	22.2	27.8	77.8	0.0	0.0

(4) 病気等で平日の定期的な教育・保育を休む場合に父母が仕事を休むことについて

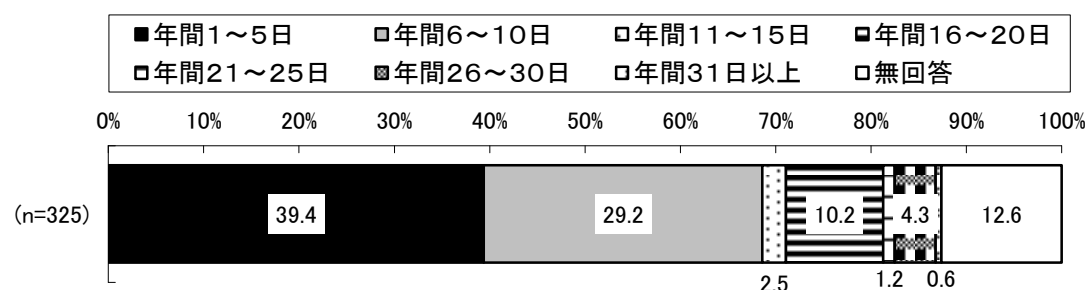
問20-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。【○は1つだけ】

問20-6 「休んで看することは非常に難しい」を選んだ場合) その理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

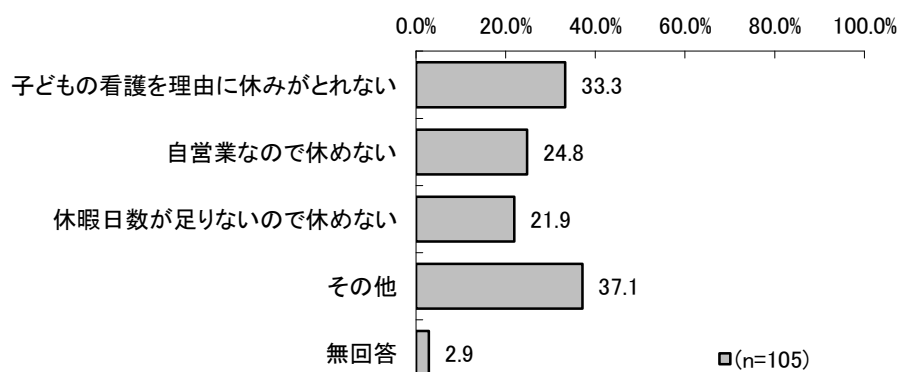
図表-139 父母が仕事を休んで看ることについての意向



図表-140 父母が仕事を休んで看たかった日数



図表-141 父母が仕事を休んで看ることが難しい理由



平日の定期的な教育・保育利用者で、この1年間に子どもの病気等のために教育・保育を休んだ経験がある人のうち、父母が仕事を休むこと以外で対処した人に、父母が仕事を休んで看たかたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」(53.1%)の割合が5割を超えている。

「できれば仕事を休んで看たい」と回答した人が、休んで看たかった日数では「年間1~5日」(39.4%)の割合が最も高く、次いで「年間6~10日」(29.2%)となっており、平均9.5日/年であった。

また、「休んで看することは非常に難しい」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「その他」(37.0%)以外では「子どもの看護を理由に休みがとれない」(33.3%)の割合が3割を超えて高くなっている。

子どもの年齢別にみると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合は概ね年齢が低いほど高く、0歳(60.4%)で6割を超えている。休んで看たかった日数も0歳(13.2日/年)で他の年齢に比べて長くなっている。

図表－142 子どもの年齢別
 父母が仕事を休んで見ることについての意向、休んで見たかった日数（単位：％）

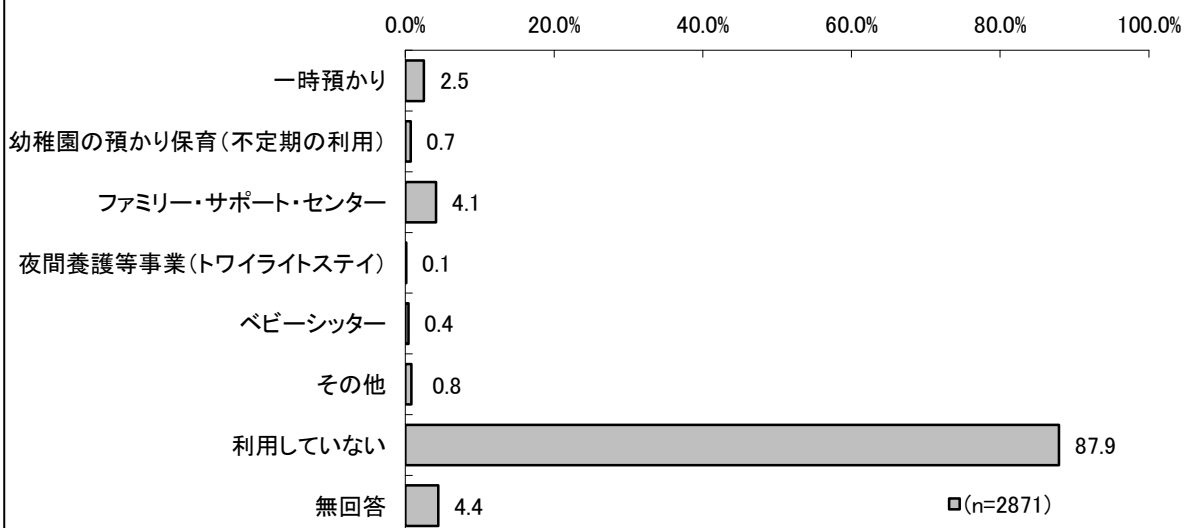
	調査数 (n)	できれば 見たい仕事 を休	非常に 難しい 休んで 見るこ とは	無 回 答	仕事 を休 んで 見 た か っ た 日 数 (平 均 「日」)	
全 体	612	53.1	17.2	29.7	9.5日	
子 ど も の 年 齢	0歳	48	60.4	20.8	18.8	13.2日
	1歳	86	54.7	17.4	27.9	8.6日
	2歳	109	56.0	13.8	30.3	8.4日
	3歳	118	56.8	21.2	22.0	8.9日
	4歳	131	45.8	16.0	38.2	10.1日
	5歳	111	50.5	17.1	32.4	8.7日
	無回答	9	55.6	0.0	44.4	12.5日

8. 不規則の保育サービス（一時預かり等）の利用について

(1) 不規則の保育サービスの利用状況

問21 この1年間に、調査対象のお子さんについて、私用、保護者の通院、不規則の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不規則に利用しているサービスはありますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-143 この1年間の不規則の保育サービスの利用状況



図表-144 サービス別利用日数（単位：％）

	調査数 (n)	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	無回答	平均日数 (日)
		1 5 日	6 5 1 0 日	1 5 日	1 5 0 日	2 5 日	2 3 0 日	3 1 日 以上		
合計日数	220	51.8	15.5	2.7	4.1	3.2	6.8	7.3	8.6	12.1日
一時預かり	72	37.5	20.8	0.0	8.3	5.6	11.1	8.3	8.3	15.9日
幼稚園の預かり保育(不規則の利用)	19	36.8	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5	26.3	20.0日
ファミリー・サポート・センター	117	70.1	16.2	0.9	3.4	0.0	3.4	1.7	4.3	6.3日
夜間養護等事業(トワイライトステイ)	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8日
ベビーシッター	11	27.3	36.4	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	11.9日
その他	24	29.2	16.7	4.2	0.0	8.3	4.2	12.5	25.0	14.6日

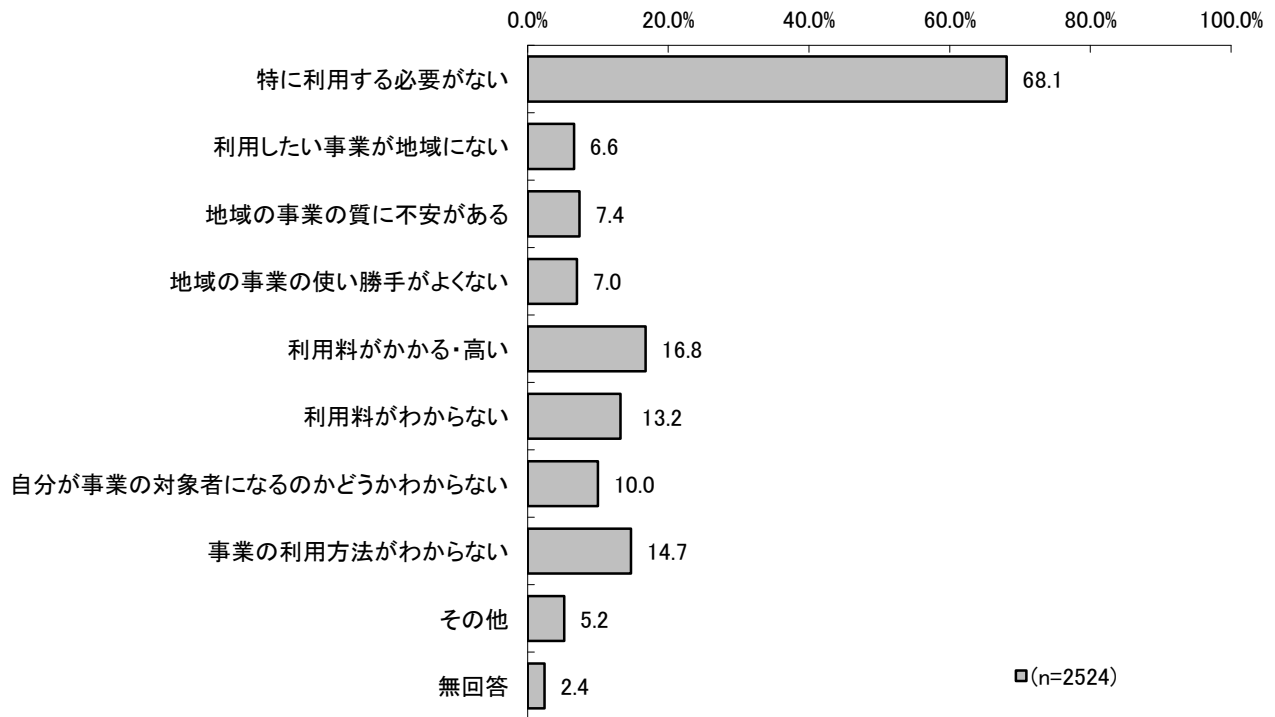
この1年間の不規則な保育サービスの利用状況についてたずねたところ、「利用していない」（87.9%）が9割弱を占め、利用率は「ファミリー・サポート・センター」（4.1%）、「一時預かり」（2.5%）などいずれも5%未満であった。

利用者の利用日数の合計は平均12.1日／年であり、利用サービス別の日数は「ファミリー・サポート・センター」：6.3日／年、「一時預かり」：15.9日／年などとなっている。

(2) 不定期の保育サービスを利用していない理由

問21-1 利用していない理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-145 この1年間に不定期の保育サービスを利用していない理由



この1年間に不定期の保育サービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」(68.1%)の割合が7割弱と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(16.8%)、「事業の利用方法がわからない」(14.7%)、「利用料がわからない」(13.2%)となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用料がかかる・高い」の割合は0歳(20.0%)でやや高く、2割となっている。

図表-146 子どもの年齢別
この1年間に不定期の保育サービスを利用していない理由(単位:%)

	調査数(n)	特に利用する必要がない	利用したい事業が地域にない	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の使い勝手がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	自分が事業の対象者になるのかわからない	事業の利用方法がわからない	その他	無回答	
全体	2,524	68.1	6.6	7.4	7.0	16.8	13.2	10.0	14.7	5.2	2.4	
子どもの年齢	0歳	485	64.9	7.0	10.1	5.8	20.0	12.8	10.9	15.1	7.6	2.3
	1歳	355	64.2	6.8	8.2	7.3	16.6	11.8	8.7	13.2	7.3	2.8
	2歳	392	71.9	6.4	7.1	7.7	17.9	14.0	11.2	16.1	1.5	1.8
	3歳	390	68.5	6.4	8.2	7.7	15.1	14.4	10.8	14.6	5.4	3.1
	4歳	447	70.9	5.8	5.4	6.7	14.5	13.2	8.7	15.2	4.9	1.3
	5歳	398	68.3	7.3	6.3	7.3	15.6	13.1	9.5	14.1	4.3	3.0
	無回答	57	66.7	7.0	1.8	5.3	19.3	10.5	10.5	14.0	3.5	3.5

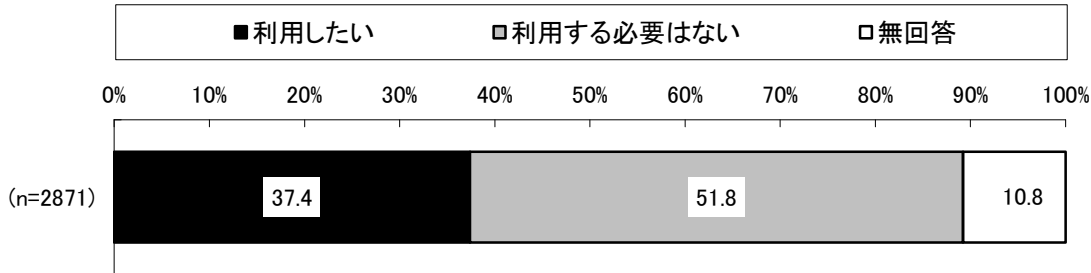
(3) 不定期の保育サービスの利用意向

問22 調査対象のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的でサービスを利用する必要があると思いますか。【○は1つだけ】

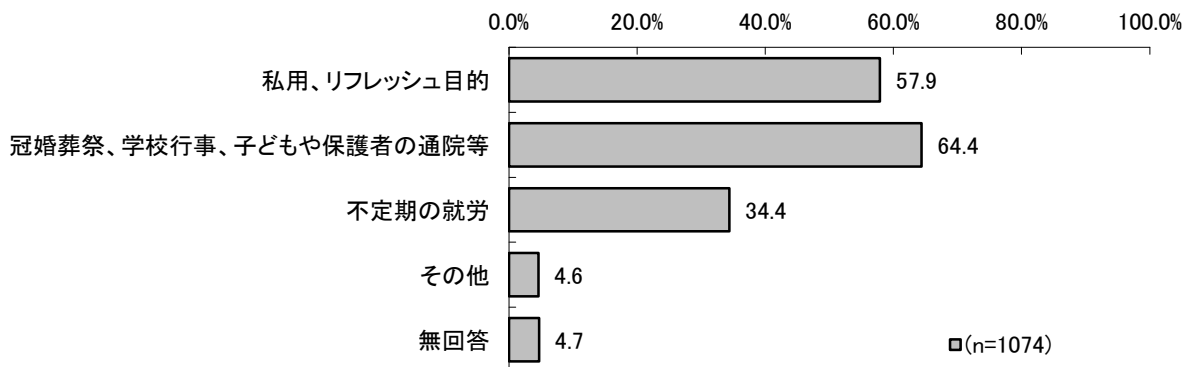
また、その目的は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

問22-1 問22の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

図表-147 不定期の保育サービスの利用意向



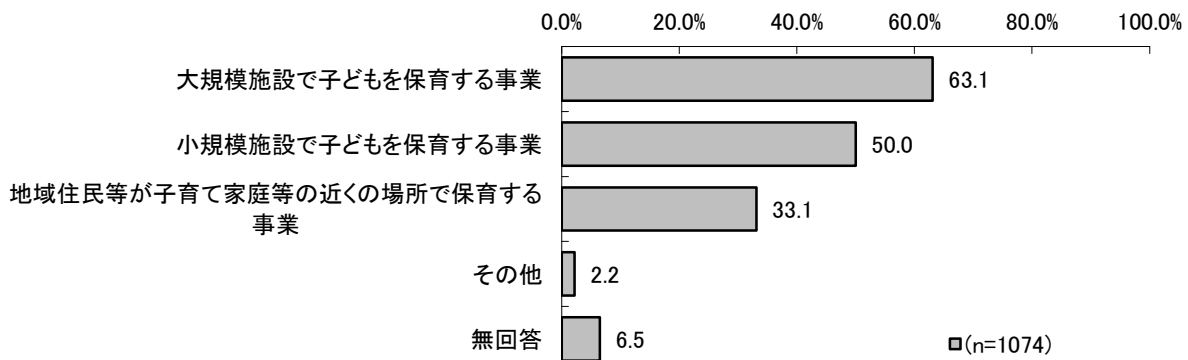
図表-148 不定期の保育サービス利用希望者の利用目的



図表-149 利用目的別日数 (単位: %)

	(n調査数)	年間1日5	0年6日1	1年5日1	2年0日1	2年5日2	3年0日2	以上3日	無回答	(平均)日数
合計日数	1,074	14.6	25.0	10.6	6.6	4.0	6.7	6.6	25.9	16.1日
私用、リフレッシュ目的	622	37.8	25.9	12.5	5.6	4.5	2.7	2.9	8.0	10.8日
冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等	692	47.4	28.2	6.6	4.0	0.4	1.7	0.9	10.7	7.9日
不定期の就労	369	35.0	23.3	6.5	7.0	4.6	3.8	6.2	13.6	13.4日
その他	49	28.6	24.5	6.1	6.1	2.0	12.2	6.1	14.3	15.2日

図表-150 希望する不定期の保育サービスの事業形態



一時預かり等の不特定の保育サービスの利用意向では、「利用したい」(37.4%)が4割弱となっている。

利用希望者の利用目的では「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」(64.4%)の割合が最も高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」(57.9%)、「不特定の就労」(34.4%)となっている。

利用希望者の利用希望日数の合計は平均16.1日/年であり、利用目的別では「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」:7.9日/年、「私用、リフレッシュ目的」:10.8日/年「不特定の就労」:13.4日/年となっている。

利用希望者が希望する事業形態では「大規模施設で子どもを保育する事業」(63.1%)の割合が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(50.0%)となっている。

子どもの年齢別にみると、利用意向は概ね年齢が低いほど高く、0歳(42.1%)で4割を超えている。また、利用目的でも「私用、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院等」の割合は概ね年齢が低いほど高くなっている。

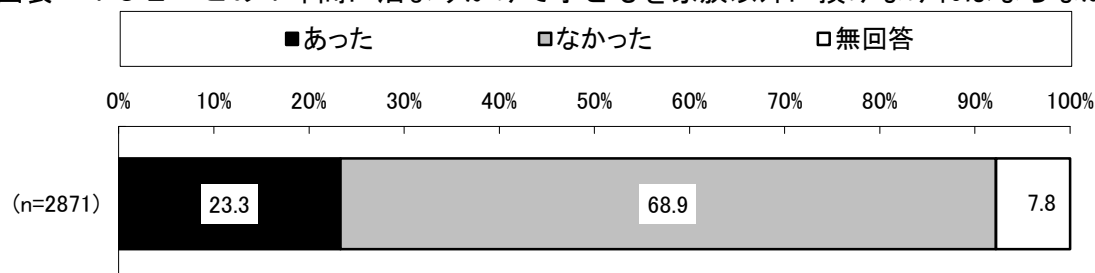
図表-151 子どもの年齢別
不特定の保育サービスの利用意向、利用希望者の利用目的、合計日数(単位:%)

	利用意向				利用希望者の利用目的							利用希望合計日数 (平均「日」)
	調査数 (n)	利用したい	利用する必要はない	無回答	調査数 (n)	私用、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、子どもや保護者の通院等	不特定の就労	その他	無回答		
全体	2871	37.4	51.8	10.8	1,074	57.9	64.4	34.4	4.6	4.7	16.1日	
子どもの年齢	0歳	553	42.1	47.6	10.3	233	63.5	70.0	32.2	5.6	2.6	18.4日
	1歳	410	39.5	49.5	11.0	162	64.2	66.0	29.6	6.2	4.9	15.5日
	2歳	451	38.6	50.3	11.1	174	48.3	61.5	34.5	3.4	5.7	15.9日
	3歳	443	34.8	55.1	10.2	154	59.7	61.7	35.1	5.8	5.2	13.6日
	4歳	496	34.9	53.2	11.9	173	56.1	64.2	36.4	4.0	4.6	14.8日
	5歳	450	33.3	56.4	10.2	150	54.7	61.3	39.3	2.7	6.7	17.4日
	無回答	68	41.2	45.6	13.2	28	53.6	60.7	35.7	0.0	0.0	16.6日

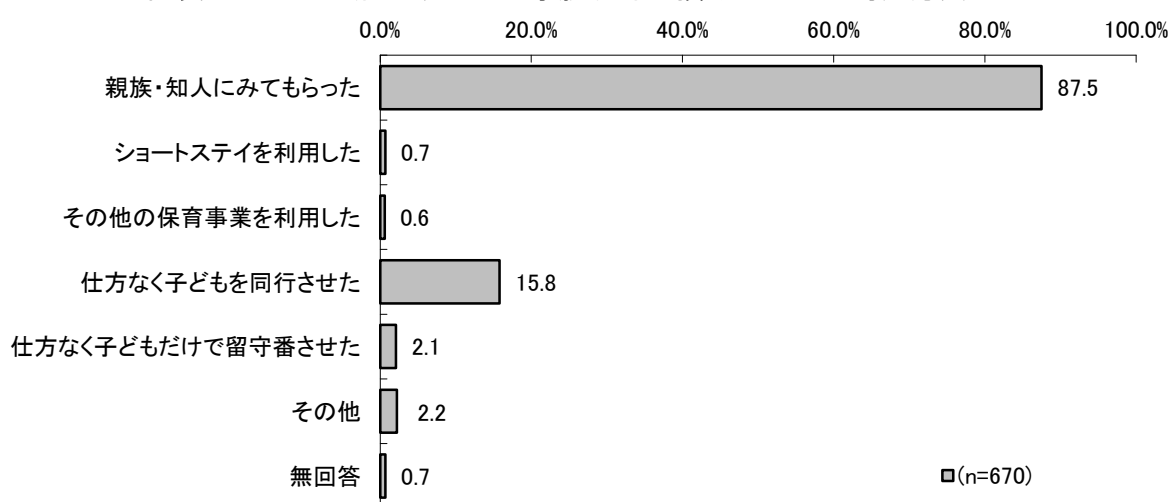
(4) 泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験

問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、調査対象のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。【○は1つだけ】
また、あった場合、どのように対処しましたか。【○はあてはまるものすべて】

図表-152 この1年間に泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験



図表-153 泊まりがけで家族以外に預けたときの対処方法



図表-154 対処方法別泊数（単位：%）

	(n調査数)	泊年間	0泊間	1泊間	2泊間	2泊間	3泊間	以上泊間	無回答	(平均泊数)
合計泊数	670	55.7	20.7	4.0	3.4	0.7	1.6	1.8	11.9	6.9泊
親族・知人にみてもらった	586	58.9	20.8	3.8	2.7	0.5	1.7	1.2	10.4	6.3泊
ショートステイを利用した	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0泊
その他の保育事業を利用した	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	1.5泊
仕方なく子どもを同行させた	106	59.4	12.3	0.9	8.5	0.0	0.0	0.0	18.9	5.5泊
仕方なく子どもだけで留守番させた	14	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	50.0	9.0泊
その他	15	33.3	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	13.3	20.0	20.8泊

この1年間に泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験の有無についてたずねたところ、「あった」（23.3%）が2割強となっている。

泊まりがけで預けなければならなかったときの対処方法では、「親族・知人にみてもらった」（87.5%）の割合が9割弱と突出して高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」（15.8%）となっている。

また、預けなければならなかったときの泊数の合計は平均6.9泊／年であり、対処方法別では「親族・知人にみてもらった」：6.3泊／年、「仕方なく子どもを同行させた」：5.5泊／年などとなっている。

子どもの年齢別にみると、泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験があった人の割合は、4歳（26.2%）・5歳（26.2%）でやや高く、3割弱を占めている。

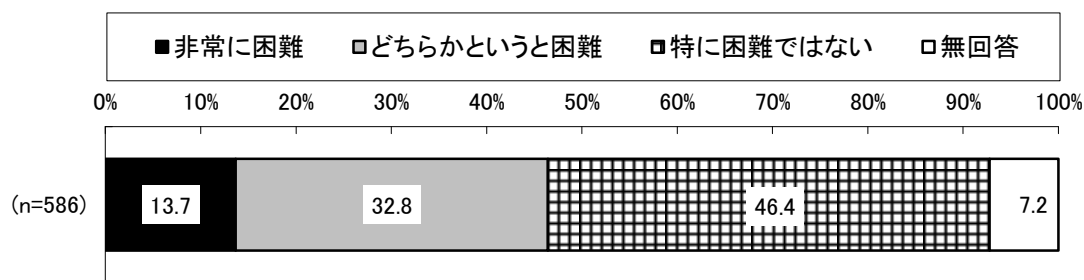
図表－155 子どもの年齢別 この1年間に泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験、対処方法、泊数（単位：%）

	経験有無				対処方法									合計泊数 (平均「泊」)
	調査数 (n)	あった	なかった	無回答	調査数 (n)	た親族・知人にみてもらった	たシヨートステイを利用し	しその他の保育事業を利用	せした	仕方なく子どもを同行させた	守番させた	仕方なく子どもだけで留	その他	
全体	2,871	23.3	68.9	7.8	670	87.5	0.7	0.6	15.8	2.1	2.2	0.7	6.9泊	
子どもの年齢	0歳	553	17.2	76.5	6.3	95	85.3	1.1	1.1	16.8	0.0	2.1	1.1	7.7泊
	1歳	410	24.6	65.9	9.5	101	90.1	0.0	0.0	12.9	1.0	4.0	0.0	8.2泊
	2歳	451	23.7	67.6	8.6	107	87.9	0.0	0.9	15.0	0.9	0.9	0.0	5.7泊
	3歳	443	21.9	70.2	7.9	97	87.6	0.0	1.0	14.4	1.0	2.1	1.0	5.6泊
	4歳	496	26.2	66.7	7.1	130	89.2	0.8	0.0	15.4	3.1	2.3	0.8	7.1泊
	5歳	450	27.6	65.3	7.1	124	84.7	2.4	0.8	17.7	5.6	2.4	1.6	7.1泊
無回答	68	23.5	63.2	13.2	16	87.5	0.0	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0	5.1泊	

(5) 泊まりがけで子どもを親族・知人にみてもらう場合の困難度

問23-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。【〇は1つだけ】

図表-156 泊まりがけで子どもを親族・知人にみてもらう場合の困難度



この1年間に泊まりがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった人のうち、「親族・知人にみてもらった」と回答した人に、その際の困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」(46.4%)の割合が最も高いものの、「どちらかという困難」(32.8%)や「非常に困難」(13.7%)を合わせると、困難を抱える人が5割弱(46.5%)を占めている。

子どもの年齢別にみると、「非常に困難」「どちらかという困難」を合わせた困難を抱える人の割合は0~2歳で5割前後とやや高くなっている。

図表-157 子どもの年齢別
泊まりがけで子どもを親族・知人にみてもらう場合の困難度 (単位: %)

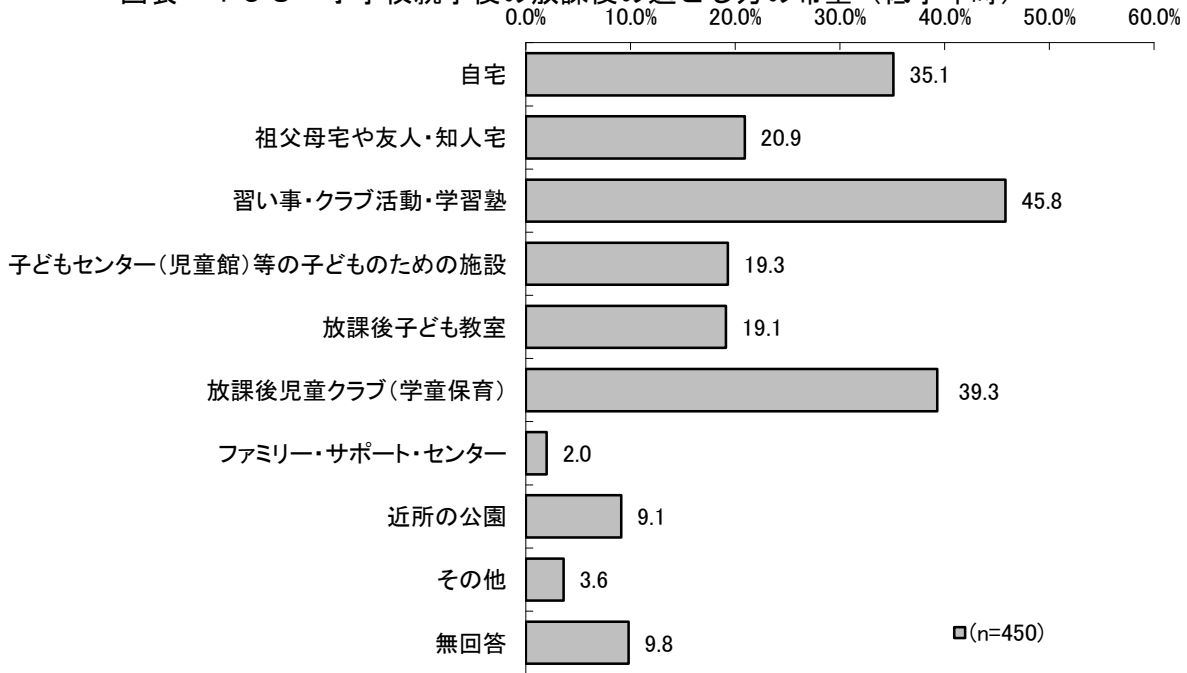
	調査数 (n)	非常に困難	どちらかという困難	特に困難ではない	無回答	困難計	
全体	586	13.7	32.8	46.4	7.2	46.5	
子どもの年齢	0歳	81	14.8	34.6	48.1	2.5	49.4
	1歳	91	15.4	35.2	42.9	6.6	50.6
	2歳	94	16.0	36.2	45.7	2.1	52.2
	3歳	85	9.4	35.3	48.2	7.1	44.7
	4歳	116	13.8	32.8	44.0	9.5	46.6
	5歳	105	10.5	24.8	51.4	13.3	35.3
	無回答	14	28.6	28.6	35.7	7.1	57.2

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳児）

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（低学年時）

問24 調査対象のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

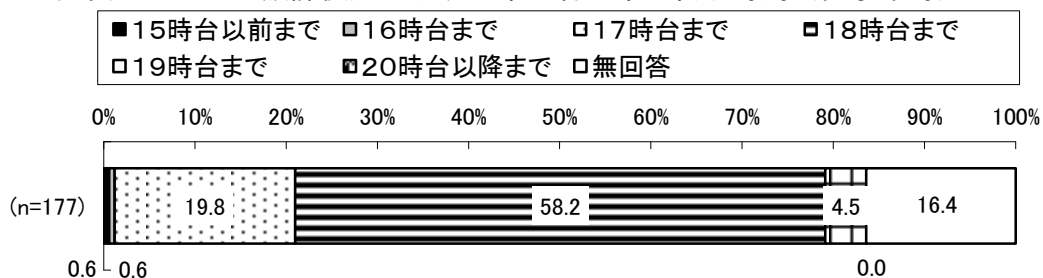
図表－158 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（低学年時）



図表－159 希望場所別日数（低学年時）（単位：％）

	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均)日数
自宅	158	10.8	20.3	20.3	6.3	32.9	9.5	3.3日
祖父母宅や友人・知人宅	94	16.0	24.5	21.3	2.1	26.6	9.6	3.0日
習い事・クラブ活動・学習塾	206	14.6	39.8	27.7	5.8	10.2	1.9	2.6日
子どもセンター(児童館)等の子どものための施設	87	13.8	20.7	11.5	3.4	41.4	9.2	3.4日
放課後子ども教室	86	17.4	8.1	16.3	4.7	47.7	5.8	3.6日
放課後児童クラブ(学童保育)	177	1.7	6.8	9.6	5.1	71.8	5.1	4.5日
ファミリー・サポート・センター	9	11.1	11.1	22.2	0.0	33.3	22.2	3.4日
近所の公園	41	31.7	17.1	19.5	2.4	17.1	12.2	2.5日
その他	16	6.3	25.0	12.5	6.3	37.5	12.5	3.5日

図表－160 放課後児童クラブ希望者の希望終了時刻（低学年時）



第4章 就学前児童保護者調査の結果

5歳児の保護者に対して、小学校就学後の放課後の過ごし方の希望についてたずねた。

低学年時（1～3年生）の希望では、「習い事・クラブ活動・学習塾」（45.8％）の割合が最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（39.3％）、「自宅」（35.1％）となっている。

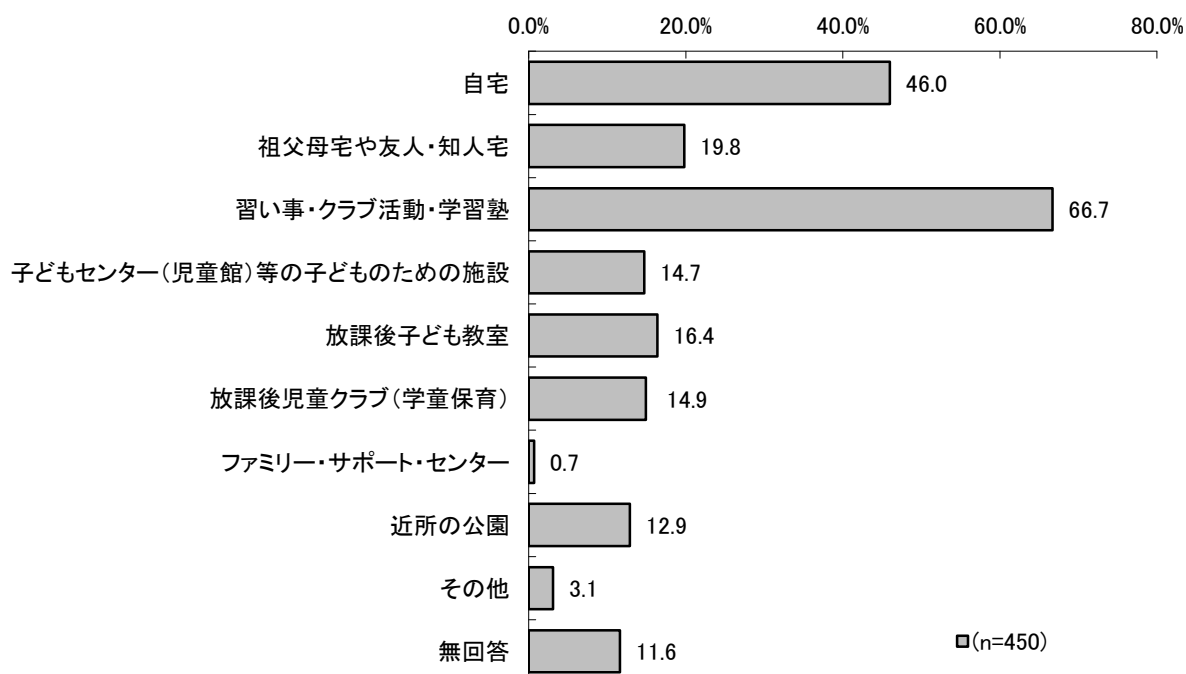
希望場所別の利用希望日数の平均は「習い事・クラブ活動・学習塾」：2.6日／週、「放課後児童クラブ（学童保育）」：4.5日／週、「自宅」：3.3日／週などとなっている。

また、放課後児童クラブ利用希望者の希望終了時刻は「18時まで」（58.2％）の割合が6割弱と最も高く、次いで「17時まで」（19.8％）となっている。

（2）小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（高学年時）

問25 調査対象のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

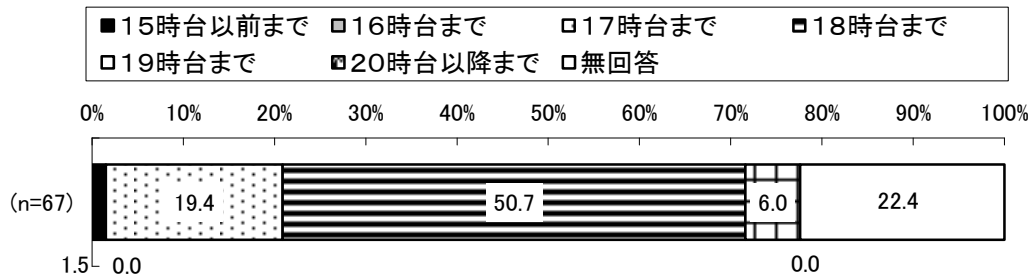
図表－161 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望（高学年時）



図表－162 希望場所別日数（高学年時）（単位：％）

	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均日数)
自宅	207	13.0	27.1	18.4	4.8	26.6	10.1	3.1日
祖父母宅や友人・知人宅	89	19.1	29.2	16.9	2.2	24.7	7.9	2.8日
習い事・クラブ活動・学習塾	300	5.0	23.7	36.0	8.7	21.7	5.0	3.2日
子どもセンター(児童館)等の子どものための施設	66	22.7	16.7	12.1	1.5	34.8	12.1	3.1日
放課後子ども教室	74	13.5	12.2	27.0	4.1	32.4	10.8	3.3日
放課後児童クラブ(学童保育)	67	4.5	14.9	20.9	1.5	50.7	7.5	3.9日
ファミリー・サポート・センター	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	3.0日
近所の公園	58	24.1	24.1	17.2	0.0	19.0	15.5	2.6日
その他	14	0.0	28.6	0.0	7.1	50.0	14.3	3.9日

図表－163 放課後児童クラブ希望者の希望終了時刻（高学年時）



高学年時（4～6年生）の希望でも「習い事・クラブ活動・学習塾」（66.7%）の割合が最も高く、次いで「自宅」（46.0%）となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」（14.9%）も1割を超えている。

希望場所別の利用希望日数の平均は「習い事・クラブ活動・学習塾」：3.2日／週、「自宅」：3.1日／週、「放課後児童クラブ（学童保育）」：3.9日／週などとなっている。

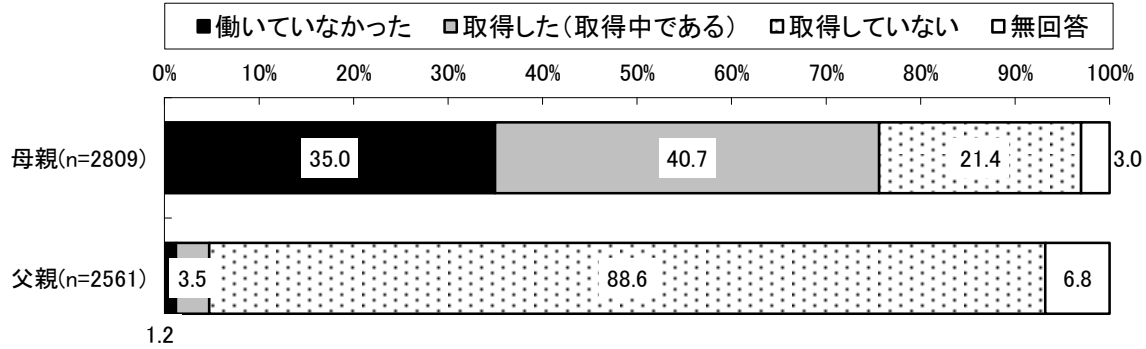
また、放課後児童クラブ利用希望者の希望終了時刻は「18時まで」（50.7%）の割合が5割と最も高く、次いで「17時まで」（19.4%）となっている。

10. 職場の両立支援制度について

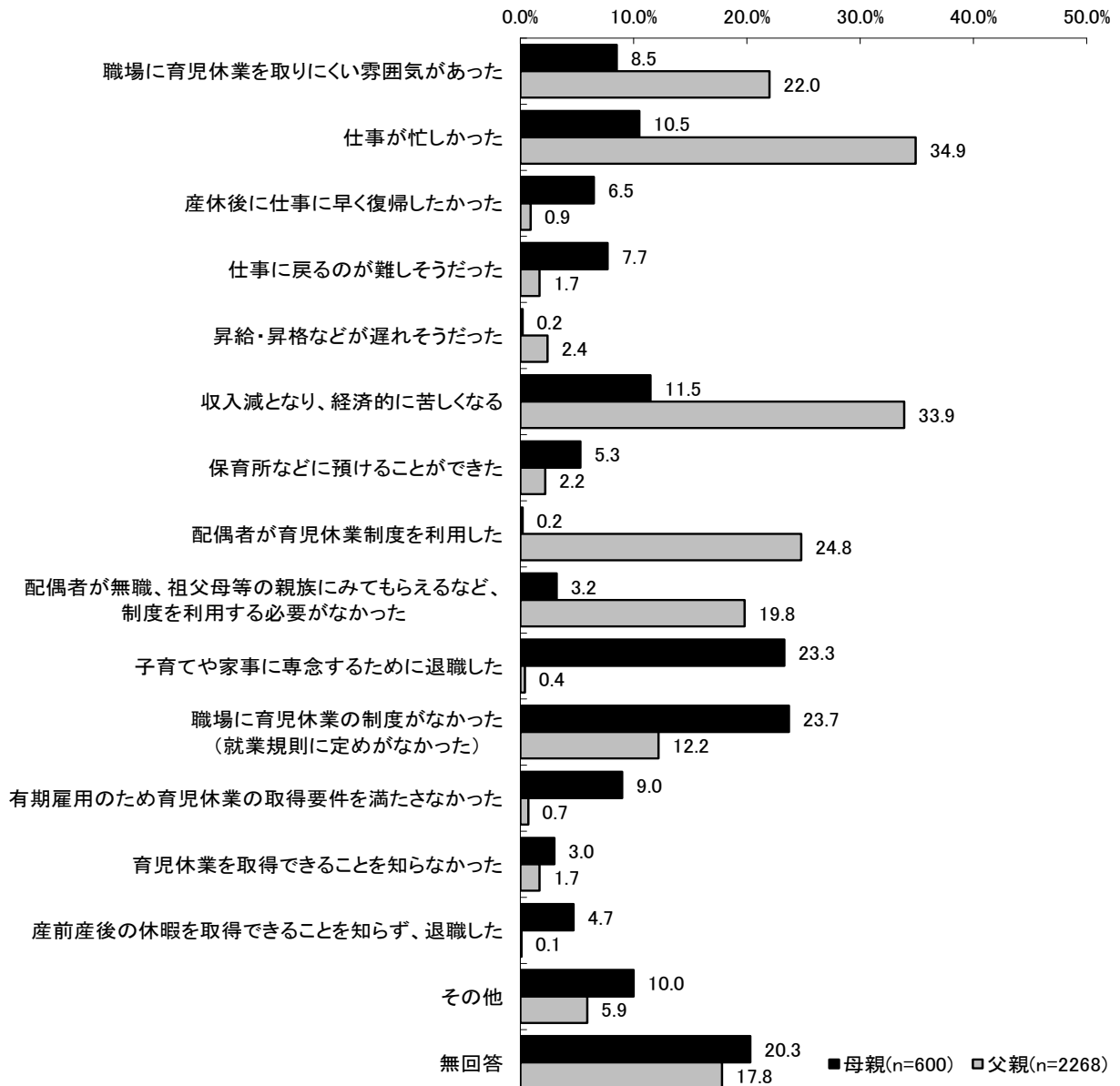
(1) 保護者の育児休業取得状況

問26 調査対象のお子さん生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親・父親それぞれについてお答えください。【○は1つだけ】
また、取得していない方はその理由をお答えください。【○はあてはまるものすべて】

図表-164 育児休業の取得状況（母親・父親）



図表-165 育児休業を取得していない理由（母親・父親）



保護者の育児休業の取得状況を父母別にみると、取得率（「取得した（取得中である）」の割合）は母親で40.7%、父親で3.5%となっている。

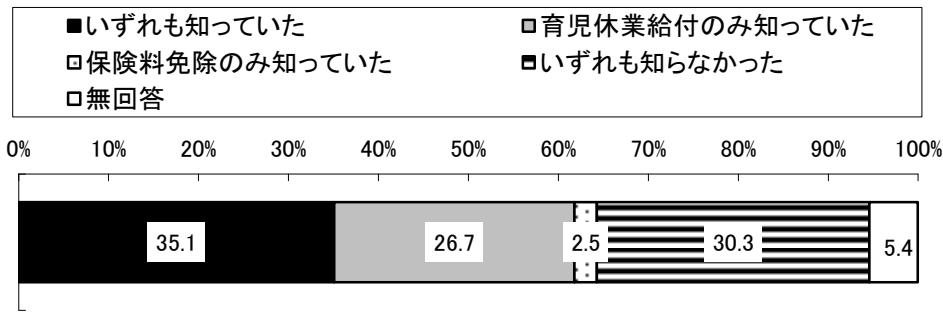
育児休業を取得していない理由は、母親では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（23.7%）と「子育てや家事に専念するために退職した」（23.3%）の割合が2割強と高く、以下「収入減となり、経済的に苦しくなる」（11.5%）、「仕事が忙しかった」（10.5%）が1割台で続いている。

一方、父親では「仕事が忙しかった」（34.9%）と「収入減となり、経済的に苦しくなる」（33.9%）の割合が3割を超えて高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」（24.8%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（22.0%）、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（19.8%）となっている。

(2) 育児休業給付・保険料免除の仕組みの認知度

問26-1 次のような育児休業中に利用できる制度をご存じですか。【〇は1つだけ】

図表-166 育児休業給付・保険料免除の仕組みの認知度



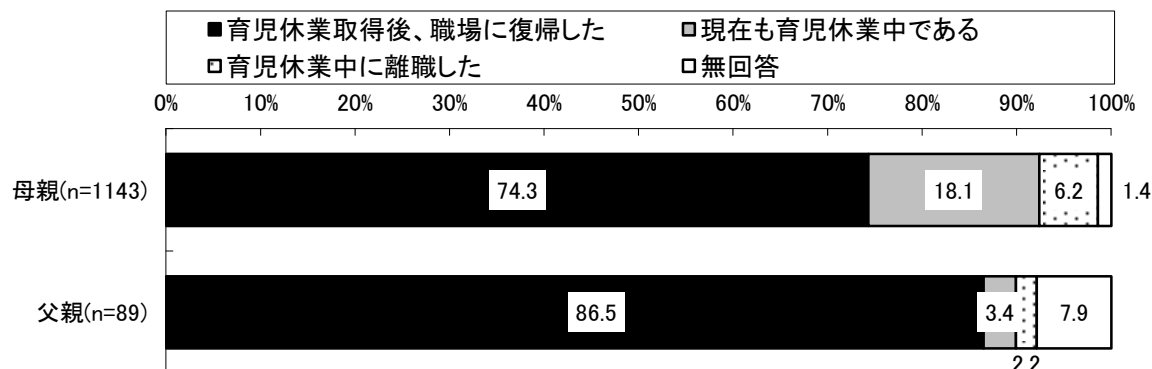
育児休業給付や、育児休業等期間中の健康保険料・厚生年金保険料の免除の仕組みについての認知度をたずねたところ、「既知」（35.1%）の割合が最も高く、次いで「既知なし」（30.3%）、「育児休業給付のみ既知」（26.7%）となっている。

(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況、タイミング

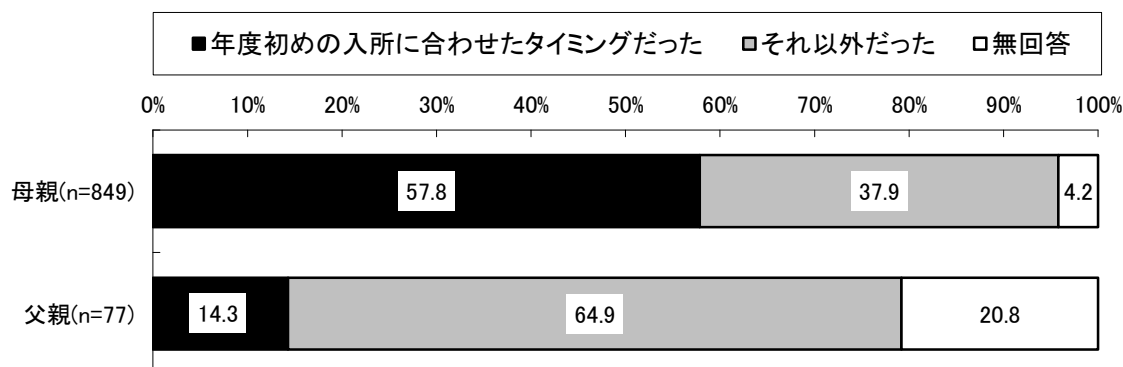
問26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【〇は1つだけ】

問26-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【〇は1つだけ】

図表-167 育児休業取得後の職場復帰の状況（母親・父親）



図表-168 育児休業取得後の職場復帰のタイミング（母親・父親）



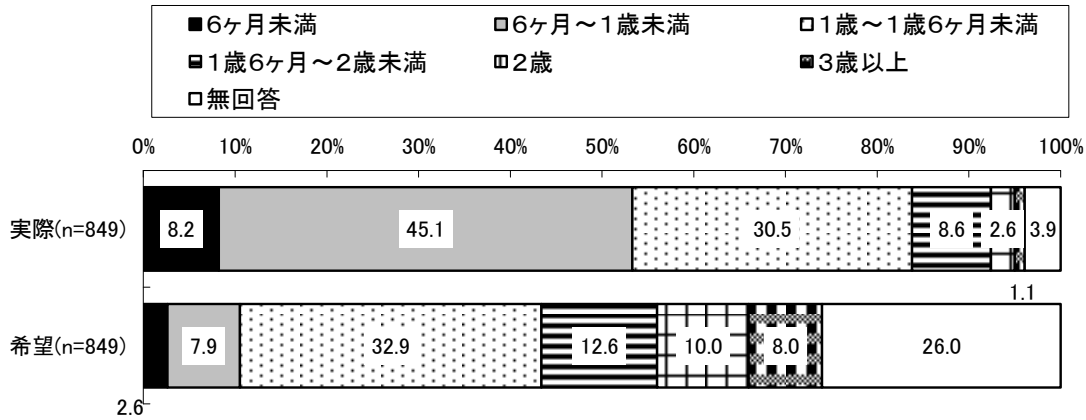
育児休業を「取得した（取得中である）」と回答した人に、育児休業取得後の職場復帰の状況についてたずねところ、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が7割を超えている（母親：74.3%、父親：86.5%）。

また、育児休業取得後の職場復帰のタイミングは、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」（57.8%）、父親では「それ以外だった」（64.9%）の割合が6割前後と最も高くなっている。

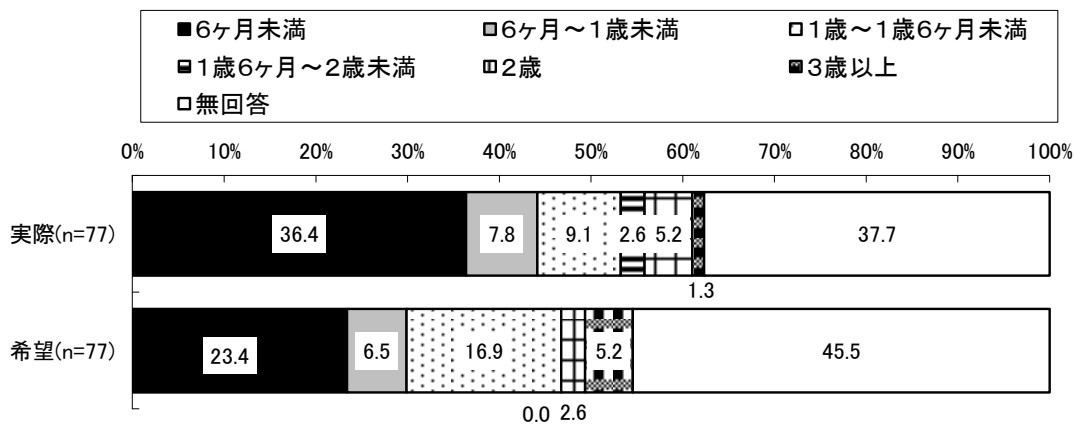
(4) 育児休業取得後の職場復帰時期

問26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

図表-169 育児休業からの職場復帰時期（母親）



図表-170 育児休業からの職場復帰時期（父親）

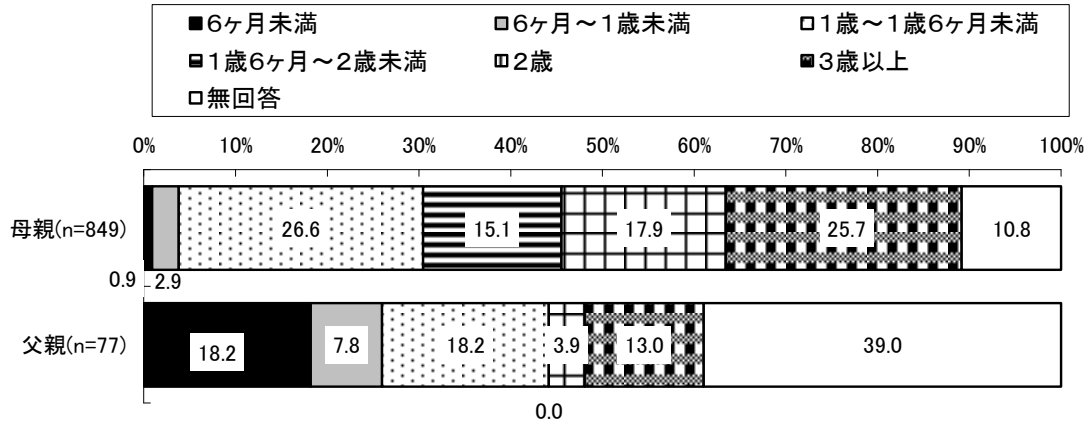


育児休業取得者で取得後に職場復帰した人に、職場復帰の時期（復帰したときの子どもの年齢）の『実際』と『希望』をたずねたところ、母親では『実際』は「6ヶ月～1歳未満」（45.1%）の割合が最も高く、『希望』では「1歳～1歳6ヶ月未満」（32.9%）の割合が最も高くなっている。一方、父親では『実際』も『希望』も「6ヶ月未満」の割合が最も高くなっている（実際：36.4%、希望：23.4%）。

(5) 3歳まで育児休業を取得できる場合に希望する職場復帰時期

問26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

図表-171 3歳まで育児休業を取得できる場合に希望する職場復帰時期（母親・父親）

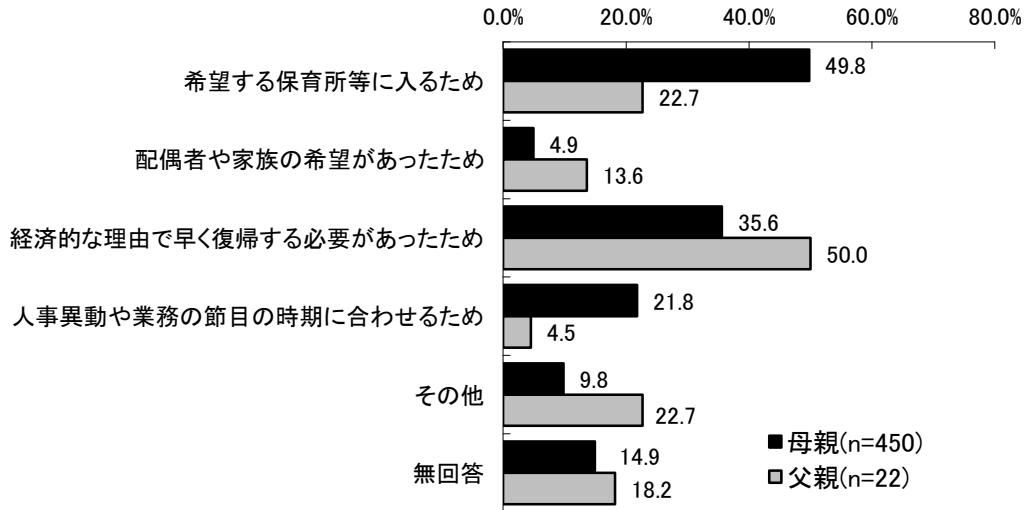


育児休業取得後に職場復帰した人に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の職場復帰時期（復帰したときの子どもの年齢）の希望をたずねたところ、母親では「1歳～1歳6ヶ月未満」（26.6%）と「3歳以上」（25.7%）、父親では「6ヶ月未満」（18.2%）と「1歳～1歳6ヶ月未満」（18.2%）の割合が高くなっている。

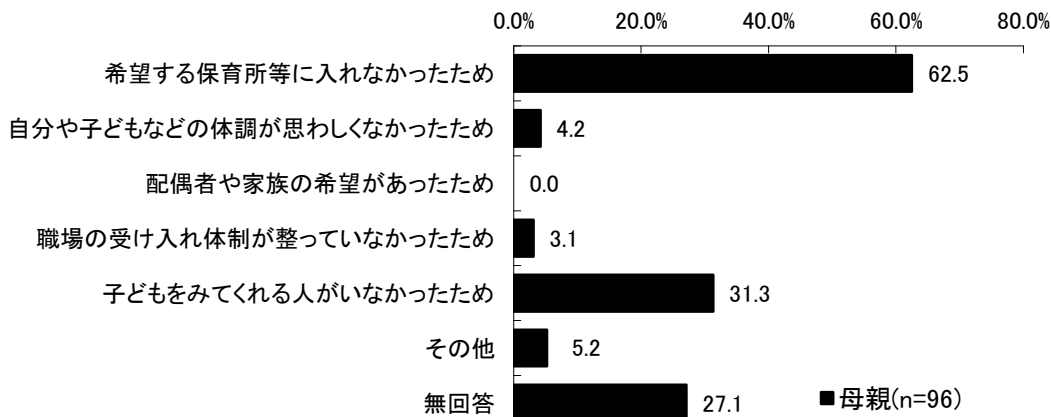
(6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問26-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
【〇はあてはまるものすべて】

図表-172 希望時期より早く復帰した理由(母親・父親)



図表-173 希望時期より遅く復帰した理由(母親・父親)



(注)父親(n=1)はグラフには表示していない

育児休業取得後に職場復帰した人のうち、職場復帰時期の『実際』と『希望』が異なる人に対して、その理由をたずねた。

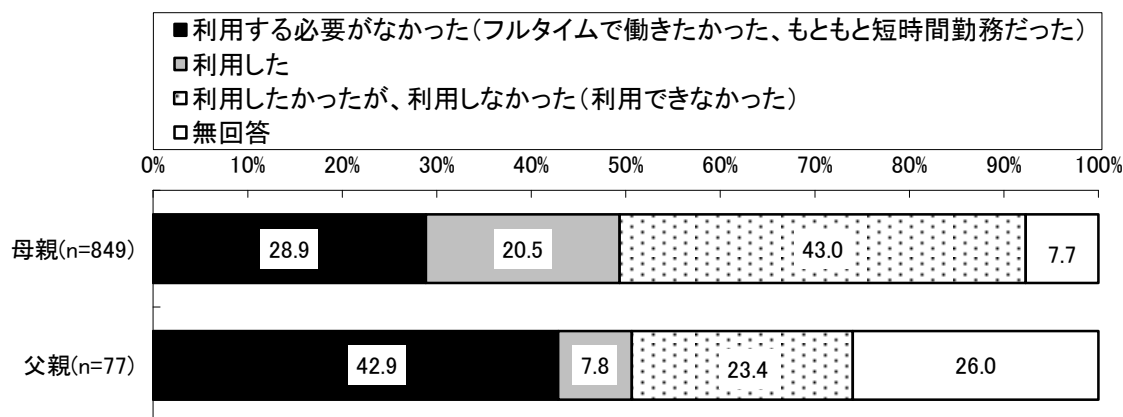
希望時期より早く復帰した人の理由は、母親では「希望する保育所等に入るため」(49.8%)の割合が最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(35.6%)となっている。父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(50.0%)の割合が最も高くなっている。

一方、希望時期より遅く復帰した人の理由は、母親では「希望する保育所に入れなかったため」(62.5%)の割合が6割強と最も高く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」(31.3%)となっている。また、父親は該当者が1人であり、理由は無回答であった。

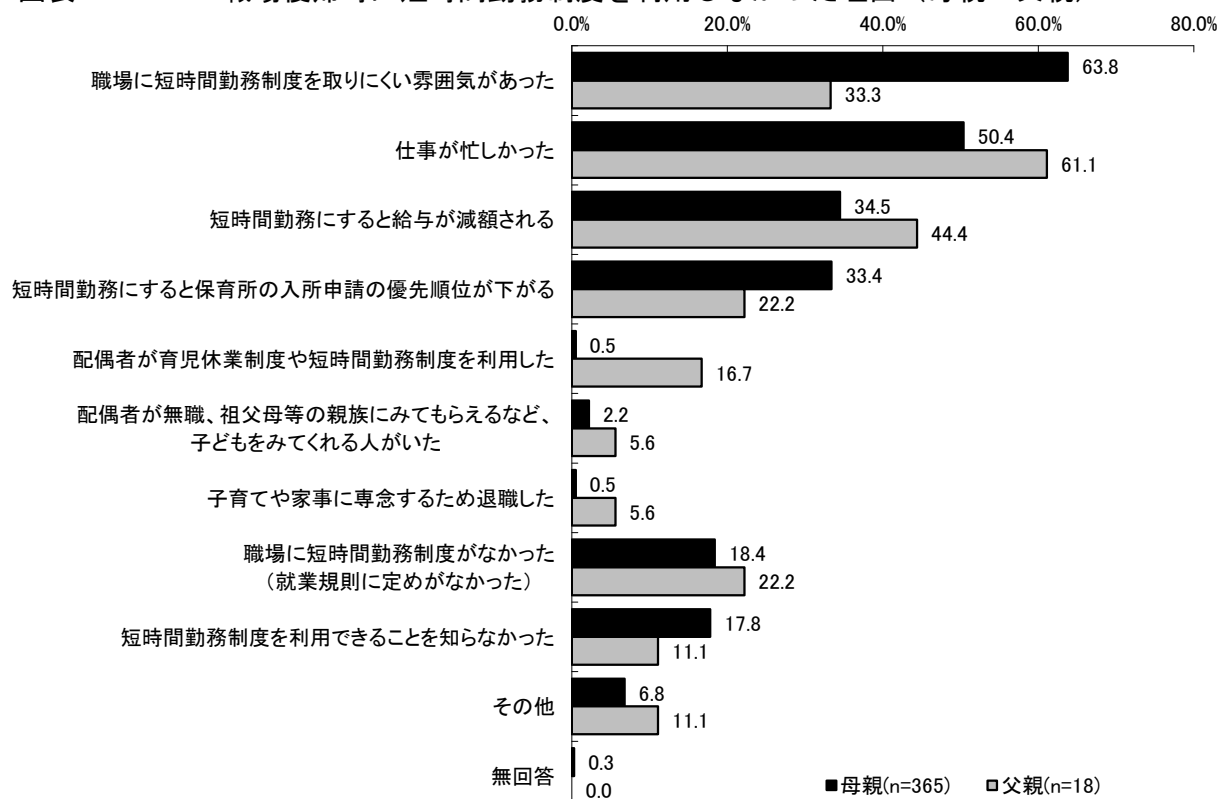
(7) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問26-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【○は1つだけ】
 問26-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

図表-174 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況（母親・父親）



図表-175 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由（母親・父親）



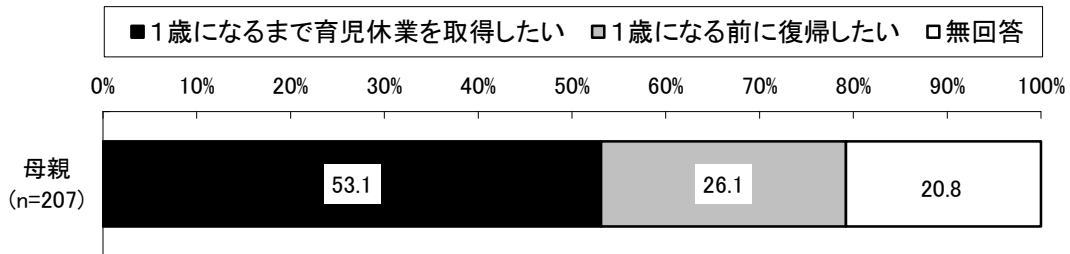
育児休業取得後に職場復帰した人に、復帰時の短時間勤務制度の利用状況についてたずねたところ、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」(43.0%)、父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」(42.9%)の割合が最も高くなっている。また、短時間勤務制度の利用率(「利用した」の割合)は、母親：20.5%、父親：7.8%であった。

復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）人に、その理由をたずねたところ、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(63.8%)の割合が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(50.4%)となっている。父親では「仕事が忙しかった」(61.1%)の割合が最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(44.4%)となっている。

(8) 育児休業取得中の人の取得期間の希望

問26-9 調査対象のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。【〇は1つだけ】

図表-176 育児休業取得中の人の取得期間の希望（母親）



(注)父親(n=3)はグラフには表示していない

育児休業取得中の人に、1歳になったときに必ず利用できる事業があれば1歳になるまで育児休業を取得するかたずねたところ、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」(53.1%)の割合が5割を超え、「1歳になる前に復帰したい」(26.1%)を上回っている。

父親は該当者が3人であり、うち2人が「1歳になるまで育児休業を取得したい」、1人が「1歳になる前に復帰したい」であった。

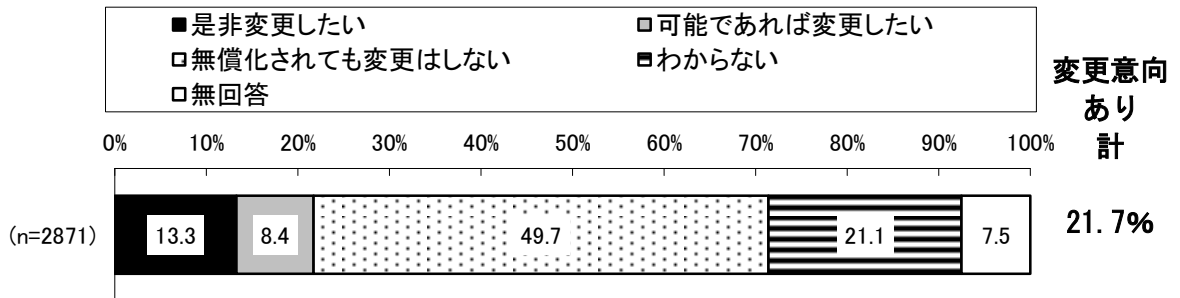
1.1. 幼児教育・保育無償化について

(1) 幼児教育・保育無償化による教育・保育の利用変更意向

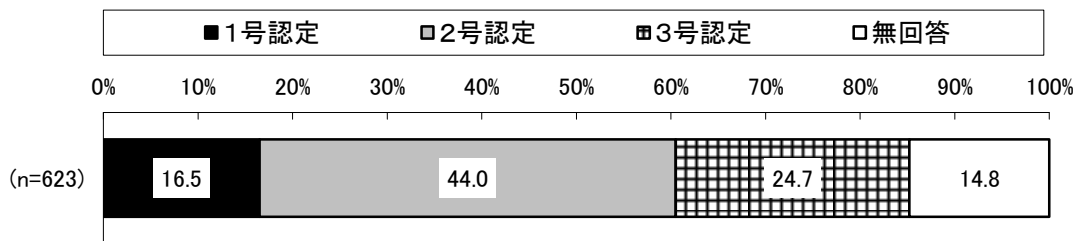
問27 国の方針では今年10月から幼児教育・保育無償化が実施される予定です。あなたは、無償化によって、調査対象のお子さんの保育所・幼稚園等の利用を変更したいと思いますか。【〇は1つだけ】

問27-1 無償化によって、調査対象のお子さんの保育所・幼稚園等の利用をどのように変更したいと思いますか。希望する認定区分と利用時間をそれぞれお答えください。【〇は1つだけ】

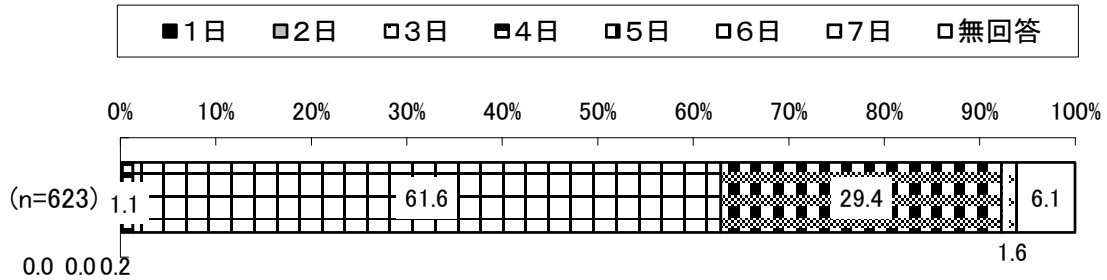
図表-177 幼児教育・保育無償化による教育・保育の利用変更意向



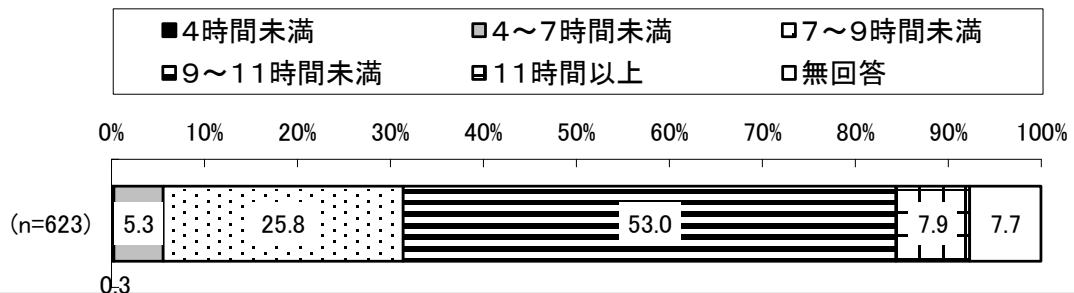
図表-178 希望する認定区分

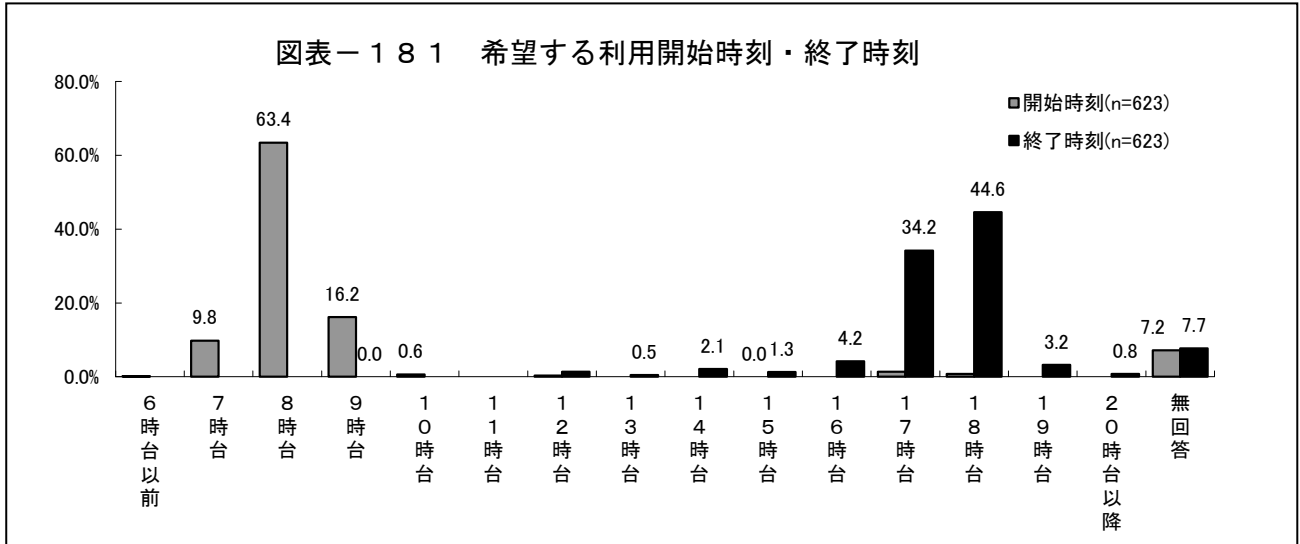


図表-179 希望する週あたり利用日数



図表-180 希望する一日あたり利用時間





幼児教育・保育の無償化による教育・保育の利用変更意向についてたずねたところ、「無償化されても変更しない」(49.7%)が5割を占めており、「是非変更したい」(13.3%)、「可能であれば変更したい」(8.4%)を合わせた変更意向がある人は2割強(21.7%)となっている。

変更意向がある人に、希望する認定区分をたずねたところ、「2号認定」(44.3%)の割合が最も高く、次いで「3号認定」(24.7%)、「1号認定」(16.5%)となっている。

また、変更意向がある人に、利用日数や利用時間の希望をたずねたところ、希望する週あたりの利用日数では「5日」(61.6%)の割合が最も高く、平均日数は5.3日/週であった。

希望する一日あたりの利用時間では、「9～11時間未満」(53.0%)の割合が最も高く、平均8.9時間/日であった。

希望する利用開始時刻は「8時台」(63.4%)に6割強が集中し、利用終了時刻は「18時台」(44.6%)の割合が最も高く、次いで「17時台」(34.2%)となっている。

現在の教育・保育の利用状況別に利用変更意向をみると、変更意向がある人(「是非変更したい」と「可能であれば変更したい」の合計)の割合は、現在サービスを利用している人(19.5%)よりもサービスを利用していない人(34.1%)で高く、3割を超えている。

子どもの年齢別にみると、変更意向がある人の割合は概ね年齢が低いほど高く、0歳(30.3%)で3割となっている。

家庭類型別にみると、変更意向がある人の割合は、共働きの家庭(19.7%)よりも両親の一方のみが就労している家庭(28.7%)やひとり親家庭(26.0%)で高くなっている。

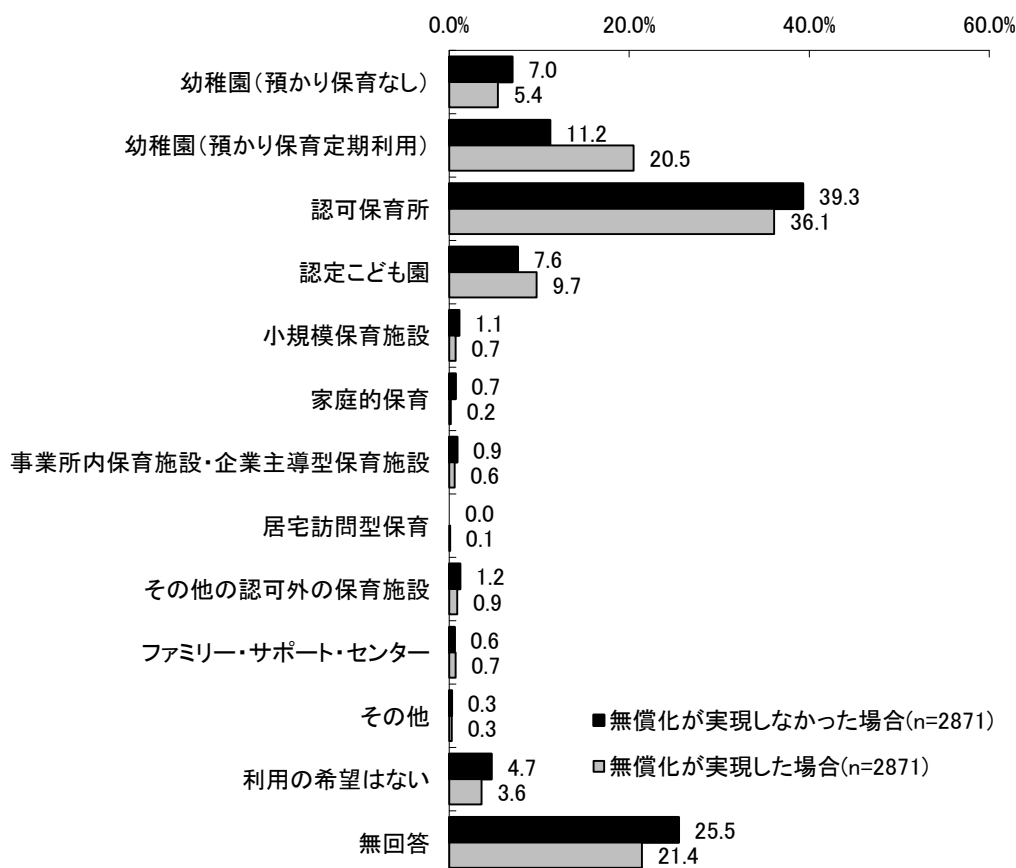
図表－182 子どもの年齢別・平日の教育・保育の利用状況別・家庭類型別
 幼児教育・保育無償化による教育・保育の利用変更意向（単位：％）

		調査数 (n)	是非 変更 したい	可 能 で あ れ ば 変 更	無 償 化 さ れ て も 変	わ か ら な い	無 回 答	変 更 意 向 あ り 計
全体		2,871	13.3	8.4	49.7	21.1	7.5	21.7
用保教 状育育 況利・	利用している	2,356	11.8	7.7	54.5	18.7	7.3	19.5
	利用していない	475	21.9	12.2	27.6	33.1	5.3	34.1
	無回答	40	0.0	2.5	35.0	17.5	45.0	2.5
全体		2,871	13.3	8.4	49.7	21.1	7.5	21.7
子 ど も の 年 齢	0歳	553	20.4	9.9	38.5	25.9	5.2	30.3
	1歳	410	11.5	8.8	53.2	18.8	7.8	20.3
	2歳	451	14.2	8.6	53.7	17.5	6.0	22.8
	3歳	443	10.4	6.8	59.4	16.5	7.0	17.2
	4歳	496	10.7	9.9	56.0	16.9	6.5	20.6
	5歳	450	12.4	5.6	39.8	30.7	11.6	18.0
	無回答	68	5.9	8.8	51.5	16.2	17.6	14.7
全体		2,871	13.3	8.4	49.7	21.1	7.5	21.7
家 庭 類 型	ひとり親	273	18.3	7.7	38.1	23.8	12.1	26.0
	共働き(両方フルタイム)	1,388	12.2	8.0	57.3	16.8	5.7	20.2
	共働き(フルタイムとパート等)	697	12.1	6.3	53.5	19.8	8.3	18.4
	共働き(両方パート等)	14	21.4	21.4	35.7	21.4	0.0	42.8
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	369	16.0	12.5	28.2	37.1	6.2	28.5
	一方のみ就労(パート等と未就労)	11	27.3	9.1	54.5	9.1	0.0	36.4
	その他	4	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	(再掲)共働き 計	2,099	12.2	7.5	55.9	17.8	6.5	19.7
	(再掲)一方のみ就労 計	380	16.3	12.4	28.9	36.3	6.1	28.7
	無回答	115	13.0	12.2	34.8	21.7	18.3	25.2

(2) 無償化後に希望する教育・保育の種類

問28 幼児教育・保育の無償化が実現したら、利用するサービスを変更したいですか。無償化が「実現しなかった場合」と「実現した場合」ごとに、希望するサービスをそれぞれ1つずつ選んでください。【〇はあてはまるものすべて】

図表-183 無償化後に希望する教育・保育の種類



幼児教育・保育の無償化が実現した場合と実現しなかった場合での希望する教育・保育の種類についてたずねたところ、無償化の実現有無に関わらず「認可保育所」の希望割合が3割を超えて最も高く（実現しなかった場合：39.3%、実現した場合：36.1%）、次いで「幼稚園（預かり保育定期利用）」（実現しなかった場合：11.2%、実現した場合：20.5%）となっている。

無償化が実現しなかった場合と実現した場合の割合の伸び（実現した場合－実現しなかった場合）に着目すると、「認可保育所」で3.2ポイント減少し、代わって「幼稚園（預かり保育定期利用）」（+9.3ポイント）や「認定子ども園」（+2.1ポイント）で増加している。

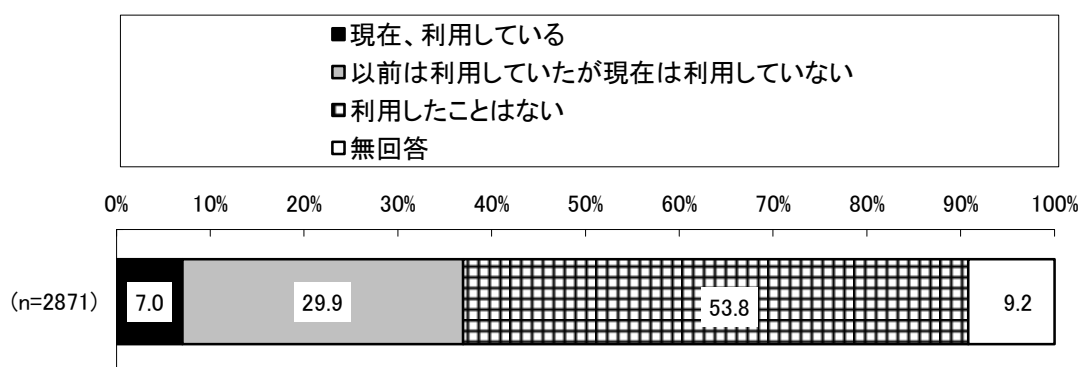
12. 児童館について

(1) 石垣市子どもセンターの利用状況

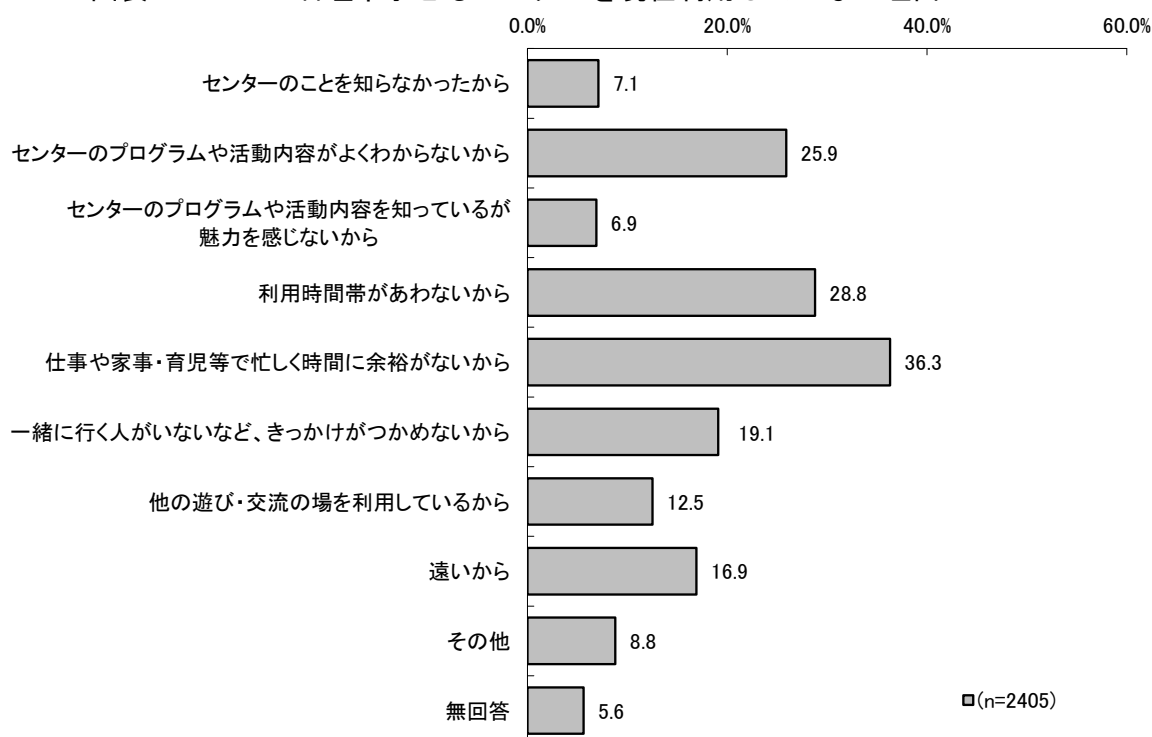
問29 石垣市子どもセンター（石垣市健康福祉センター内）を利用したことはありますか。【○は1つだけ】

問29-1 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由はなんですか。【○はあてはまるものすべて】

図表-184 石垣市子どもセンターの利用状況



図表-185 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由



石垣市子どもセンターの利用状況では「利用したことはない」(53.8%)の割合が5割強を占めており、「現在、利用している」(7.0%)と「以前は利用していたが現在は利用していない」(29.9%)を合わせた利用経験がある人は4割弱(36.9%)となっている。

石垣市子どもセンターを現在利用していない人にその理由をたずねたところ、「仕事や家事・育児に忙しく時間に余裕がないから」(36.3%)の割合が最も高く、次いで「利用時間帯があわないから」(28.8%)、「センターのプログラムや活動内容がよくわからないから」(25.9%)となっている。

利用状況を子どもの年齢別にみると、「現在、利用している」の割合は0歳（11.2%）でやや高く1割を超えている。

現在利用していない理由を子どもの年齢別にみると、0歳では、「一緒に行く人がいないなど、きっかけがつかめないから」（23.1%）も高く、2割を超えている。

居住地区別にみると、「遠いから」の割合は、北部（77.4%）と西部（65.4%）で高く、7割前後となっている。

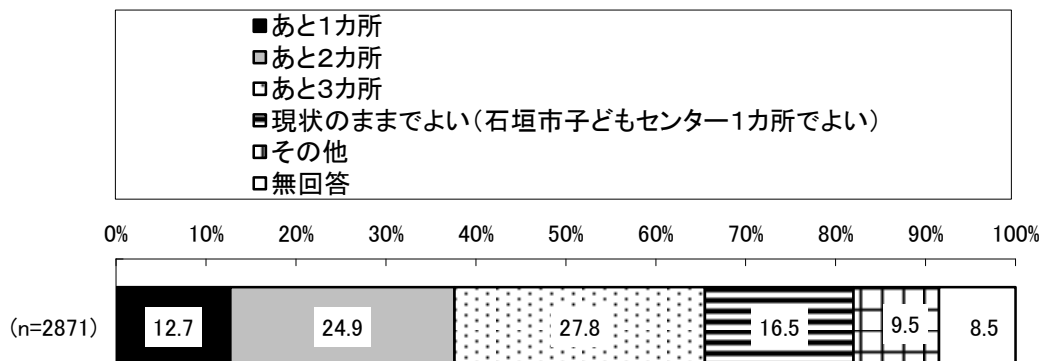
図表－186 子どもの年齢別・居住地区別
石垣市子どもセンターの利用状況、現在利用していない理由（単位：%）

	調査数（n）	石垣市子どもセンターの利用状況					調査数（n）	石垣市子どもセンターを現在利用していない理由										
		現在、利用している	以前は利用していたが現在は利用していない	利用したことはない	無回答	利用経験あり計		センターのことを知らなかったから	よくわからないから	センターのプログラムや活動内容が知っているが魅力を感じないから	センターのプログラムや活動内容を 利用時間帯があわないから	余裕がないから	仕事や家事・育児等で忙しく時間に けがつかめないから	一緒に行く人がいないなど、きっかけがつかめないから	他の遊び・交流の場を利用しているから	遠いから	その他	無回答
全体	2,871	7.0	29.9	53.8	9.2	36.9	2,405	7.1	25.9	6.9	28.8	36.3	19.1	12.5	16.9	8.8	5.6	
子どもの年齢	0歳	553	11.2	24.1	56.6	8.1	35.3	446	8.7	28.9	6.7	25.1	38.6	23.1	13.2	11.2	9.4	5.4
	1歳	410	7.1	29.8	51.5	11.7	36.9	333	6.3	23.4	8.7	28.8	38.4	18.3	14.7	12.9	6.3	8.4
	2歳	451	6.7	33.3	53.7	6.4	40.0	392	6.6	25.8	6.6	32.4	39.0	18.4	10.2	16.1	9.7	4.6
	3歳	443	4.5	35.0	52.4	8.1	39.5	387	5.7	23.0	7.0	33.1	37.2	16.5	10.6	19.1	10.1	4.7
	4歳	496	4.6	32.5	52.0	10.9	37.1	419	5.7	27.2	5.3	27.9	34.4	18.1	13.6	16.7	8.1	5.5
	5歳	450	6.7	27.8	56.0	9.6	34.5	377	9.0	26.0	6.9	25.5	30.8	18.6	13.5	24.4	8.8	5.0
	無回答	68	11.8	19.1	55.9	13.2	30.9	51	7.8	25.5	11.8	33.3	29.4	25.5	5.9	27.5	9.8	7.8
全体	2,871	7.0	29.9	53.8	9.2	36.9	2,405	7.1	25.9	6.9	28.8	36.3	19.1	12.5	16.9	8.8	5.6	
居住地区	北部	39	7.7	15.4	64.1	12.8	23.1	31	3.2	19.4	9.7	12.9	19.4	9.7	0.0	77.4	6.5	6.5
	西部	57	3.5	31.6	59.6	5.3	35.1	52	5.8	7.7	3.8	15.4	17.3	3.8	11.5	65.4	9.6	1.9
	中部	44	9.1	27.3	52.3	11.4	36.4	35	0.0	22.9	2.9	20.0	34.3	11.4	14.3	28.6	2.9	5.7
	白保	84	6.0	33.3	56.0	4.8	39.3	75	5.3	24.0	2.7	24.0	29.3	8.0	16.0	36.0	9.3	2.7
	宮良	103	3.9	26.2	60.2	9.7	30.1	89	6.7	38.2	3.4	31.5	30.3	22.5	13.5	39.3	5.6	6.7
	大浜	291	6.2	31.3	54.3	8.2	37.5	249	7.2	30.9	7.6	32.5	41.4	18.1	10.0	17.7	7.2	4.0
	平真	524	9.2	35.3	48.3	7.3	44.5	438	6.6	22.6	7.5	29.5	37.4	18.7	13.7	5.0	10.7	7.8
	八島	187	5.9	42.8	46.0	5.3	48.7	166	8.4	21.7	6.6	30.7	35.5	19.9	15.1	12.7	8.4	5.4
	登野城	554	8.3	32.1	50.7	8.8	40.4	459	6.1	29.0	5.7	29.2	36.6	24.0	13.1	6.1	9.2	7.0
	石垣	281	7.1	27.8	54.4	10.7	34.9	231	7.4	25.5	10.8	32.0	33.8	23.4	12.1	14.3	8.7	2.6
	新川	399	5.8	20.3	62.9	11.0	26.1	332	9.3	26.2	6.9	25.3	34.6	15.4	11.4	22.3	8.4	6.3
	真喜良	166	6.0	27.7	53.6	12.7	33.7	135	6.7	23.7	7.4	31.1	45.9	14.1	11.9	29.6	5.9	3.0
	無回答	142	5.6	20.4	59.2	14.8	26.0	113	8.8	25.7	7.1	29.2	41.6	26.5	11.5	12.4	13.3	4.4

(2) 児童館の施設数

問30 (1) 現在、市内には児童館として「石垣市子どもセンター」が1カ所ありますが、あと何カ所くらい児童館があるよと思いますか。【〇は1つだけ】

図表-187 児童館の施設数



石垣市子どもセンター以外にあと何カ所くらい児童館があるとよいかたずねたところ、「あと3カ所」(27.8%)の割合が最も高く、次いで「あと2カ所」(24.9%)となっており、これらに「あと1カ所」(12.7%)を合わせると、あと1~3カ所の増設希望を希望する人(65.4%)が6割を超えている。

子どもの年齢別でも大きな違いは見られない。

居住地区別にみると、増設を希望する人の割合は平真(70.1%)や八島(69.5%)でやや高く、7割を占めている。

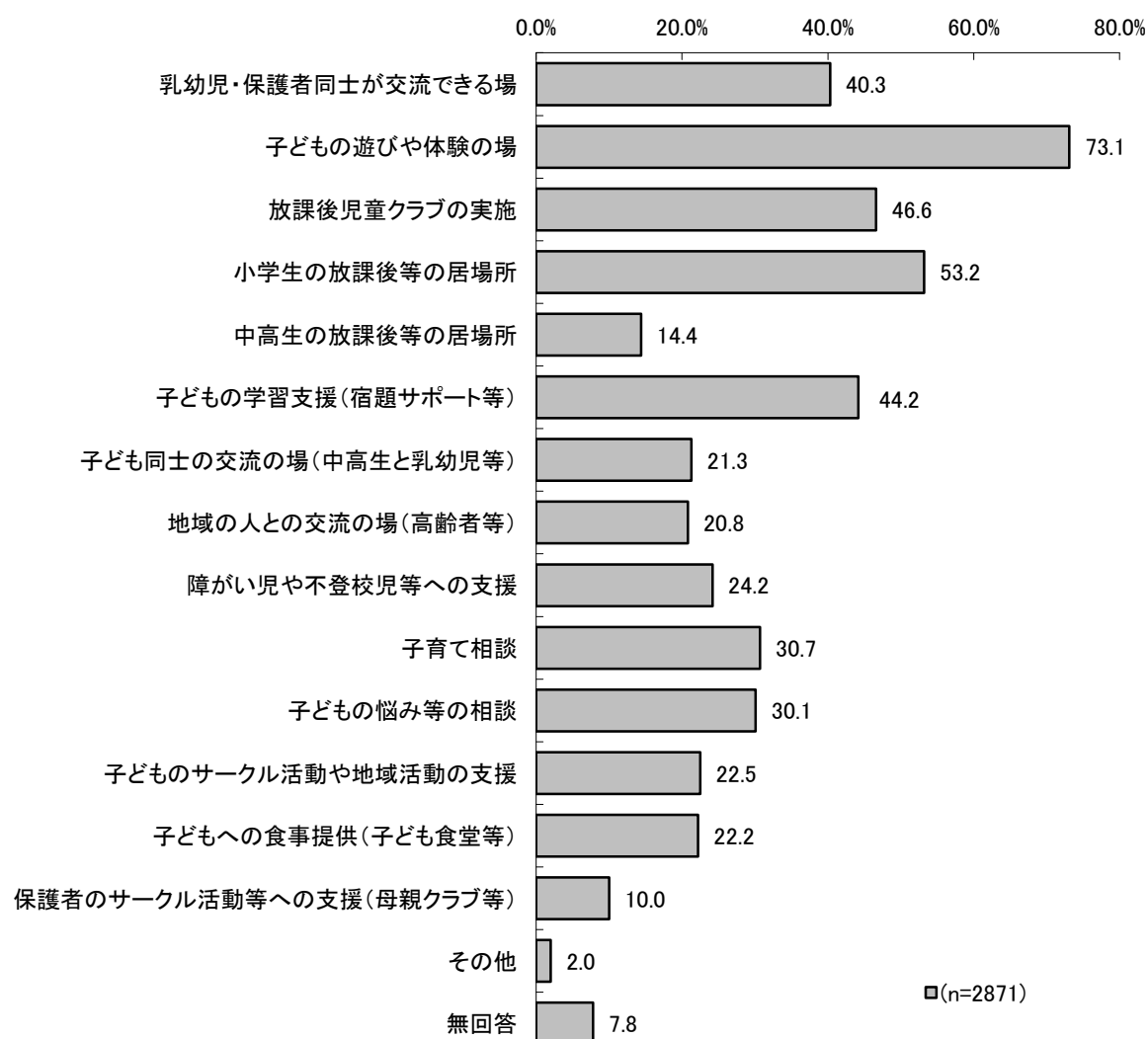
図表-188 子どもの年齢別・居住地区別 児童館の施設数(単位:%)

	調査数(n)	あと1カ所	あと2カ所	あと3カ所	タ(現 ー石 1垣 カ市 所ま でま よど いよ いせ ん)	その他	無回答	増設希望計	
全体	2,871	12.7	24.9	27.8	16.5	9.5	8.5	65.4	
子どもの年齢	0歳	553	16.5	26.9	23.7	18.4	8.0	6.5	67.1
	1歳	410	15.6	22.7	24.4	17.1	10.2	10.0	62.7
	2歳	451	12.2	27.3	30.4	14.4	8.9	6.9	69.9
	3歳	443	12.6	25.5	27.3	17.8	9.9	6.8	65.4
	4歳	496	9.1	26.2	30.6	14.1	9.7	10.3	65.9
	5歳	450	9.8	20.7	31.1	17.8	10.7	10.0	61.6
	無回答	68	14.7	22.1	23.5	13.2	11.8	14.7	60.3
全体	2,871	12.7	24.9	27.8	16.5	9.5	8.5	65.4	
居住地区	北部	39	7.7	17.9	28.2	10.3	23.1	12.8	53.8
	西部	57	12.3	21.1	26.3	10.5	21.1	8.8	59.7
	中部	44	11.4	31.8	25.0	18.2	6.8	6.8	68.2
	白保	84	3.6	26.2	38.1	10.7	16.7	4.8	67.9
	宮良	103	6.8	28.2	25.2	13.6	13.6	12.6	60.2
	大浜	291	13.7	22.7	23.7	19.9	10.3	9.6	60.1
	平真	524	11.1	28.1	30.9	14.1	7.1	8.8	70.1
	八島	187	16.0	23.0	30.5	11.8	15.0	3.7	69.5
	登野城	554	14.6	24.9	27.3	19.1	8.1	6.0	66.8
	石垣	281	12.1	27.4	27.0	13.9	10.7	8.9	66.5
	新川	399	15.0	24.1	27.6	19.0	5.0	9.3	66.7
	真喜良	166	8.4	24.1	26.5	16.9	11.4	12.7	59.0
	無回答	142	16.2	17.6	23.2	21.8	9.2	12.0	57.0

(3) 児童館に求める機能

問30 (2) 児童館にどのような機能を望みますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-189 児童館に求める機能



児童館に求める機能では、「子どもの遊びや体験の場」(73.1%)の割合が7割強と最も高く、次いで「小学生の放課後等の居場所」(53.2%)、「放課後児童クラブの実施」(46.6%)、「子どもの学習支援(宿題サポート等)」(44.2%)、「乳幼児・保護者同士が交流できる場」(40.3%)となっている。

子どもの年齢別にみると、「乳幼児・保護者同士が交流できる場」や「子どもの遊びや体験の場」、「子育て相談」等の割合は概ね年齢が低いほど高く、0歳で最も高くなっている。一方、「放課後児童クラブの実施」や「小学生の放課後等の居場所」、「子どもの学習支援(宿題サポート等)」等の割合は概ね年齢が高いほど高く、5歳で最も高くなっている。

居住地区別にみると、「乳幼児・保護者同士が交流できる場」の割合は北部(64.1%)や西部(50.9%)で、「子どもの遊びや体験の場」の割合は北部(87.2%)や八島(80.2%)で高くなっている。また、宮良では「子どもの悩み等の相談」(50.5%)や「子育て相談」(42.7%)等の相談機能の割合が高くなっている。

第4章 就学前児童保護者調査の結果

図表－190 子どもの年齢別・居住地区別 児童館に求める機能（単位：％）

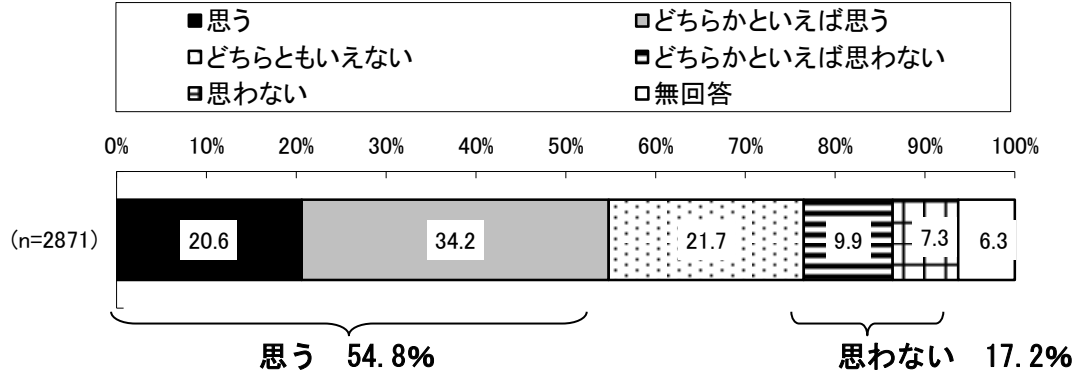
	調査数（n）	乳幼児・保護者同士が交流できる場	子どもの遊びや体験の場	放課後児童クラブの実施	小学生の放課後等の居場所	中高生の放課後等の居場所	子どもの学習支援（宿題サポート等）	子ども同士の交流の場（中高生と乳幼児等）	地域の人の交流の場（高齢者等）	障がい児や不登校児等への支援	子育て相談	子どもの悩み等の相談	子どものサークル活動や地域活動の支援	子どもへの食事提供（子ども食堂等）	保護者のサークル活動等への支援（母親クラブ等）	その他	無回答	
全体	2,871	40.3	73.1	46.6	53.2	14.4	44.2	21.3	20.8	24.2	30.7	30.1	22.5	22.2	10.0	2.0	7.8	
子どもの年齢	0歳	553	55.2	79.6	39.6	47.6	13.0	35.8	23.0	20.3	22.6	37.1	30.6	24.8	22.1	11.9	2.4	6.5
	1歳	410	45.1	72.9	38.3	43.9	12.0	38.0	20.7	21.5	23.7	31.5	28.5	21.7	20.0	10.0	1.0	11.0
	2歳	451	41.7	75.6	49.0	51.0	13.5	44.6	21.3	19.1	24.4	31.5	30.4	23.3	24.8	10.6	3.1	5.3
	3歳	443	34.3	72.0	49.0	52.1	14.9	42.0	19.4	21.0	25.5	29.8	28.4	22.6	19.0	8.1	1.6	8.1
	4歳	496	33.5	72.0	50.8	58.1	15.5	51.4	18.1	22.0	23.2	27.4	30.4	22.2	23.6	9.1	2.0	8.7
	5歳	450	31.3	67.3	53.3	66.0	18.0	55.3	23.3	22.4	26.9	26.9	32.7	21.6	23.1	10.2	1.3	6.9
	無回答	68	29.4	57.4	47.1	54.4	10.3	36.8	32.4	13.2	22.1	25.0	23.5	11.8	22.1	8.8	5.9	11.8
全体	2,871	40.3	73.1	46.6	53.2	14.4	44.2	21.3	20.8	24.2	30.7	30.1	22.5	22.2	10.0	2.0	7.8	
居住地区	北部	39	64.1	87.2	43.6	48.7	28.2	41.0	35.9	28.2	20.5	33.3	28.2	33.3	12.8	15.4	7.7	7.7
	西部	57	50.9	68.4	61.4	68.4	19.3	50.9	21.1	15.8	24.6	29.8	21.1	31.6	24.6	7.0	1.8	3.5
	中部	44	22.7	68.2	34.1	31.8	11.4	36.4	18.2	6.8	18.2	22.7	27.3	20.5	20.5	2.3	0.0	11.4
	白保	84	42.9	66.7	46.4	54.8	14.3	45.2	13.1	20.2	17.9	27.4	28.6	16.7	20.2	3.6	3.6	6.0
	宮良	103	41.7	71.8	52.4	60.2	21.4	55.3	20.4	20.4	26.2	42.7	50.5	21.4	26.2	6.8	1.0	12.6
	大浜	291	37.8	75.9	43.3	51.2	15.8	45.0	18.6	18.2	23.7	28.2	27.8	22.7	19.6	9.3	2.1	5.8
	平真	524	39.9	72.9	51.5	60.5	13.2	44.8	17.9	17.9	23.9	26.5	27.3	22.9	19.8	8.0	1.3	7.3
	八島	187	46.5	80.2	50.3	53.5	12.8	43.3	29.9	30.5	26.2	32.6	29.9	25.7	23.0	15.0	2.1	2.7
	登野城	554	44.0	74.7	46.0	51.4	12.3	41.5	20.6	23.5	23.5	33.8	30.9	21.8	21.3	11.7	1.4	6.9
	石垣	281	37.7	69.4	47.3	53.7	14.2	44.5	22.1	16.4	25.6	28.5	28.1	23.8	22.8	10.7	2.8	8.5
	新川	399	37.6	73.2	40.1	48.4	16.8	44.1	22.6	21.6	26.6	31.1	31.6	19.5	26.3	10.3	1.5	10.0
	真喜良	166	34.9	65.7	48.8	51.8	16.9	46.4	24.7	26.5	24.1	36.1	33.7	24.7	24.7	12.0	3.6	10.8
	無回答	142	35.2	71.8	41.5	45.8	7.0	41.5	23.9	19.0	23.2	29.6	28.2	20.4	22.5	9.9	3.5	10.6

13. 子ども・子育て支援全般について

(1) 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）

問29 石垣市は子育てしやすいまちだと思いますか。【〇は1つだけ】

図表-191 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）



石垣市は子育てしやすいまちだと思うかとたずねたところ、「どちらかといえば思う」（34.2%）の割合が3割強と最も高く、これに「思う」（20.6%）を合わせると、保護者の過半数（54.8%）が子育てしやすいまちだと評価している。

子どもの年齢別にみると、すべての年齢で子育てしやすいまちだと『思う』人の割合が5割を超え、『思わない』人の割合を上回っている。

図表-192 子どもの年齢別

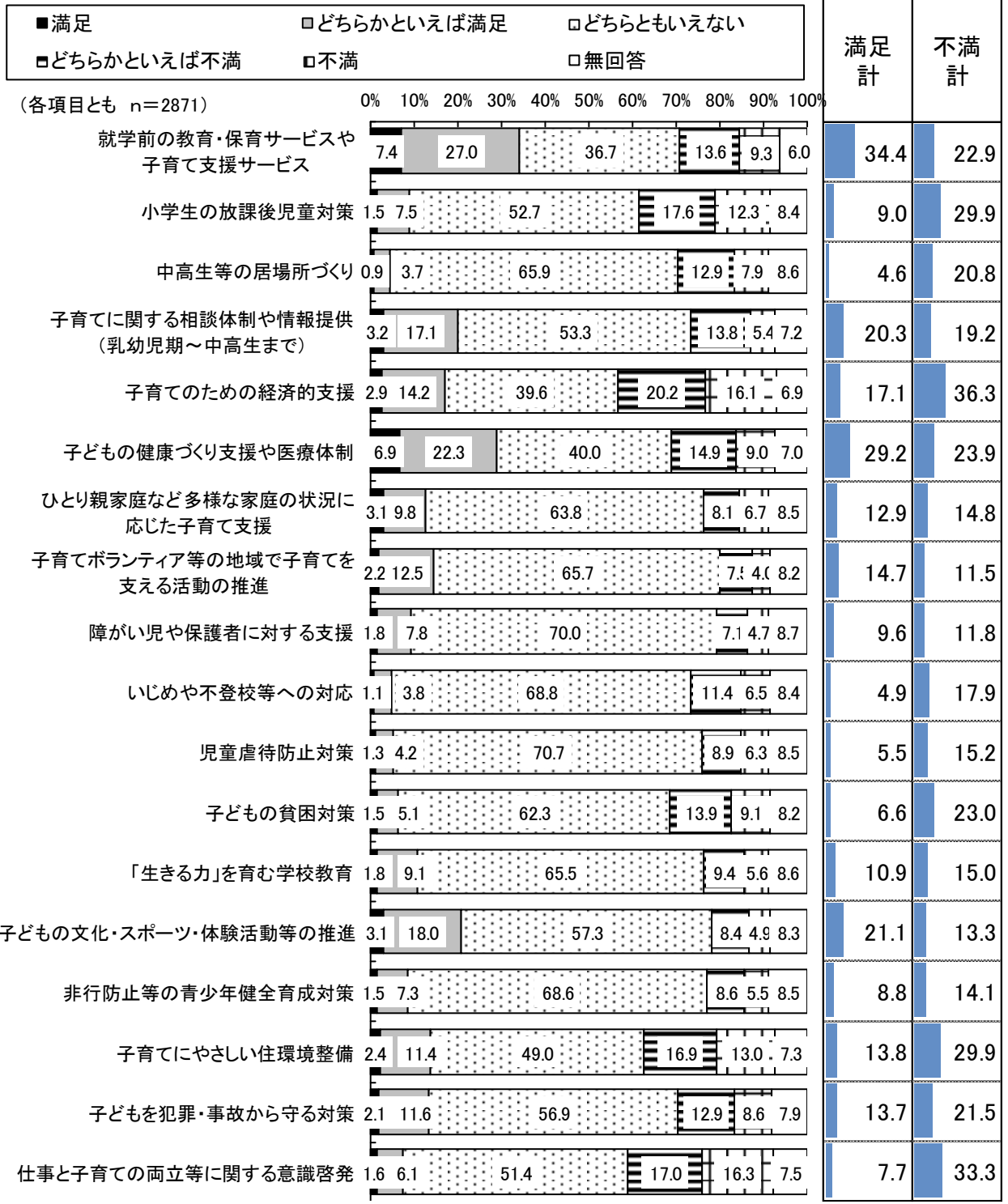
石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）（単位：%）

	調査数 (n)	思う	思 ど う ち ら か と い え ば	い ど ち ら と も い え な	思 ど わ ち ら な い か と い え ば	思 わ な い	無 回 答	思 う 計	思 わ な い 計	
全体	2,871	20.6	34.2	21.7	9.9	7.3	6.3	54.8	17.2	
子 ど も の 年 齢	0歳	553	22.1	35.6	19.9	9.4	7.4	5.6	57.7	16.8
	1歳	410	21.0	32.9	19.0	12.4	6.6	8.0	53.9	19.0
	2歳	451	20.8	34.6	23.1	9.5	7.5	4.4	55.4	17.0
	3歳	443	21.0	35.2	21.2	9.7	6.8	6.1	56.2	16.5
	4歳	496	20.4	31.3	22.6	10.5	8.3	7.1	51.7	18.8
	5歳	450	19.1	33.1	25.3	8.4	7.8	6.2	52.2	16.2
	無回答	68	11.8	50.0	17.6	5.9	4.4	10.3	61.8	10.3

(2) 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度

問3 2 石垣市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。【○はそれぞれ1つずつ】

図表-193 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度



石垣市の子育て支援の取組（18項目）についての満足度をたずねたところ、大半の項目で「どちらともいえない」の割合が最も高くなっているが、満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）は「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」（34.4%）で最も高く、次いで「子どもの健康づくり支援や医療体制」（29.2%）、「子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進」（21.1%）となっている。

子どもの年齢別に、満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）をみると、「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」は2歳（36.2%）や3歳（36.1%）、5歳（36.0%）で、「子どもの健康づくり支援や医療体制」は0歳（36.9%）でそれぞれ満足度が4割弱と高くなっている。

図表－194 子どもの年齢別

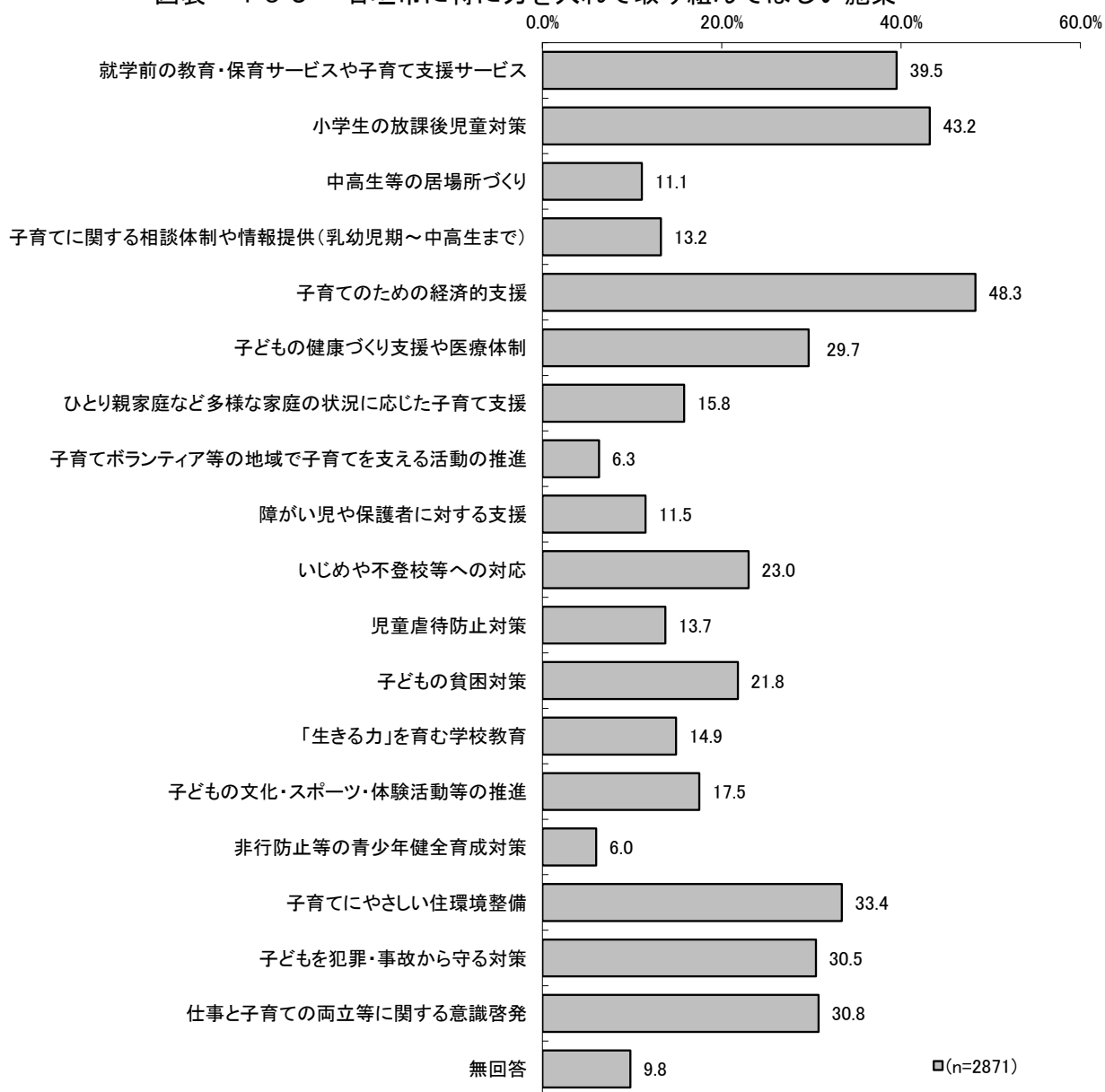
石垣市の子育て支援の取組に対する満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）（単位：%）

	調査数（n）	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	小学生の放課後児童対策	中高生等の居場所づくり	子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中高生まで）	子育てのための経済的支援	子どもの健康づくり支援や医療体制	ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	障がい児や保護者に対する支援	いじめや不登校等への対応	児童虐待防止対策	子どもの貧困対策	「生きる力」を育む学校教育	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	非行防止等の青少年健全育成対策	子育てにやさしい住環境整備	子どもを犯罪・事故から守る対策	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	
全体	2,871	34.4	9.0	4.6	20.3	17.1	29.2	12.9	14.7	9.6	4.9	5.5	6.6	10.9	21.1	8.8	13.8	13.7	7.7	
子どもの年齢	0歳	553	33.4	8.2	5.2	24.6	19.9	36.9	15.2	21.1	11.7	5.9	6.7	7.4	10.3	20.2	9.2	15.4	14.3	9.2
	1歳	410	32.2	5.9	3.7	22.5	17.0	28.3	9.5	13.5	7.1	3.4	4.1	4.6	7.5	17.8	7.1	12.2	8.8	6.8
	2歳	451	36.2	8.0	4.4	17.9	16.8	28.2	13.3	12.9	9.1	4.2	4.2	5.1	9.1	20.4	10.0	12.9	11.7	7.8
	3歳	443	36.1	9.3	5.0	20.3	16.0	29.3	13.3	13.6	9.7	4.5	5.5	6.6	13.8	23.2	7.0	14.9	15.4	5.9
	4歳	496	31.6	10.7	4.0	16.9	16.7	26.4	12.7	12.5	8.1	4.4	5.4	6.4	9.7	19.9	7.5	11.7	13.9	7.2
	5歳	450	36.0	12.2	5.1	19.6	15.3	25.6	12.7	13.1	11.1	6.0	6.4	8.2	15.1	25.4	11.6	15.1	16.7	9.3
無回答	68	39.7	8.8	7.4	17.6	19.1	22.1	10.3	13.2	10.3	10.3	7.3	11.8	11.8	22.1	10.3	14.7	17.6	7.4	

(3) 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策

問33 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。【〇は5つまで】

図表-195 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策



今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策では、「子育てのための経済的支援」(48.3%)の割合が5割弱と最も高く、次いで「小学生の放課後児童対策」(43.2%)、「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」(39.5%)、「子育てにやさしい住環境整備」(33.4%)、「仕事と子育ての両立等に関する意識啓発」(30.8%)、「子どもを犯罪・事故から守る対策」(30.5%)、「子どもの健康づくり支援や医療体制」(29.7%)となっている。

子どもの年齢別にみると、「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」や「子育てのための経済的支援」、「子育てにやさしい住環境整備」、「仕事と子育ての両立等に関する意識啓発」等は概ね年齢が低いほど高くなっている。一方、「小学生の放課後児童対策」や「ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援」、「いじめや不登校等への対応」等は概ね年齢が高いほど高くなっている。

図表-196 子どもの年齢別
石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策（単位：％）

	調査数（n）	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	小学生の放課後児童対策	中高生等の居場所づくり	子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中高生まで）	子育てのための経済的支援	子どもの健康づくり支援や医療体制	ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	障がい児や保護者に対する支援	いじめや不登校等への対応	児童虐待防止対策	子どもの貧困対策	「生きる力」を育む学校教育	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	非行防止等の青少年健全育成対策	子育てにやさしい住環境整備	子どもを犯罪・事故から守る対策	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	無回答	
全体	2,871	39.5	43.2	11.1	13.2	48.3	29.7	15.8	6.3	11.5	23.0	13.7	21.8	14.9	17.5	6.0	33.4	30.5	30.8	9.8	
子どもの年齢	0歳	553	50.6	32.5	8.5	16.6	51.7	32.0	12.5	7.6	10.5	21.2	14.8	21.2	11.9	17.7	6.1	40.0	31.5	36.5	8.1
	1歳	410	40.7	34.4	10.2	13.9	45.1	25.6	13.4	7.3	13.4	19.3	14.6	22.7	14.6	16.8	6.3	38.3	29.5	30.5	11.7
	2歳	451	41.9	41.7	9.5	14.9	49.7	34.1	14.4	6.2	10.0	19.7	12.4	21.5	14.0	17.5	4.2	35.3	27.5	33.9	9.1
	3歳	443	38.1	45.6	13.3	12.2	47.9	28.7	17.6	5.6	12.6	23.9	13.3	23.7	15.3	17.4	5.2	30.5	29.1	28.4	9.5
	4歳	496	38.3	47.6	11.3	12.5	47.0	28.4	15.7	5.2	8.5	25.4	12.1	20.0	18.1	18.8	7.5	30.8	31.5	30.0	9.7
	5歳	450	27.6	56.9	14.0	9.6	46.4	30.4	21.6	5.3	14.4	29.1	15.8	22.4	16.2	17.6	6.9	25.1	32.9	24.4	10.2
	無回答	68	23.5	55.9	11.8	5.9	54.4	17.6	19.1	8.8	14.7	17.6	8.8	22.1	11.8	8.8	4.4	30.9	35.3	27.9	17.6

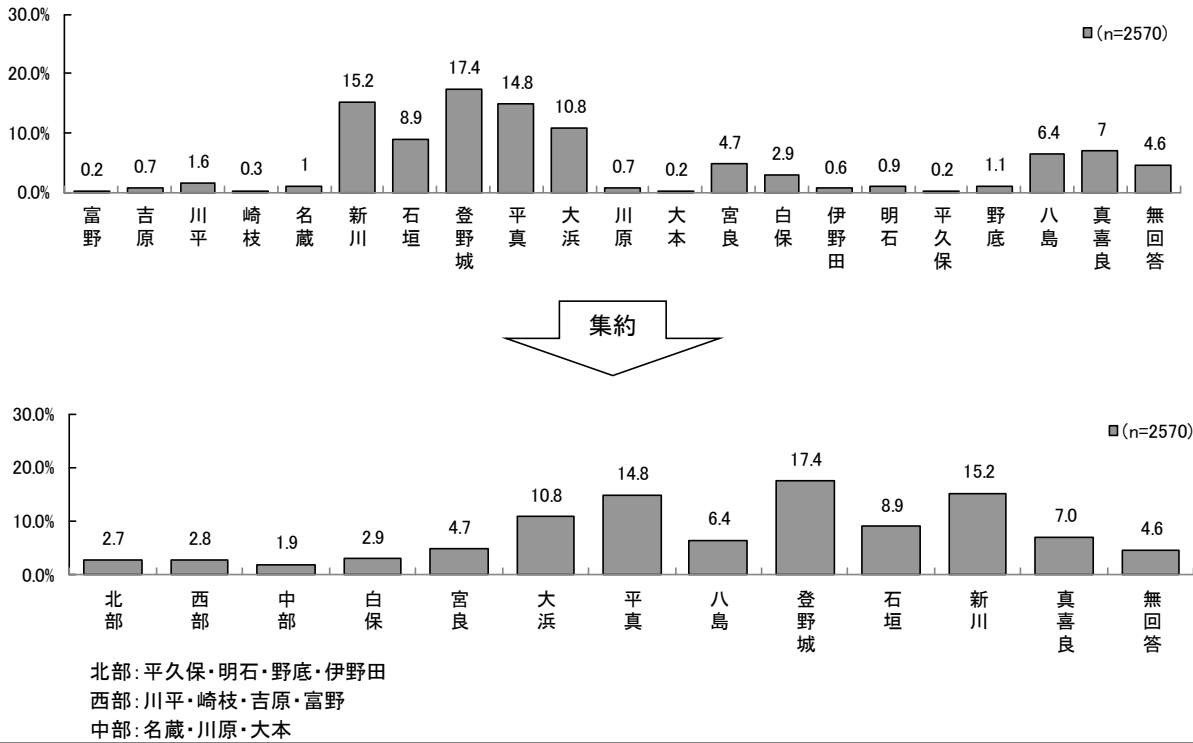
第5章 小学生保護者調査の結果

1. 基本属性

(1) 居住地区（小学校区）

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。【〇は1つだけ】

図表-197 居住地区（小学校区）

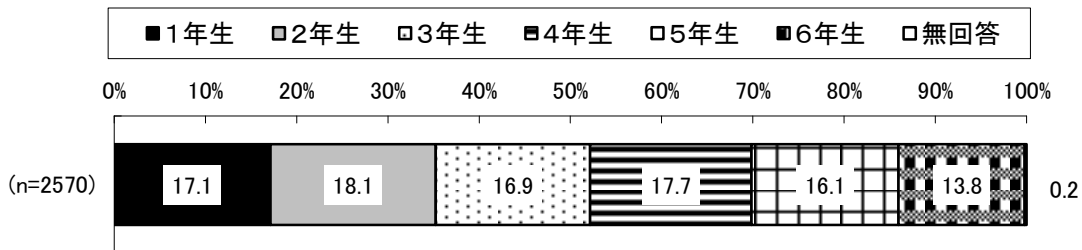


居住地区を、小学校区を集約したエリア別にみると、「登野城」（17.4％）の割合が最も高く、次いで「新川」（15.2％）、「平真」（14.8％）、「大浜」（10.8％）と続いている。

(2) 子どもの学年

問2 調査対象のお子さんの学年と生年月をご記入ください。

図表-198 子どもの学年

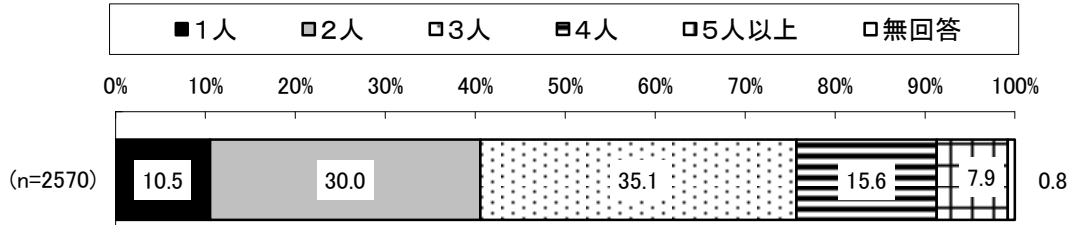


子どもの学年（平成30年4月1日現在で換算）は、「6年生」（13.8％）の割合が若干低いものの、その他は各学年が概ね16～18％前後で分布している。

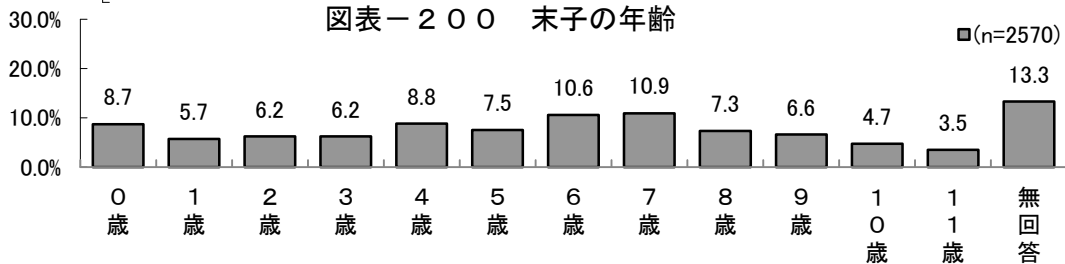
(3) 子どもの人数

問3 調査対象のお子さんも含めて、お子さんは何人いますか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

図表-199 子どもの人数



図表-200 末子の年齢



子どもの人数は、「3人」(35.1%)の割合が最も高く、次いで「2人」(30.0%)、「4人」(15.6%)となっており、平均人数は2.8人であった。

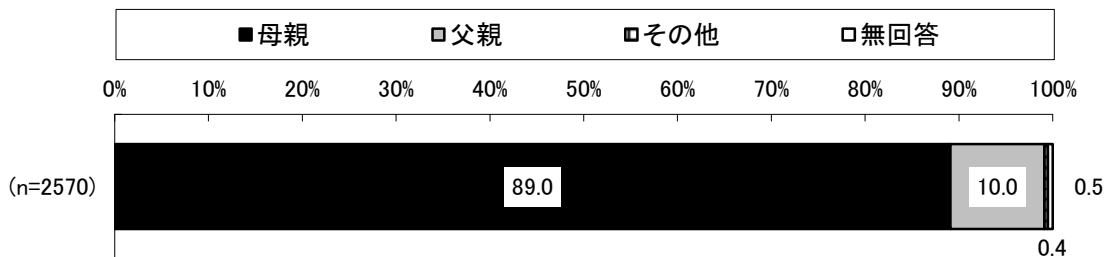
末子(一番下の子ども)の年齢(平成30年4月1日現在で換算)は、「6歳」(10.6%)・「7歳」(10.9%)の割合がそれぞれ1割とやや高くなっている。

(4) 調査の回答者

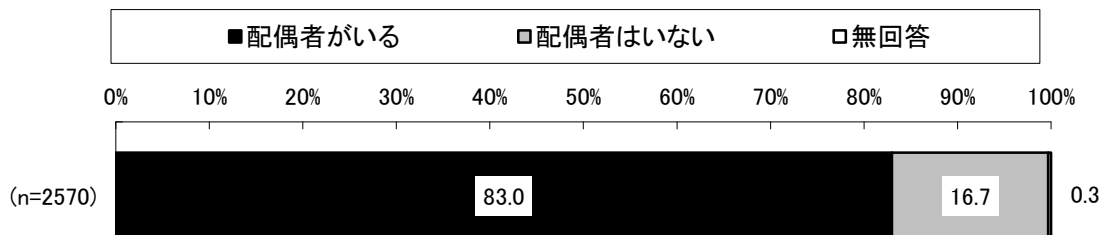
問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。調査対象のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

問5 このアンケートにご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。【○は1つだけ】

図表-201 調査の回答者

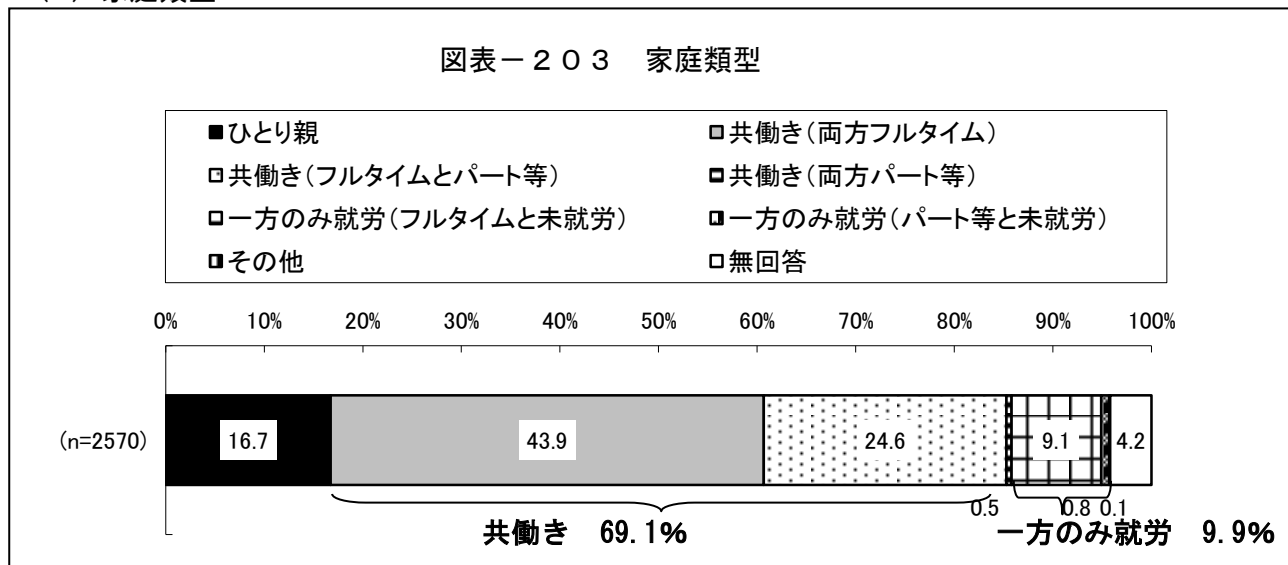


図表-202 調査の回答者の配偶関係



調査回答者では「母親」(89.0%)、調査回答者の配偶関係では「配偶者がいる」(83.0%)がそれぞれ8割を超えて大半を占めている。

(5) 家庭類型



後述する父母別の就労状況(問10)をもとに、国の手引きに示された区分に基づいて家庭類型を整理すると、「共働き(両方フルタイム)」(43.9%)が4割強を占めて最も割合が高く、次いで「共働き(フルタイムとパート等)」(24.6%)となっており、これらに「共働き(両方パート等)」(0.5%)を合わせると『共働き』(69.1%)が7割を占めている。

子どもの学年別にみても、全学年で『共働き』が7割程度を占めており、大きな違いは見られない

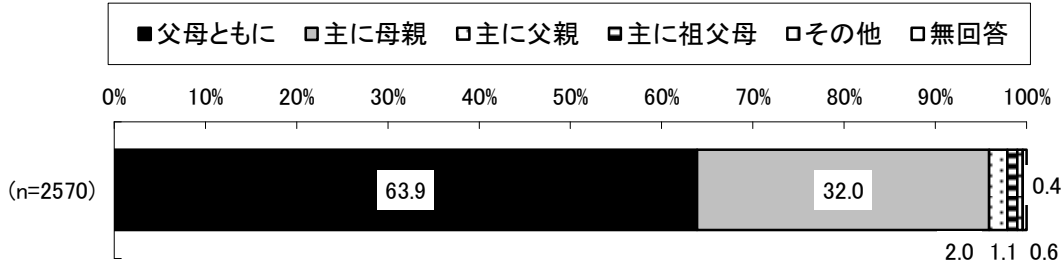
図表－204 子どもの学年別 家庭類型 (単位: %)

	調査数 (n)	ひとり親	共働き(両方フルタイム)	共働き(フルタイムとパート等)	共働き(両方パート等)	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	一方のみ就労(パート等と未就労)	その他	無回答	(再掲) 計		
										(再掲) 共働き	(再掲) 一方のみ就労	
全体	2,570	16.7	43.9	24.6	0.5	9.1	0.8	0.1	4.2	69.1	9.9	
子どもの学年	1年生	440	13.6	42.3	26.4	0.2	12.3	0.7	0.0	4.5	68.9	13.0
	2年生	466	17.2	43.1	25.8	0.9	9.9	0.4	0.0	2.8	69.7	10.3
	3年生	434	16.4	44.7	23.7	0.0	9.4	0.5	0.2	5.1	68.4	9.9
	4年生	454	17.6	43.2	27.1	0.2	9.3	0.0	0.0	2.6	70.5	9.3
	5年生	415	17.6	44.6	23.4	0.5	7.2	1.2	0.2	5.3	68.4	8.4
	6年生	355	18.6	46.5	20.3	1.7	6.2	2.0	0.0	4.8	68.5	8.2
	無回答	6	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7	16.7

(6) 主な保育者

問6 調査対象のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つだけ】

図表-205 主な保育者



主な保育者（子育てを主に行っている人）は、「父母ともに」（63.9％）の割合が6割強と最も高く、次いで「主に母親」（32.0％）となっている。

子どもの学年別にみても大きな違いは見られない。

家庭類型別にみると、「父母ともに」の割合は『共働き』（78.6％）では8割を占め、特に「共働き（両方フルタイム）」（80.7％）では高いが、「主に母親」（18.4％）も2割弱を占めている。

図表-206 子どもの学年別・家庭類型別 主な保育者 (単位：%)

	(n 調査数)	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答	
全体	2,570	63.9	32.0	2.0	1.1	0.6	0.4	
子どもの学年	1年生	440	66.1	30.7	1.6	0.9	0.2	0.5
	2年生	466	62.9	33.0	2.6	0.9	0.6	0.0
	3年生	434	67.1	29.7	2.1	0.7	0.5	0.0
	4年生	454	60.1	35.7	2.4	1.1	0.2	0.4
	5年生	415	63.6	31.3	2.2	1.0	1.7	0.2
	6年生	355	64.2	31.5	1.1	2.3	0.3	0.6
	無回答	6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
全体	2,570	63.9	32.0	2.0	1.1	0.6	0.4	
家庭類型	ひとり親	430	1.2	83.7	9.5	3.5	1.6	0.5
	共働き(両方フルタイム)	1,129	80.7	18.4	0.3	0.4	0.1	0.2
	共働き(フルタイムとパート等)	633	75.2	23.5	0.6	0.0	0.2	0.5
	共働き(両方パート等)	14	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0
	一方のみ就労(フルタイムと未就労)	235	69.8	28.9	0.0	0.4	0.4	0.4
	一方のみ就労(パート等と未就労)	20	75.0	20.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(再掲)共働き 計	1,776	78.6	20.3	0.5	0.2	0.1	0.3
	(再掲)一方のみ就労 計	255	70.2	28.2	0.0	0.8	0.4	0.4
	無回答	107	57.0	27.1	2.8	6.5	4.7	1.9

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

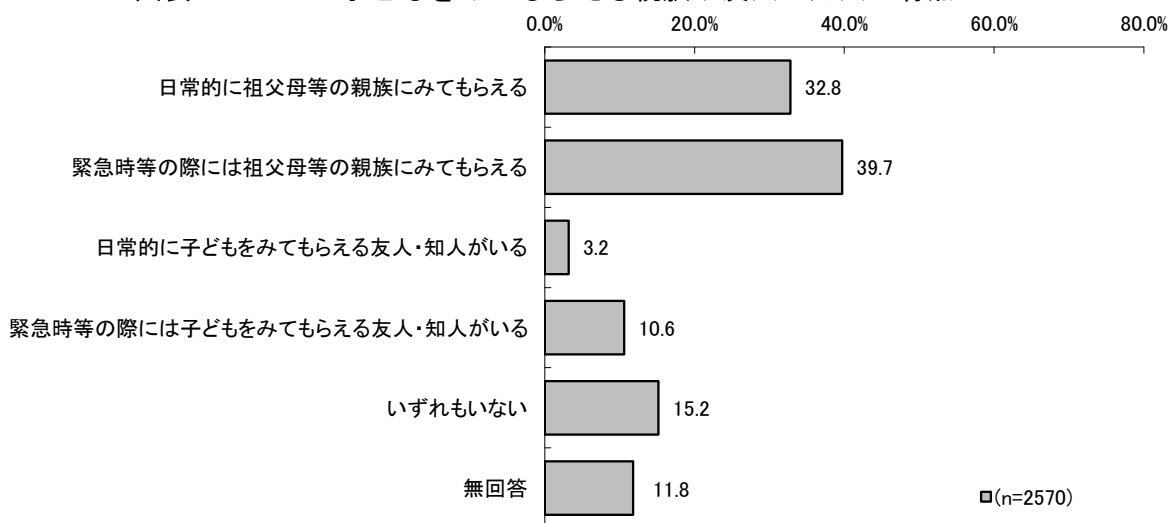
(1) 子どもをみてもらえる人の状況

問7 日頃、調査対象のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。【〇はあてはまるものすべて】

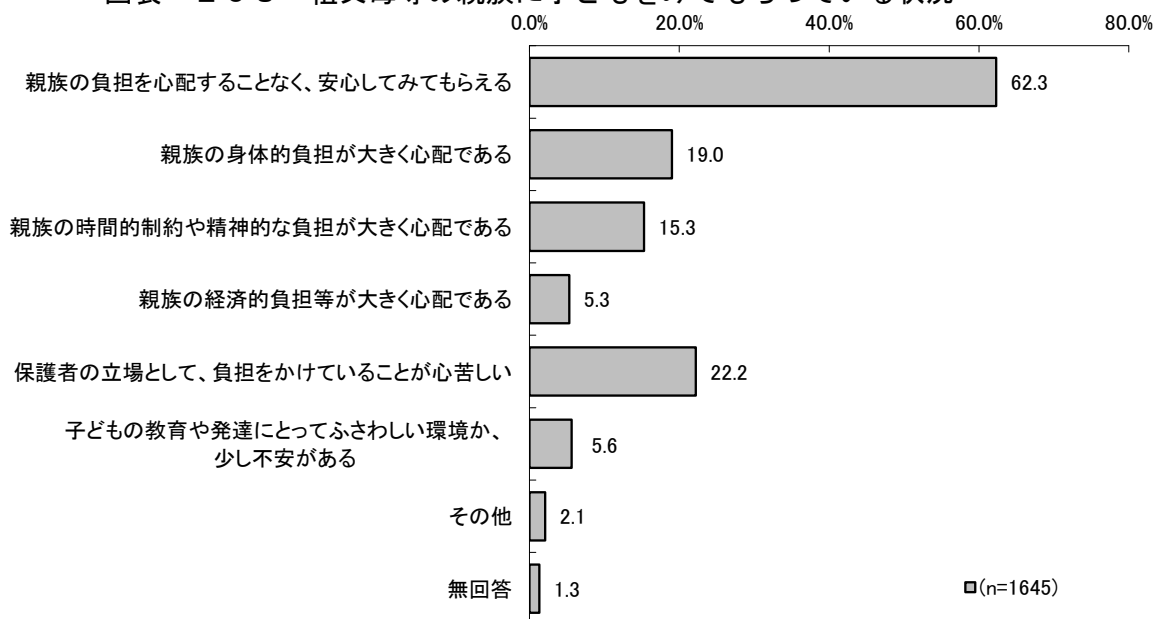
問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【〇はあてはまるものすべて】

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【〇はあてはまるものすべて】

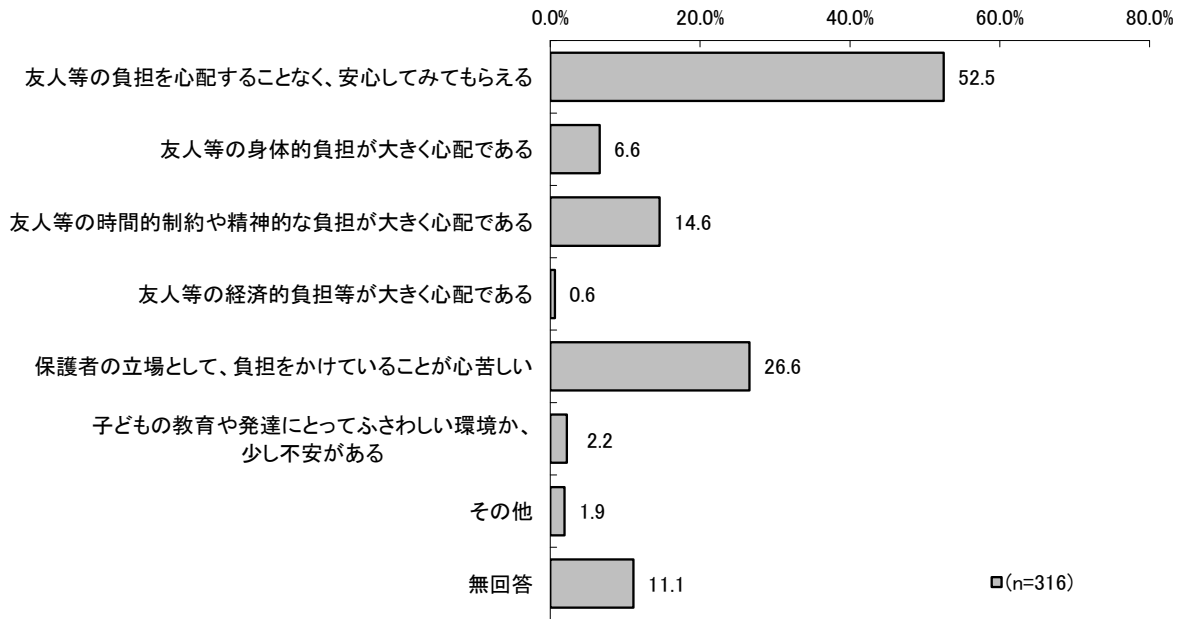
図表-207 子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無



図表-208 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況



図表-209 友人・知人に子どもをみてもらっている状況



子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無では「緊急時等の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(39.7%)の割合が4割と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(32.8%)となっている。また、「いずれもない」(15.2%)も1割を超えている。

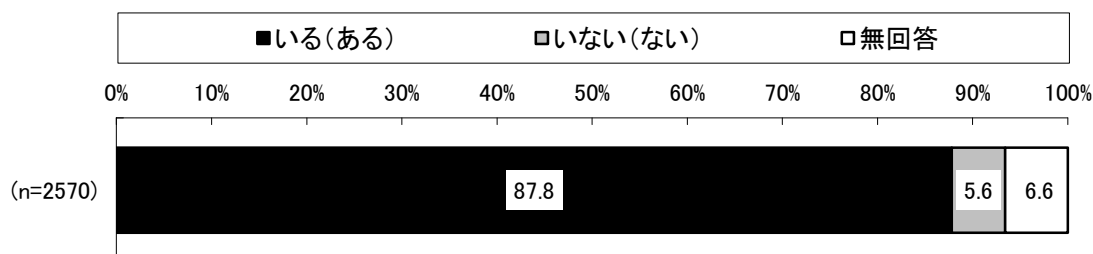
祖父母等の親族に日常的に、または緊急時等に子どもをみてもらえると回答した人に、子どもをみてもらっている状況についてたずねたところ、「親族の負担を心配することなく、安心してみてもらえる」(62.3%)の割合が6割を超えて最も高いものの、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(22.2%)や「親族の身体的な負担が大きく心配である」(19.0%)等の心配や申し訳無さを感じている割合もそれぞれ2割前後を占めている。

同様に、友人・知人に日常的に、または緊急時等に子どもをみてもらえると回答した人に、子どもをみてもらっている状況についてたずねたところ、「友人等の負担を心配することなく、安心してみてもらえる」(52.2%)の割合が5割を超えて最も高く、次いで「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(26.6%)となっている。

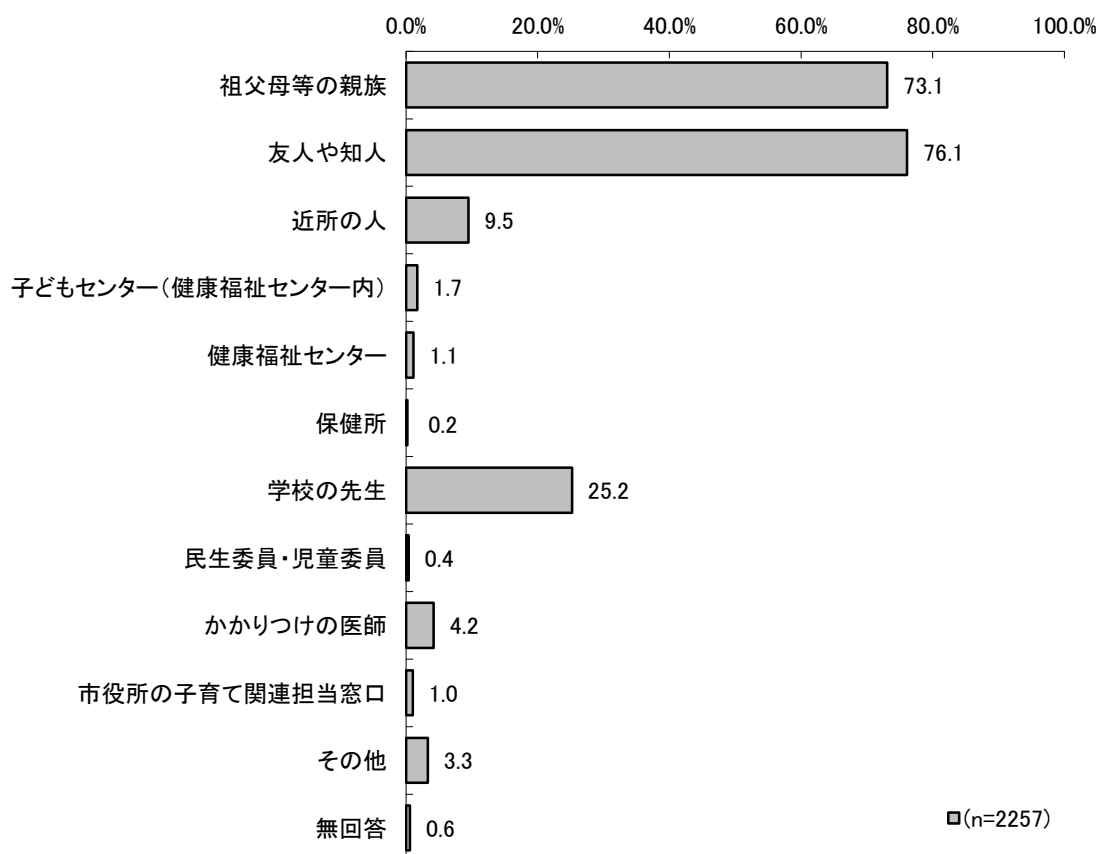
(2) 子育ての相談先

問8 調査対象のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つだけ】
 問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【○はあてはまるものすべて】

図表-210 子育ての相談先の有無



図表-211 子育ての相談先



子育ての相談先については、「いる(ある)」(87.8%)が9割弱と大半を占めている。

子育ての相談先が「いる(ある)」と回答した人に相談先が誰(どこ)かたずねたところ、「友人や知人」(76.1%)と「祖父母等の親族」(73.1%)の割合が7割を超えて突出して高く、次いで「学校の先生」(25.2%)となっている。

(3) 子育てに関して周囲から受けてみたい支援

問9 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

図表－212 子育てに関して周囲から受けてみたい支援（自由記述意見の主な内容）

分類	件数
放課後対策	66
子どもの遊び場・居場所	62
子育て相談	52
病児・病後児の預かり	27
一時預かり	23
学習サポート	19
子育ての経済的負担の軽減	19
緊急時等の家事・育児サポート	18
地域での声掛けや見守り、支援、互助	18
ひとり親家庭のサポート	15
地域住民との交流、子どものための活動など	15
子育てに関する情報提供	13
保護者交流の場・学習の場	11
事故・犯罪から子どもを守る対策	10
長期休暇中の居場所	9
障がいや発達へのサポート	9
夜間の預かりやショートステイなど	7
学校の教育内容・教育環境	7
いじめ・不登校等への対応	7
子どもの送迎・移動費補助(部活動・イベント等)	7
土曜・休日の預かり	6
子どもの貧困対策	6
健康づくり支援(朝食等食事サポート、生活習慣支援など)	5
子どもの医療費助成	5
教育・保育	5
職場の理解、環境整備	4
子ども自身の悩み相談	3
地域医療体制	2
その他	16
計(延べ記入件数)	466

【上位項目の主な内容】

放課後対策
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ(学童保育)の増設(公設)、学校内での実施、利用料負担軽減 ・放課後子ども教室など、学童保育以外の放課後の居場所や預かり ・学校施設の開放 <p style="text-align: right;">など</p>

子どもの遊び場・居場所
<ul style="list-style-type: none"> ・身近で安全に過ごせる遊び場(子どもセンター、地区単位での児童館など) ・公園の整備 ・図書館や公民館・コミュニティセンター ・学校以外での体験・サークル活動 <p style="text-align: right;">など</p>

子育て相談
<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できる場づくり ・学校のカウンセラー、臨床心理士等による相談 ・相談でなく話を聞いてくれるだけでよい ・電話相談・インターネット相談 <p style="text-align: right;">など</p>

病児・病後児の預かり
<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育 ・学童保育等での病児の預かり

一時預かり
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の預かり(地縁のない核家族への支援) ・保護者のリフレッシュ等のための短時間の預かり ・ファミリー・サポート・センターの利便性向上(料金値下げ等) <p style="text-align: right;">など</p>

子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思うか、自由記述形式でたずねたところ、395人から延べ466件（分類内容）の回答が得られた。

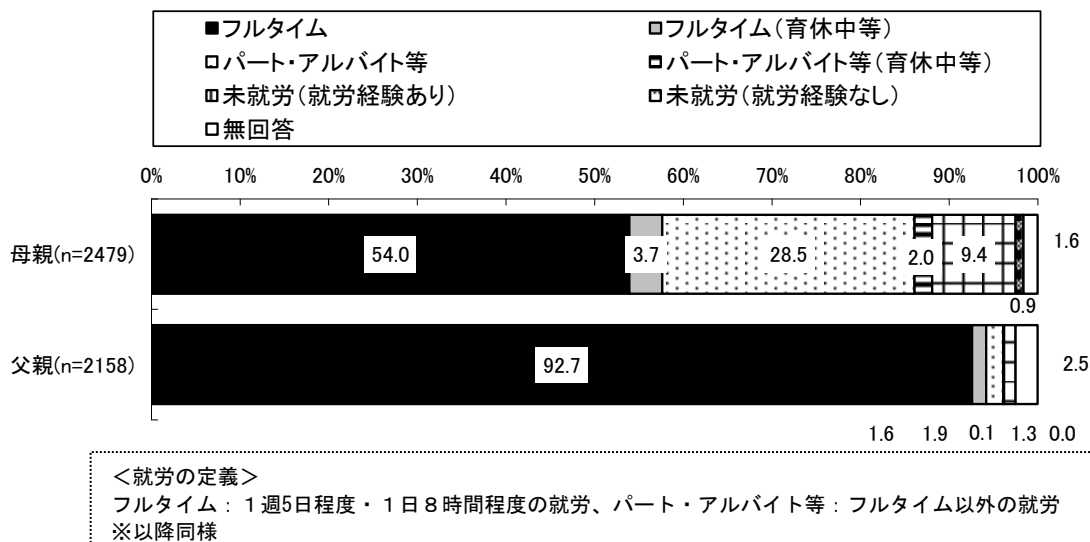
記述内容を大まかに分類すると、放課後児童クラブ等をはじめとした「放課後対策」（66件）に関する記述が最も多く、次いで「子どもの遊び場・居場所」（62件）、「子育て相談」（52件）、「病児・病後児の預かり」（27件）、「一時預かり」（23件）となっている。

3. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問10 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれですか。【○は1つだけ】

図表-213 保護者の就労状況



保護者の就労状況を父母別にたずねたところ、母親では「フルタイム」(54.0%)の割合が最も高く、次いで「パート・アルバイト等」(28.5%)となっている。一方、父親では「フルタイム」が92.7%と大半を占めている。

子どもの学年別に母親の就労状況をみると、1年生で「未就労(就労経験あり)」(12.5%)の割合が1割強とやや高いものの、全学年を通じて「フルタイム」での就労割合が5割前後を占めている。

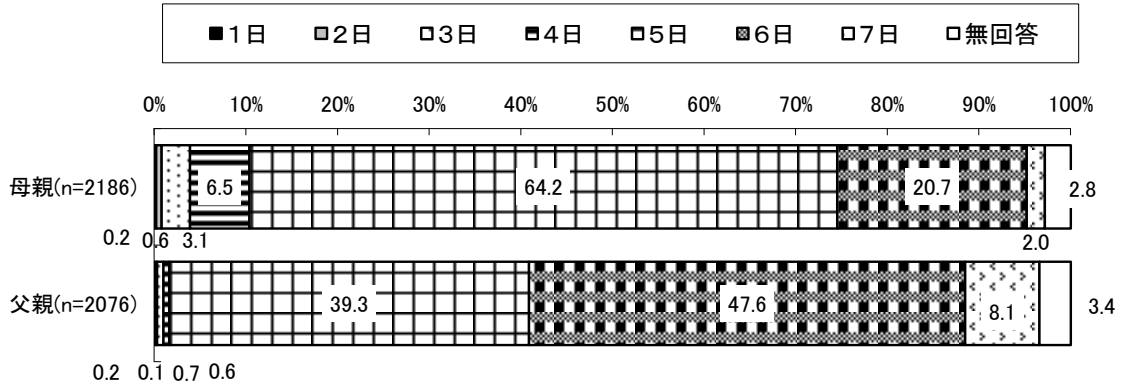
図表-214 子どもの学年別 保護者の就労状況【母親】 (単位：%)

	調査数(n)	フルタイム	フルタイム(育休中等)	パート・アルバイト等	パート・アルバイト等(育休中等)	未就労(就労経験あり)	未就労(就労経験なし)	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	2,479	54.0	3.7	28.5	2.0	9.4	0.9	1.6	
子どもの学年	1年生	425	49.4	4.7	28.5	2.8	12.5	0.5	1.6
	2年生	450	52.2	3.3	30.2	2.4	9.8	0.7	1.3
	3年生	418	56.2	4.5	25.6	1.9	9.3	1.2	1.2
	4年生	439	54.2	3.2	30.3	1.4	9.1	1.1	0.7
	5年生	398	54.8	4.8	27.9	1.8	7.8	0.5	2.5
	6年生	344	58.1	1.5	27.9	1.5	7.3	1.5	2.3
	無回答	5	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0

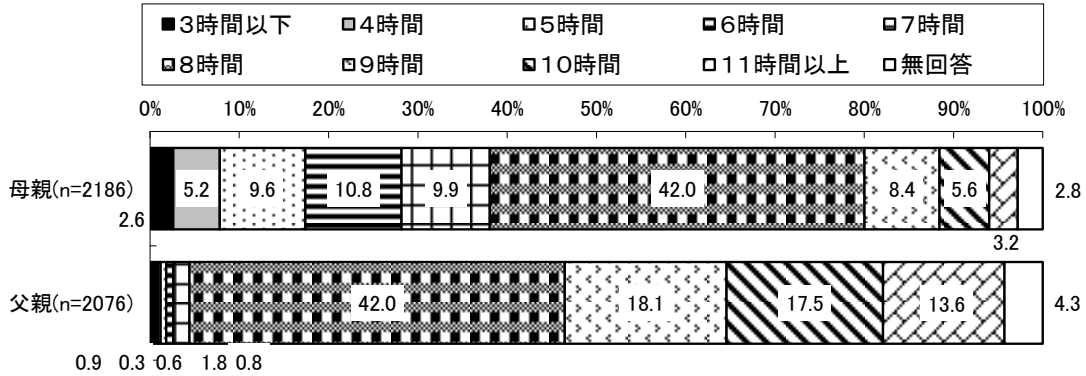
(2) 保護者の就労日数・就労時間

問10(1)-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

図表-215 週あたり就労日数



図表-216 一日あたり就労時間



フルタイムやパート・アルバイト等で就労している保護者に、就労日数や就労時間などの状況をたずねた。

週あたりの就労日数は、母親では「5日」(64.2%)の割合が6割を超えて最も高く、次いで「6日」(20.7%)となっており、平均5.1日/週であった。このうち、フルタイムの母親：5.3日/週、パート・アルバイト等の母親：4.7日/週であった。

父親は「6日」(47.6%)の割合が5割弱と最も高く、次いで「5日」(39.3%)となっており、平均5.6日/週であった。

一日あたりの就労時間は、母親では「8時間」(42.0%)の割合が最も高く、平均7.5時間/日であった。このうち、フルタイムの母親：8.4時間/日、パート・アルバイト等の母親：5.7時間/日であった。

一方、フルタイム就労者が大半を占めるで父親は「8時間」(42.0%)の割合が最も高いが、次いで「9時間」(18.1%)、「10時間」(17.5%)、「11時間以上」(13.6%)と8時間以上の時間帯に集中しており、平均9.3時間/日であった。

図表－217 就労状況別 週あたり就労日数・一日あたり就労時間【母親】（単位：％）

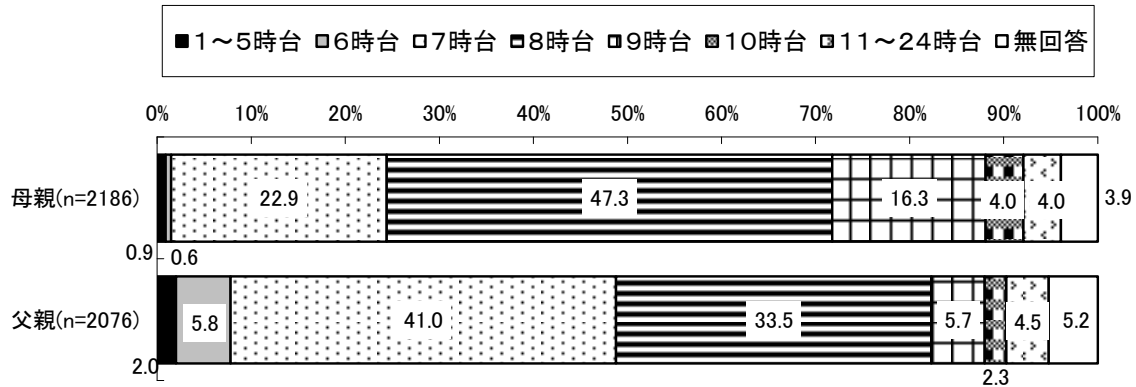
		調査数 (n)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均日数 (日)
全体		2,186	0.2	0.6	3.1	6.5	64.2	20.7	2.0	2.8	5.1日
母親の 就労状況	フルタイム	1,338	0.2	0.0	0.1	0.3	67.9	26.7	3.1	1.6	5.3日
	フルタイム (産休・育休・介護休業中)	92	1.1	0.0	1.1	0.0	69.6	20.7	1.1	6.5	5.2日
	パート・アルバイト等	707	0.0	1.6	8.9	17.8	56.9	10.5	0.3	4.1	4.7日
	パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	49	0.0	4.1	2.0	24.5	57.1	4.1	0.0	8.2	4.6日

		調査数 (n)	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間以上	無回答	平均時間数 (時間)
全体		2,186	2.6	5.2	9.6	10.8	9.9	42.0	8.4	5.6	3.2	2.8	7.5時間
母親の 就労状況	フルタイム	1,338	0.9	0.2	1.2	3.1	7.5	60.0	12.4	8.7	4.1	1.9	8.4時間
	フルタイム (産休・育休・介護休業中)	92	0.0	2.2	0.0	1.1	5.4	64.1	13.0	5.4	4.3	4.3	8.5時間
	パート・アルバイト等	707	5.9	15.0	25.3	25.0	15.1	7.4	0.7	0.0	1.4	4.1	5.7時間
	パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	49	4.1	6.1	30.6	32.7	8.2	8.2	0.0	2.0	0.0	8.2	5.8時間

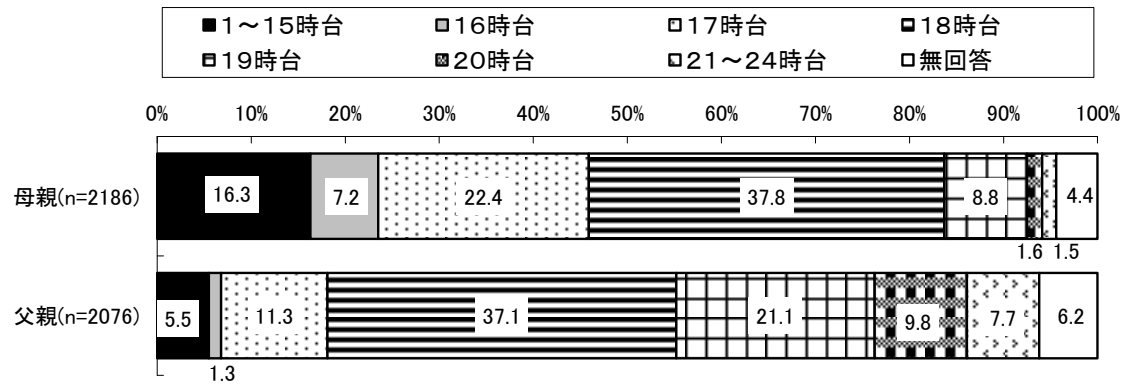
(3) 保護者の出勤・帰宅時刻

問10(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

図表-218 保護者の出勤時刻



図表-219 保護者の帰宅時刻

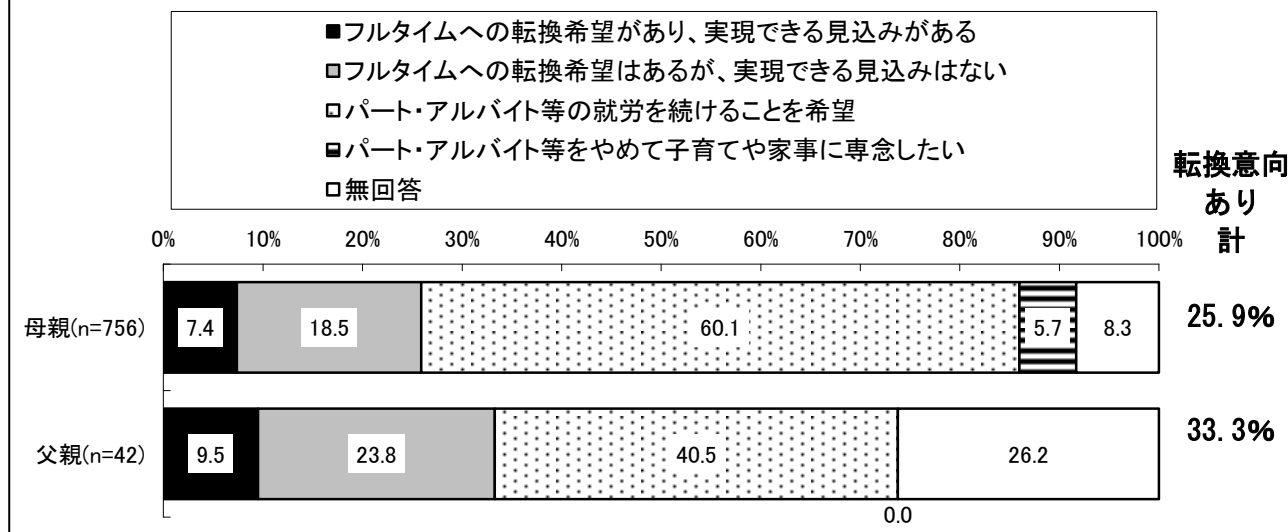


フルタイムやパート・アルバイト等で就労している保護者に、出勤・帰宅の時刻をたずねた。母親では、出勤時刻は「8時台」(47.3%)、帰宅時刻は「18時台」(37.8%)の割合が最も高い。一方、父親では、出勤時刻は「7時台」(41.0%)の割合が最も高く、次いで「8時台」(33.5%)となっている。帰宅時刻は「18時台」(37.1%)の割合が最も高く、次いで「19時台」(21.1%)となっており、「20時台」(9.8%)及び「21~24時台」(7.7%)といった20時台以降の時間帯もそれぞれ1割程度を占めている。

(4) パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望

問11 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。【○は1つだけ】

図表-220 パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望



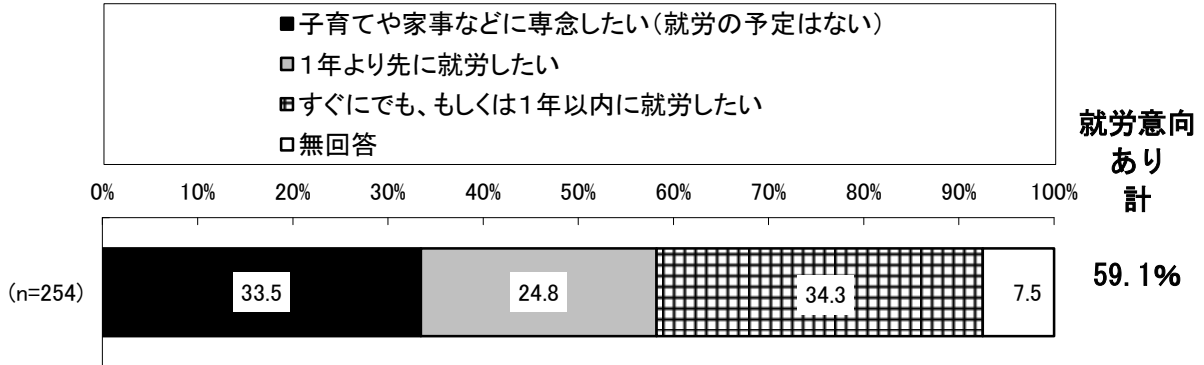
パート・アルバイト等で就労している保護者に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、母親・父親ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（母親60.1%、父親40.5%）の割合が最も高くなっているものの、フルタイムへの転換意向がある人（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の合計）の割合も、母親・父親それぞれで3割前後を占めている（母親25.9%、父親33.3%）。

(5) 未就労者の就労希望

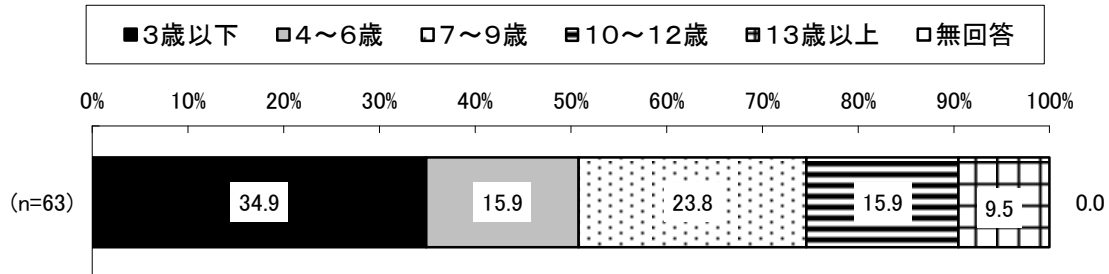
① 母親

問12(1) 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】

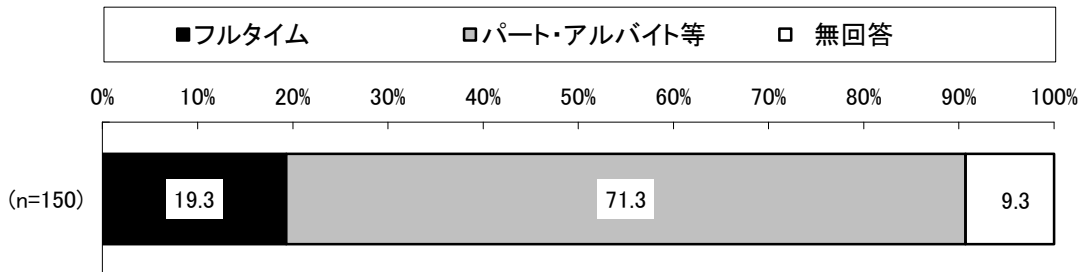
図表-221 未就労者の就労希望【母親】



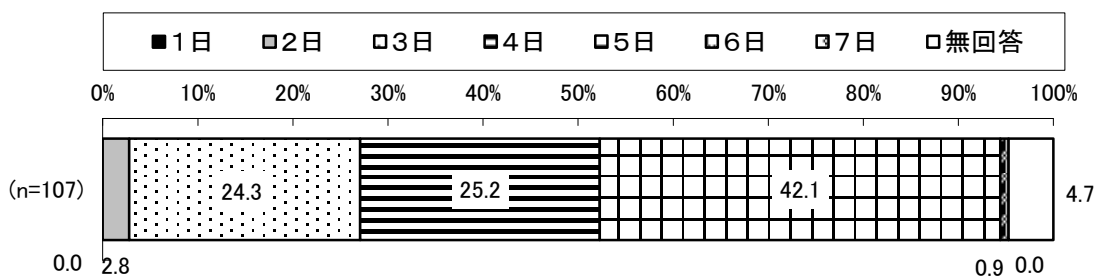
図表-222 1年より先で働き出すときの末子の年齢【母親】



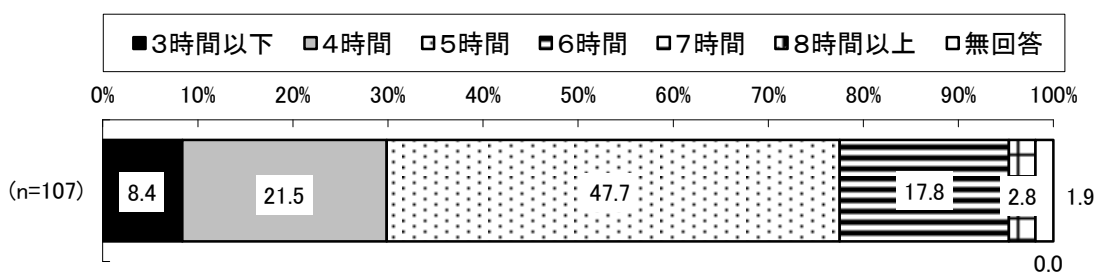
図表-223 未就労者が希望する就労形態【母親】



図表-224 パート・アルバイト等就労希望者の週あたり就労希望日数【母親】



図表-225 パート・アルバイト等就労希望者の一日あたり就労希望時間【母親】



現在就労していない母親に、今後の就労希望をたずねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(34.3%)と「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」(33.5%)がほぼ同率となっている。また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」「1年より先に就労したい」を合わせると未就労の母親の6割(59.1%)が就労を希望している。

「1年より先に就労したい」と回答した母親に、一番下の子どもが何歳になったところに働きたいかたずねたところ、「3歳以下」(34.9%)の割合が最も高く、次いで「7~9歳」(23.8%)となっており、平均で6.3歳であった。

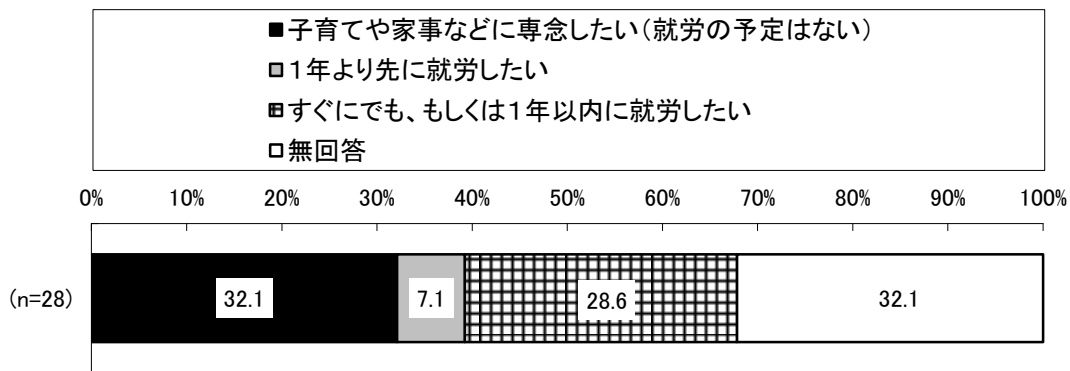
また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した母親に、希望する就労形態についてたずねたところ、「パート・アルバイト等」(71.3%)が7割を占めている。

パート・アルバイト等での就労を希望している母親に就労日数・就労時間の希望をたずねたところ、週あたりの就労希望日数は「5日」(42.1%)の割合が最も高く、平均4.1日/週であった。また、一日あたりの就労希望時間は「5時間」(47.7%)の割合が最も高く、平均4.8時間/日であった。

② 父親

問12(2) 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】

図表-226 未就労者の就労希望【父親】



現在就労していない父親(28人)に、今後の就労希望をたずねたところ、「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」(32.1%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(28.6%)の順となっている。

「1年より先に就労したい」と回答した父親(2人)に、一番下の子どもが何歳になったところに働きたいかたずねたところ、「4~6歳」「10~12歳」が各1人ずつであった。

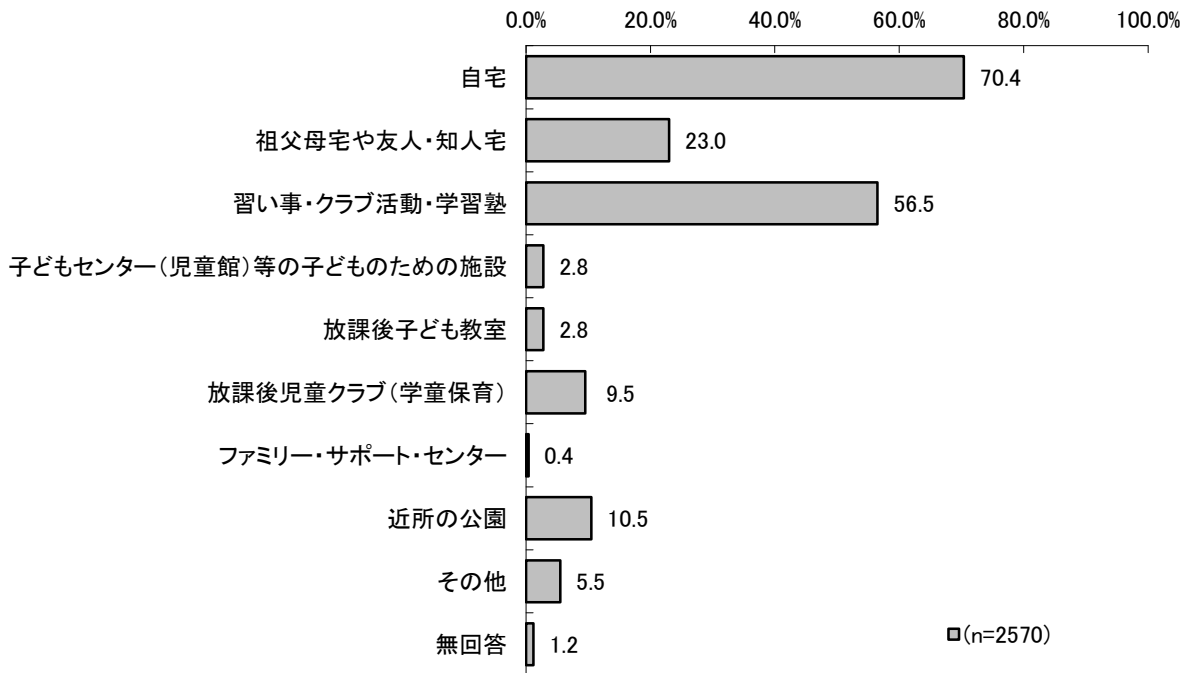
また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した父親(10人)に、希望する就労形態についてたずねたところ、「フルタイム」希望が60.0%(6人)であり、「パート・アルバイト」希望はいなかった。

4. 放課後の過ごし方について

(1) 現在の放課後の過ごし方

問13 調査対象のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。【〇はあてはまるものすべて】

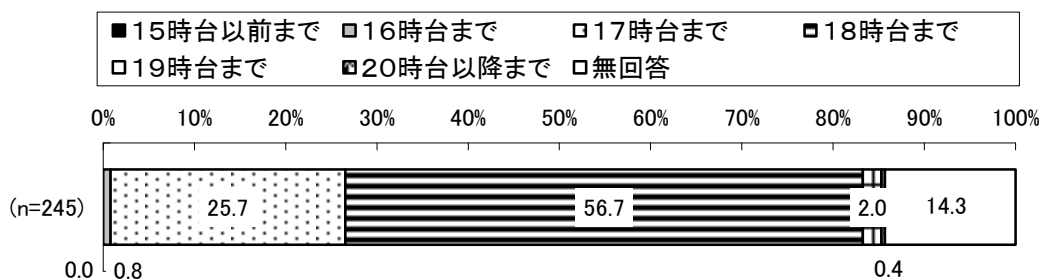
図表-227 現在の放課後の過ごし方



図表-228 過ごしている場所別日数 (単位: %)

	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均)日数
自宅	1,809	12.5	19.7	18.4	7.5	39.6	2.2	3.4日
祖父母宅や友人・知人宅	590	22.9	26.9	14.7	6.6	27.5	1.4	2.9日
習い事・クラブ活動・学習塾	1,453	10.5	24.8	27.5	17.1	19.3	0.8	3.1日
子どもセンター(児童館)等の子どものための施設	72	29.2	19.4	23.6	8.3	12.5	6.9	2.5日
放課後子ども教室	72	50.0	20.8	9.7	2.8	9.7	6.9	1.9日
放課後児童クラブ(学童保育)	245	7.3	6.5	9.8	10.2	61.6	4.5	4.2日
ファミリー・サポート・センター	10	0.0	10.0	60.0	10.0	20.0	0.0	3.4日
近所の公園	270	29.6	32.2	18.9	3.7	10.4	5.2	2.3日
その他	142	13.4	28.9	18.3	11.3	28.2	0.0	3.1日

図表-229 放課後児童クラブ利用者の終了時刻



第5章 小学生保護者調査の結果

現在の放課後の過ごし方では、「自宅」（70.4％）の割合が7割と最も高く、次いで「習い事・クラブ活動・学習塾」（56.5％）となっており、「放課後児童クラブ（学童保育）」（9.5％）は1割であった。

現在過ごしている場所別の利用日数の平均は「自宅」：3.4日／週、「習い事・クラブ活動・学習塾」：3.1日／週、「放課後児童クラブ（学童保育）」：4.2日／週などとなっている。

また、放課後児童クラブ利用者のクラブ終了時刻は「18時まで」（56.7％）の割合が6割弱と最も高く、次いで「17時まで」（25.7％）となっている。

子どもの学年別に、現在の放課後の過ごし方をみると、低学年は高学年に比べて「放課後児童クラブ（学童保育）」（14.5％）や「近所の公園」（12.4％）の割合が高く、1割を超えている。特に「放課後児童クラブ（学童保育）」は1年生（20.5％）・2年生（13.5％）での利用率が高くなっている。

居住地区別にみると、「放課後子ども教室」は西部（23.9％）や北部（18.6％）で、「放課後児童クラブ（学童保育）」は中部（36.7％）や北部（35.7％）で、「近所の公園」は八島（21.3％）や新川（19.7％）で割合が高くなっている。

図表－230 子どもの学年別・居住地区別 現在の放課後の過ごし方（単位：％）

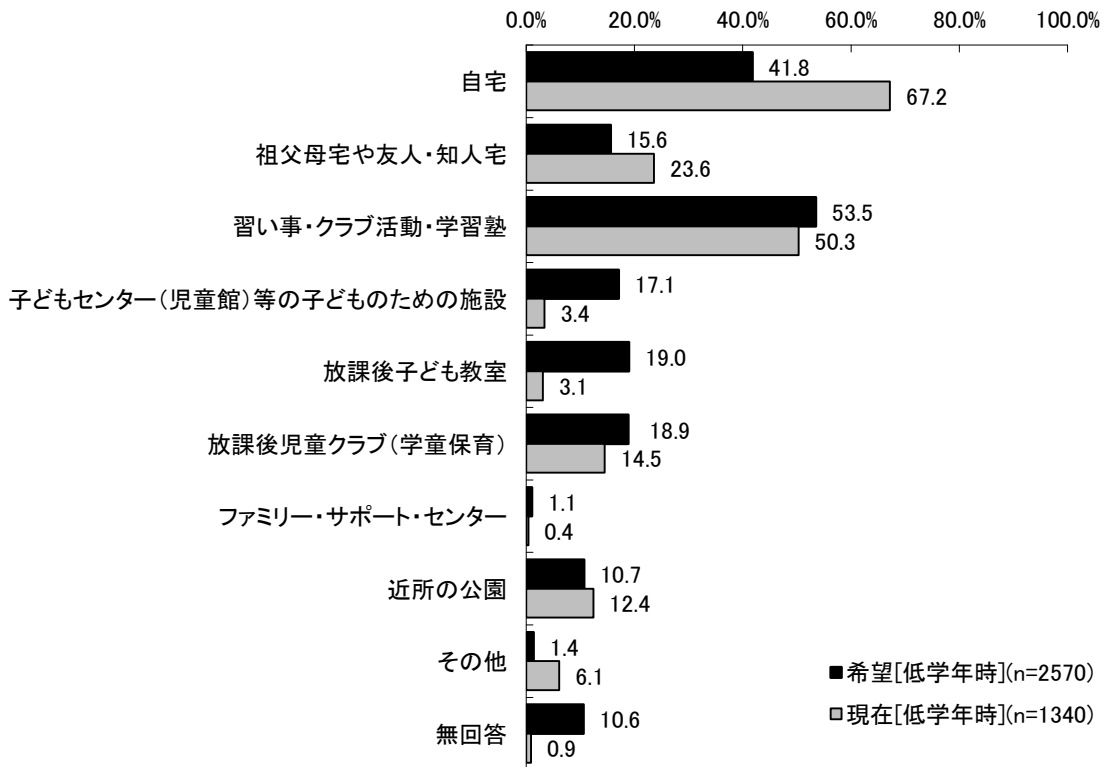
	調査数（n）	現在の放課後の過ごし方（単位：％）										
		自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事・クラブ活動・学習塾	施設（子どもセンター等の子どものため）	子どもセンター（児童の放課後子ども教室）	放課後児童クラブ（学童保育）	ファミリー・サポート・センター	近所の公園	その他	無回答	
全体	2,570	70.4	23.0	56.5	2.8	2.8	9.5	0.4	10.5	5.5	1.2	
子どもの学年	1年生	440	62.7	23.0	40.7	3.6	3.4	20.5	0.7	14.8	5.5	0.7
	2年生	466	68.5	25.5	48.9	3.6	2.8	13.5	0.2	10.5	4.7	1.5
	3年生	434	70.3	22.1	61.5	3.0	3.0	9.4	0.2	12.0	8.3	0.5
	4年生	454	74.0	21.6	65.4	3.7	3.1	4.4	0.7	8.1	5.3	1.1
	5年生	415	70.6	23.9	65.1	1.7	1.7	4.3	0.5	9.2	5.5	2.7
	6年生	355	77.7	21.1	58.6	0.6	2.8	3.7	0.0	8.2	3.7	0.8
	無回答	6	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	低学年（1～3年生）	1,340	67.2	23.6	50.3	3.4	3.1	14.5	0.4	12.4	6.1	0.9
高学年（4～6年生）	1,224	73.9	22.2	63.3	2.1	2.5	4.2	0.4	8.5	4.9	1.6	
居住地区	全体	2,570	70.4	23.0	56.5	2.8	2.8	9.5	0.4	10.5	5.5	1.2
	北部	70	58.6	18.6	55.7	0.0	18.6	35.7	0.0	7.1	2.9	1.4
	西部	71	83.1	29.6	54.9	1.4	23.9	15.5	0.0	4.2	26.8	0.0
	中部	49	55.1	6.1	71.4	4.1	4.1	36.7	0.0	2.0	6.1	0.0
	白保	75	77.3	12.0	56.0	0.0	1.3	9.3	0.0	0.0	6.7	0.0
	宮良	120	72.5	31.7	55.0	2.5	2.5	4.2	0.8	11.7	15.0	0.8
	大浜	278	75.2	25.2	61.9	2.2	1.8	6.1	0.0	7.2	1.8	0.7
	平真	380	71.3	22.1	52.1	2.9	0.5	10.8	0.3	12.6	2.6	1.6
	八島	164	70.7	11.6	54.3	0.0	0.6	9.8	0.0	21.3	3.7	1.2
	登野城	446	66.8	23.5	57.4	2.0	0.7	9.0	0.0	4.5	4.3	1.1
	石垣	229	64.6	27.9	57.2	2.6	2.6	8.7	0.0	4.4	6.6	2.2
	新川	391	72.4	26.1	54.2	3.8	2.3	6.9	1.3	19.7	4.9	1.0
	真喜良	180	71.7	23.9	56.7	7.2	3.3	3.9	1.7	13.9	7.2	1.7
無回答	117	70.9	16.2	61.5	5.1	3.4	9.4	0.0	10.3	6.8	2.6	

(2) 放課後の過ごし方の希望（低学年時）

問14 調査対象のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

※現在、調査対象のお子さんが4年生以上の場合は、低学年のうちに「過ごさせたい」希望としてお答えください。

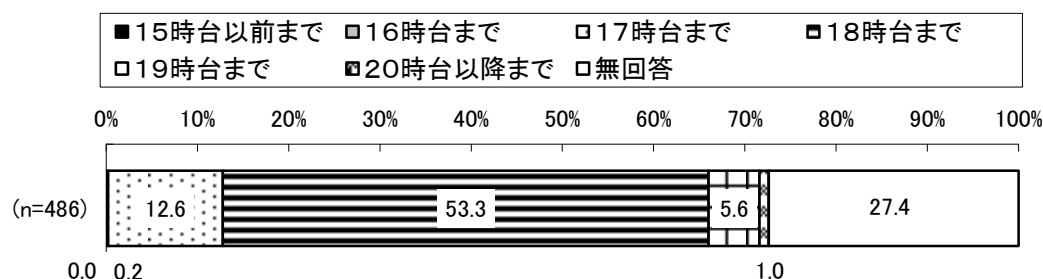
図表－231 放課後の過ごし方の希望（低学年時）



図表－232 希望場所別日数（低学年時）（単位：％）

	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均)日数
自宅	1,073	13.2	20.7	22.3	6.7	31.3	5.8	3.2日
祖父母宅や友人・知人宅	402	25.6	29.6	16.7	2.5	21.4	4.2	2.6日
習い事・クラブ活動・学習塾	1,375	9.8	34.0	32.1	7.9	13.8	2.4	2.8日
子どもセンター(児童館)等の子どものための施設	440	9.8	26.6	25.0	5.9	26.6	6.1	3.1日
放課後子ども教室	488	14.3	24.6	25.0	4.3	25.0	6.8	3.0日
放課後児童クラブ(学童保育)	486	3.7	10.1	16.7	5.8	58.8	4.9	4.1日
ファミリー・サポート・センター	28	25.0	14.3	21.4	3.6	28.6	7.1	3.0日
近所の公園	276	31.9	32.2	21.0	4.0	5.4	5.4	2.1日
その他	36	11.1	22.2	16.7	11.1	36.1	2.8	3.4日

図表－233 放課後児童クラブ希望者の希望終了時刻（低学年時）



低学年（1～3年生）時の放課後の過ごし方の希望では「習い事・クラブ活動・学習塾」（53.5%）の割合が最も高く、次いで「自宅」（41.8%）、「放課後子ども教室」（19.0%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（18.9%）となっている。

現在の過ごし方と希望とを比較すると、「自宅」（希望－現在：▲25.4ポイント）や「祖父母宅や友人宅」（同：▲8.0ポイント）の割合が下がり、代わって「放課後子ども教室」（同：+15.9ポイント）や「子どもセンター（児童館）等の子どものための施設」（同：+13.7ポイント）等で希望割合が高まっている。

希望場所別の利用希望日数の平均は「習い事・クラブ活動・学習塾」：2.8日／週、「自宅」：3.2日／週、「放課後子ども教室」：3.0日／週、「放課後児童クラブ（学童保育）」：4.1日／週などとなっている。

また、放課後児童クラブ利用希望者の希望終了時刻は「18時まで」（53.3%）の割合が5割強と最も高く、次いで「17時まで」（12.6%）となっている。

現在の子どもの学年別に、低学年（1～3年生）時の放課後の過ごし方の希望をみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」は1年生（26.4%）で希望割合が高く、2割を超えている。

居住地区別にみると、「子どもセンター（児童館）等の子どものための施設」は真喜良（26.7%）や宮良（23.3%）、白保（21.3%）で、「放課後子ども教室」は西部（32.4%）や白保（29.3%）、宮良（26.7%）で、「放課後児童クラブ（学童保育）」は中部（42.9%）や西部（40.8%）、北部（38.6%）で、「近所の公園」は八島（18.9%）や宮良（18.3%）で希望割合が高くなっている。

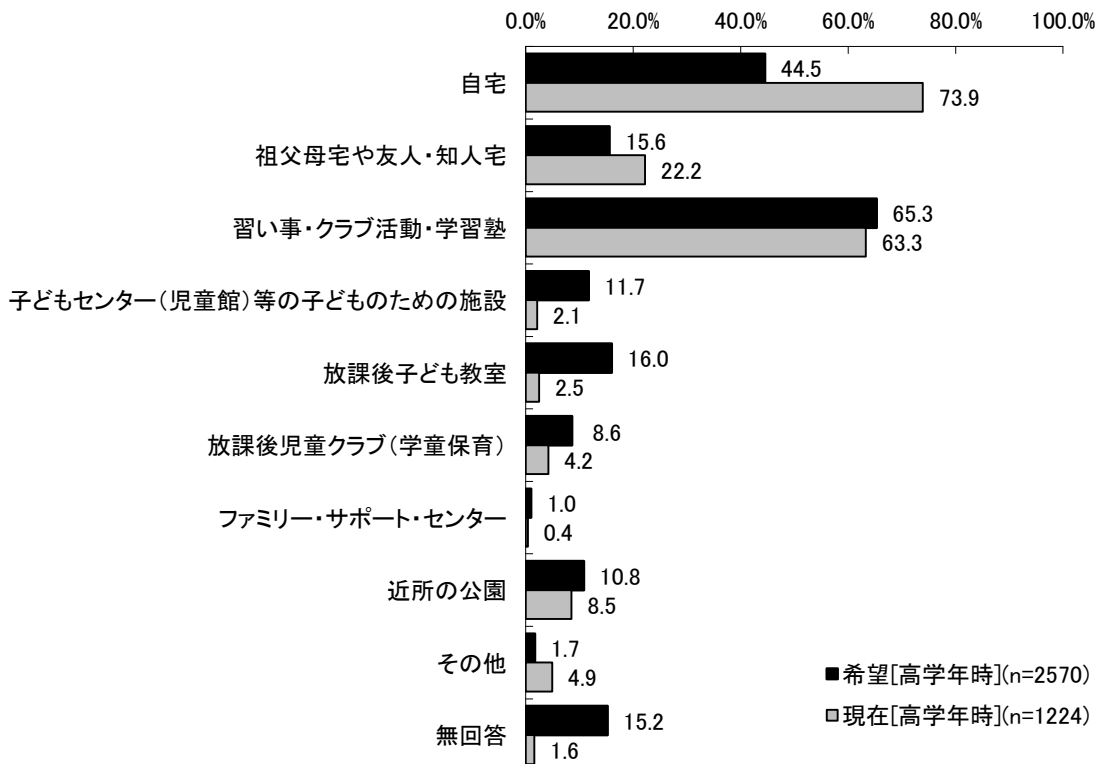
図表－234 子どもの学年別・居住地区別 放課後の過ごし方の希望（低学年時）（単位：％）

	調査数（n）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事・クラブ活動・学塾	施設（児童館等の子どものための施設）	子どもセンター（児童放課後子ども教室）	放課後児童クラブ（学童保育）	ファミリー・サポート・センター	近所の公園	その他	無回答	
全体	2570	41.8	15.6	53.5	17.1	19.0	18.9	1.1	10.7	1.4	10.6	
子どもの学年	1年生	440	45.9	17.3	53.9	16.6	19.1	26.4	0.9	15.0	2.3	2.7
	2年生	466	50.2	20.8	58.8	15.2	19.3	19.1	1.1	12.7	1.5	2.6
	3年生	434	45.2	15.0	62.7	19.1	21.2	16.4	0.9	11.8	2.8	3.9
	4年生	454	38.5	12.3	48.9	16.7	20.9	18.7	1.5	9.3	0.4	17.8
	5年生	415	34.7	14.9	49.6	19.0	17.3	17.1	1.2	7.5	1.2	16.1
	6年生	355	34.1	12.7	45.9	16.3	15.5	14.9	0.8	7.6	0.0	22.5
	無回答	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7
	低学年（1～3年生）	1,340	47.2	17.8	58.4	16.9	19.9	20.6	1.0	13.1	2.2	3.1
	高学年（4～6年生）	1,224	35.9	13.3	48.3	17.4	18.1	17.1	1.2	8.2	0.6	18.6
居住地区	全体	2,570	41.8	15.6	53.5	17.1	19.0	18.9	1.1	10.7	1.4	10.6
	北部	70	47.1	11.4	45.7	7.1	22.9	38.6	1.4	12.9	0.0	10.0
	西部	71	38.0	14.1	46.5	15.5	32.4	40.8	0.0	12.7	12.7	8.5
	中部	49	36.7	4.1	55.1	12.2	20.4	42.9	0.0	2.0	0.0	10.2
	白保	75	42.7	8.0	53.3	21.3	29.3	21.3	0.0	5.3	5.3	6.7
	宮良	120	32.5	17.5	50.8	23.3	26.7	16.7	0.0	18.3	4.2	13.3
	大浜	278	41.0	14.7	59.4	15.1	16.5	15.5	1.4	7.9	0.4	10.1
	平真	380	46.8	15.8	52.4	17.1	18.9	22.4	1.1	11.1	0.8	6.6
	八島	164	47.0	7.9	51.8	15.2	14.0	14.6	0.0	18.9	0.0	12.2
	登野城	446	42.8	18.6	54.9	15.5	17.7	18.4	0.4	7.4	2.2	10.3
	石垣	229	35.4	19.7	51.1	20.5	20.5	17.9	1.3	9.2	0.4	11.4
	新川	391	44.2	18.4	52.7	15.6	15.6	13.0	1.5	13.6	0.8	13.6
	真喜良	180	35.0	15.0	55.0	26.7	24.4	19.4	3.9	8.9	0.0	9.4
	無回答	117	40.2	12.0	56.4	14.5	11.1	10.3	0.9	11.1	0.0	16.2

(3) 放課後の過ごし方の希望（高学年時）

問15 同様に、小学校高学年（4～6年生）のうちどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

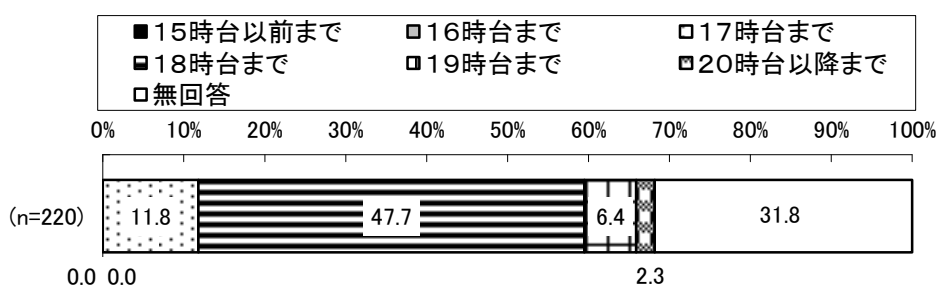
図表－235 放課後の過ごし方の希望（高学年時）



図表－236 希望場所別日数（高学年時）（単位：％）

	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均日数)
自宅	1,144	19.1	27.4	19.0	5.2	24.4	5.0	2.9日
祖父母宅や友人・知人宅	401	31.2	34.7	11.7	3.5	14.2	4.7	2.3日
習い事・クラブ活動・学習塾	1,677	5.5	22.1	37.3	12.4	19.9	2.9	3.2日
子どもセンター(児童館)等の子どものための施設	300	16.7	31.7	20.7	7.3	19.0	4.7	2.8日
放課後子ども教室	411	19.0	34.5	20.9	1.9	18.7	4.9	2.7日
放課後児童クラブ(学童保育)	220	10.0	18.6	17.7	3.2	43.2	7.3	3.5日
ファミリー・サポート・センター	26	30.8	19.2	23.1	7.7	19.2	0.0	2.7日
近所の公園	278	31.7	39.6	15.1	3.6	5.8	4.3	2.1日
その他	44	15.9	27.3	13.6	6.8	34.1	2.3	3.2日

図表－237 放課後児童クラブ希望者の希望終了時刻（高学年時）



高学年（4～6年生）時の放課後の過ごし方の希望では、低学年と同様に、「習い事・クラブ活動・学習塾」（65.3％）の割合が最も高く、次いで「自宅」（44.5％）、「放課後子ども教室」（16.0％）、「祖父母宅や友人・知人宅」（15.6％）となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」（8.6％）も1割となっている。

現在の過ごし方と希望とを比較すると、「自宅」（希望－現在：▲29.4ポイント）や「祖父母宅や友人宅」（同：▲6.6ポイント）の割合が下がり、代わって「放課後子ども教室」（同：+13.5ポイント）や「子どもセンター（児童館）等の子どものための施設」（同：+9.6ポイント）等の希望割合が高まっている。

希望場所別の利用希望日数の平均は「習い事・クラブ活動・学習塾」：3.2日/週、「自宅」：2.9日/週、「放課後子ども教室」：2.7日/週、「放課後児童クラブ（学童保育）」：3.5日/週などとなっている。

また、放課後児童クラブ利用希望者の希望終了時刻は「18時まで」（47.7％）の割合が5割弱と最も高く、次いで「17時まで」（11.8％）となっている。

現在の子どもの学年別に、高学年（4～6年生）時の放課後の過ごし方の希望をみると「放課後児童クラブ（学童保育）」は4年生（11.2％）で希望割合がやや高く、1割を超えている

居住地区別にみると、「子どもセンター（児童館）等の子どものための施設」は宮良（18.3％）や真喜良（16.7％）、白保（16.0％）で、「放課後子ども教室」は白保（33.3％）や西部（31.0％）で、「放課後児童クラブ（学童保育）」は西部（25.4％）や中部（22.4％）、北部（20.0％）で、「近所の公園」は宮良（21.7％）や八島（19.5％）で希望割合が高くなっている。

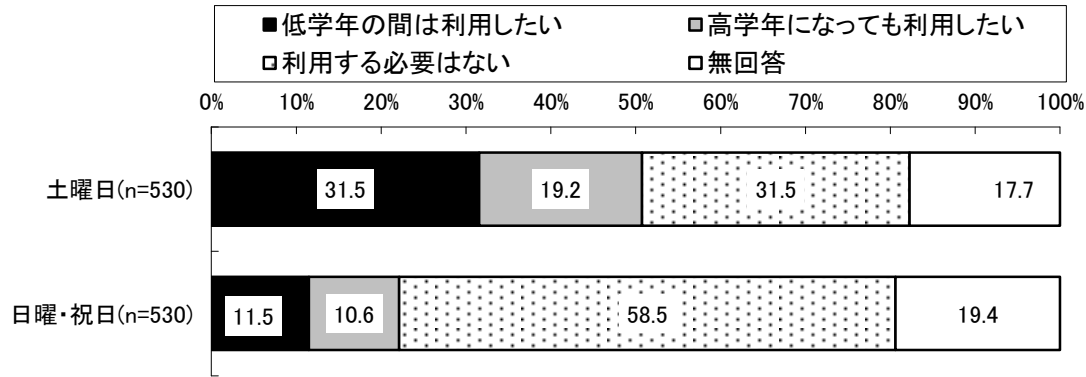
図表－238 子どもの学年別・居住地区別 放課後の過ごし方の希望（高学年時）（単位：％）

		調査数（n）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事・学習塾・クラブ活動	子どもセンター等の施設	放課後子ども教室	放課後児童クラブ（学童保育）	ファミリーセンター	近所の公園	その他	無回答	
全体		2,570	44.5	15.6	65.3	11.7	16.0	8.6	1.0	10.8	1.7	15.2	
子どもの学年	1年生	440	36.8	15.0	56.6	12.5	17.3	9.3	0.9	12.5	1.6	25.9	
	2年生	466	42.5	16.3	59.4	9.9	15.0	8.6	1.1	10.1	1.7	21.2	
	3年生	434	35.7	11.8	57.4	10.6	15.7	6.5	0.2	9.0	3.2	26.5	
	4年生	454	51.5	15.4	75.6	11.7	17.4	11.2	1.8	12.8	1.3	3.5	
	5年生	415	48.7	19.0	71.3	13.5	14.9	8.2	1.0	9.9	1.2	6.0	
	6年生	355	53.5	15.8	73.0	12.4	15.5	7.3	1.1	10.7	1.1	5.4	
	無回答	6	50.0	50.0	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	低学年（1～3年生）	1,340	38.4	14.4	57.8	11.0	16.0	8.1	0.7	10.5	2.2	24.5	
	高学年（4～6年生）	1,224	51.1	16.7	73.4	12.5	16.0	9.1	1.3	11.2	1.2	4.9	
居住地区	全体	2,570	44.5	15.6	65.3	11.7	16.0	8.6	1.0	10.8	1.7	15.2	
	北部	70	54.3	12.9	58.6	8.6	18.6	20.0	0.0	11.4	0.0	14.3	
	西部	71	46.5	18.3	56.3	11.3	31.0	25.4	0.0	14.1	9.9	9.9	
	中部	49	42.9	6.1	63.3	8.2	14.3	22.4	0.0	4.1	2.0	10.2	
	白保	75	40.0	5.3	66.7	16.0	33.3	16.0	1.3	6.7	4.0	10.7	
	宮良	120	40.0	19.2	68.3	18.3	20.8	11.7	1.7	21.7	5.0	15.0	
	大浜	278	47.5	15.1	69.4	11.2	15.1	4.3	0.7	8.3	0.4	14.4	
	平真	380	47.9	17.4	70.0	9.5	13.4	9.7	1.6	12.9	0.8	12.6	
	八島	164	42.7	10.4	58.5	8.5	10.4	4.9	0.0	19.5	1.2	18.9	
	登野城	446	42.6	17.0	65.2	11.0	14.8	7.0	0.4	7.4	1.8	16.4	
	石垣	229	40.2	16.2	66.8	14.8	15.7	5.7	0.0	7.4	0.9	13.5	
	新川	391	47.8	18.7	60.1	11.8	13.3	5.1	0.8	12.0	2.8	18.9	
	真喜良	180	38.9	12.2	67.8	16.7	23.9	12.8	5.0	7.8	0.0	14.4	
	無回答	117	43.6	13.7	65.8	6.8	10.3	6.0	0.9	10.3	0.0	16.2	

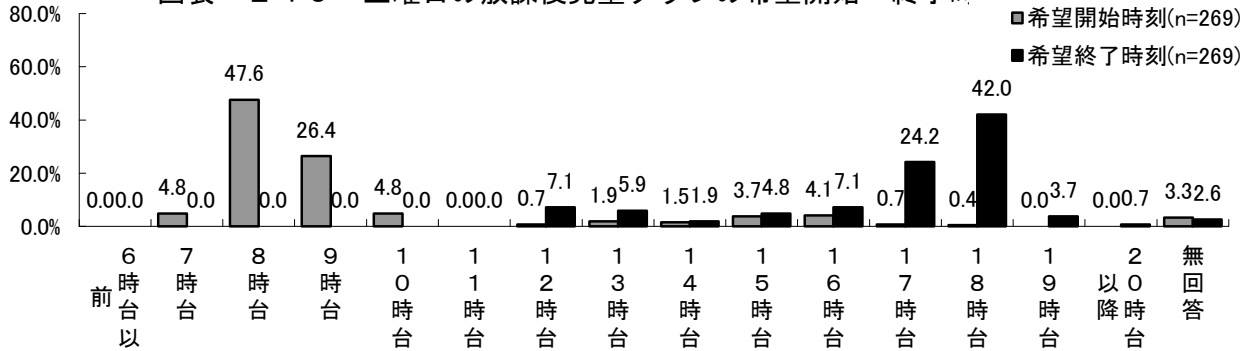
(4) 放課後児童クラブの土曜日・日祝日の利用意向

問16 調査対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。【〇は1つだけ】

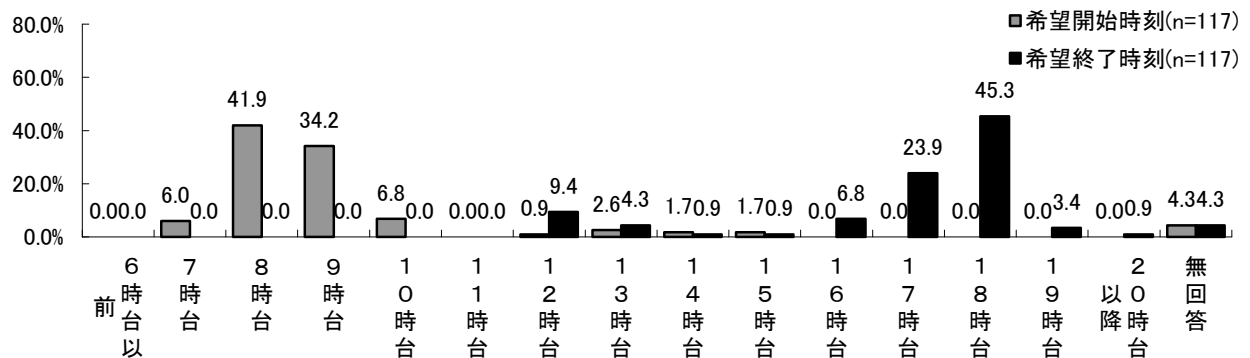
図表-239 放課後児童クラブ利用希望者の土曜日・日祝日の利用意向



図表-240 土曜日の放課後児童クラブの希望開始・終了時刻



図表-241 日曜・祝日の放課後児童クラブの希望開始・終了時刻



放課後の過ごし方の希望(問14・15)で放課後児童クラブ(学童保育)の利用を希望した人に、土曜日及び日曜・祝日の利用意向をたずねたところ、土曜日については「低学年の間は利用したい」(31.5%)と「高学年になっても利用したい」(19.2%)を合わせると利用希望が5割(50.7%)を占めている。

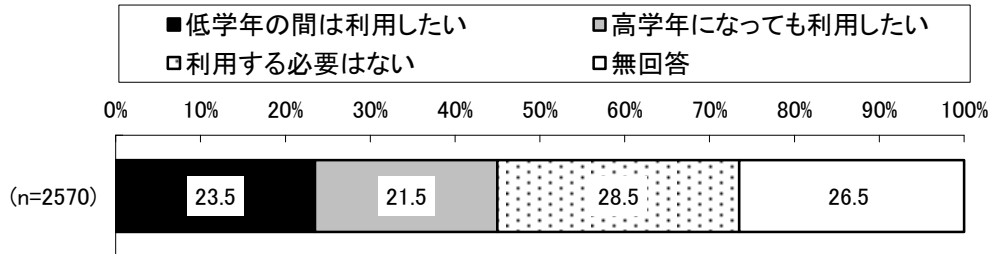
一方、日曜・祝日については「利用する必要はない」(58.5%)の割合が6割を占めているものの、「低学年の間は利用したい」(11.5%)と「高学年になっても利用したい」(10.6%)を合わせた利用希望も2割強(22.1%)となっている。

利用希望者に希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、土曜日及び日曜・祝日ともに、希望開始時刻では「8時台」(土曜日:47.6%、日曜・祝日:41.9%)、希望終了時刻では「18時台」(土曜日:42.0%、日曜・祝日:45.3%)の割合が最も高くなっている。

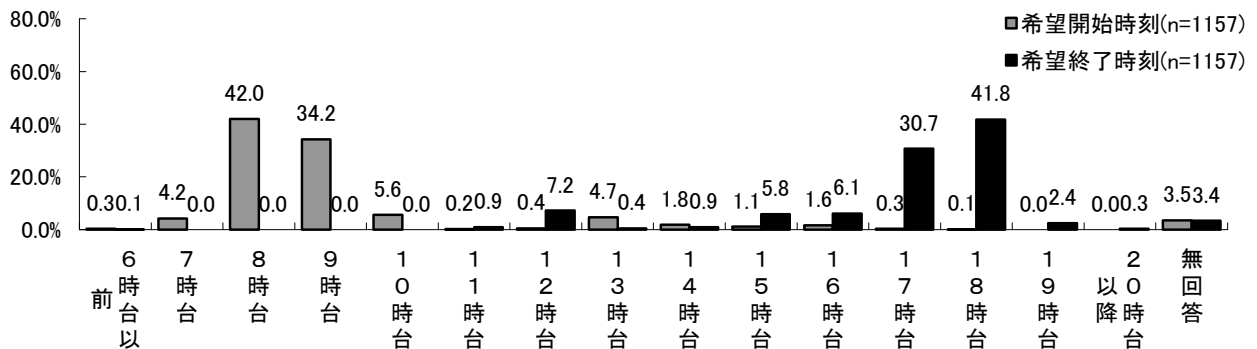
(5) 放課後児童クラブの長期休暇中の利用意向

問17 調査対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。【○は1つだけ】

図表-242 放課後児童クラブの長期休暇中の利用意向



図表-243 放課後児童クラブの長期休暇中の希望開始・終了時刻



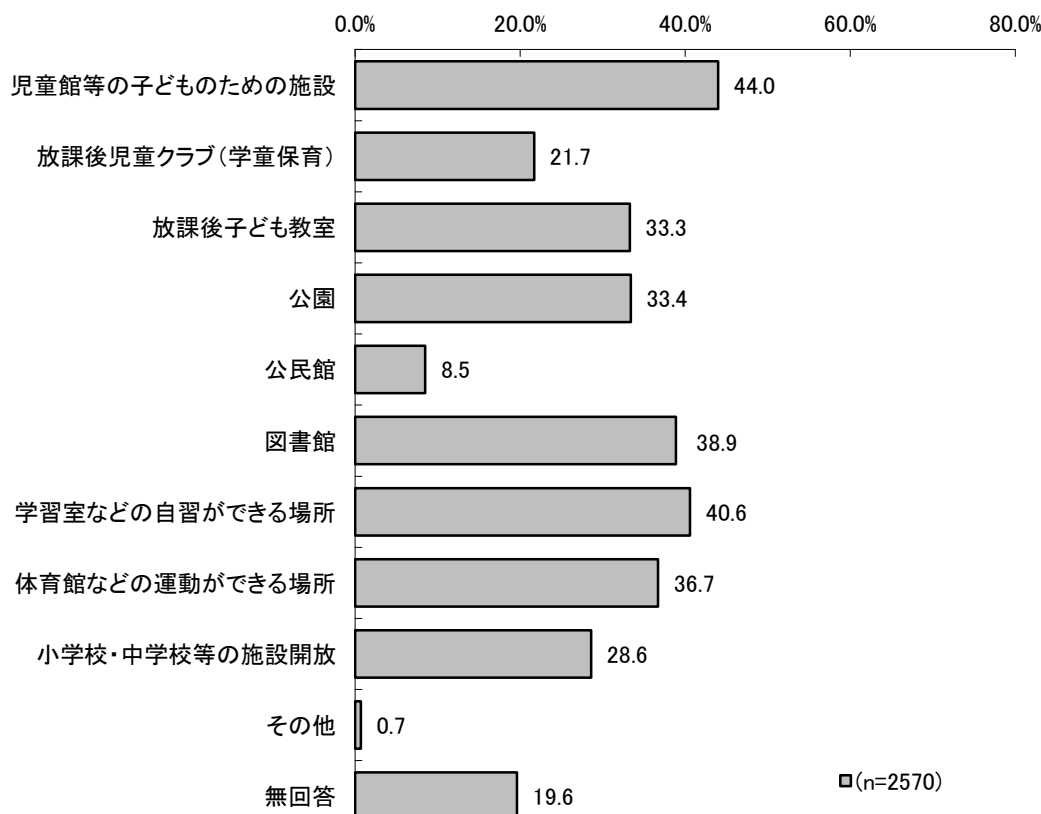
調査回答者全員に夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向をたずねたところ、「利用する必要はない」（28.5%）の割合が3割を占めているものの、「低学年の間は利用したい」（23.5%）と「高学年になっても利用したい」（21.5%）を合わせた利用希望が45.0%と4割を超えている。

利用希望者に希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻では「8時台」（42.0%）、希望終了時刻では「18時台」（41.8%）の割合が最も高くなっている。

(6) 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの

問18 調査対象のお子さんの遊び場・居場所として、どのような場が身近にあってほしいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-244 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの



子どもの遊び場・居場所として身近にあってほしいものは、「児童館等の子どものための施設」(44.0%)の割合が最も高く、次いで「学習室などの自習ができる場所」(40.6%)、「図書館」(38.9%)、「体育館などの運動ができる場所」(36.7%)となっている。

子どもの学年別にみると、「児童館等の子どものための施設」や「放課後児童クラブ(学童保育)」、「放課後子ども教室」の割合は概ね学年が低いほど高く、特に「児童館等の子どものための施設」は1年生(51.1%)と2年生(48.5%)で5割前後と高くなっている。このほか、1年生では「公園」(38.4%)の割合も高く、4割弱となっている。

図表-245 子どもの学年別 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの (単位: %)

	調査数 (n)	児童館等の施設	放課後児童クラブ(学童保育)	放課後子ども教室	公園	公民館	図書館	学習室などの自習	体育館などの運動	小学校・中学校等の施設開放	その他	無回答	
全体	2,570	44.0	21.7	33.3	33.4	8.5	38.9	40.6	36.7	28.6	0.7	19.6	
子どもの学年	1年生	440	51.1	28.4	38.9	38.4	9.5	40.0	36.4	29.5	0.2	16.8	
	2年生	466	48.5	24.2	39.5	32.4	8.4	38.2	41.4	27.3	0.9	16.7	
	3年生	434	45.6	22.4	34.1	32.5	10.4	38.0	41.7	28.1	0.7	21.4	
	4年生	454	41.9	20.5	30.4	33.7	7.7	39.9	41.6	37.9	0.7	19.2	
	5年生	415	37.6	15.4	26.7	33.0	6.0	39.5	40.0	33.5	1.0	20.0	
	6年生	355	37.5	17.7	29.0	29.9	9.0	38.3	40.3	37.7	28.7	0.8	24.5
	無回答	6	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3

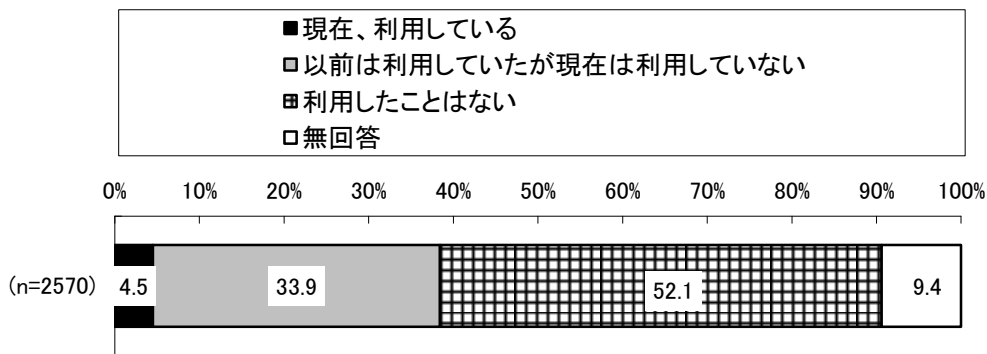
5. 児童館について

(1) 石垣市子どもセンターの利用状況

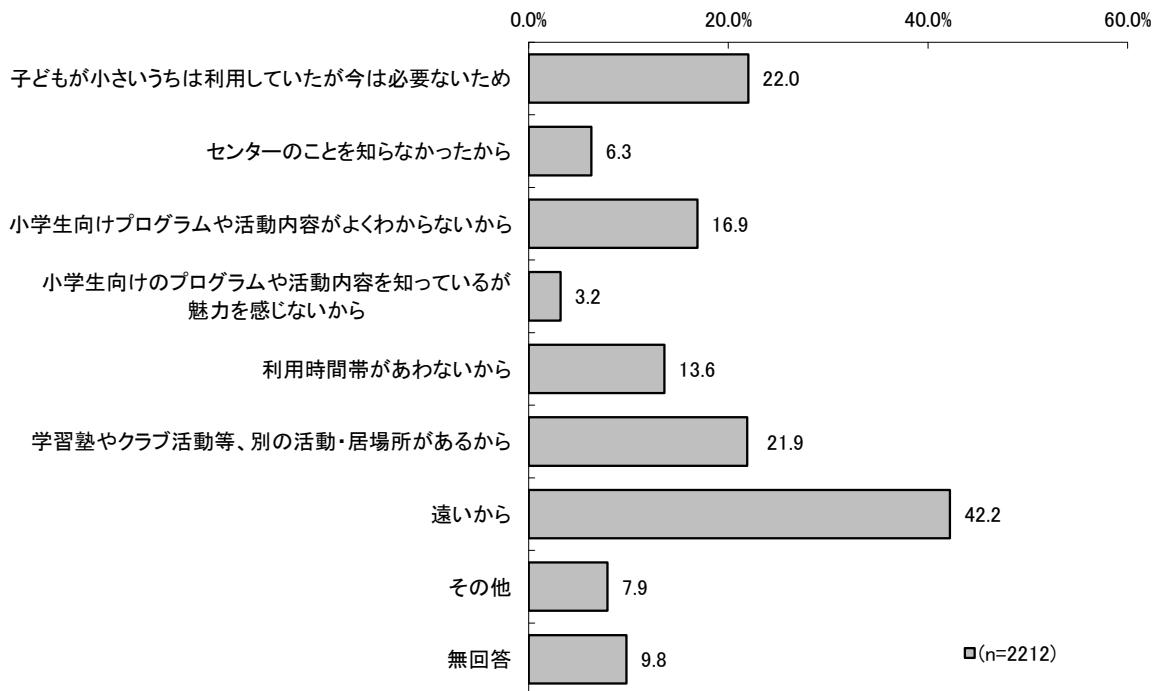
問19 石垣市子どもセンター（石垣市健康福祉センター内）を利用したことはありますか。【○は1つだけ】

問19-1 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由はなんですか。【○はあてはまるものすべて】

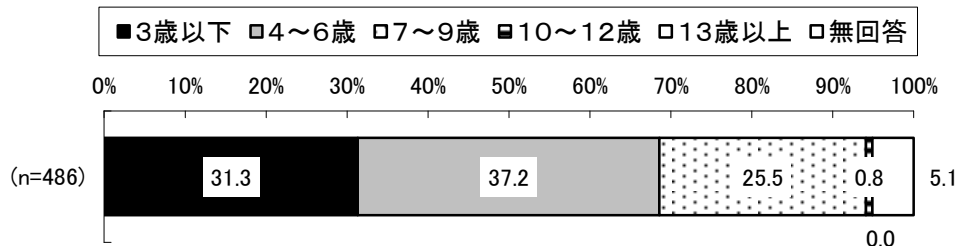
図表-246 石垣市子どもセンターの利用状況



図表-247 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由



図表-248 石垣市子どもセンターを何歳頃まで利用していたか



第5章 小学生保護者調査の結果

石垣市子どもセンターの利用状況では「利用したことはない」(52.1%)の割合が5割強を占めており、「現在、利用している」(4.5%)と「以前は利用していたが現在は利用していない」(33.9%)を合わせた利用経験がある人は4割弱(38.4%)となっている。

石垣市子どもセンターを現在利用していない人にその理由をたずねたところ、「遠いから」(42.2%)の割合が4割強と最も高く、次いで「子どもが小さいうちは利用していたが今は必要ないため」(22.0%)、「学習塾やクラブ活動等、別の活動・居場所があるから」(21.9%)となっている。なお、「子どもが小さいうちは利用していたが今は必要ないため」と回答した人に何歳まで利用していたかたずねたところ、「4～6歳」(37.2%)、「3歳以下」(31.3%)の順で割合が高く、平均4.9歳であった。

利用状況を子どもの学年別にみると、「現在、利用している」の割合は概ね学年が低いほどやや高く、1年生では7.3%となっている。

現在利用していない理由を子どもの学年別にみると、「小学生向けプログラムや活動内容がよくわからないから」の割合は概ね学年が低いほど低く、1～3年生では2割前後となっている。

居住地区別にみると、「遠いから」の割合は、北部(85.2%)や西部(73.4%)、白保(70.6%)で高く、7割を超えている。

図表－249 子どもの学年別・居住地区別

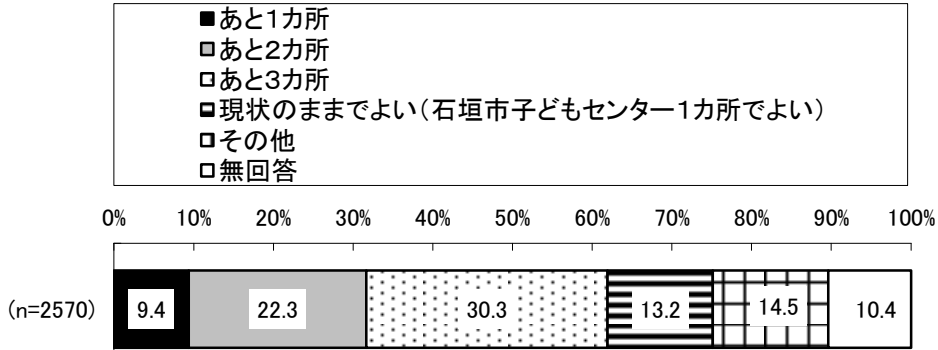
石垣市子どもセンターの利用状況、現在利用していない理由(単位：%)

	調査数(n)	石垣市子どもセンターの利用状況					調査数(n)	石垣市子どもセンターを現在利用していない理由									
		現在、利用している	以前は利用していたが現在は利用していない	利用したことはない	無回答	利用経験あり計		子どもが小さいうちは利用していたが今は必要ないため	センターのことが知らなかったから	小学生向けのプログラムや活動内容がよくわからないから	小学生向けのプログラムや活動内容を知っているが魅力を感じないから	利用時間帯があわないから	居場所があるから	学習塾やクラブ活動等、別の活動・	遠いから	その他	無回答
全体	2,570	4.5	33.9	52.1	9.4	38.4	2,212	22.0	6.3	16.9	3.2	13.6	21.9	42.2	7.9	9.8	
子どもの学年	1年生	440	7.3	30.5	55.2	7.0	37.8	377	17.2	8.8	19.1	2.1	16.4	20.7	39.3	8.5	10.1
	2年生	466	5.8	38.8	47.4	7.9	44.6	402	22.6	5.2	18.4	3.2	14.9	15.2	44.0	7.0	9.2
	3年生	434	4.1	38.7	46.3	10.8	42.8	369	23.0	5.7	20.1	3.5	12.7	24.1	38.8	9.2	10.0
	4年生	454	4.2	33.0	54.0	8.8	37.2	395	23.0	5.6	15.9	4.3	12.2	27.6	46.8	7.6	9.4
	5年生	415	4.1	33.5	51.8	10.6	37.6	354	24.3	6.2	13.3	3.4	13.6	21.8	43.5	5.9	10.7
	6年生	355	0.8	28.2	59.4	11.5	29.0	311	21.9	6.4	14.1	2.6	10.9	21.9	40.5	9.3	9.3
	無回答	6	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0
居住地区	全体	2,570	4.5	33.9	52.1	9.4	38.4	2,212	22.0	6.3	16.9	3.2	13.6	21.9	42.2	7.9	9.8
	北部	70	1.4	17.1	70.0	11.4	18.5	61	8.2	6.6	8.2	0.0	1.6	6.6	85.2	0.0	6.6
	西部	71	2.8	25.4	64.8	7.0	28.2	64	21.9	7.8	21.9	0.0	1.6	3.1	73.4	3.1	12.5
	中部	49	2.0	36.7	53.1	8.2	38.7	44	34.1	4.5	18.2	2.3	11.4	13.6	52.3	6.8	9.1
	白保	75	2.7	22.7	68.0	6.7	25.4	68	14.7	7.4	16.2	2.9	13.2	11.8	70.6	1.5	8.8
	宮良	120	5.0	36.7	51.7	6.7	41.7	106	20.8	4.7	13.2	0.0	12.3	16.0	61.3	6.6	12.3
	大浜	278	2.2	25.9	64.4	7.6	28.1	251	15.9	6.8	18.7	1.6	19.9	19.1	56.2	11.2	8.0
	平真	380	6.1	42.4	44.7	6.8	48.5	331	28.1	6.3	19.6	6.0	14.2	26.9	22.4	7.9	9.1
	八島	164	2.4	34.8	54.3	8.5	37.2	146	20.5	5.5	11.6	5.5	18.5	28.1	39.0	6.8	9.6
	登野城	446	7.4	44.6	38.3	9.6	52.0	370	30.0	4.9	17.8	4.1	9.5	27.0	19.5	11.6	9.5
	石垣	229	7.0	39.7	45.4	7.9	46.7	195	27.7	7.2	22.6	2.6	15.4	29.2	45.1	10.8	6.2
	新川	391	3.1	28.6	56.3	12.0	31.7	332	19.0	5.4	13.3	2.4	10.8	21.1	44.9	6.6	11.7
	真喜良	180	2.2	20.6	65.0	12.2	22.8	154	9.7	10.4	17.5	4.5	16.2	17.5	54.5	1.9	14.3
	無回答	117	5.1	29.1	47.9	17.9	34.2	90	15.6	6.7	13.3	1.1	23.3	16.7	37.8	10.0	10.0

(2) 児童館の施設数

問20 (1) 現在、市内には児童館として「石垣市子どもセンター」が1カ所ありますが、あと何カ所くらい児童館があるよと思いますか。【〇は1つだけ】

図表-250 児童館の施設数



石垣市子どもセンター以外にあと何カ所くらい児童館があるとよいかたずねたところ、「あと3カ所」(30.3%)の割合が最も高く、次いで「あと2カ所」(22.3%)となっており、これらに「あと1カ所」(9.4%)を合わせると、あと1~3カ所の増設希望を希望する人(62.0%)が6割を超えている。

子どもの学年別でみると、増設を希望する人の割合は概ね学年が低いほど高く、1年生(67.8%)では7割弱を占めている。

居住地区別にみると、増設を希望する人の割合は平真(70.5%)で高くなっている。

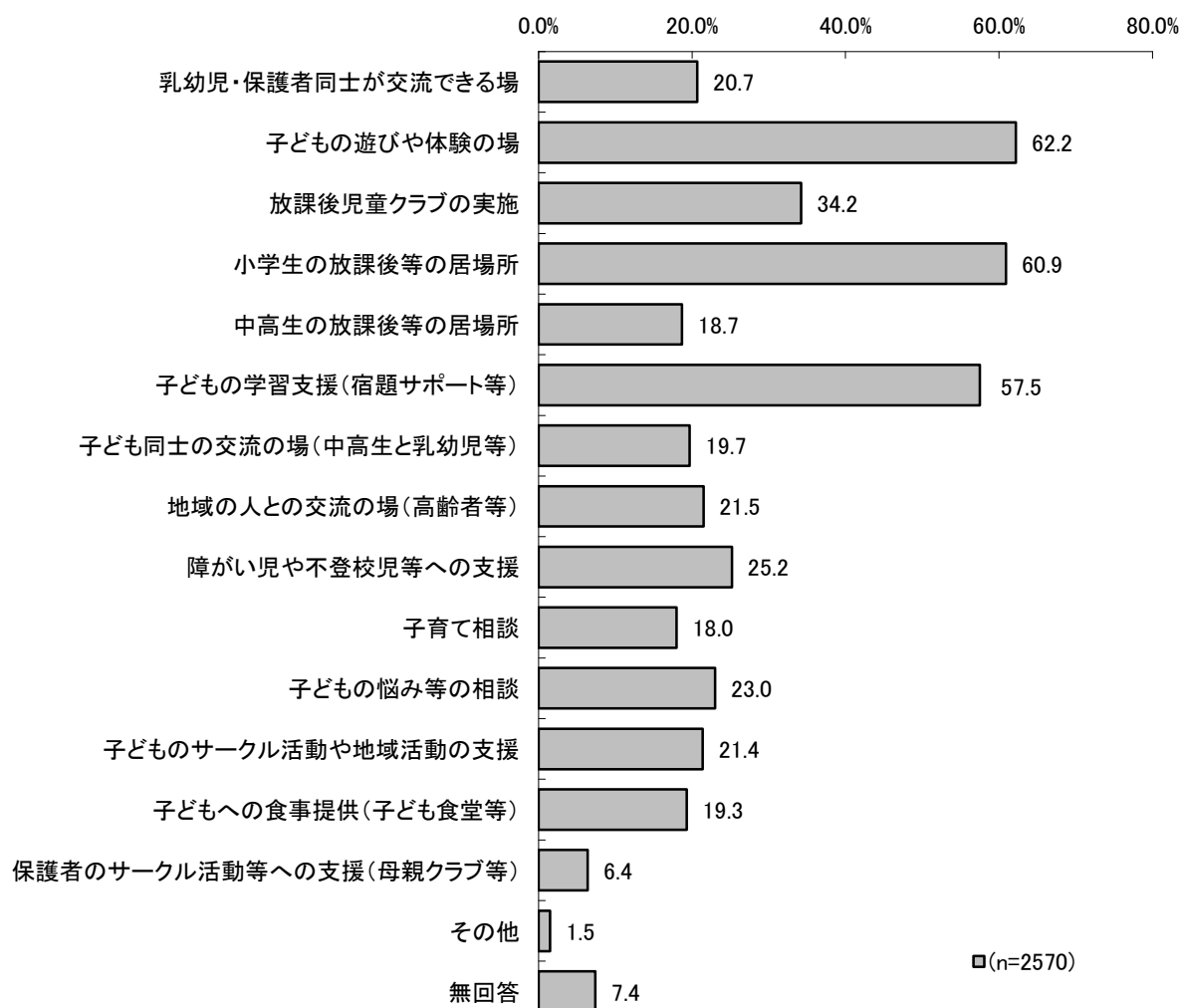
図表-251 子どもの学年別・居住地区別 児童館の施設数(単位: %)

	調査数(n)	あと1カ所	あと2カ所	あと3カ所	石垣市子どもセンター(現状のままでよい)	その他	無回答	増設希望計	
全体	2,570	9.4	22.3	30.3	13.2	14.5	10.4	62.0	
子どもの学年	1年生	440	10.5	23.2	34.1	10.2	15.2	6.8	67.8
	2年生	466	9.4	25.3	29.2	13.1	12.9	10.1	63.9
	3年生	434	9.9	22.6	32.3	13.1	12.9	9.2	64.8
	4年生	454	9.9	22.0	28.4	15.0	14.1	10.6	60.3
	5年生	415	8.9	19.3	29.2	14.5	16.4	11.8	57.4
	6年生	355	7.3	20.8	28.5	13.2	15.8	14.4	56.6
	無回答	6	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7
居住地区	全体	2,570	9.4	22.3	30.3	13.2	14.5	10.4	62.0
	北部	70	5.7	12.9	22.9	20.0	25.7	12.9	41.5
	西部	71	8.5	23.9	29.6	12.7	18.3	7.0	62.0
	中部	49	16.3	20.4	22.4	24.5	6.1	10.2	59.1
	白保	75	5.3	20.0	36.0	10.7	24.0	4.0	61.3
	宮良	120	12.5	20.0	24.2	6.7	23.3	13.3	56.7
	大浜	278	2.9	23.7	30.2	15.5	17.3	10.4	56.8
	平真	380	11.8	29.2	29.5	13.4	9.2	6.8	70.5
	八島	164	10.4	18.3	33.5	12.8	15.9	9.1	62.2
	登野城	446	11.7	22.6	31.4	11.0	14.3	9.0	65.7
	石垣	229	6.6	20.5	31.4	13.5	18.8	9.2	58.5
	新川	391	12.0	21.0	27.9	15.9	10.0	13.3	60.9
	真喜良	180	4.4	20.0	36.7	8.9	14.4	15.6	61.1
	無回答	117	10.3	20.5	30.8	13.7	10.3	14.5	61.6

(3) 児童館に求める機能

問20 (2) 児童館にどのような機能を望みますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-252 児童館に求める機能



児童館に求める機能では、「子どもの遊びや体験の場」(62.2%)の割合が6割強と最も高く、以下「小学生の放課後等の居場所」(60.9%)、「子どもの学習支援(宿題サポート等)」(57.5%)が6割前後で続き、次いで「放課後児童クラブの実施」(34.2%)となっている。

子どもの学年別にみると、「子どもの遊びや体験の場」や「放課後児童クラブの実施」、「小学生の放課後等の居場所」等の割合は概ね学年が低いほど高くなっている。一方、「中高生の放課後等の居場所」や「地域の人との交流の場(高齢者等)」等の割合は6年生で最も高くなっている。

居住地区別にみると、「子どもの遊びや体験の場」の割合は西部(81.7%)で、「小学生の放課後等の居場所」の割合は宮良(70.0%)や西部(69.0%)で、「子どもの学習支援(宿題サポート等)」の割合は真喜良(67.2%)や宮良(65.0%)で高くなっている。

図表－253 子どもの学年別・居住地区別 児童館に求める機能（単位：％）

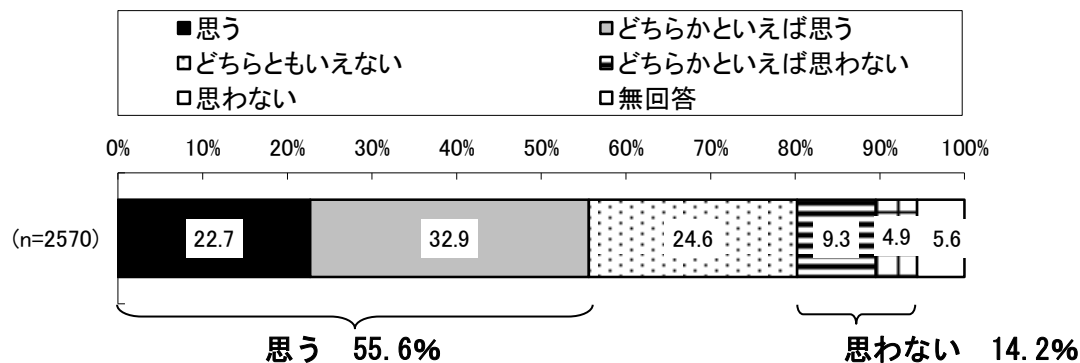
	調査数（n）	乳幼児・保護者同士が交流できる場	子どもの遊びや体験の場	放課後児童クラブの実施	小学生の放課後等の居場所	中高生の放課後等の居場所	子どもの学習支援（宿題サポート等）	子ども同士の交流の場（中高生と乳幼児等）	地域の人との交流の場（高齢者等）	障がい児や不登校児等への支援	子育て相談	子どもの悩み等の相談	子どものサークル活動や地域活動の支援	子どもへの食事提供（子ども食堂等）	保護者のサークル活動等への支援（母親クラブ等）	その他	無回答	
全体	2570	20.7	62.2	34.2	60.9	18.7	57.5	19.7	21.5	25.2	18.0	23.0	21.4	19.3	6.4	1.5	7.4	
子どもの学年	1年生	440	24.1	68.4	39.8	66.4	15.0	58.6	18.4	22.3	26.4	18.2	23.9	23.0	20.9	5.7	0.9	4.5
	2年生	466	18.5	67.8	40.1	61.6	15.9	57.9	18.0	18.7	21.0	14.8	21.0	21.2	17.8	6.0	1.7	6.2
	3年生	434	21.4	67.1	34.6	63.6	19.4	58.5	19.8	20.0	25.8	20.7	25.3	21.2	20.7	5.3	1.4	7.6
	4年生	454	22.0	61.7	32.2	60.4	19.8	58.6	22.2	21.1	25.8	16.7	22.9	20.5	20.9	6.8	0.9	8.1
	5年生	415	18.1	53.5	29.9	58.3	18.3	54.5	17.6	21.4	25.8	16.6	19.3	20.2	17.8	6.0	2.7	9.4
	6年生	355	20.0	52.1	27.3	53.8	25.4	57.2	22.8	26.8	27.0	22.0	26.2	22.5	17.5	8.7	1.4	8.7
	無回答	6	0.0	66.7	16.7	66.7	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
全体	2570	20.7	62.2	34.2	60.9	18.7	57.5	19.7	21.5	25.2	18.0	23.0	21.4	19.3	6.4	1.5	7.4	
居住地区	北部	70	35.7	57.1	28.6	42.9	22.9	47.1	30.0	35.7	21.4	25.7	15.7	20.0	11.4	10.0	0.0	11.4
	西部	71	26.8	81.7	45.1	69.0	21.1	38.0	15.5	29.6	28.2	25.4	18.3	26.8	18.3	9.9	2.8	2.8
	中部	49	34.7	65.3	38.8	61.2	30.6	53.1	28.6	24.5	30.6	26.5	30.6	22.4	22.4	10.2	2.0	6.1
	白保	75	22.7	70.7	38.7	65.3	22.7	57.3	32.0	38.7	25.3	20.0	25.3	29.3	21.3	5.3	5.3	4.0
	宮良	120	26.7	69.2	40.0	70.0	30.0	65.0	25.0	29.2	26.7	21.7	30.8	24.2	14.2	10.0	0.0	9.2
	大浜	278	17.3	58.3	36.0	60.4	19.4	63.3	18.3	20.5	21.2	14.0	20.5	21.2	22.7	5.0	0.7	6.5
	平真	380	19.2	62.4	36.3	63.7	11.8	62.1	14.2	15.3	24.7	18.7	22.6	20.8	19.7	4.2	1.1	6.8
	八島	164	17.7	59.8	27.4	51.2	6.7	43.9	17.7	17.1	28.7	18.9	17.7	22.6	15.2	6.7	1.8	6.7
	登野城	446	21.3	65.2	32.1	66.1	19.7	57.6	19.1	20.9	28.9	17.9	27.8	20.6	20.4	5.8	1.3	6.1
	石垣	229	20.1	61.1	38.4	62.4	20.1	53.7	15.7	22.7	26.6	17.5	22.7	18.3	18.3	4.4	2.6	6.6
	新川	391	18.9	59.6	30.9	56.3	19.9	58.1	22.3	22.8	23.5	16.9	22.3	21.7	19.4	8.4	1.8	9.0
	真喜良	180	21.1	56.1	31.7	61.1	23.3	67.2	24.4	18.9	20.6	12.8	21.1	21.1	23.3	7.8	1.1	10.6
	無回答	117	15.4	60.7	34.2	53.0	14.5	51.3	17.9	17.1	23.1	18.8	19.7	18.8	14.5	4.3	0.9	10.3

6. 子ども・子育て支援全般について

(1) 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）

問2 1 石垣市は子育てしやすいまちだと思いますか。【〇は1つだけ】

図表－254 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）



石垣市は子育てしやすいまちだと思うかとたずねたところ、「どちらかといえば思う」(32.9%)の割合が3割強と最も高く、これに「思う」(22.7%)を合わせると、保護者の過半数(55.6%)が子育てしやすいまちだと評価している。

子どもの学年別にみると、すべての学年で子育てしやすいまちだと『思う』人の割合が5割を超え、『思わない』人の割合を上回っている。

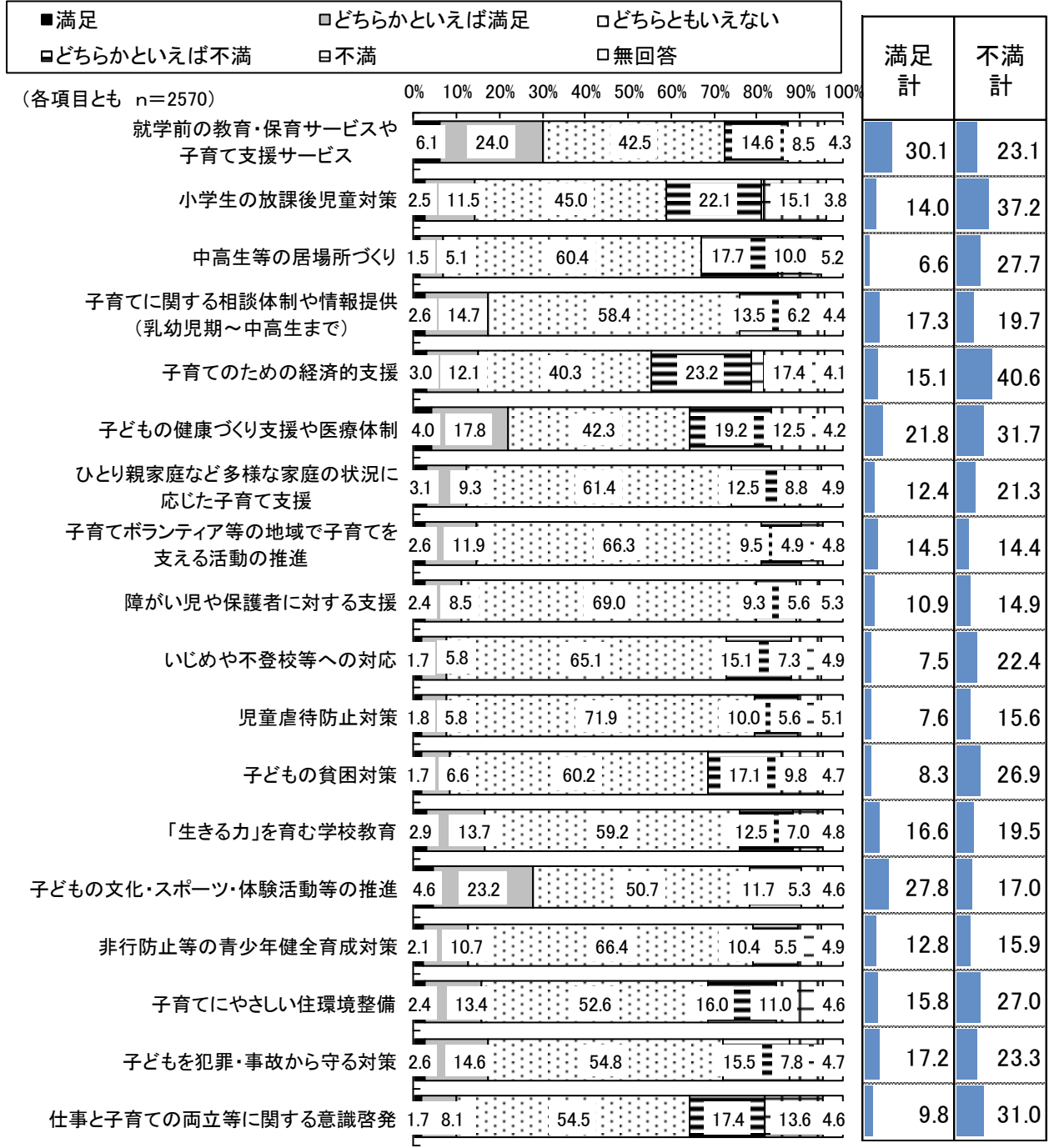
図表－255 子どもの学年別
石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）（単位：%）

	調査数 (n)	思う	思 う ど ち ら か と い え ば	い ど ち ら か と も い え な	思 ど ち ら か と い え ば	思 わ な い	無 回 答	思 う 計	思 わ な い 計	
全 体	2,570	22.7	32.9	24.6	9.3	4.9	5.6	55.6	14.2	
子 ど も の 学 年	1年生	440	20.2	34.5	25.0	9.8	5.0	5.5	54.7	14.8
	2年生	466	23.6	29.8	26.8	8.8	6.7	4.3	53.4	15.5
	3年生	434	23.3	34.1	22.1	11.8	3.7	5.1	57.4	15.5
	4年生	454	22.5	32.8	24.2	9.9	6.2	4.4	55.3	16.1
	5年生	415	25.1	32.0	23.4	8.4	3.6	7.5	57.1	12.0
	6年生	355	21.7	34.9	25.6	6.5	3.9	7.3	56.6	10.4
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	33.4	16.7

(2) 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度

問22 石垣市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。【○はそれぞれ1つずつ】

図表-256 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度



石垣市の子育て支援の取組（18項目）についての満足度をたずねたところ、大半の項目で「どちらともいえない」の割合が最も高くなっているが、満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）は「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」（30.1%）で最も高く、次いで「子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進」（27.8%）となっている。一方、不満度（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）は「子育てのための経済的支援」（40.6%）で4割と最も高く、次いで「小学生の放課後児童対策」（37.2%）、「子どもの健康づくり支援や医療体制」（31.7%）、「仕事と子育ての両立等に関する意識啓発」（31.0%）で3割を超えている。

図表-257 子どもの学年別

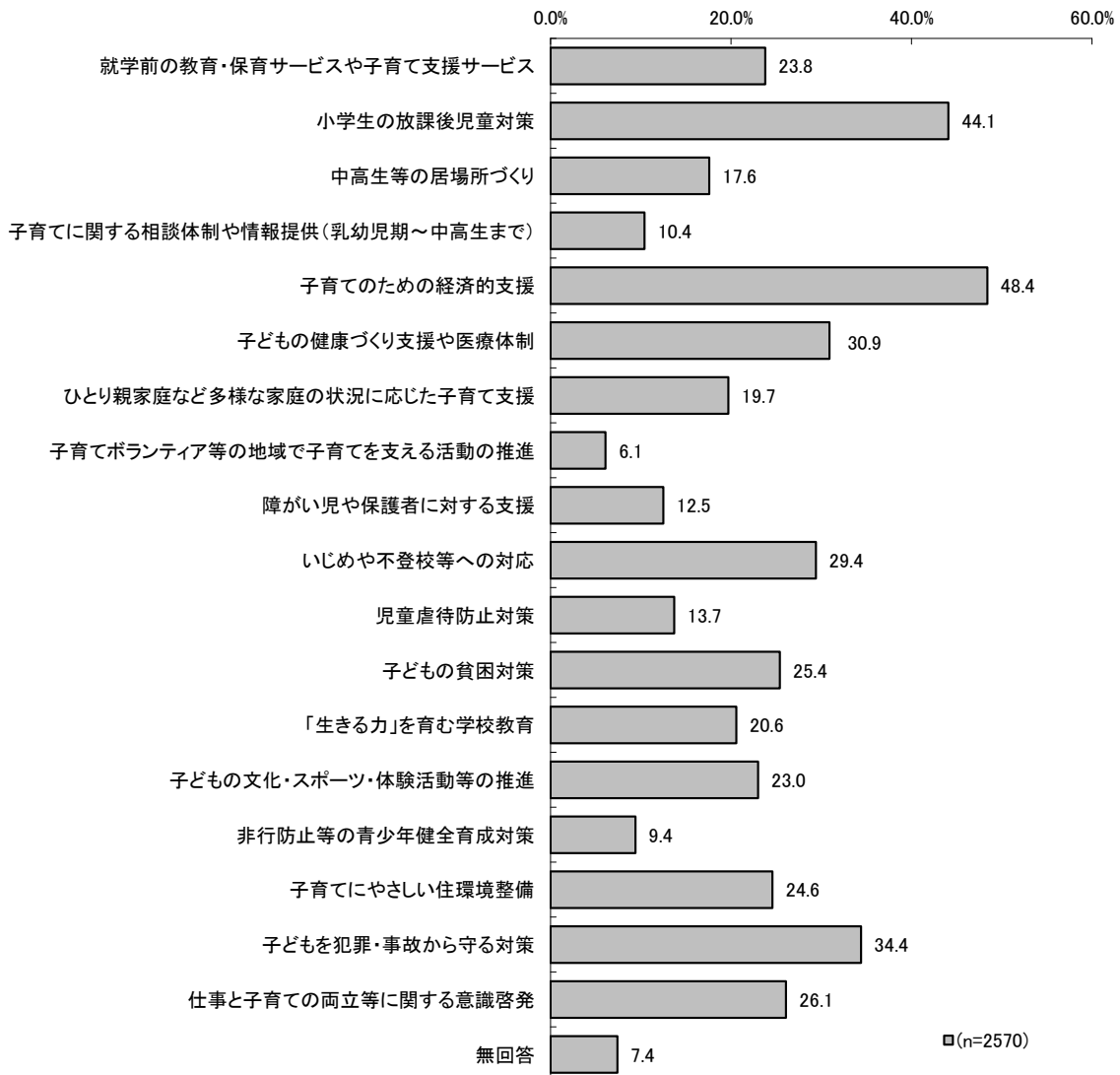
石垣市の子育て支援の取組に対する満足度（「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計）（単位：％）

	調査数（n）	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	小学生の放課後児童対策	中高生等の居場所づくり	子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中高生まで）	子育てのための経済的支援	子どもの健康づくり支援や医療体制	ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	障がい児や保護者に対する支援	いじめや不登校等への対応	児童虐待防止対策	子どもの貧困対策	「生きる力」を育む学校教育	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	非行防止等の青少年健全育成対策	子育てにやさしい住環境整備	子どもを犯罪・事故から守る対策	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	
全体	2,570	30.1	14.0	6.6	17.3	15.1	21.8	12.4	14.5	10.9	7.5	7.6	8.3	16.6	27.8	12.8	15.8	17.2	9.8	
子どもの学年	1年生	440	30.7	13.1	6.0	16.1	14.7	24.1	12.5	15.2	10.4	7.3	6.8	6.4	18.2	28.9	12.1	15.7	17.2	7.7
	2年生	466	33.9	13.3	5.8	17.6	15.8	23.2	12.9	16.1	11.4	7.7	6.9	7.3	16.8	28.1	14.2	17.6	16.3	10.3
	3年生	434	31.1	14.5	6.2	19.2	13.8	22.6	11.3	13.9	8.8	7.1	6.4	7.6	15.6	28.1	12.2	16.4	17.1	9.9
	4年生	454	28.6	13.9	5.9	14.1	14.1	21.0	11.4	12.1	9.4	6.6	7.1	7.7	13.9	24.6	9.7	11.9	16.1	7.9
	5年生	415	25.3	15.2	8.4	21.2	16.6	19.3	13.3	16.4	12.5	9.0	10.9	13.0	18.0	28.2	14.5	16.4	19.0	11.3
	6年生	355	30.4	13.8	7.6	16.4	15.3	20.6	13.3	12.9	13.2	7.9	7.3	8.1	17.1	28.7	14.9	17.2	18.0	12.7
	無回答	6	33.4	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0

(3) 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策

問23 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。【〇は5つまで】

図表-258 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策



今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策では、「子育てのための経済的支援」(48.4%)の割合が5割弱と最も高く、次いで「小学生の放課後児童対策」(44.1%)、「子どもを犯罪・事故から守る対策」(34.4%)、「子どもの健康づくり支援や医療体制」(30.9%)、「いじめや不登校等への対応」(29.4%)となっている。

子どもの学年別にみると、「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」や「小学生の放課後児童対策」等は概ね学年が低いほど割合が高く、1年生で最も高くなっている。また、「子育てのための経済的支援」の割合は1年生(51.8%)や4年生(51.1%)でやや高く、5割を超えている。

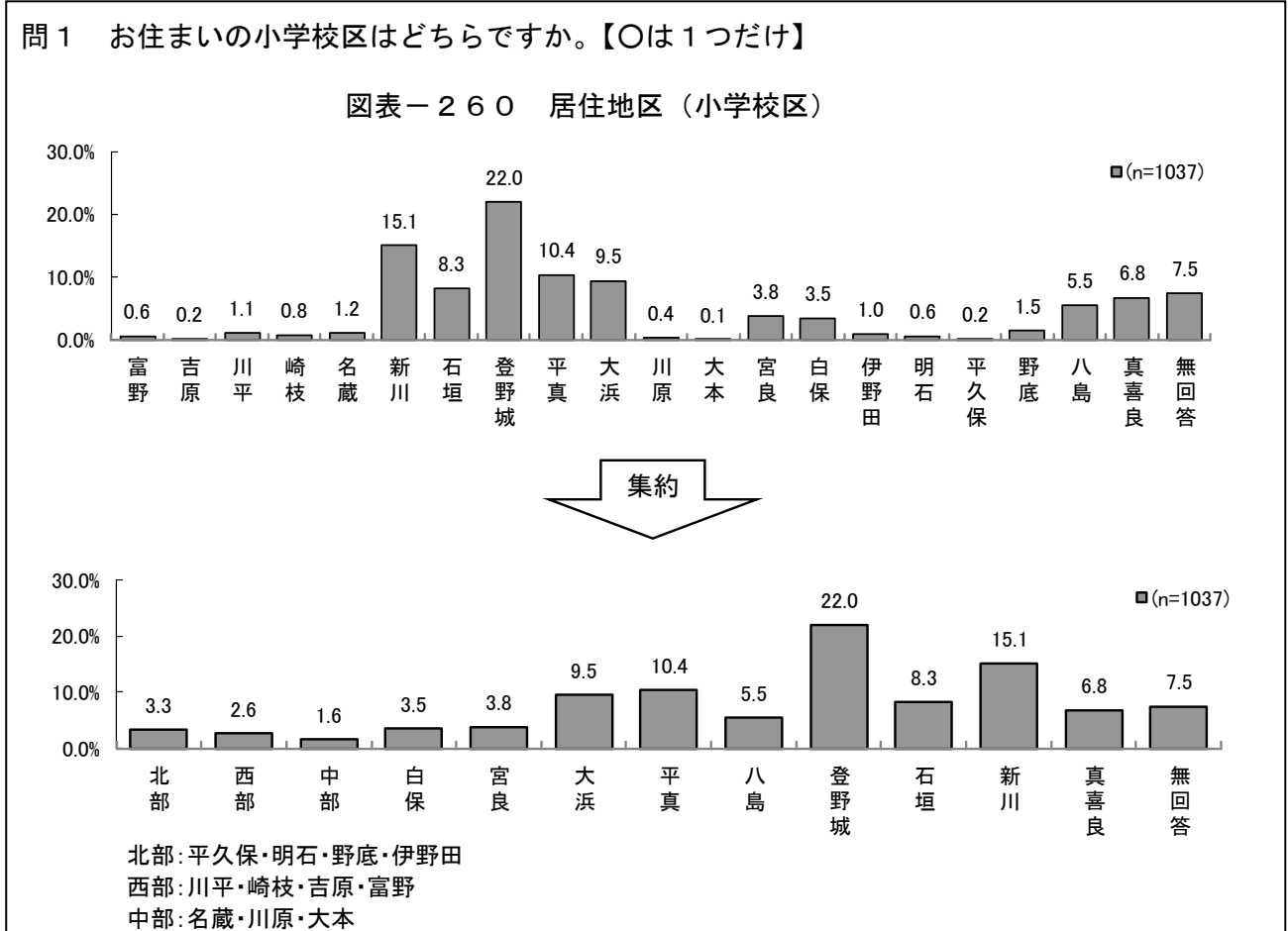
図表－259 子どもの学年別
石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策（単位：％）

	調査数（n）	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	小学生の放課後児童対策	中学生等の居場所づくり	子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中高生まで）	子育てのための経済的支援	子どもの健康づくり支援や医療体制	ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	障がい児や保護者に対する支援	いじめや不登校等への対応	児童虐待防止対策	子どもの貧困対策	「生きる力」を育む学校教育	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	非行防止等の青少年健全育成対策	子育てにやさしい住環境整備	子どもを犯罪・事故から守る対策	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	無回答	
全体	2,570	23.8	44.1	17.6	10.4	48.4	30.9	19.7	6.1	12.5	29.4	13.7	25.4	20.6	23.0	9.4	24.6	34.4	26.1	7.4	
子どもの学年	1年生	440	28.4	51.4	14.5	12.5	51.8	30.0	15.9	5.9	11.1	24.5	12.0	26.1	20.2	20.9	8.2	25.9	35.2	30.2	6.1
	2年生	466	21.2	46.8	14.8	8.6	44.0	34.5	18.5	6.4	11.2	28.5	14.6	24.2	19.7	23.4	9.2	27.0	36.1	25.1	9.0
	3年生	434	24.7	47.0	16.8	10.4	47.2	29.5	21.0	6.0	12.4	33.4	12.9	24.4	21.4	22.4	11.3	21.9	34.8	25.6	6.9
	4年生	454	23.1	38.5	16.3	8.1	51.1	30.0	22.0	7.5	14.1	27.8	15.9	27.1	21.4	26.4	10.1	24.7	37.0	26.9	5.9
	5年生	415	25.5	42.9	19.8	10.6	47.5	33.3	18.8	5.8	14.2	27.7	12.5	22.4	18.3	20.7	9.4	22.4	32.3	24.3	9.2
	6年生	355	18.9	36.3	25.4	13.2	49.0	27.6	22.5	4.8	12.1	35.5	14.4	28.7	22.5	23.7	7.6	25.9	30.1	24.2	7.0
	無回答	6	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0

第6章 中学生保護者調査の結果

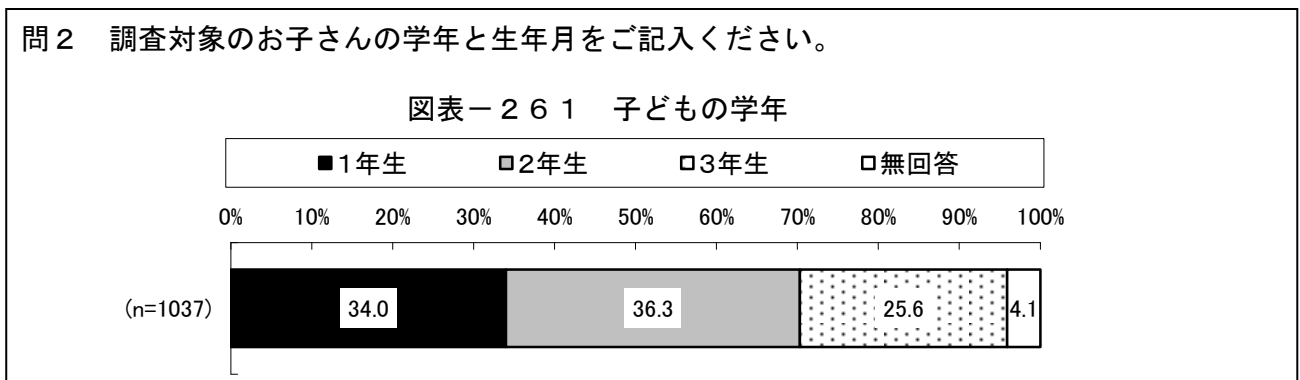
1. 基本属性

(1) 居住地区（小学校区）



居住地区を、小学校区を集約したエリア別にみると、「登野城」（22.0%）の割合が最も高く、次いで「新川」（15.1%）、「平真」（10.4%）、「大浜」（9.5%）と続いている。

(2) 子どもの学年

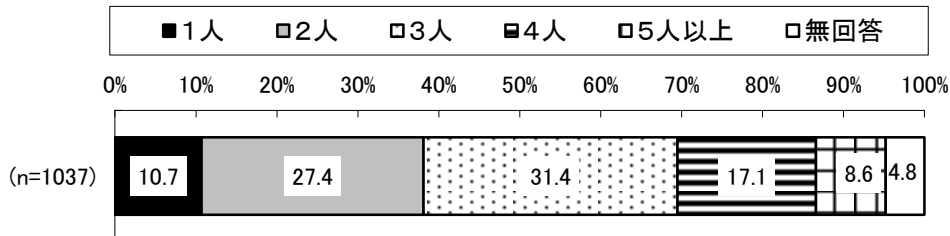


子どもの学年（平成30年4月1日現在で換算）は、「2年生」（36.3%）、「1年生」（34.0%）、「3年生」（25.6%）となっている。

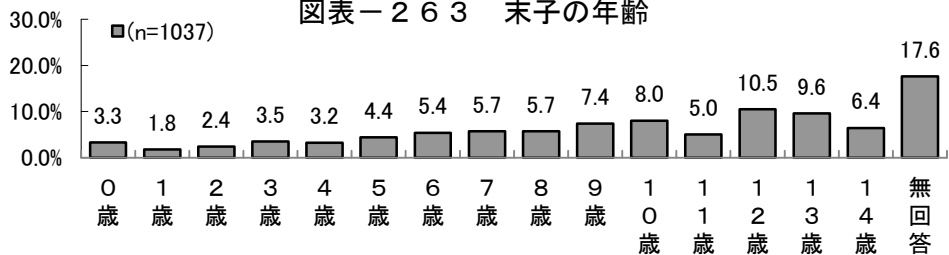
(3) 子どもの人数

問3 調査対象のお子さんも含めて、お子さんは何人いますか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月をご記入ください。

図表-262 子どもの人数



図表-263 末子の年齢



子どもの人数は、「3人」(31.4%)の割合が最も高く、次いで「2人」(27.4%)、「4人」(17.1%)となっており、平均人数は2.9人であった。

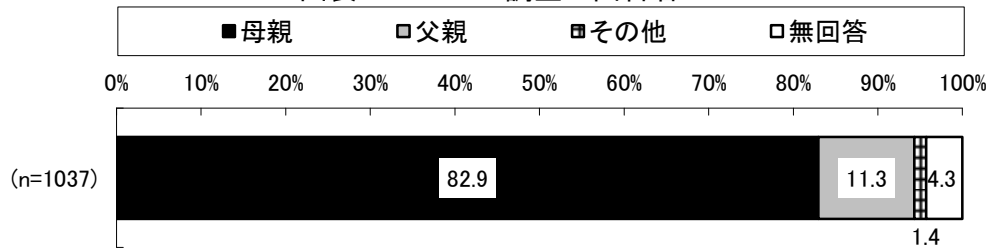
末子(一番下の子ども)の年齢(平成30年4月1日現在で換算)は、「12歳」(10.5%)・「13歳」(9.6%)の割合がそれぞれ1割とやや高くなっている。

(4) 調査の回答者

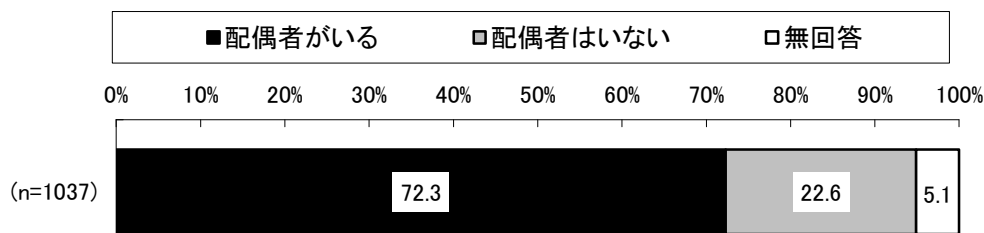
問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。調査対象のお子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

問5 このアンケートにご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。【○は1つだけ】

図表-264 調査の回答者



図表-265 調査の回答者の配偶関係

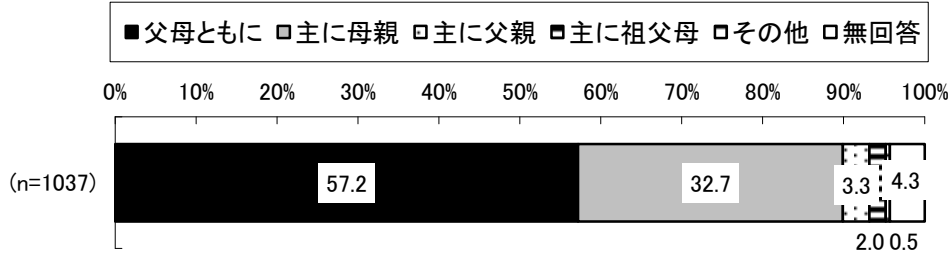


調査回答者では「母親」(82.9%)、調査回答者の配偶関係では「配偶者がいる」(72.3%)となっている。

(5) 主な保育者

問6 調査対象のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つだけ】

図表-266 主な保育者



主な保育者（子育てを主に行っている人）は、「父母ともに」（57.2%）の割合が6割弱と最も高く、次いで「主に母親」（32.7%）となっている。

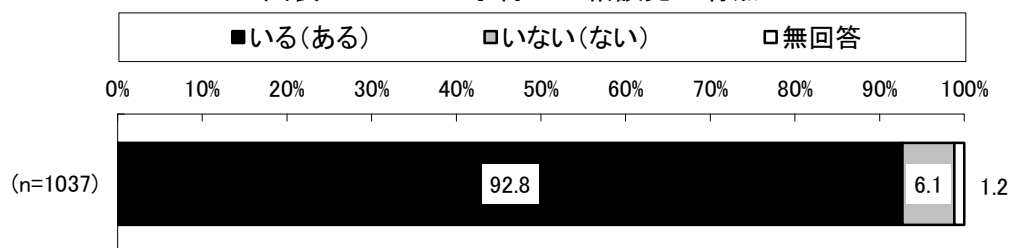
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育ての相談先

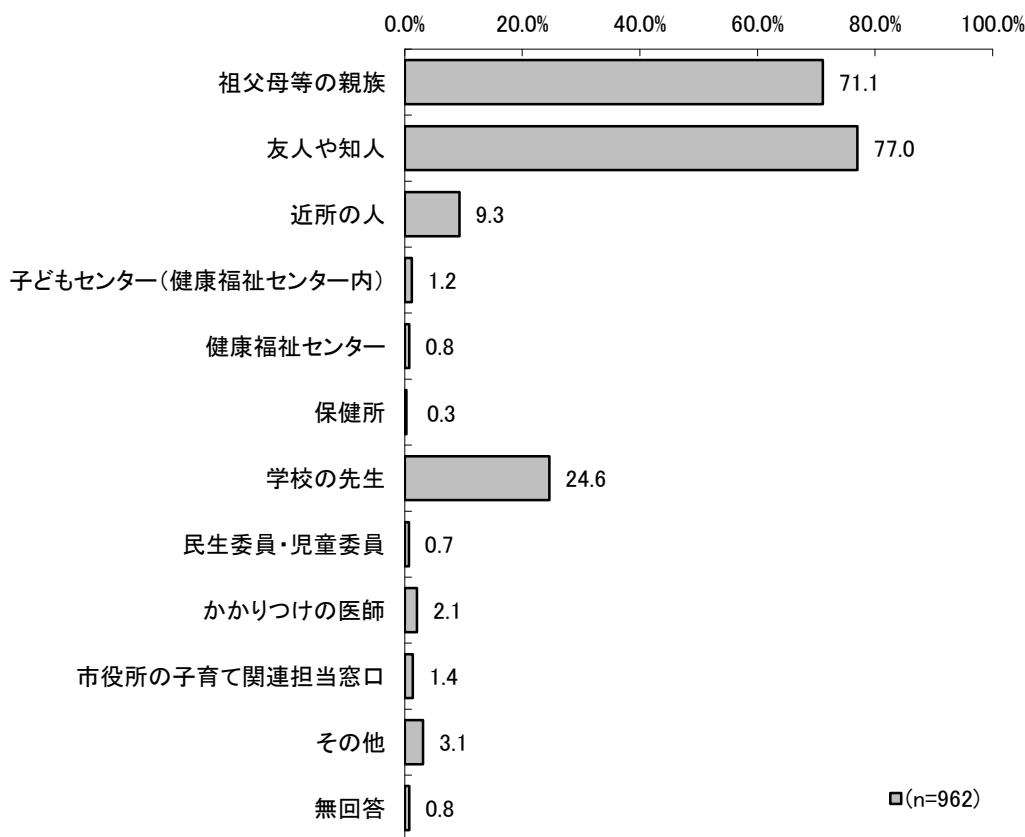
問7 調査対象のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【〇は1つだけ】

問7-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-267 子育ての相談先の有無



図表-268 子育ての相談先



子育ての相談先については、「いる(ある)」(92.8%)が9割強と大半を占めている。

子育ての相談先が「いる(ある)」と回答した人に相談先が誰(どこ)かたずねたところ、「友人や知人」(77.0%)と「祖父母等の親族」(71.1%)の割合が7割を超えて突出して高く、次いで「学校の先生」(24.6%)となっている。

(2) 子育てに関して周囲から受けてほしい支援

問8 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

図表-269 子育てに関して周囲から受けてほしい支援（自由記述意見の主な内容）

分類	件数	【上位項目の主な内容】
子育ての経済的負担の軽減	17	子育ての経済的負担の軽減 ・学費や給食費の軽減 ・部活動に係る費用の軽減 ・進学など教育費全般の負担が大きい、助成がほしい など
子育て相談	17	
子どもの遊び場・居場所	11	
学習サポート	10	
ひとり親家庭のサポート	10	
保護者同士の情報交換・交流の場	9	子育て相談 ・気軽に相談できる場づくり、相談しやすい環境づくり ・学校のカウンセラー、臨床心理士等による相談 ・相談でなく話を聞いてくれるだけでよい など
子育てに関する情報提供(思春期に関すること など)	7	
障がい、発達へのサポート	6	
地域での声掛けや見守り、支援、互助	6	子どもの遊び場・居場所 ・図書館、公民館(自習ができる場所) ・スポーツができる場(スポーツクラブ、プール・ジム等) など
進学に関する相談・支援	5	
一時預かり	5	
事故・犯罪から子どもを守る取り組み	4	
子どもの送迎・移動費補助(部活動・イベント、高校通学等)	4	
緊急時等の家事・育児サポート	4	
小学生の放課後対策	3	
学校の教育・環境	2	
いじめ・不登校、非行等への対応	2	
子どもの貧困対策	2	
子どもの医療費助成	2	
子ども自身の悩み相談	2	
病児・病後児の預かり	2	
その他	7	
計(延べ記入件数)	137	

子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思うか、自由記述形式でたずねたところ、126人から延べ137件（分類内容）の回答が得られた。

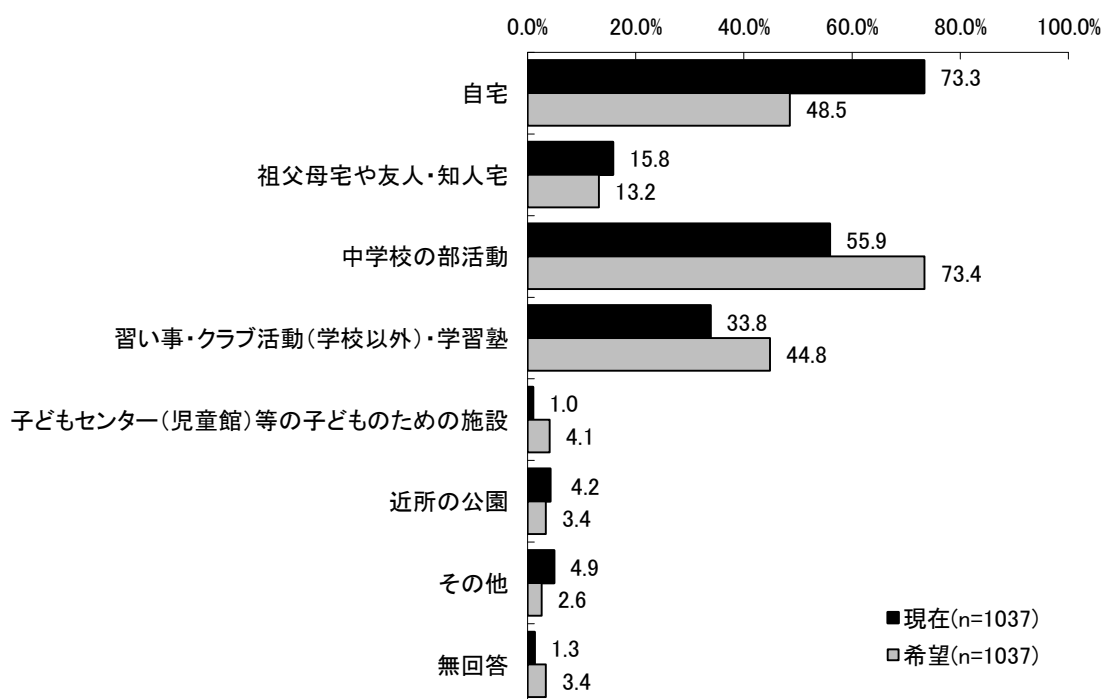
記述内容を大まかに分類すると、「子育ての経済的負担の軽減」（17件）と「子育て相談」（17件）に関する記述が多く、次いで「子どもの遊び場・居場所」（11件）、「学習サポート」（10件）、「ひとり親家庭のサポート」（10件）となっている。

3. 放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方（現在・希望）

- 問9 調査対象のお子さんは、現在、放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。【〇はあてはまるものすべて】
- 問10 調査対象のお子さんについて、中学生のうちは、放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】
- ※現在、調査対象のお子さんが3年生の場合は、「過ごさせなかった」希望としてお答えください。

図表－270 放課後の過ごし方（現在・希望）



図表－271 現在過ごしている場所別日数（単位：％）

現在	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均)日数
自宅	760	25.8	18.4	8.4	6.6	35.4	5.4	3.1日
祖父母宅や友人・知人宅	164	36.0	32.9	8.5	5.5	12.2	4.9	2.2日
中学校の部活動	580	1.7	2.8	7.2	36.4	48.8	3.1	4.3日
習い事・クラブ活動(学校以外)・学習塾	350	18.9	25.1	29.7	10.6	12.3	3.4	2.7日
子どもセンター等の子どものための施設	10	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	3.8日
近所の公園	44	34.1	34.1	4.5	9.1	15.9	2.3	2.4日
その他	51	17.6	17.6	15.7	17.6	23.5	7.8	3.1日

図表－272 希望場所別日数（単位：％）

希望	(n 調査数)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	無回答	(平均)日数
自宅	503	29.6	25.4	9.9	3.8	21.5	9.7	2.6日
祖父母宅や友人・知人宅	137	48.9	36.5	2.9	1.5	7.3	2.9	1.8日
中学校の部活動	761	1.1	4.1	17.3	24.8	46.9	5.8	4.2日
習い事・クラブ活動(学校以外)・学習塾	465	15.5	29.9	27.1	6.7	13.5	7.3	2.7日
子どもセンター等の子どものための施設	42	35.7	38.1	7.1	0.0	19.0	0.0	2.3日
近所の公園	35	31.4	45.7	8.6	5.7	2.9	5.7	2.0日
その他	27	14.8	7.4	14.8	11.1	40.7	11.1	3.6日

現在の放課後の過ごし方では、「自宅」(73.3%)の割合が7割強と最も高く、次いで「中学校の部活動」(55.9%)、「習い事・クラブ活動(学校以外)・学習塾」(33.8%)となっている。

一方、放課後の過ごし方の希望では、「中学校の部活動」(73.4%)の割合が7割強と最も高く、次いで「自宅」(48.5%)、「習い事・クラブ活動(学校以外)・学習塾」(44.8%)となっている。

現在の過ごし方と希望とを比較すると、「自宅」(希望－現在：▲24.8ポイント)の割合が下がり、代わって「中学校の部活動」(同：+17.5ポイント)や「習い事・クラブ活動(学校以外)・学習塾」(同：+11.0ポイント)等の割合が高まっている。

子どもの学年別に、現在の放課後の過ごし方をみると、1・2年生では「中学校の部活動」の割合が7割を超えている。3年生になると「中学校の部活動」(12.8%)は1割強に低下し、代わって「自宅」(85.3%)や「習い事・クラブ活動(学校以外)・学習塾」(43.0%)の割合が高まっている。

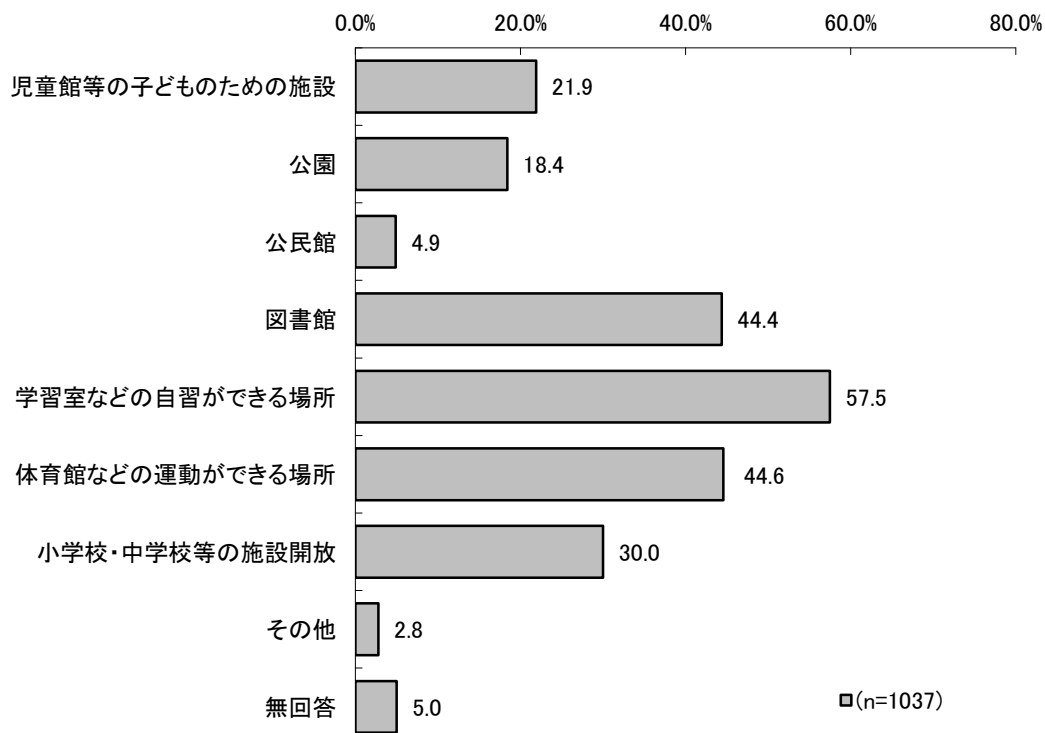
図表－273 子どもの学年別 現在の放課後の過ごし方（単位：％）

現在	調査数(n)	自宅	知人・祖父母宅や友人	中学校の部活動	学習塾(学校以外)・クラブ活動	習い事・子どもセンター等の施設	近所の公園	その他	無回答	
全体	1,037	73.3	15.8	55.9	33.8	1.0	4.2	4.9	1.3	
子どもの学年別	1年生	353	69.4	14.7	72.5	33.4	0.6	5.4	3.4	0.8
	2年生	376	69.7	12.5	71.5	27.9	0.5	3.2	3.2	1.1
	3年生	265	85.3	21.9	12.8	43.0	1.9	4.5	8.7	1.5
	無回答	43	62.8	16.3	48.8	30.2	2.3	2.3	9.3	4.7

(2) 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの

問11 調査対象のお子さんの遊び場・居場所として、どのような場が身近にあってほしいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-274 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの



子どもの遊び場・居場所として身近にあってほしいものは、「学習室などの自習ができる場所」(57.5%)の割合が6割弱と最も高く、次いで、「体育館などの運動ができる場所」(44.6%)、「図書館」(44.4%)となっている。

子どもの学年別にみると、「学習室などの自習ができる場所」の割合は3年生(62.3%)で6割強と高く、「小学校・中学校等の施設開放」の割合は1年生(32.6%)で3割強と高くなっている。

図表-275 子どもの学年別 遊び場・居場所として身近にあってほしいもの (単位: %)

	調査数 (n)	児童館等の施設子ども	公園	公民館	図書館	学習室などの自習	体育館などの運動	小学校・中学校等の施設開放	その他	無回答
全体	1,037	21.9	18.4	4.9	44.4	57.5	44.6	30.0	2.8	5.0
子ども										
1年生	353	21.0	16.7	5.9	44.5	54.7	47.0	32.6	2.3	5.4
2年生	376	20.7	18.9	4.8	42.8	56.6	44.9	29.3	4.0	4.0
3年生	265	22.3	19.2	3.8	45.3	62.3	41.5	27.2	1.5	5.7
無回答	43	37.2	23.3	4.7	51.2	58.1	41.9	32.6	4.7	7.0

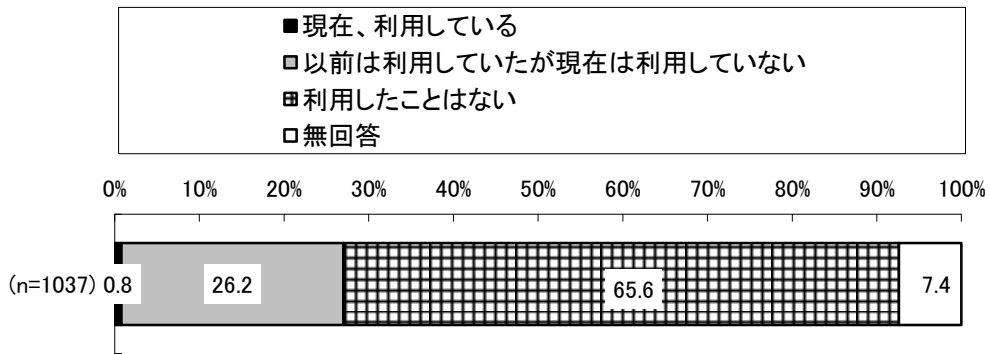
4. 児童館について

(1) 石垣市子どもセンターの利用状況

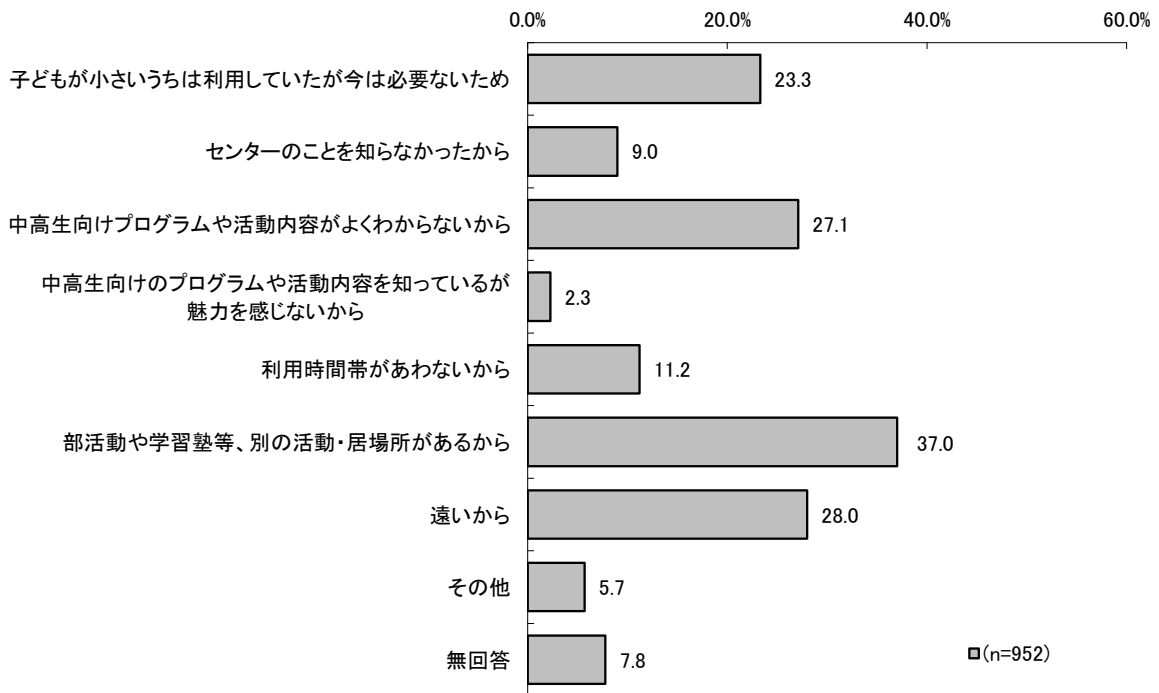
問12 石垣市子どもセンター（石垣市健康福祉センター内）を利用したことはありますか。【○は1つだけ】

問12-1 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由はなんですか。【○はあてはまるものすべて】

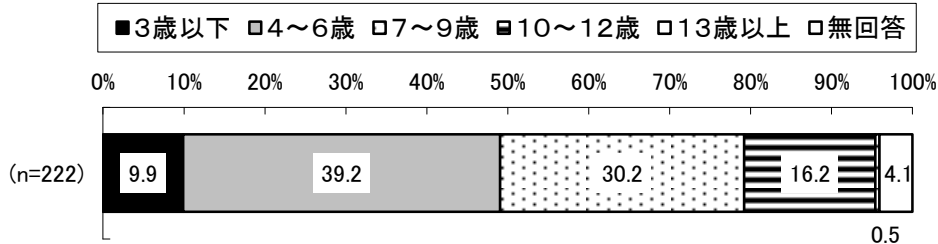
図表-276 石垣市子どもセンターの利用状況



図表-277 石垣市子どもセンターを現在利用していない理由



図表-278 石垣市子どもセンターを何歳頃まで利用していたか



第6章 中学生保護者調査の結果

石垣市子どもセンターの利用状況では「利用したことはない」(65.6%)の割合が6割を超えており、「現在、利用している」(0.8%)と「以前は利用していたが現在は利用していない」(26.2%)を合わせた利用経験がある人は3割弱(27.0%)となっている。

石垣市子どもセンターを現在利用していない人にその理由をたずねたところ、「部活動や学習塾等、別の活動・居場所があるから」(37.0%)の割合が4割弱と最も高く、次いで「遠いから」(28.0%)、「中高生向けプログラムや活動内容がよくわからないから」(27.1%)、「子どもが小さいうちは利用していたが今は必要ないため」(23.3%)となっている。なお、「子どもが小さいうちは利用していたが今は必要ないため」と回答した人に何歳まで利用していたかたずねたところ、「4～6歳」(39.2%)、「7～9歳」(30.2%)の順で割合が高く、平均6.7歳であった。

現在利用していない理由を子どもの学年別にみると、「センターのことを知らなかったから」の割合は2年生(10.9%)・3年生(9.8%)で1割を占めている。

居住地区別にみると、「遠いから」の割合は、北部(81.3%)や西部(78.3%)、白保(72.2%)で高く、7割を超えている。

図表-279 子どもの学年別・居住地区別

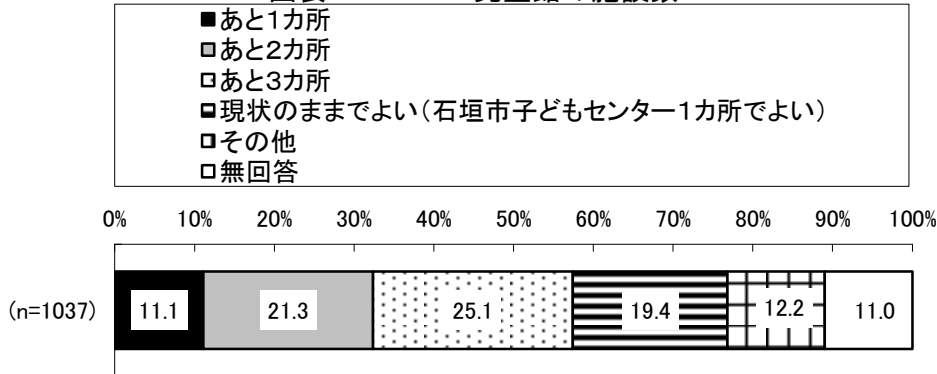
石垣市子どもセンターの利用状況、現在利用していない理由(単位:%)

	調査数(n)	石垣市子どもセンターの利用状況						調査数(n)	石垣市子どもセンターを現在利用していない理由									
		現在、利用している	以前は利用していたが現在は利用していない	利用したことはない	無回答	利用経験あり計	子どもが小さいうちは利用していたが		センターのことを知らなかったから	中高生向けプログラムや活動内容がよくわからないから	中高生向けのプログラムや活動内容を	利用時間帯があわないから	部活動や学習塾等、別の活動・居場所があるから	遠いから	その他	無回答		
全体	1,037	0.8	26.2	65.6	7.4	27.0	952	23.3	9.0	27.1	2.3	11.2	37.0	28.0	5.7	7.8		
子どもの	1年生	353	0.6	31.7	59.2	8.5	32.3	321	27.1	6.9	25.2	1.6	11.2	34.3	29.9	6.5	7.8	
	2年生	376	0.3	26.1	69.4	4.3	26.4	359	22.8	10.9	27.3	2.5	12.0	40.1	25.6	5.0	6.4	
	3年生	265	1.9	19.2	72.8	6.0	21.1	244	18.0	9.8	29.5	3.3	10.2	36.1	28.7	5.3	9.8	
	無回答	43	0.0	25.6	39.5	34.9	25.6	28	32.1	3.6	25.0	0.0	10.7	35.7	32.1	7.1	7.1	
居住地区	全体	1,037	0.8	26.2	65.6	7.4	27.0	952	23.3	9.0	27.1	2.3	11.2	37.0	28.0	5.7	7.8	
	北部	34	0.0	14.7	79.4	5.9	14.7	32	6.3	0.0	21.9	0.0	15.6	25.0	81.3	9.4	3.1	
	西部	27	0.0	11.1	74.1	14.8	11.1	23	13.0	0.0	30.4	0.0	17.4	30.4	78.3	4.3	0.0	
	中部	17	0.0	35.3	64.7	0.0	35.3	17	29.4	5.9	29.4	0.0	5.9	29.4	35.3	0.0	17.6	
	白保	36	0.0	13.9	86.1	0.0	13.9	36	5.6	2.8	25.0	2.8	8.3	19.4	72.2	0.0	11.1	
	宮良	39	0.0	33.3	64.1	2.6	33.3	38	28.9	5.3	13.2	0.0	2.6	15.8	50.0	13.2	10.5	
	大浜	99	0.0	25.3	67.7	7.1	25.3	92	21.7	8.7	22.8	2.2	13.0	32.6	38.0	3.3	6.5	
	平真	108	1.9	30.6	60.2	7.4	32.5	98	25.5	11.2	31.6	2.0	8.2	35.7	6.1	3.1	7.1	
	八島	57	1.8	22.8	73.7	1.8	24.6	55	20.0	16.4	32.7	1.8	3.6	45.5	12.7	1.8	5.5	
	登野城	228	1.3	32.9	60.1	5.7	34.2	212	34.0	9.9	25.5	3.3	14.2	39.6	5.7	7.1	7.5	
	石垣	86	1.2	27.9	65.1	5.8	29.1	80	17.5	16.3	30.0	2.5	10.0	43.8	22.5	5.0	11.3	
	新川	157	0.6	21.0	68.8	9.6	21.6	141	19.9	8.5	28.4	3.5	13.5	47.5	31.9	6.4	7.1	
	真喜良	71	0.0	23.9	71.8	4.2	23.9	68	19.1	5.9	35.3	2.9	10.3	36.8	48.5	8.8	5.9	
	無回答	78	0.0	25.6	51.3	23.1	25.6	60	26.7	6.7	21.7	0.0	11.7	30.0	26.7	6.7	11.7	

(2) 児童館の施設数

問13 (1) 現在、市内には児童館として「石垣市子どもセンター」が1カ所ありますが、あと何カ所くらい児童館があるよと思いますか。【○は1つだけ】

図表-280 児童館の施設数



石垣市子どもセンター以外にあと何カ所くらい児童館があるとよいかたずねたところ、「あと3カ所」(25.1%)の割合が最も高く、次いで「あと2カ所」(21.3%)となっており、これらに「あと1カ所」(11.1%)を合わせると、あと1~3カ所の増設希望を希望する人(57.5%)が6割弱を占めている。

子どもの学年別で見ると、増設を希望する人の割合は概ね学年が低いほど高く、1年生(62.0%)では6割強を占めている。

居住地区別にみると、増設を希望する人の割合は真喜良(73.3%)で高く、7割を超えている。

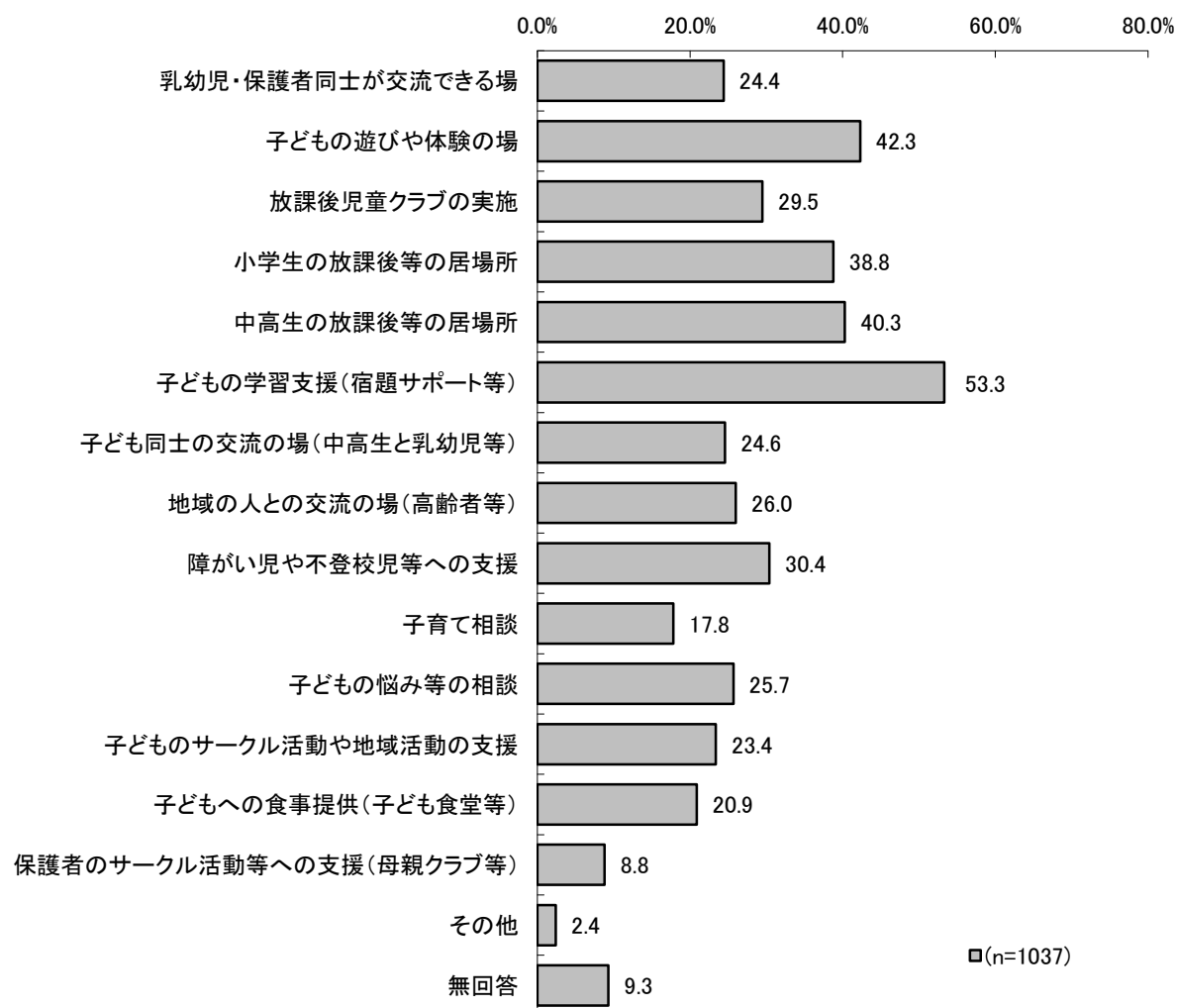
図表-281 子どもの学年別・居住地区別 児童館の施設数 (単位: %)

	調査数 (n)	あと1カ所	あと2カ所	あと3カ所	石垣市子どもセンター(現状のままでよい)	その他	無回答	増設希望計	
全体	1,037	11.1	21.3	25.1	19.4	12.2	11.0	57.5	
子どもの学年	1年生	353	11.0	25.2	25.8	17.6	12.2	8.2	62.0
	2年生	376	10.4	21.5	26.1	20.5	12.8	8.8	58.0
	3年生	265	13.2	17.7	22.6	20.0	12.8	13.6	53.5
	無回答	43	4.7	9.3	25.6	20.9	2.3	37.2	39.6
居住地区	全体	1,037	11.1	21.3	25.1	19.4	12.2	11.0	57.5
	北部	34	2.9	17.6	23.5	29.4	14.7	11.8	44.0
	西部	27	18.5	18.5	25.9	18.5	11.1	7.4	62.9
	中部	17	5.9	23.5	35.3	11.8	5.9	17.6	64.7
	白保	36	5.6	25.0	22.2	22.2	19.4	5.6	52.8
	宮良	39	12.8	25.6	25.6	5.1	12.8	17.9	64.0
	大浜	99	15.2	23.2	17.2	18.2	15.2	11.1	55.6
	平真	108	13.9	21.3	29.6	16.7	11.1	7.4	64.8
	八島	57	7.0	17.5	24.6	33.3	12.3	5.3	49.1
	登野城	228	13.2	23.2	21.9	21.1	11.0	9.6	58.3
	石垣	86	7.0	19.8	27.9	19.8	16.3	9.3	54.7
	新川	157	7.6	20.4	28.7	19.1	12.7	11.5	56.7
	真喜良	71	15.5	28.2	29.6	11.3	11.3	4.2	73.3
無回答	78	10.3	11.5	23.1	20.5	5.1	29.5	44.9	

(3) 児童館に求める機能

問13 (2) 児童館にどのような機能を望みますか。【〇はあてはまるものすべて】

図表-282 児童館に求める機能



児童館に求める機能では、「子どもの学習支援(宿題サポート等)」(53.3%)の割合が5割強と最も高く、次いで「子どもの遊びや体験の場」(42.3%)、「中高生の放課後等の居場所」(40.3%)、「小学生の放課後等の居場所」(38.8%)、「障がい児や不登校児等への支援」(30.4%)、「放課後児童クラブの実施」(29.5%)となっている。

子どもの学年別にみると、「子どもの学習支援(宿題サポート等)」の割合は3年生(57.7%)で6割弱とやや高くなっている。

図表－283 子どもの学年別・居住地区別 児童館に求める機能（単位：％）

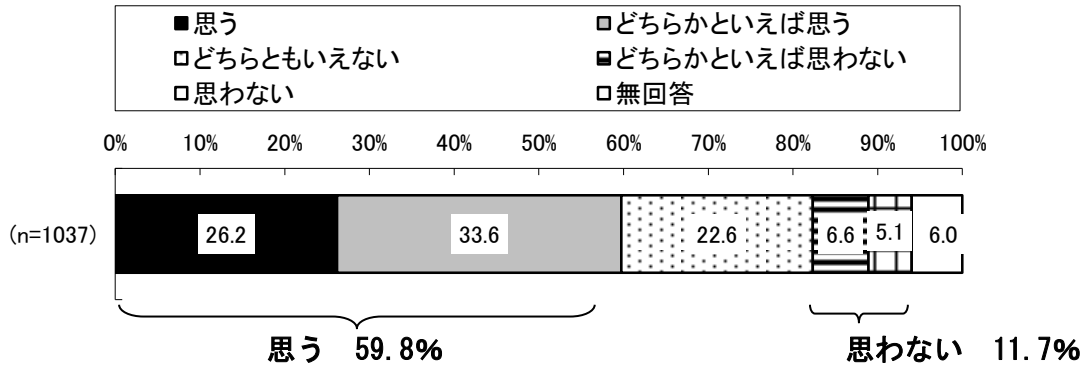
	調査数（n）	乳幼児・保護者同士が交流できる場	子どもの遊びや体験の場	放課後児童クラブの実施	小学生の放課後等の居場所	中高生の放課後等の居場所	子どもの学習支援（宿題サポート等）	子ども同士の交流の場（中高生と乳幼児等）	地域の人の交流の場（高齢者等）	障がい児や不登校児等への支援	子育て相談	子どもの悩み等の相談	子どものサークル活動や地域活動の支援	子どもへの食事提供（子ども食堂等）	保護者のサークル活動等への支援（母親クラブ等）	その他	無回答	
全体	1,037	24.4	42.3	29.5	38.8	40.3	53.3	24.6	26.0	30.4	17.8	25.7	23.4	20.9	8.8	2.4	9.3	
子どもの	1年生	353	24.4	45.9	31.7	40.2	42.2	53.3	26.1	29.5	34.0	19.8	26.3	22.1	20.1	9.6	2.0	7.9
	2年生	376	24.5	42.3	27.1	38.0	40.2	51.6	23.4	22.3	26.6	16.5	26.9	23.4	19.9	6.4	3.2	9.0
	3年生	265	23.8	38.5	29.8	39.6	40.8	57.7	24.5	26.4	31.7	17.7	24.2	23.0	23.8	10.9	2.3	7.9
	無回答	43	27.9	37.2	30.2	27.9	23.3	41.9	23.3	27.9	25.6	14.0	20.9	37.2	18.6	9.3	0.0	30.2
居住地区	全体	1,037	24.4	42.3	29.5	38.8	40.3	53.3	24.6	26.0	30.4	17.8	25.7	23.4	20.9	8.8	2.4	9.3
	北部	34	26.5	29.4	20.6	26.5	38.2	41.2	29.4	20.6	20.6	17.6	14.7	26.5	14.7	11.8	8.8	23.5
	西部	27	29.6	37.0	33.3	29.6	51.9	51.9	18.5	25.9	14.8	14.8	25.9	22.2	11.1	11.1	3.7	7.4
	中部	17	41.2	52.9	41.2	52.9	52.9	58.8	41.2	35.3	29.4	52.9	35.3	23.5	23.5	11.8	11.8	11.8
	白保	36	30.6	38.9	36.1	36.1	44.4	52.8	33.3	33.3	36.1	27.8	38.9	30.6	27.8	5.6	2.8	5.6
	宮良	39	17.9	48.7	25.6	51.3	33.3	51.3	28.2	25.6	33.3	15.4	25.6	23.1	12.8	10.3	0.0	2.6
	大浜	99	19.2	40.4	26.3	37.4	42.4	56.6	20.2	23.2	31.3	17.2	18.2	14.1	20.2	6.1	0.0	7.1
	平真	108	20.4	40.7	29.6	44.4	45.4	53.7	23.1	18.5	25.9	14.8	17.6	19.4	20.4	9.3	0.9	7.4
	八島	57	19.3	33.3	22.8	35.1	35.1	43.9	15.8	17.5	22.8	19.3	24.6	22.8	12.3	5.3	3.5	5.3
	登野城	228	31.1	46.1	28.5	36.8	35.1	53.9	24.1	31.6	37.3	20.2	26.8	23.7	23.7	9.2	3.1	5.7
	石垣	86	22.1	43.0	38.4	50.0	37.2	65.1	26.7	29.1	33.7	16.3	30.2	25.6	29.1	10.5	1.2	8.1
	新川	157	23.6	44.6	34.4	40.1	49.0	55.4	26.8	26.1	31.2	15.9	33.1	22.9	20.4	10.2	1.9	8.3
	真喜良	71	19.7	43.7	23.9	33.8	46.5	53.5	25.4	23.9	23.9	14.1	25.4	31.0	21.1	4.2	5.6	14.1
	無回答	78	23.1	39.7	25.6	30.8	25.6	42.3	23.1	25.6	26.9	14.1	21.8	28.2	19.2	10.3	0.0	25.6

5. 子ども・子育て支援全般について

(1) 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）

問14 石垣市は子育てしやすいまちだと思いませんか。【〇は1つだけ】

図表-284 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）



石垣市は子育てしやすいまちだと思うかとたずねたところ、「どちらかといえば思う」(33.6%)の割合が3割強と最も高く、これに「思う」(26.2%)を合わせると、保護者の6割(59.8%)が子育てしやすいまちだと評価している。

子どもの学年別にみると、すべての学年で子育てしやすいまちだと『思う』人の割合が6割を占めて、『思わない』人の割合を上回っている。

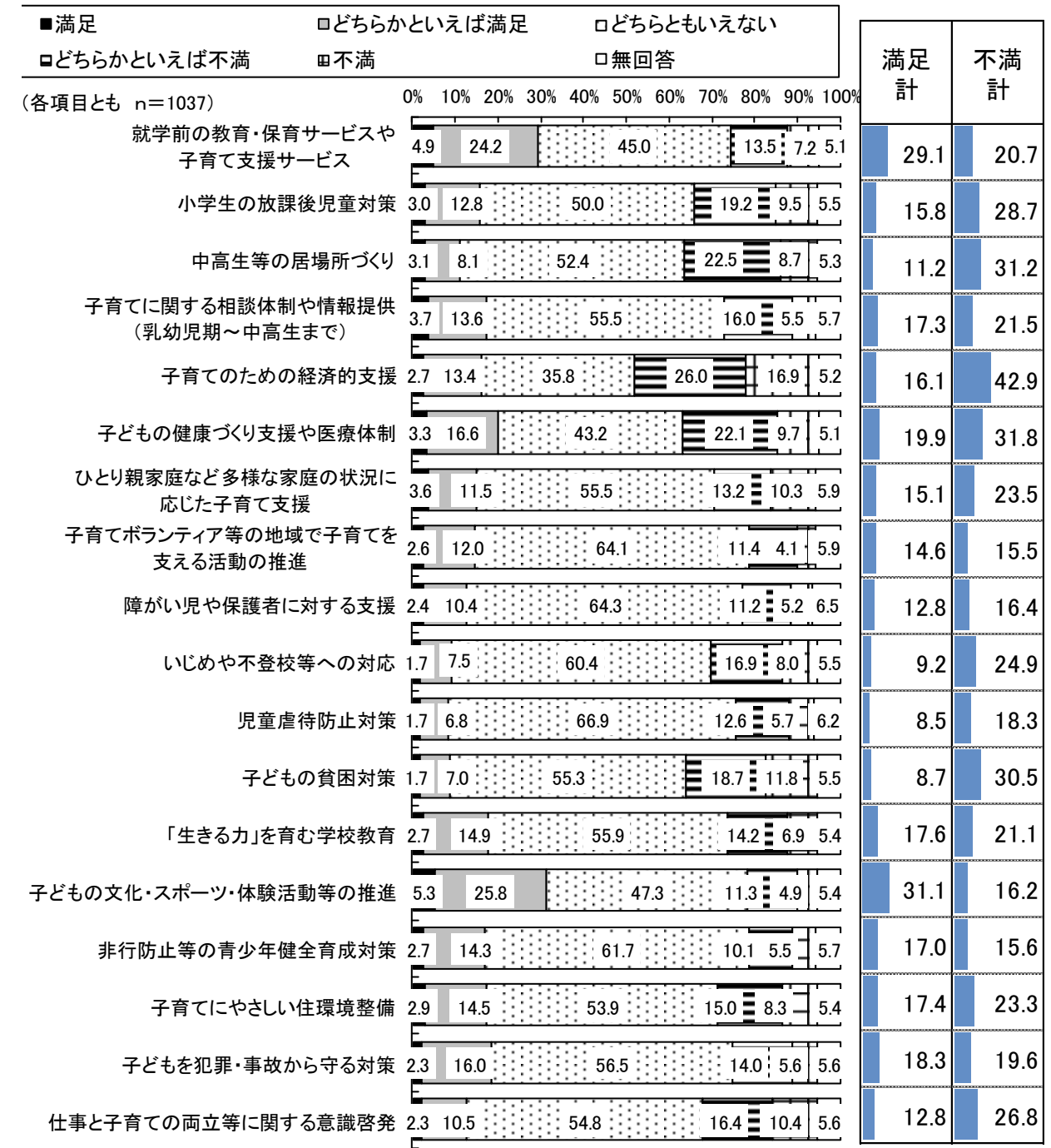
図表-285 子どもの学年別 石垣市の子育て環境に対する総合評価（子育てしやすいまちだと思うか）（単位：%）

	調査数 (n)	思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	どちらかといえば思わない	思わない	無回答	思う計	思わない計	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)		割合 (%)	割合 (%)	
全体	1,037	26.2	33.6	22.6	6.6	5.1	6.0	59.8	11.7	
子どもの学年	1年生	353	23.5	35.7	24.4	6.2	5.1	5.1	59.2	11.3
	2年生	376	27.9	33.2	23.1	6.6	4.8	4.3	61.1	11.4
	3年生	265	28.3	33.2	21.1	6.4	5.7	5.3	61.5	12.1
	無回答	43	20.9	20.9	11.6	9.3	4.7	32.6	41.8	14.0

(2) 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度

問15 石垣市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。【〇はそれぞれ1つずつ】

図表-286 石垣市の子育て支援の取組に対する満足度



石垣市の子育て支援の取組（18項目）についての満足度をたずねたところ、大半の項目で「どちらともいえない」の割合が最も高くなっているが、満足度（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）は「子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進」（31.1%）で最も高く、次いで「就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス」（29.1%）となっている。一方、不満度（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計）は「子育てのための経済的支援」（42.9%）で4割強と最も高く、次いで「子どもの健康づくり支援や医療体制」（31.8%）、「中高生の居場所づくり」（31.2%）、「子どもの貧困対策」（30.5%）で3割を超えている。

図表-287 子どもの学年別

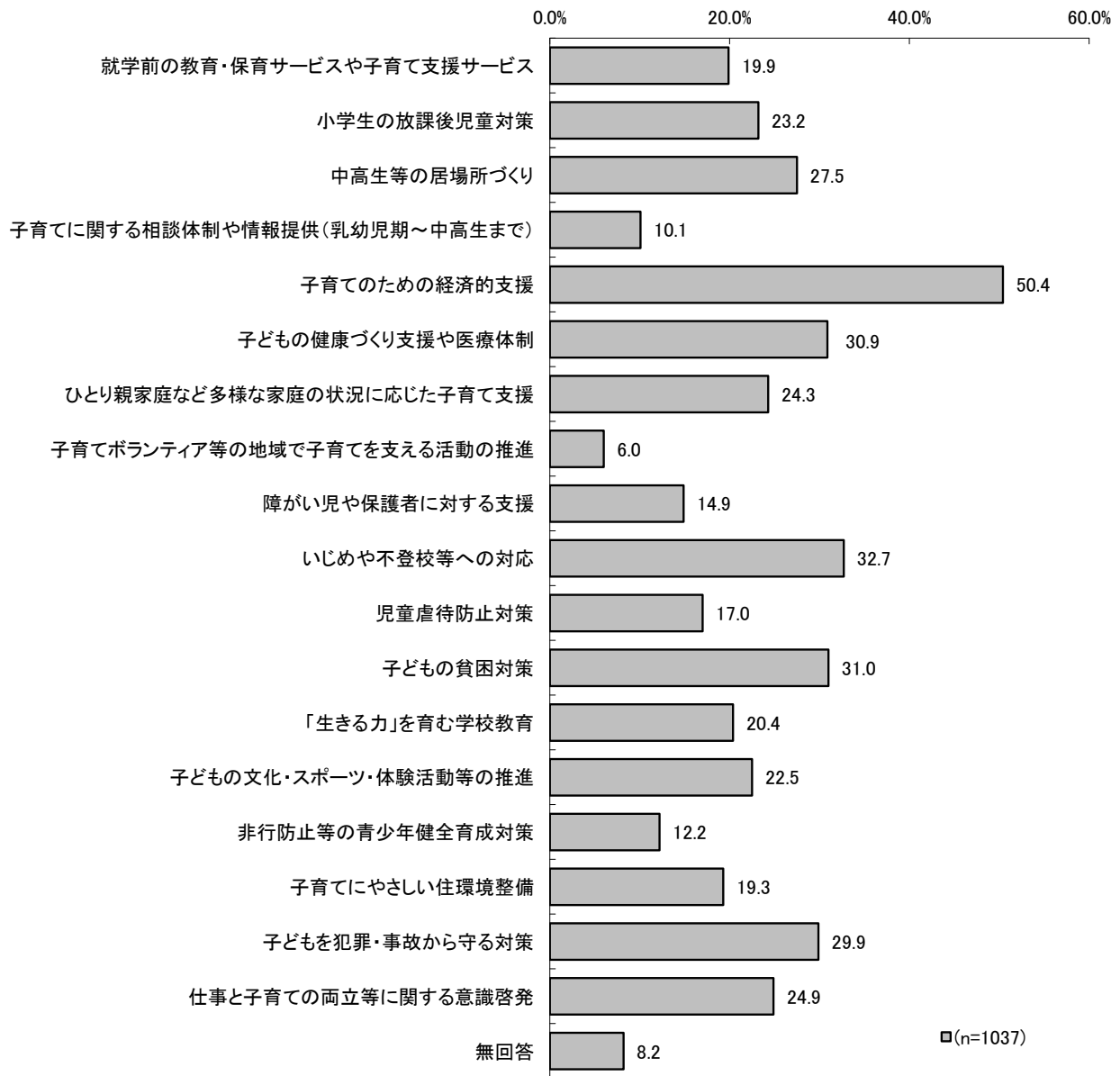
石垣市の子育て支援の取組に対する満足度（「満足」と「どちらかと言えば満足」の合計）（単位：％）

	調査数（n）	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	小学生の放課後児童対策	中高生等の居場所づくり	子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中高生まで）	子育てのための経済的支援	子どもの健康づくり支援や医療体制	ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	障がい児や保護者に対する支援	いじめや不登校等への対応	児童虐待防止対策	子どもの貧困対策	「生きる力」を育む学校教育	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	非行防止等の青少年健全育成対策	子育てにやさしい住環境整備	子どもを犯罪・事故から守る対策	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	
全体	1,037	29.1	15.8	11.2	17.3	16.1	19.9	15.1	14.6	12.8	9.2	8.5	8.7	17.6	31.1	17.0	17.4	18.3	12.8	
子どもの	1年生	353	26.9	16.1	9.9	15.0	13.9	16.5	11.4	12.5	12.2	7.6	7.0	6.5	17.2	30.3	15.3	14.5	17.0	11.6
	2年生	376	29.8	15.2	10.4	16.2	17.3	22.3	15.9	14.9	11.7	8.8	8.5	8.5	14.3	29.6	15.1	17.3	18.9	12.0
	3年生	265	31.3	16.2	12.5	21.9	17.4	21.5	18.1	16.3	15.5	12.1	10.2	11.3	21.9	33.6	21.1	20.7	19.6	13.9
	無回答	43	28.0	16.3	21.0	16.3	16.3	16.3	18.6	18.7	11.6	9.3	11.6	14.0	20.9	37.2	20.9	20.9	16.3	23.2

(3) 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策

問16 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。【〇は5つまで】

図表-288 石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策



今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策では、「子育てのための経済的支援」(50.4%)の割合が5割と最も高く、次いで「いじめや不登校等への対応」(32.7%)、「子どもの貧困対策」(31.0%)、「子どもの健康づくり支援や医療体制」(30.9%)、「子どもを犯罪・事故から守る対策」(29.9%)となっている。

子どもの学年別にみると、「中高生等の居場所づくり」や「子育てにやさしい住環境整備」等は概ね学年が低いほど割合が高く、1年生で最も高くなっている。また、「いじめや不登校等への対応」の割合は2年生(35.1%)・3年生(36.6%)で高く、3割を超えている。

図表-289 子どもの学年別
石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策 (単位: %)

	調査数 (n)	就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	小学生の放課後児童対策	中高生等の居場所づくり	子育てに関する相談体制や情報提供 (乳幼児期〜中高生まで)	子育てのための経済的支援	子どもの健康づくり支援や医療体制	ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	障がい児や保護者に対する支援	いじめや不登校等への対応	児童虐待防止対策	子どもの貧困対策	「生きる力」を育む学校教育	子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	非行防止等の青少年健全育成対策	子育てにやさしい住環境整備	子どもを犯罪・事故から守る対策	仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	無回答	
全体	1,037	19.9	23.2	27.5	10.1	50.4	30.9	24.3	6.0	14.9	32.7	17.0	31.0	20.4	22.5	12.2	19.3	29.9	24.9	8.2	
子どもの	1年生	353	17.6	23.8	31.7	11.3	50.1	33.7	23.5	5.7	15.6	28.0	14.2	31.7	19.3	21.5	11.0	22.9	29.5	24.9	7.1
	2年生	376	21.5	23.7	27.9	9.6	51.1	29.3	24.5	5.9	13.3	35.1	18.1	30.9	23.1	23.4	13.8	16.5	33.8	21.0	7.4
	3年生	265	21.5	22.6	23.4	10.2	53.2	29.8	26.4	6.8	17.7	36.6	19.6	31.7	17.7	21.9	11.7	19.2	25.7	31.3	7.2
	無回答	43	14.0	18.6	14.0	4.7	30.2	27.9	16.3	4.7	7.0	25.6	14.0	20.9	23.3	25.6	9.3	14.0	25.6	18.6	30.2

第7章 関係団体等ヒアリング調査の結果

1. サービス等実施の現状と課題

教育・保育施設等のサービス提供事業者共通の課題として、保育士をはじめとした人材確保があげられた。

小学生の放課後対策に関しては、認可保育所や子どもセンター等からも、1年生を中心とした預かりニーズの増加や受入れに対する課題が指摘されており、学童保育の校区割り問題とあわせて対応が望まれている。

また、新制度で創設された小規模保育や企業主導型保育については、国の制度としての持続可能性に関する意見が共通してみられた。

図表－290 サービス等実施の現状と課題（主な意見）

<p>2015年4月子ども・子育て支援新制度開始以降の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認可施設の増加や受け入れ枠拡大により、利用者の選択肢が増えた（利用者が教育・保育施設を選択できるようになった）。 ・5歳児保育も定着してきている。 ・企業主導型保育施設での地域枠の申し込みも増えている。
<p>今後の事業展開の方向性や課題</p> <p>【人材確保(共通)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の人材確保が課題である。 ・保育士確保のため、県内の大学等に新卒者のリクルート活動を行っているが、石垣市出身者でも市内での就職を望まない人が多い。 ・保育士自身の産休・育休の場合の代替保育士の確保が難しい。 ・休日保育を実施している施設では、休日の人員確保も難しい。 ・企業主導型保育施設では、短期間(2年)で終了する人も多く、仕事を続けたい保育士は認可保育所等に転職してしまう。管理職がプレイングマネージャー化している。 ・放課後児童クラブ(学童保育)でも支援員の確保が難しい。 ・ファミリーサポートセンターでも実稼働できるサポーターが不足している。 <p>【認可保育所(私立保育所)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育の質の向上等の観点から施設等の環境整備が必要であり、行政からの援助がほしい。 ・子どもの居場所づくりの一環として、認可保育所で小学1年生くらいまでの学童保育のニーズにも対応できないか、検討してみたい。学童保育について、6年生までのニーズが増加し、入学後の新・1年生の受入れが困難なケースが見られる(入学後の4～5月に卒園した施設に放課後遊びに来る子がいる、安全な放課後の居場所が少ない地域がある)。 ・保育・教育施設卒園後～小学校入学までの約1週間の預かり支援については各施設により対応がさまざまであるが、教育・保育施設で預かり対応している施設もある。 <p>【小規模保育事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児の定員割れが出ると、事業運営に負担が生じる。 ・小規模保育施設の魅力向上を図るとともに、小規模施設の良さを保護者や保育士にもさらにPRしていかねばならない。 ・国の制度として当該事業が継続されるのか不安がある。 <p>【企業主導型保育事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域枠、0・1歳児の利用が増えているが、年度途中での認可施設への移行等により変動がある。低年齢児の受入れ拡大や企業枠拡大など、各施設で現在の利用動向等を踏まえて事業展開の方向性を検討していかねばな

第7章 関係団体等ヒアリング調査の結果

らない。

- ・国の制度として当該事業が継続されるのか、国の助成がいつまで続くのか不安がある。職員(保育士)に児童厚生員の資格取得を促すなど、他の事業展開も見すえた取り組みを考えている。

【放課後児童クラブ(学童保育)】

- ・本市の学童保育は民設民営事業者であり、校区単位での設置とはなっておらず、事業者ごとの対応エリア、校区割りが課題である(事業所によっては広範囲の校区に対応している)。
- ・年度初に利用増があり、資金繰りが難しい(運営助成が4月実績で6月に支給される、3月実績で次年度初支給の自治体もあるため検討してほしい)。

【ファミリー・サポート・センター】

- ・送迎サポート(放課後の学習塾等への定期送迎等)や、発達面で気になる子どものサポートの依頼が増加しており、サポーターのスキルアップも含めた対応の充実が必要となっている。
- ・幼児教育・保育無償化の導入による利用動向がどうなるか懸念している。ファミリー・サポート・センターも「認可外保育施設等」として無償化対象と位置づけられているため、利用希望が増えるのではないかと。

【子どもセンター】

- ・放課後児童クラブ(学童保育)と混同され、小学校入学時(新・1年生)の利用ニーズが増大している。
- ・新・1年生の卒園～入学前までの預かりニーズに対する対応も検討していきたい(有償サポート等)。
- ・現在は就学前児童～小学校低学年の利用が中心だが、中高生の居場所としても機能充実を図りたい(中高生に対する支援として相談事業やスポーツ・音楽等の活動の場の提供等)。

2. 行政との連携や望む支援

教育・保育施設間での情報交換・連携の機会づくりや、行政と各団体との定期的な情報交換等による連携強化を望む意見が複数の関係団体からあげられた。

また、人材確保・育成に対する支援として、保育士等の人材登録・マッチングや、合同説明会・研修会が望まれている。

図表－291 行政との連携や望む支援（主な意見）

【情報共有・連携の強化】

- ・事業所連絡協議会等の各関係団体の定例会議等に行政担当者も同席してほしい、行政との定期的な情報交換の場がほしい。
- ・教育・保育施設間で情報交換できる場があると良い(例：認可保育所と小規模保育施設の情報交換、企業主導型保育施設等も含む認可外施設等の連絡会等)。
- ・放課後児童クラブ(学童保育)間、及びクラブと学校とが情報交換できる場があると良い。複数校区を担当しているクラブは各校別に、学校行事や放課後時間帯を把握しているが、市役所等で一括して情報集約・共有できるようになれば助かる。

【人材確保・育成】

- ・人材確保支援の一環として、市で保育士等を募集・登録し、施設とマッチングしてほしい。
- ・保育の質の向上のための市内施設合同での保育士研修会や、人材確保のための合同説明会・施設紹介会ができないか(各施設の保育・教育内容を就職希望者等にPRできる場)。現在も合同説明会が開催されているが各施設の魅力がより伝わりやすい場にするなど、実施方法や内容の充実を図ってほしい。
- ・人材確保対策を検討するうえで、実際に働いている保育士・幼稚園教諭からのヒアリングやアンケート等を実施してほしい。

【事業運営に対する支援】

- ・教育・保育の運営加算や補助金に関する情報収集・手続きの負担が大きい。行政から施設に対して情報収集等に関する助言・支援をしてほしい。
- ・保育・教育施設について、きょうだい児が可能な限り同一施設となるよう更なる配慮を希望する。保護者の送迎

等の利便面からだけでなく、運動会等の行事が同一日に重なった場合に出席が困難になる。

- ・放課後児童クラブ(学童保育)で遊び場の確保に苦慮しているクラブがある。校庭等の学校施設や、空き地等を利用ができないか。また、放課後子ども教室との接点がないため、連携ができないか。
- ・就学前児童の保護者の教育・保育支援の一環として、子どもセンターにおいて説明会等を実施してほしい(利用者支援事業のセンターへの出張相談会等)。

3. 子ども・子育て支援全般について

その他、子ども・子育て支援全般について、サービス事業者等の視点からの意見についてたずねたところ、児童館等の子どもの居場所づくりに関することや、児童虐待及び子どもの貧困対策、発達障害に関すること等の意見があげられた。

図表－292 子ども・子育て支援全般について（主な意見）

【子どもの居場所づくり】

- ・身近で健全な居場所として児童館の増設や児童館機能の充実(不登校等への対応、中高生の自主活動の場づくり等)が必要である。

【児童虐待、子どもの貧困対策】

- ・児童虐待や子どもの貧困対策の一環として、乳幼児の一時預かり・デイサービス(養育支援訪問事業等で把握された育児放棄の恐れがある家庭の子ども・保護者への支援)や、子ども食堂の対象年齢拡大等の必要性を感じる。
- ・子どもの貧困の予防対策として、ひとり親家庭等に対する支援も充実してほしい(住民税非課税世帯、多子世帯等への支援)。
- ・児童相談所から保育・教育施設に直接保護にくる場合があるが、施設として面識がなく不安になることがある。行政間(国・県・市)で情報共有し、施設とも情報共有してほしい。

【発達障害】

- ・2歳以下の低年齢児でも発達障害などの配慮を要する子どもが増えていると感じる。行政から各施設への巡回訪問等の支援はあるが年1回程度なので中途入所の子どもに対応できていない。支援の方法等を見直し、充実してほしい。
- ・発達障害傾向のある児童も含めた、不登校児童の居場所づくりも進めてほしい。

【その他】

- ・乳幼児健診は集団健診で実施されているが、子ども(特に0・1歳)や施設側の負担が大きい。また、新産婦等への健診結果の伝え方や助言については特に配慮して行ってほしい。
- ・地域子育て支援センターの認知度が低い。転勤等による転入者も多いため、周知を図ってほしい。

第8章 資料編

1. 就学前児童保護者用調査票

石垣市 子育てに関するアンケート (就学前児童保護者用)

【アンケートご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、石垣市では、2019年度に国の法改正に基づいた新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を予定しています。

この計画づくりに活かすために、市内にお住まいの小学校入学前のすべてのお子さんについてアンケートをお願いすることにしました。

なお、このアンケートには、お名前を書いていただく必要はなく、ご回答いただいた内容は、「こう思う人は全体の何%」といったかたちに整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成31年2月

石垣市長 中山 義隆

- このアンケートは、調査対象のお子さん(※)について、保護者の方がご記入下さい。
(※)調査対象のお子さんとは、保育所・幼稚園等から調査票を受け取った方は「その施設(クラス)に通っているお子さん」、市役所から郵送で調査票が届いた方は「あて名のお子さん」のことです。
- 回答については、番号を選び「○」で囲む場合と枠内に数字等をご記入していただく場合があります。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意下さい。
- 就学前(小学校入学前)のすべてのお子さんが調査対象となるため、ご家庭によっては複数(お子さんの人数分)の調査票が届くこととなりますが、ご了承ください。
- ご記入が済みましたら、以下の方法で提出ください。

【調査票の提出方法】

**** 通っている保育所・幼稚園等から調査票を受け取った方 ****

配布されたときの封筒に入れて、平成31年2月8(金)までに保育所・幼稚園等に提出してください

**** 市役所から郵送で調査票が届いた方 ****

返信用封筒(切手不要)に入れて、平成31年2月11(月)までに郵便ポストに投かんしてください。

【調査に関するお問い合わせ先】

石垣市役所 福祉部こども未来局 子育て支援課(政策係) 電話：0980-82-1704

【 記入にあたってのお願い 】

1. 調査対象のお子さんについてご記入ください。
2. お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢や時間帯等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。（例：午後1時 → 13時）
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 保育サービスなどの子育て支援サービスについておうかがいする質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：保育所の入所要件など）をすべて表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市役所担当窓口等にお問い合わせください。

《主な用語の定義》

このアンケートにおける主な用語の定義は以下のとおり。 ※市内施設数等は平成30年12月末現在の状況です

名称	内容
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設。 ※石塚市内の施設数：17カ所（公立16カ所・私立1カ所） 【公立】あかし幼稚園、あまかわ幼稚園、あらかわ幼稚園、いのだ幼稚園、おおかわ幼稚園、かわはら幼稚園、しらは幼稚園、なぐら幼稚園、のそこ幼稚園、ひらくぼ幼稚園、へいしん幼稚園、みやどり幼稚園、みやなが幼稚園、みやまえ幼稚園、やえやま幼稚園、わかば幼稚園 【私立】海星幼稚園
保育所 （認可保育所）	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設。 認可保育所は、国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた施設のこと。 ※石塚市内の施設数：26カ所（公立7カ所・私立19カ所） 【公立】大川保育所、登野城保育所、石塚保育所、新栄町保育所、新川保育所、伊原間保育所、川平保育所 【私立】オリブ保育園、あいの保育園、エンゼル保育園、やしの実保育園、みよし保育園、まさら保育園、みやら保育園、ちいろぼ保育園、緑ヶ丘保育園、こどもの家保育園、みやら子宝保育園、海邦保育園、第2まさら保育園、アスク真栄里保育園、竹の子の森保育園、ふくぎの郷保育園、にしのもり保育園、ひまわりこ保育園、ばいぬしまきのこほいえん
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設。 ※石塚市内の施設数：3カ所（公立2カ所・私立1カ所） 【公立】認定こども園おおはま幼稚園、認定こども園まさら幼稚園 【私立】幼保連携型認定こども園なごみの広場
小規模保育施設	市町村の認可を受けた0～2歳児対象の定員概ね6～19人の保育施設。 ※石塚市内の施設数：11カ所（すべて私立） のびのび保育園、さんたろう保育園、はとぼっぼ保育園、ひなわし保育園、やいまふふ、わかば保育園、ふくふく保育園、ていばな保育園、きのこべいびー、小規模保育87、どんぐりほいえん
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設で、市町村の認可を受けている施設（主に0～2歳児対象）。 ※石塚市内の施設数：2カ所（すべて私立） 太陽ゆき保育園、ふくぎの森保育園
企業主導型保育施設	企業が主に従業員用に運営する認可外の施設。 ※石塚市内の施設数：2カ所 ひばり保育石塚のいえ、クローバーキッズクラブ

問6 調査対象のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【○は1つだけ】

- | | |
|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 4. 主に祖父母 |
| 2. 主に母親 | 5. その他 () |
| 3. 主に父親 | |

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、調査対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 問7-1△ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } 問7-2△ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒問8△ | |

問7-1は、問7で「1.」または「2.」を選んだ方におうかがいします。

問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【○はあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 祖父母等の親族の経済的負担等が大きく心配である
5. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

問7-2は、問7で「3.」または「4.」を選んだ方におうかがいします。

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【○はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 友人・知人の経済的負担等が大きく心配である
5. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

問8 調査対象のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つだけ】

1. いる/ある ⇒問8-1△

2. いない/ない ⇒問9△

問8-1は、問8で「1. いる/ある」を選んだ方におうかがいします。

問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 9. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人や知人 | 10. かかりつけの医師 |
| 3. 近所の人 | 11. 市役所の子育て関連担当窓口 |
| 4. 地域子育て支援センター（「こっこーま」等） | 12. その他（ ） |
| 5. 子どもセンター（健康福祉センター内） | |
| 6. 健康福祉センター | |
| 7. 保健所 | |
| 8. 保育所・幼稚園・認定こども園等の先生（保育士・幼稚園教諭等） | |

問9 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況について

問10～12は、調査対象のお子さんの保護者の就労状況を母親・父親別におうかがいする質問です。
 ※ひとり親のご家庭の場合は、「母親」または「父親」のどちらか一方にだけご回答ください。

問10 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれですか。
 【母親・父親ごとに○は1つだけ】

	母親	父親
1. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）	1	1
2. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中である）	2	2
3. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中ではない）	3	3
4. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中である）	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等…フルタイム以外の就労

問10（1）-1, 2は、就労している方（問10で1～4を選んだ方）におうかがいします。
 就労していない方（問10で「5.」または「6.」を選んだ方）は問12へお進みください。

※就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（1）-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
 【数字で記入】

母親	1週あたり： <input type="text"/> 日	1日あたり： <input type="text"/> 時間
父親	1週あたり： <input type="text"/> 日	1日あたり： <input type="text"/> 時間

（1）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

母親	家を出る時刻： <input type="text"/> 時台	帰宅時刻： <input type="text"/> 時台
父親	家を出る時刻： <input type="text"/> 時台	帰宅時刻： <input type="text"/> 時台

問11は、パート・アルバイト等で就労している方（問10で「3.」または「4.」を選んだ方）におうかがいします。
フルタイムで就労している方（問10で「1.」または「2.」を選んだ方）は問13へお進みください。

問11 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
【母親・父親ごとに○は1つだけ】

	母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問12は、就労していない方（問10で「5.」または「6.」を選んだ方）におうかがいします。

問12 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】
また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態 【○は1つだけ】	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
	2. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労） ⇒1週あたり： <input type="text"/> 日、1日あたり： <input type="text"/> 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態 【○は1つだけ】	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
	2. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労） ⇒1週あたり： <input type="text"/> 日、1日あたり： <input type="text"/> 時間

問13-3 現在、利用している保育所・幼稚園等はどこにありますか。所在地の小学校区をお答えください。
 ※校区がはっきりわからない場合はお近くの小学校名を選択してください。【○は1つだけ】

- | | | | |
|-------|--------|---------|---------|
| 1. 富野 | 6. 新川 | 11. 川原 | 16. 明石 |
| 2. 吉原 | 7. 石垣 | 12. 大本 | 17. 平久保 |
| 3. 川平 | 8. 登野城 | 13. 宮良 | 18. 野底 |
| 4. 崎枝 | 9. 平真 | 14. 白保 | 19. 八島 |
| 5. 名蔵 | 10. 大浜 | 15. 伊野田 | 20. 真喜良 |

問13-4 平日に定期的に保育所や幼稚園等を利用している理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている人が現在就労している
3. 子育てをしている人が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている人が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている人に病気や障がいがある
6. 子育てをしている人が学生である
7. その他 ()

問13-5は、問13で「2. 利用していない」を選んだ方におうかがいします。

問13-5 定期的に保育所や幼稚園等を利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親族がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育所や幼稚園等に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
 ⇒利用希望時間帯 [] 時台 ～ [] 時台
7. 利用したいが、サービスの質や場所などに納得できる保育所・幼稚園等がない
8. 子どもがまだ小さいため ⇒ ([] 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

すべての方におうかがいします。

問14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、調査対象のお子さんについて、平日に、「定期的に利用したいと考えるサービス」をお答えください。【○はあてはまるものすべて】

※これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

※以下の選択肢には、現在、市内では実施されていないサービスも含んでいます（家庭的保育等）。

1. 幼稚園（預かり保育なし）
2. 幼稚園（預かり保育を定期的に利用）
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 小規模保育施設（市町村の認可を受けた0～2歳児対象の定員概ね6～19人の保育施設）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設で、市町村の認可を受けている施設 ※主に0～2歳児対象）
8. 企業主導型保育施設（企業が主に従業員用に運営する認可外の施設）
9. 夜間保育所（夜間帯に対応している保育施設 開所時間例：11～23時等）
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. その他の認可外の保育施設
12. ファミリーサポートセンター（子育てを援助してほしい人と援助したい人が会員となり、互いに子育てを支え合う組織）
13. その他（ ）

【参考】主なサービスの利用者負担（利用料金）のめやす

公立幼稚園保育料：0～8,500円/月	保育所保育料：0～49,600円/月
公立幼稚園預かり保育料：7,000円/月	公立保育所延長保育料：150円～/回
公立幼稚園預かり給食費：5,000円/月	公立保育所延長保育料：1,800円～/月
公立認定こども園保育料（1号）：0～16,300円	※認定こども園2号、3号の保育料は、保育所保育料と同額。
公立認定こども園給食費（1号）：5,000円/月	

※1号認定：幼児教育を希望する3～5歳児（保育は必要としない）

2号認定：保育を必要とする3～5歳児

3号認定：保育を必要とする0～2歳児

問14-1 どの地域にある保育所・幼稚園等を利用したいですか。小学校区でお答えください。※校区がはっきりわからない場合はお近くの小学校名を選択してください。【○は1つだけ】

- | | | | |
|-------|--------|---------|---------|
| 1. 富野 | 6. 新川 | 11. 川原 | 16. 明石 |
| 2. 吉原 | 7. 石垣 | 12. 大本 | 17. 平久保 |
| 3. 川平 | 8. 登野城 | 13. 宮良 | 18. 野底 |
| 4. 崎枝 | 9. 平真 | 14. 白保 | 19. 八島 |
| 5. 名蔵 | 10. 大浜 | 15. 伊野田 | 20. 真喜良 |

問14で「1. 幼稚園（預かり保育なし）」または「2. 幼稚園（預かり保育を定期的に利用）」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方におうかがいします。

問14-2 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

土曜・休日や長期休暇中の定期的な保育所・幼稚園等の利用希望について

問18 調査対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的に保育所や幼稚園等を利用したいと思いませんか（一時的な利用は除きます）。【○は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。【数字を記入】

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

※これらのサービスの利用には、一定の利用者負担が発生します。

※幼稚園、保育所、認可外保育施設などのサービスのことであり、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- 【利用したい時間帯】
時台から 時台まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- 【利用したい時間帯】
時台から 時台まで

問18-1は、問18(1)または(2)で「3.月に1～2回は利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

「幼稚園」を利用している方におうかがいします。

問19 調査対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に保育所・幼稚園等での預かりサービスの利用を希望しますか。【○は1つだけ】 また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 【利用したい時間帯】
時台から 時台まで

問19-1は、問19で「3.休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他（ ）

病気の際の対応について（平日に保育所・幼稚園等を利用する方のみ）

問20～20-6は、平日に定期的に保育所・幼稚園等を利用している保護者の方（問13で「1. 利用している」を選んだ方）におうかがいします。
それ以外の方は問21にお進みください。

問20 この1年間に、調査対象のお子さんが病気やケガでふだん利用している保育所や幼稚園等が利用できなかったことはありますか。【○は1つだけ】

1. あった ⇒問20-1へ 2. なかった⇒問21へ

問20-1は、問20で「1. あった」を選んだ方におうかがいします。

問20-1 この1年間に、病気やケガでふだん利用している保育所や幼稚園等が利用できなかったとき、どのように対処しましたか。【○はあてはまるものすべて】
また、その日数は概ね何日ですか。（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【数字で記入】

1. 父親が休んだ	年間	<input type="text"/>	日	} 問20-2へ
2. 母親が休んだ	年間	<input type="text"/>	日	
3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	年間	<input type="text"/>	日	
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間	<input type="text"/>	日	} 問20-5へ
5. 病児保育を利用した	年間	<input type="text"/>	日	
6. ベビーシッターを利用した	年間	<input type="text"/>	日	
7. ファミリーサポートセンターを利用した	年間	<input type="text"/>	日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間	<input type="text"/>	日	
9. その他（ ）	年間	<input type="text"/>	日	

問20-2は、問20-1で「1.」または「2.」を選んだ方におうかがいします。

問20-2 その際、「できれば病児保育施設等を利用したい」と思われましたか。【○は1つだけ】
また、その場合の日数はどれくらいありますか。【数字を記入】

※病児保育施設等の利用には一定の利用者負担があり利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 日 ⇒ 問20-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問20-4へ

不定期な保育サービス（一時預かり等）の利用について

問2-1 この1年間に、調査対象のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的（日中の定期的な保育や病気のため以外）で不定期に利用しているサービスはありますか。【○はあてはまるものすべて】また、その日数は概ね何日ですか（半日程度の場合も1日とカウントしてください）。【数字で記入】

- | | | | |
|--|----|----------------------|---|
| 1. 一時預かり
（私用など理由を問わずに保育所で一時的に子どもを保育する事業） | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 幼稚園の預かり保育（預かり保育の不定期の利用） | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ
（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業） | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 5. ベビーシッター | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 6. その他（ <input type="text"/> ） | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 7. 利用していない⇒問2-1ハ | | | |

問2-1-1は、問2-1で「8. 利用していないを選んだ方におうかがいします。

問2-1-1 利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|--|--------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 6. 利用料がわからない |
| 2. 利用したい事業が地域にない | 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 4. 地域の事業の使い勝手がよくない
（立地や利用可能時間・日数など） | 9. その他（ <input type="text"/> ） |
| 5. 利用料がかかる・高い | |

問2-2 調査対象のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的でサービスを利用する必要があると思いますか。【○は1つだけ】また、その目的は何ですか。【○はあてはまるものすべて】必要な日数は概ね何日ですか。【数字を記入】※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | | |
|--|----|----------------------|-------|
| 1. 利用したい | 年間 | <input type="text"/> | 日（合計） |
| → 1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の習い事等）、リフレッシュ目的 | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| → 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者の通院等 | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| → 3. 不定期の就労 | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| → 4. その他（ <input type="text"/> ） | 年間 | <input type="text"/> | 日 |
| 2. 利用する必要はない ⇒問2-3ハ | | | |

小学校就学後の放課後の過ごし方について

問24～25は、調査対象のお子さんが5歳以上の方におうかがいします。
5歳未満の方は問26へお進みください。

問24 調査対象のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】
また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】
「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。
※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

- | | | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|---|----------------------|------|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 3. 習い事・クラブ活動・学習塾 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 4. 子どもセンター（児童館）等の子どものための施設 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| | | ⇒下校時から | | <input type="text"/> | 時台まで |
| 7. ファミリーサポートセンター | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 8. 近所の公園 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 9. その他（ ） | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |

問25 同様に、小学校高学年（4～6年生）になったときについて、お答えください。
※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|---|----------------------|------|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 3. 習い事・クラブ活動・学習塾 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 4. 子どもセンター（児童館）等の子どものための施設 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| | | ⇒下校時から | | <input type="text"/> | 時台まで |
| 7. ファミリーサポートセンター | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 8. 近所の公園 | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |
| 9. その他（ ） | 週 | <input type="text"/> | 日 | <input type="text"/> | くらい |

問26-2~9は、問26で「2. 取得した（取得中である）」を選んだ方におうかがいします。それ以外の方は、問27へお進みください。

問26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【母親・父親ごとに○は1つだけ】

	母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
2. 現在も育児休業中である	2	2
3. 育児休業中に離職した	3	3

問26-3~5は、問26-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方におうかがいします。

問26-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【母親・父親ごとに○は1つだけ】

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月~2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

問26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。

また、「希望」として、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何カ月のときまで取りたかったですか。

【母親・父親ごとに数字を記入】

母親	実際： <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	希望： <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
父親	実際： <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	希望： <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。【母親・父親ごとに数字を記入】

母親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
父親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問 26-6 は、問 26-4 で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。

問 26-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方【母親・父親ごとに○はあてはまるものすべて】

	母 親	父 親
1. 希望する保育所等に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他 ()	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方【母親・父親ごとに○はあてはまるものすべて】

	母 親	父 親
1. 希望する保育所等に入れなかったため	1	1
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかったため	2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4. 職場の受け入れ体制が整ってなかったため	4	4
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
6. その他 ()	6	6

問 26-7 は、問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。

問 26-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【母親・父親ごとに○は 1 つだけ】

	母 親	父 親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）	1	1
2. 利用した	2	2
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	3	3

問 26-8 は、問 26-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方におうかがいします。

問 26-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。【母親・父親ごとに○はあてはまるものすべて】

	母 親	父 親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	4
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8	8
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
10. その他 ()	10	10

問 26-9 は、問 26-2 で「2. 現在も育児休業中である」を選んだ方におうかがいします。

問 26-9 調査対象のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。【母親・父親ごとに○は 1 つだけ】

母 親	1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1 歳になる前に復帰したい
父 親	1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1 歳になる前に復帰したい

子ども・子育て支援全般について

すべての方におうかがいします。

問 31 石垣市は子育てしやすいまちだと思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 4. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. 思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問 32 石垣市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。【○はそれぞれ1つずつ】

	満足	えは満足 どちらかとい えは満足	いえな い	どちらとも いえない	えは不満 どちらかとい えは不満	不満
1. 就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	1	2	3	4	5	
2. 小学生の放課後児童対策	1	2	3	4	5	
3. 中学生等の居場所づくり	1	2	3	4	5	
4. 子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中学生まで）	1	2	3	4	5	
5. 子育てのための経済的支援	1	2	3	4	5	
6. 子どもの健康づくり支援や医療体制	1	2	3	4	5	
7. ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	1	2	3	4	5	
8. 子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	1	2	3	4	5	
9. 障がい児や保護者に対する支援	1	2	3	4	5	
10. いじめや不登校等への対応	1	2	3	4	5	
11. 児童虐待防止対策	1	2	3	4	5	
12. 子どもの貧困対策	1	2	3	4	5	
13. 「生きる力」を育む学校教育	1	2	3	4	5	
14. 子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	1	2	3	4	5	
15. 非行防止等の青少年健全育成対策	1	2	3	4	5	
16. 子育てにやさしい住環境整備	1	2	3	4	5	
17. 子どもを犯罪・事故から守る対策	1	2	3	4	5	
18. 仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	1	2	3	4	5	

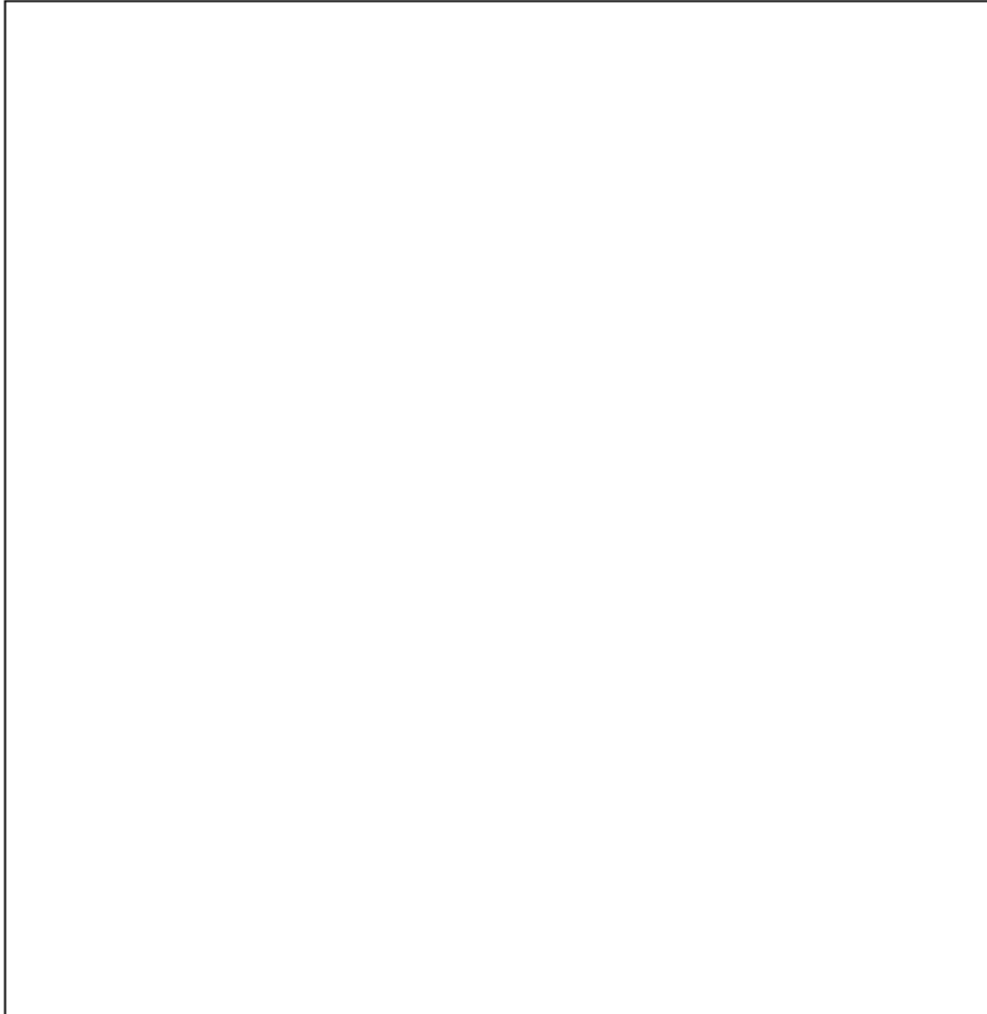
問 33 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。上記（問 32）の選択肢の中から5つまで選び、下の枠内に番号を記入してください。【○は5つまで】

特に力を入れてほしい施策

【問 32 の選択肢の中から5つまで番号記入】

--	--	--	--	--	--

問 34 最後に、子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

2. 小学生保護者用調査票

石垣市 子育てに関するアンケート (小学生保護者用)

【アンケートご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、石垣市では、2019年度に国の法改正に基づいた新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を予定しています。

この計画づくりに活かすために、市内にお住まいの小学生のすべてのお子さんについてアンケートをお願いすることにしました。

なお、このアンケートには、お名前を書いていただく必要はなく、ご回答いただいた内容は、「こう思う人は全体の何%」といったかたちに整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成31年2月

石垣市長 中山 義隆

- このアンケートは、調査対象のお子さん（※）について、保護者の方がご記入下さい。
（※）調査対象のお子さんとは、「小学校から調査票を受け取ってきたお子さん」のことです。
- 回答については、番号を選び「○」で囲む場合と枠内に数字等をご記入していただく場合があります。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意下さい。
- 小学生のすべてのお子さんが調査対象となるため、ご家庭によっては複数（お子さんの人数分）の調査票が届くことになりますが、ご了承ください。
- ご記入が済みましたら、以下の方法で提出ください。

【調査票の提出方法】

配布されたときの封筒に入れて、**平成31年2月8（金）までに小学校に提出**してください

【調査に関するお問い合わせ先】

石垣市役所 福祉部こども未来局 子育て支援課（政策係）電話：0980-82-1704

【 記入にあたってのお願い 】

1. 調査対象のお子さんについてご記入ください。
2. お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢や時間帯等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。（例：午後1時 → 13時）
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
6. 放課後児童クラブなどの子育て支援サービスについておうかがいする質問がありますが、これらの質問はあくまで今後の利用希望などを把握するための質問であり、実際のサービスの利用条件（例：放課後児童クラブの利用条件など）をすべて表現しているものではありません。実際のサービスの利用条件などについては、市役所担当窓口等にお問い合わせください。

《主な用語の定義》

このアンケートにおける主な用語の定義は以下のとおり。 ※市内施設数等は平成30年12月末現在の状況です

放課後児童クラブ (学童クラブ、学童 保育)	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な遊びの場や生活の場を提供するもの。 ※石塚市内のクラブ数：11カ所 としろ学童クラブ、どんぐりの学童、どんぐり第二学童クラブ、がくどうクラブちゅうハウス、こどもの家学童室、学童ほいく竹の子クラブ、がくどうひなわし、マーベール学童クラブ、ゆいまーる学童クラブ、みかわ学童クラブ、こども創造塾そらとかぜ
放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や交流センターで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組み。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できる。 ※石塚市内の放課後子ども教室数：小学校10校で18教室 【子ども教室がある小学校】川平小、名蔵小、新川小、石塚小、登野城小、平真小、平久保小、野底小、八島小、真喜良小

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、調査対象のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○はあてはまるものすべて】

- | | | |
|---|---|--------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | } | 問7-1へ |
| <ol style="list-style-type: none"> 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | 問7-2へ |
| <ol style="list-style-type: none"> 5. いずれもない ⇒ 問8へ | | |

問7-1は、問7で「1.」または「2.」を選んだ方におうかがいします。

問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【○はあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 祖父母等の親族の経済的負担等が大きく心配である
5. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

問7-2は、問7で「3.」または「4.」を選んだ方におうかがいします。

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【○はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 友人・知人の経済的負担等が大きく心配である
5. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

問8 調査対象のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つだけ】

1. いる/ある ⇒問8-1△

2. いない/ない ⇒問9△

問8-1は、問8で「1. いる/ある」を選んだ方におうかがいします。

問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人や知人 | 9. かかりつけの医師 |
| 3. 近所の人 | 10. 市役所の子育て関連担当窓口 |
| 4. 子どもセンター（健康福祉センター内） | 11. その他（ ） |
| 5. 健康福祉センター | |
| 6. 保健所 | |
| 7. 学校の先生 | |

問9 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況について

問10～12は、調査対象のお子さんの保護者の就労状況を母親・父親別におうかがいする質問です。

※ひとり親のご家庭の場合は、「母親」または「父親」のどちらか一方にだけご回答ください。

問10 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれですか。

【母親・父親ごとに○は1つだけ】

	母 親	父 親
1. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中ではない）	1	1
2. フルタイムで就労（産休・育休・介護休業中である）	2	2
3. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中ではない）	3	3
4. パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中である）	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労

※パート・アルバイト等…フルタイム以外の就労

問10（1）-1, 2は、就労している方（問10で1～4を選んだ方）におうかがいします。

就労していない方（問10で「5.」または「6.」を選んだ方）は問12へお進みください。

※就労パターンが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（1）-1 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

【数字で記入】

母 親	1週あたり： <input type="text"/> 日	1日あたり： <input type="text"/> 時間
父 親	1週あたり： <input type="text"/> 日	1日あたり： <input type="text"/> 時間

（1）-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。【数字で記入】

※時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

母 親	家を出る時刻： <input type="text"/> 時台	帰宅時刻： <input type="text"/> 時台
父 親	家を出る時刻： <input type="text"/> 時台	帰宅時刻： <input type="text"/> 時台

問11は、パート・アルバイト等で就労している方（問10で「3.」または「4.」を選んだ方）におうかがいします。
フルタイムで就労している方（問10で「1.」または「2.」を選んだ方）は問13へお進みください。

問11 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
【母親・父親ごとに○は1つだけ】

	母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問12は、就労していない方（問10で「5.」または「6.」を選んだ方）におうかがいします。

問12 就労したいという希望はありますか。【○は1つだけ】
また、該当する箇所に数字をご記入ください。【数字で記入】

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態 【○は1つだけ】	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
	2. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労） ⇒1週あたり： <input type="text"/> 日、1日あたり： <input type="text"/> 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったときに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態 【○は1つだけ】	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
	2. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労） ⇒1週あたり： <input type="text"/> 日、1日あたり： <input type="text"/> 時間

放課後の過ごし方について

問 13 調査対象のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

【〇はあてはまるものすべて】

それぞれで過ごしている日数は何日ですか。【数字を記入】

「放課後児童クラブ」の場合は、利用時間もご記入ください。

※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

- | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|---------------------------|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事・クラブ活動・学習塾 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 子どもセンター（児童館）等の子どものための施設 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| | | ⇒下校時から | <input type="text"/> 時台まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 8. 近所の公園 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 9. その他（ ） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |

問 14 調査対象のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

また、希望する週あたり日数は何日ですか。【数字を記入】

「放課後児童クラブ」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※現在、調査対象のお子さんが4年生以上の場合は、低学年のうちに「過ごさせたい」希望としてお答えください。

- | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|---------------------------|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事・クラブ活動・学習塾 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 子どもセンター（児童館）等の子どものための施設 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| | | ⇒下校時から | <input type="text"/> 時台まで |
| 7. ファミリー・サポート・センター | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 8. 近所の公園 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 9. その他（ ） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |

問 15 同様に、小学校高学年（4～6年生）のうちは、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

- | | | | |
|----------------------------|---|----------------------|----------------------|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事・クラブ活動・学習塾 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 子どもセンター（児童館）等の子どものための施設 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 5. 放課後子ども教室 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| | | ⇒下校時から | <input type="text"/> |
| | | | 時台まで |
| 7. ファミリー・サポートセンター | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 8. 近所の公園 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 9. その他（ ） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |

問 16 は、問 14 または問 15 で「6.放課後児童クラブ」を選んだ方におうかがいします。

問 16 調査対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。

また、利用を希望する時間もご記入ください。【数字で記入】

※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日【○は1つだけ】

- | | | | | | |
|-------------------------|---|----------------------|------|----------------------|------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } | 利用したい時間帯 | | | |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | | | | |
| 3. 利用する必要はない | | | | | |
| | | <input type="text"/> | 時台から | <input type="text"/> | 時台まで |

(2) 日曜日・祝日【○は1つだけ】

- | | | | | | |
|-------------------------|---|----------------------|------|----------------------|------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } | 利用したい時間帯 | | | |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | | | | |
| 3. 利用する必要はない | | | | | |
| | | <input type="text"/> | 時台から | <input type="text"/> | 時台まで |

問 17 調査対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。【○は1つだけ】 また、利用を希望する時間もご記入ください。【数字で記入】

※時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

- | | | | | | |
|-------------------------|---|----------------------|------|----------------------|------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | } | 利用したい時間帯 | | | |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | | | | | |
| 3. 利用する必要はない | | | | | |
| | | <input type="text"/> | 時台から | <input type="text"/> | 時台まで |

問 18 調査対象のお子さんの遊び場・居場所として、どのような場が身近にあってほしいと思いませんか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 児童館等の子どものための施設 | 6. 図書館 |
| 2. 放課後児童クラブ（学童保育） | 7. 学習室などの自習ができる場所 |
| 3. 放課後子ども教室 | 8. 体育館などの運動ができる場所 |
| 4. 公園 | 9. 小学校・中学校等の施設開放 |
| 5. 公民館 | 10. その他（ ） |

子ども・子育て支援全般について

すべての方におうかがいします。

問 21 石垣市は子育てしやすいまちだと思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 4. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. 思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問 22 石垣市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。【○はそれぞれ1つずつ】

	満足	えは満足 どちらかとい	いえない どちらかとも	えは不満 どちらかとい	不満
1. 就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	1	2	3	4	5
2. 小学生の放課後児童対策	1	2	3	4	5
3. 中高生等の居場所づくり	1	2	3	4	5
4. 子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中高生まで）	1	2	3	4	5
5. 子育てのための経済的支援	1	2	3	4	5
6. 子どもの健康づくり支援や医療体制	1	2	3	4	5
7. ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	1	2	3	4	5
8. 子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	1	2	3	4	5
9. 障がい児や保護者に対する支援	1	2	3	4	5
10. いじめや不登校等への対応	1	2	3	4	5
11. 児童虐待防止対策	1	2	3	4	5
12. 子どもの貧困対策	1	2	3	4	5
13. 「生きる力」を育む学校教育	1	2	3	4	5
14. 子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	1	2	3	4	5
15. 非行防止等の青少年健全育成対策	1	2	3	4	5
16. 子育てにやさしい住環境整備	1	2	3	4	5
17. 子どもを犯罪・事故から守る対策	1	2	3	4	5
18. 仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	1	2	3	4	5

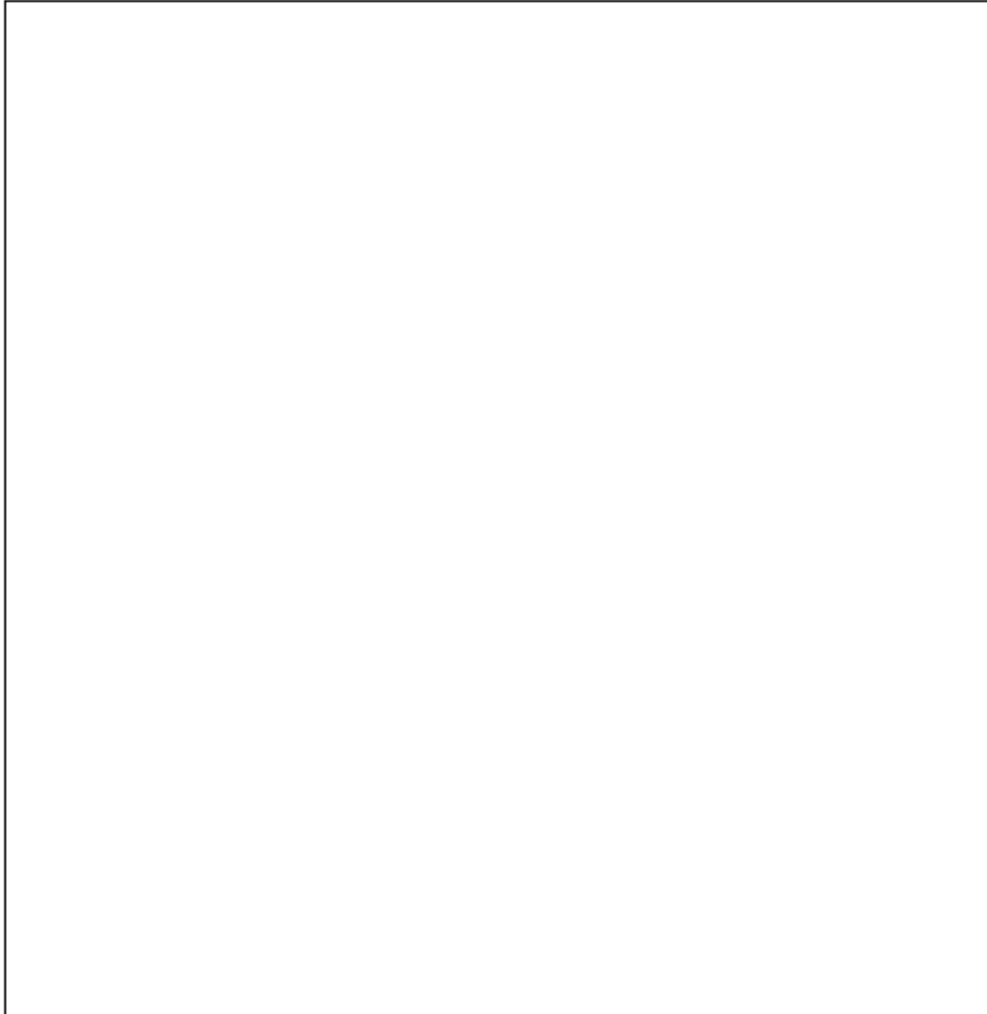
問 23 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。上記（問 22）の選択肢の中から5つまで選び、下の枠内に番号を記入してください。【○は5つまで】

特に力を入れてほしい施策

【問 22 の選択肢の中から5つまで番号記入】

--	--	--	--	--	--

問 24 最後に、子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

3. 中学生保護者用調査票

石垣市 子育てに関するアンケート (中学生保護者用)

【アンケートご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、石垣市では、2019年度に国の法改正に基づいた新たな子ども・子育て支援事業計画の策定を予定しています。

この計画づくりに活かすために、市内にお住まいの中学生のすべてのお子さんについてアンケートをお願いすることにしました。

なお、このアンケートには、お名前を書いていただく必要はなく、ご回答いただいた内容は、「こう思う人は全体の何%」といったかたちに整理し、統計的な分析にのみ使用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートの目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成31年2月

石垣市長 中山 義隆

- このアンケートは、調査対象のお子さん（※）について、保護者の方がご記入下さい。
(※)調査対象のお子さんとは、「中学校から調査票を受け取ってきたお子さん」のことです。
- 回答については、番号を選び「○」で囲む場合と枠内に数字等をご記入していただく場合があります。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意下さい。
- 中学生のすべてのお子さんが調査対象となるため、ご家庭によっては複数（お子さんの人数分）の調査票が届くこととなりますが、ご了承ください。
- ご記入が済みましたら、以下の方法で提出ください。

【調査票の提出方法】

配布されたときの封筒に入れて、**平成31年2月8（金）までに中学校に提出**してください

【調査に関するお問い合わせ先】

石垣市役所 福祉部子ども未来局 子育て支援課（政策係）電話：0980-82-1704

【 記入にあたってのお願い 】

1. 調査対象のお子さんについてご記入ください。
2. お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 選択肢がある場合には、番号を○印で囲んでください。
4. 数字（年齢等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 調査対象のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つだけ】

1. いる/ある ⇒ **問7-1**△ 2. いない/ない ⇒ **問8** △

問7-1は、問7で「1. いる/ある」を選んだ方におうかがいします。

問7-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人や知人 | 9. かかりつけの医師 |
| 3. 近所の人 | 10. 市役所の子育て関連担当窓口 |
| 4. 子どもセンター（健康福祉センター内） | 11. その他（ ） |
| 5. 健康福祉センター | |
| 6. 保健所 | |
| 7. 学校の先生 | |

問8 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

子ども・子育て支援全般について

すべての方におうかがいします。

問 14 石垣市は子育てしやすいまちだと思いますか。【○は1つだけ】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 思う | 4. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえば思う | 5. 思わない |
| 3. どちらともいえない | |

問 15 石垣市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。【○はそれぞれ1つずつ】

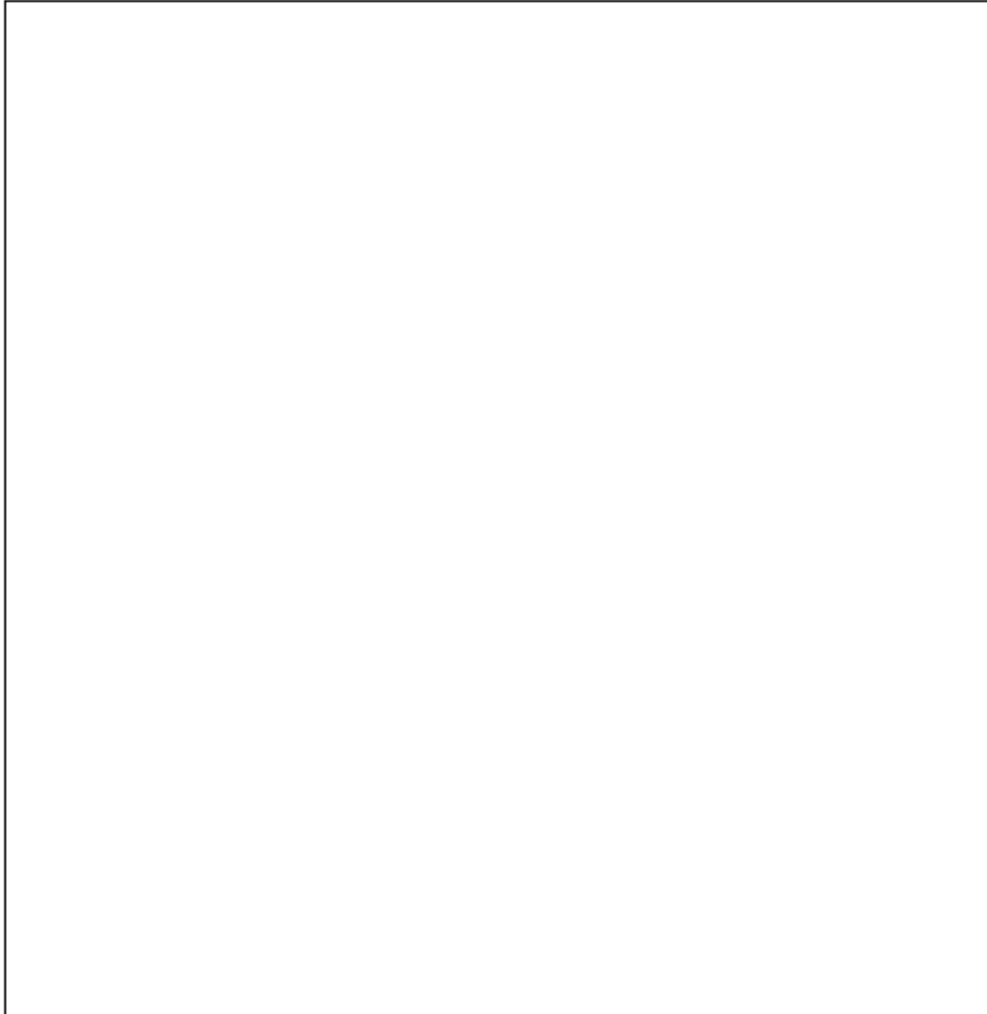
	満足	えは満足 どちらかとい いえない	どちらかとい えは不満	不満	
1. 就学前の教育・保育サービスや子育て支援サービス	1	2	3	4	5
2. 小学生の放課後児童対策	1	2	3	4	5
3. 中学生等の居場所づくり	1	2	3	4	5
4. 子育てに関する相談体制や情報提供（乳幼児期～中学生まで）	1	2	3	4	5
5. 子育てのための経済的支援	1	2	3	4	5
6. 子どもの健康づくり支援や医療体制	1	2	3	4	5
7. ひとり親家庭など多様な家庭の状況に応じた子育て支援	1	2	3	4	5
8. 子育てボランティア等の地域で子育てを支える活動の推進	1	2	3	4	5
9. 障がい児や保護者に対する支援	1	2	3	4	5
10. いじめや不登校等への対応	1	2	3	4	5
11. 児童虐待防止対策	1	2	3	4	5
12. 子どもの貧困対策	1	2	3	4	5
13. 「生きる力」を育む学校教育	1	2	3	4	5
14. 子どもの文化・スポーツ・体験活動等の推進	1	2	3	4	5
15. 非行防止等の青少年健全育成対策	1	2	3	4	5
16. 子育てにやさしい住環境整備	1	2	3	4	5
17. 子どもを犯罪・事故から守る対策	1	2	3	4	5
18. 仕事と子育ての両立等に関する意識啓発	1	2	3	4	5

問 16 今後、石垣市に特に力を入れて取り組んでほしい施策は何ですか。上記（問 15）の選択肢の中から5つまで選び、下の格内に番号を記入してください。【○は5つまで】

特に力を入れてほしい施策
【問 15 の選択肢の中から5つまで番号記入】

--	--	--	--	--

問 17 最後に、子育て環境や支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。

第2期石垣市子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査等結果報告書

平成31年3月

(発行) 石垣市 福祉部 こども未来局 子育て支援課
〒907-8501石垣市美崎町14番地 [電話] 0980-82-1704